

第9期 鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書

令和5年3月

鎌ヶ谷市

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
3 回収結果.....	2
4 報告書の利用にあたって.....	2
第2章 調査結果の概要（調査間比較）.....	3
1 調査対象に関する概要.....	3
2 調査結果に関する概要.....	5
第3章 40～64歳調査結果.....	14
●健康づくり・地域のつながりについて.....	17
●市の高齢者福祉施策について.....	24
●成年後見制度について.....	37
●デジタルの活用について.....	39
第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	43
●からだを動かすことについて.....	50
●食べることについて.....	56
●毎日の生活について.....	61
●地域での活動について.....	71
●助け合いについて.....	85
●健康について.....	96
●市の高齢者福祉施策について.....	104
●市の介護保険施策について.....	112
●日常生活におけるリスク判定の集計結果.....	119
●IADL別の分析結果.....	127

第5章 在宅介護実態調査	130
●介護サービス等の利用について	134
●日常生活の状況について	156
●成年後見制度について	159
●介護者による介護の状況について	161
●分析編	185
(1) 就労の継続について	185
(2) 介護保険以外のサービス利用について	187
(3) 入所の検討状況について	190
第6章 施設サービス利用者調査	192
●入所時の状況について	194
●施設での生活について	196
●今後の生活や支援の希望について	199
第7章 地域資源調査	202
●活動の状況・課題・今後の方向性について	203
●地域の課題について	216
●市の高齢者施策について	221

第1章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、第9期鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（計画期間：令和6年度から令和8年度）を策定するための基礎資料として、市民の皆さまの意見や要望を把握することを目的に実施しました。

2 調査の方法

（1）調査対象者と抽出方法

調査名	調査対象者と抽出方法
40～64 歳調査	市内在住の 40～64 歳の市民の中から無作為抽出
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	市内在住の 65 歳以上の市民のうち、要介護 1～5 の認定を受けていない方の中から無作為抽出
在宅介護実態調査	要介護認定者のうち、在宅で生活している市民の中から無作為抽出
施設サービス利用者調査	要介護認定者のうち、介護保険施設に入所している市民の中から無作為抽出
地域資源調査	地域で高齢者支援等の活動を行う団体・機関等を実施

※地域資源調査については、「高齢者活動をされている団体向けアンケート」と「高齢者福祉に携わっている団体・施設向けアンケート」の2種類に調査票を分けて実施しました。

共通の設問も多いため、合算した集計を行ったうえで本報告書では1つの章にまとめて結果を示しています。

各調査における問番号については前者に[活]、後者に[福]とつけて示しています。

（2）調査時期

令和4年12月～令和5年1月

（3）調査方法

郵便調査法（40～64 歳調査のみ、インターネット回答を併用）

3 回収結果

	40～64 歳 調査	介護予防・ 日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護 実態調査	施設サービス 利用者調査	地域資源調査
サンプル数	1,000	4,500	1,900	500	65
回収数	382	3,145	1,102	266	49
回収率	38.2	69.9	58.0	53.2	75.4
有効回収数	381	3,123	994	188	49
有効回収率	38.1	69.4	52.3	37.6	75.4
無効回収数	1	22	108	78	0
病院に入院中	1	9	40	13	/
障がい等のため、 意思表示ができない	0	0	-	-	
認知症等で調査不能	-	-	-	47	
施設に入所（居）中	-	-	60	-	
退所（退院）した	-	-	-	2	
市外に転出	0	0	0	-	
その他（無回答含む）	0	13	8	23	

※無効回収数のうち「-」は、選択肢が設定されていないことを表しています。

※無効回収となる事由について複数選択した方を重複して集計しているため、無効回収数と事由別の合計が一致しないことがあります。

※新型コロナウイルス感染症による療養のため入院中等で無効回収となっているケースも一定数みられ、第8期計画策定時の調査に比べ無効回収の件数が多くなっています。

※40～64 歳調査の回収数の内訳について、郵便による回収が 305 件、インターネット回答が 77 件となっています。

4 報告書の利用にあたって

- (1) . 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- (2) . 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数（nと表記）として、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合があります。
- (3) . 複数回答形式の場合は、すべての回答者が1つの回答しか選択しなかったという特殊な場合を除き、回答比率の合計が 100%を超えます。
- (4) . 表中の「全体」は回答者数となっており、複数回答の場合、回答数の合計とは異なります。

第2章 調査結果の概要(調査間比較)

1 調査対象に関する概要

(1) 調査票の記入者

	n	ご本人 (調査対象者)	ご家族		その他	不明・ 無回答
40～64 歳調査	381	93.7	5.5		0.0	0.8
介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	3,123	87.8	5.6		0.2	6.3
在宅介護実態調査	994	40.8	49.8 (主な介護者)	3.1 (左以外)	1.1	5.1
施設サービス利用者 調査	188	3.7	92.0		2.7	1.6

40～64 歳調査と介護予防・日常生活圏域調査では、「ご本人」が約9割となっています。

在宅介護実態調査では、「ご家族」が約5割と、「ご本人」の約4割を上回っています。

施設サービス利用者調査では、「ご家族」が約9割となっています。

(2) 性別

	n	男性	女性	不明・無回答
40～64 歳調査	381	41.2	57.5	1.3
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,123	41.3	54.6	4.1
在宅介護実態調査	994	41.1	55.8	3.0
施設サービス利用者調査	188	31.9	67.0	1.1

40～64 歳調査、介護予防・日常生活圏域調査と在宅介護実態調査では、男性が約4割、女性が5割台となっています。

施設サービス利用者調査では、男性が約3割と低くなっています。

（3）年齢

	n	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	不明・無回答
40~64 歳調査	381	15.7	17.3	25.7	17.3	22.6	1.3
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,123						4.3
在宅介護実態調査	994	5.8					3.4
施設サービス利用者調査	188	8.5					1.6
	n	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90以上
40~64 歳調査	381						
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,123	17.9	22.4	22.4	19.2	10.1	3.4
在宅介護実態調査	994	13.5		16.4	23.4	21.3	15.8
施設サービス利用者調査	188	3.2	5.3	9.0	17.6	26.6	28.2

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に比べ、在宅介護実態調査・施設サービス利用者調査では、75歳以上の後期高齢者からの回答割合が高くなっています。

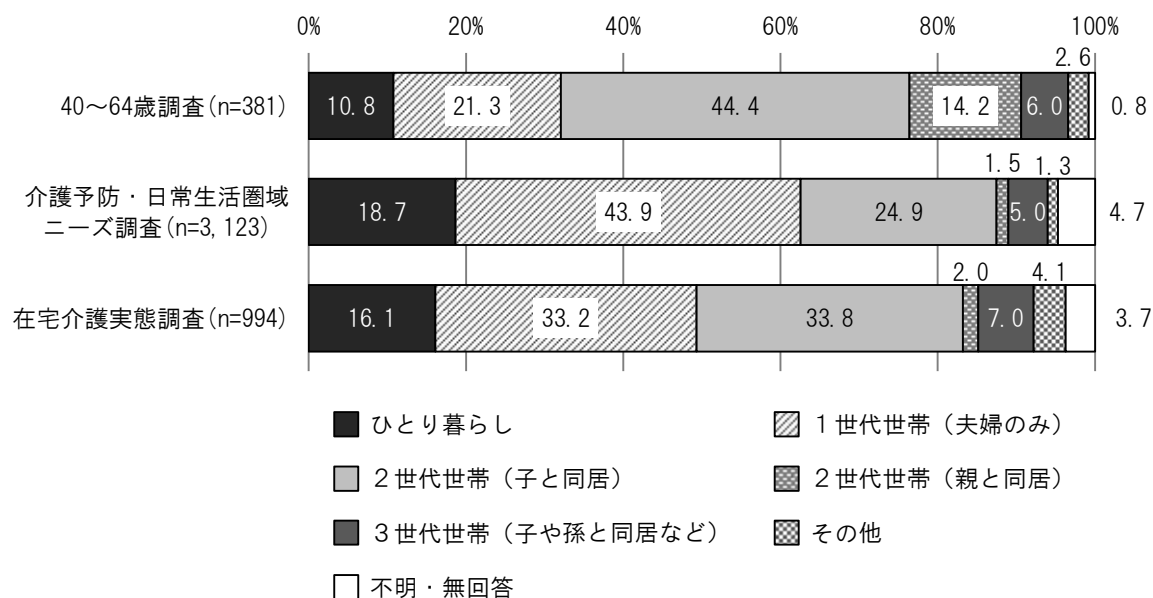
（4）居住地区

	n	中央	中央東	東部	南部	西部	北部	不明・無回答
40~64 歳調査	381	22.3	18.1	24.7	8.1	21.3	4.7	0.8
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,123	17.8	19.1	26.2	7.8	17.7	7.1	4.2

40~64 歳調査で中央地区・西部地区が、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査で北部地区が、それぞれもう一方の調査と比べて高い傾向にあります。

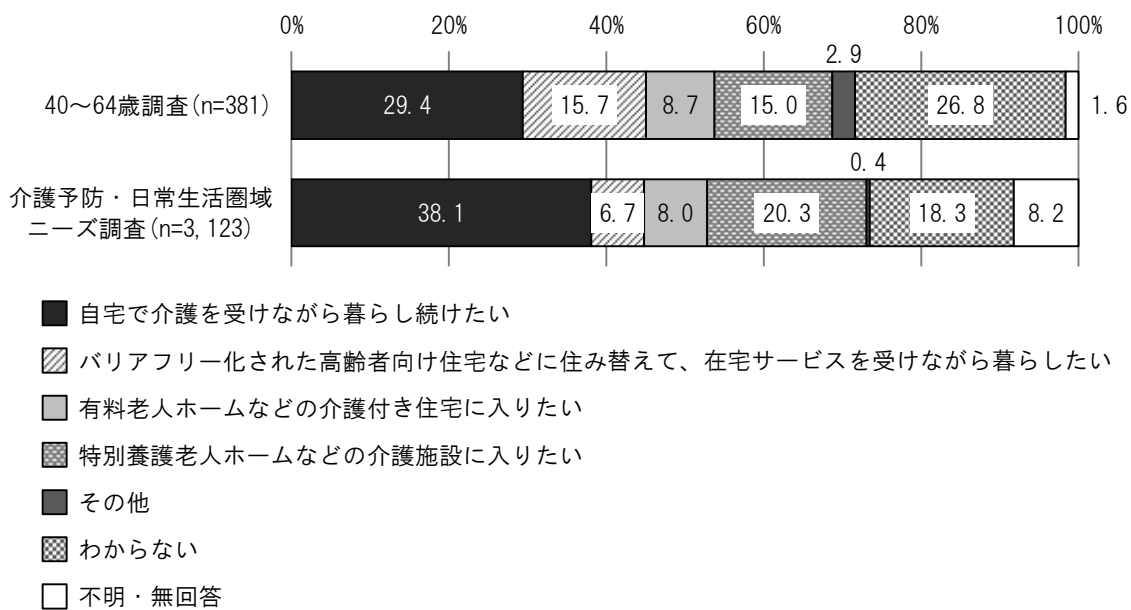
2 調査結果に関する概要

(1) 家族の状況



家族の状況についてみると、「ひとり暮らし」の占める割合は各調査のいずれも1割台となっており、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】で18.7%、【在宅介護実態調査】で16.1%、【40~64歳調査】で10.8%となっています。同居世帯の割合では、【40~64歳調査】【在宅介護実態調査】で「2世代世帯 (子と同居)」が最も高く、それぞれ44.4%、33.8%となっていますが、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では「1世代世帯 (夫婦のみ)」が43.9%と最も高くなっています。また、【40~64歳調査】では「2世代世帯 (親と同居)」が14.2%と、他の調査に比べて高くなっています。

（2）希望する介護形態



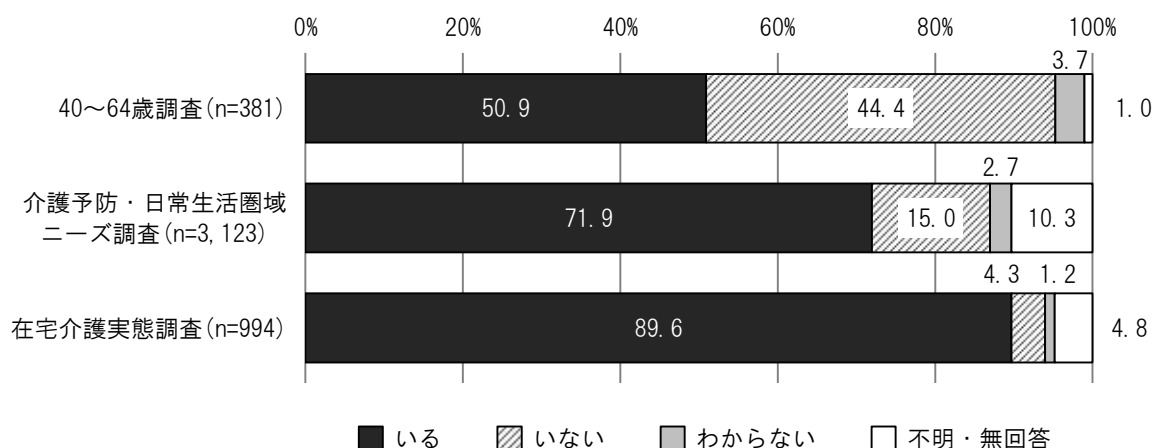
今後（介護が必要になった場合に）希望する介護形態についてみると、各調査ともに「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が最も高くなっていますが、【40~64歳調査】では29.4%、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では38.1%と、1割弱の差がみられます。

（3）施設入所（入居）を希望する理由

単位：%		施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから	施設の方が、不自由のない生活が保障されるから	施設の方が、生活費がかからないから	家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから	家族が勤めるところから	その他	不明・無回答
調査	40~64歳調査 (n=101)	46.5	20.8	6.9	76.2	3.0	5.9	2.0
比較	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 (n=885)	47.1	16.3	10.1	73.0	4.2	1.6	7.1

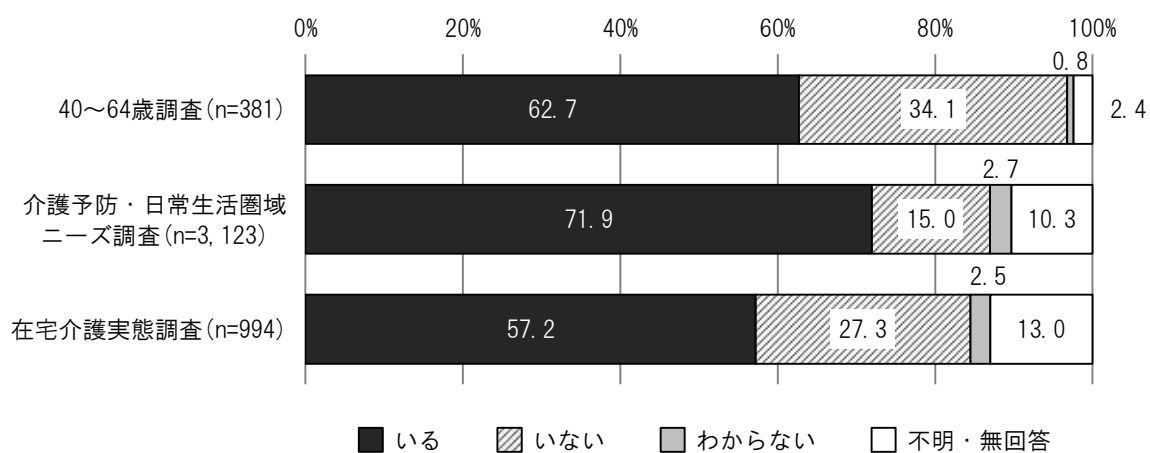
施設入所（入居）を希望する理由についてみると、各調査ともに「家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから」が7割台と最も高く、次いで「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が4割台となっています。

（４）かかりつけ医の状況



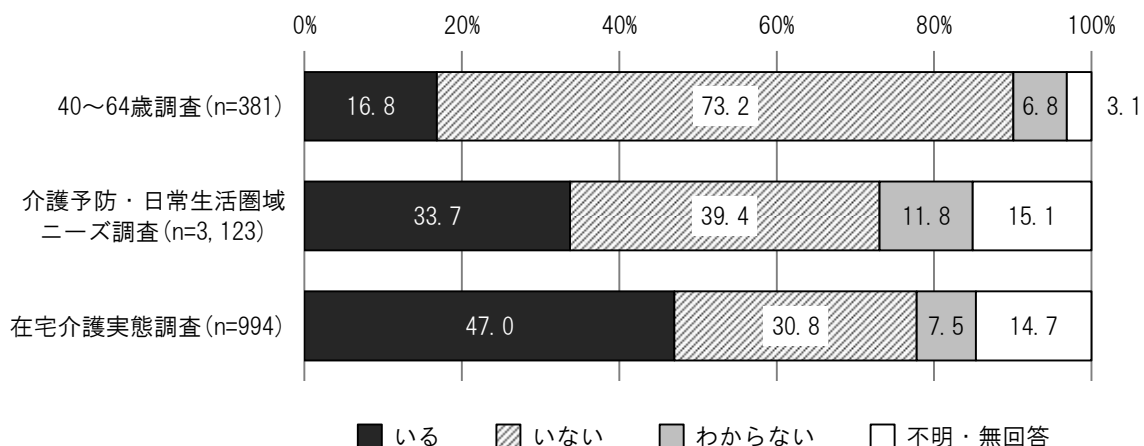
かかりつけ医の状況についてみると、いずれの調査も「いる」が最も高く、【在宅介護実態調査】では89.6%と、約9割を占めています。また、【40～64歳調査】では「いない」が44.4%と、他の調査に比べて高くなっています。

（５）かかりつけ歯科医の状況



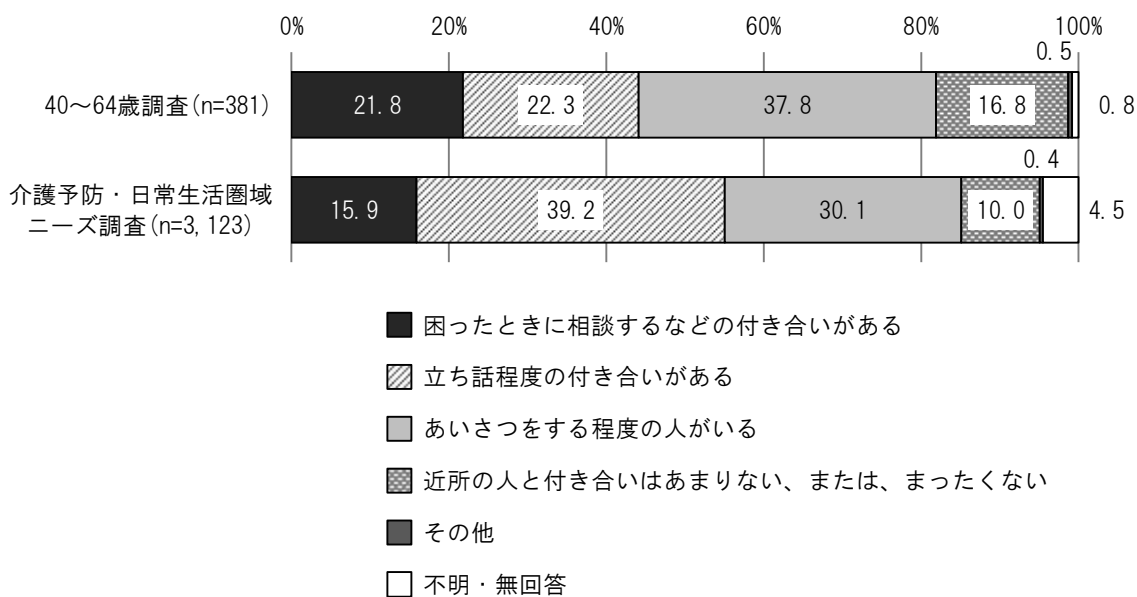
かかりつけ歯科医の状況についてみると、いずれの調査も「いる」が最も高く、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では71.9%と、他の調査に比べて最も高くなっています。

（6）かかりつけ薬剤師の状況



かかりつけ薬剤師の状況についてみると、【40～64 歳調査】【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では「いない」、【在宅介護実態調査】では「いる」が最も高くなっています。また、【40～64 歳調査】では「いない」が73.2%と、他の調査に比べて最も高くなっています。

（7）地域のつながりの状況



地域のつながりの状況についてみると、【40～64 歳調査】では「あいさつをする程度の人がある」が37.8%と最も高く、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では「立ち話程度の付き合いがある」が39.2%と最も高くなっています。

(8) 隣近所で手助けできること <主な選択肢>

単位：％		安否確認の声掛け	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	ちょっとした買物	ゴミ出し	玄関前や庭の掃除	高齢者の見守り	
調査間比較	40～64歳調査(n=381)	60.6	38.6	16.0	23.6	22.6	18.6	9.2	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=3,123)	40.1	34.3	12.9	16.9	22.6	18.3	6.9	
	在宅介護実態調査(n=677)	34.6	23.9	11.4	10.0	14.8	9.0	7.7	
単位：％		できることは特にな							
調査間比較	40～64歳調査(n=381)	22.0							
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=3,123)	29.2							
	在宅介護実態調査(n=677)	40.2							

隣近所で手助けできることについてみると、【40～64歳調査】【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では「安否確認の声掛け」、【在宅介護実態調査】では「できることは特にな

また、「ゴミ出し」「できることは特にな

また、「高齢者の見守り」「できることは特にな

【在宅介護実態調査】の割合が最も低い結果となっています。

(9) 隣近所で手助けしてほしいこと <主な選択肢>

単位：％		安否確認の声掛け	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	ちょっとした買物	ゴミ出し	玄関前や庭の掃除	高齢者の見守り	
調査間比較	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=3,123)	26.9	21.1	7.0	10.4	11.3	6.5	4.1	
	在宅介護実態調査(n=677)	26.0	20.4	6.4	5.8	8.7	6.1	13.0	
単位：％		してもらいたいこ							
調査間比較	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=3,123)	44.1							
	在宅介護実態調査(n=677)	36.8							

隣近所で手助けしてほしいことについてみると、各調査ともに「してもらいたいこ

最も高くなっています。

また、【在宅介護実態調査】では「高齢者の見守り」が13.0%と一定数みられますが、(8)の隣近所で手助けできることでは割合が低くなっており、「できること」と「してほしいこと」の間で差がある傾向がみられます。

(10) 運転免許返納について

※斜線の部分は選択肢なし

単位：％		事故を未然に防ぐため、認知状況に危険があれば返納してほしい	運転免許を持ったことがない	既に運転免許を返納している	今後、認知状況に危険があれば返納したい	返納してしまうと生活の負担（買物・通院等）が大きく、できれば返納してほしくない／したくない	免許返納について考えたことが無かった	同居・近居する親世代に該当する人はいない
調査間比較	40～64歳調査(n=381)	69.3	/	/	/	2.4	2.1	22.0
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=3,123)	/	28.8	19.3	26.6	9.3	6.8	/
	在宅介護実態調査(n=994)	/	40.7	36.5	4.6	2.3	2.0	/
単位：％		その他	不明・無回答					
調査間比較	40～64歳調査(n=381)	4.2						
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=3,123)	3.0	6.2					
	在宅介護実態調査(n=994)	4.0	9.8					

高齢者の運転免許の返納について、【40～64 歳調査】と【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】【在宅介護実態調査】では、設問の内容や選択肢に違いがあるため比較はできませんが、【40～64 歳調査】では、親世代の運転免許返納について「事故を未然に防ぐため、認知状況に危険があれば返納してほしい」が69.3%と最も高く、次いで「同居・近居する親世代に該当する人はいない」が22.0%となっています。

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】【在宅介護実態調査】では、自身の運転免許返納について「運転免許を持ったことがない」が最も高く、次いで【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では「今後、認知状況に危険があれば返納したい」、【在宅介護実態調査】では「既に運転免許を返納している」となっています。

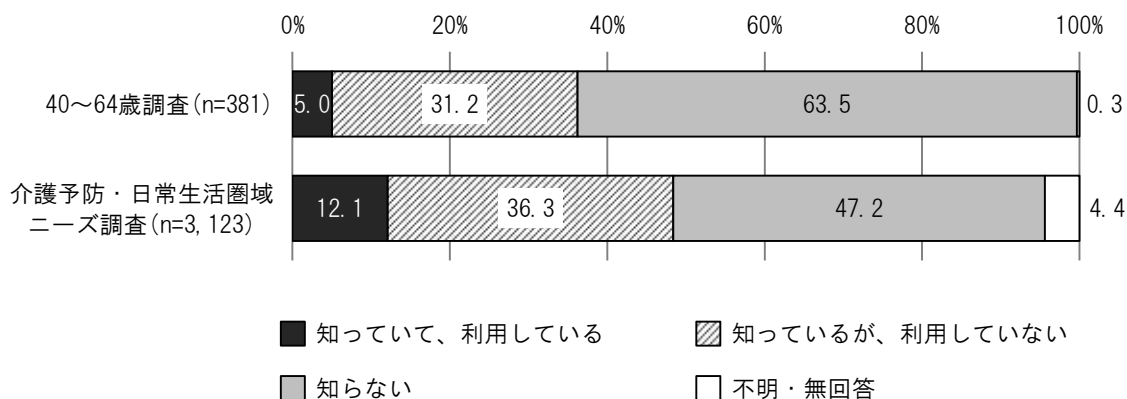
設問内容：【40～64 歳調査】

同居・近居する親世代の運転免許返納について、あなたはどのように考えていますか。

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】【在宅介護実態調査】

あなたの運転免許返納について、あなたはどのように考えていますか。

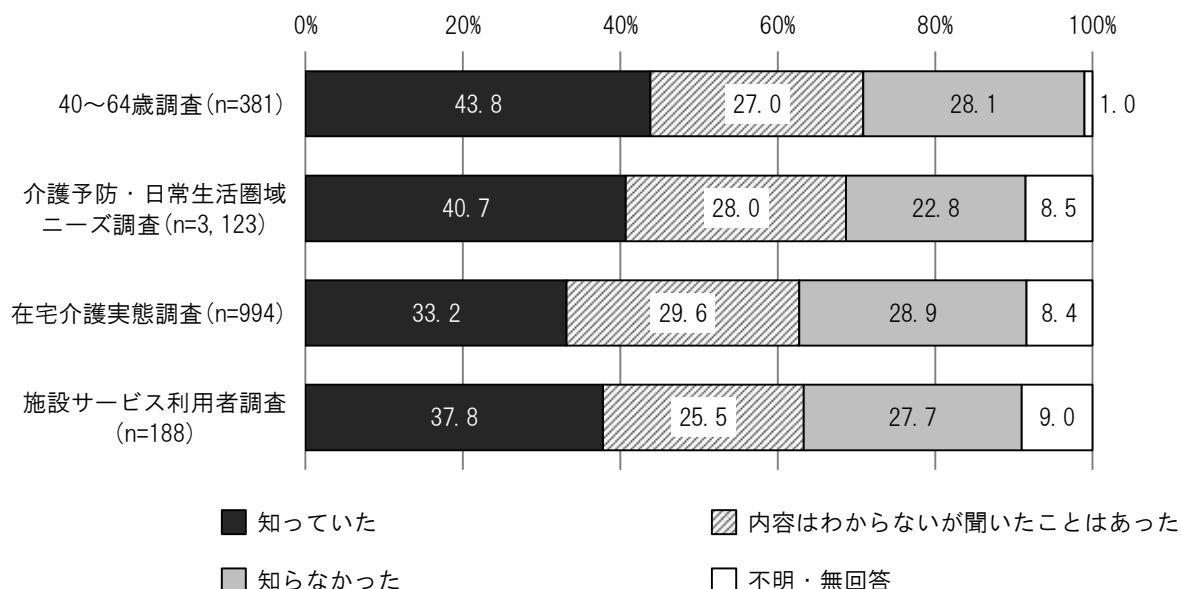
（11）地域包括支援センターの認知度



「地域包括支援センター」の認知状況についてみると、「知っている、利用している」が【40~64歳調査】では5.0%、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では12.1%となっており、「知っているが、利用していない」を合わせた『地域包括支援センターを知っている』は、【40~64歳調査】で36.2%、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】で48.4%となっています。

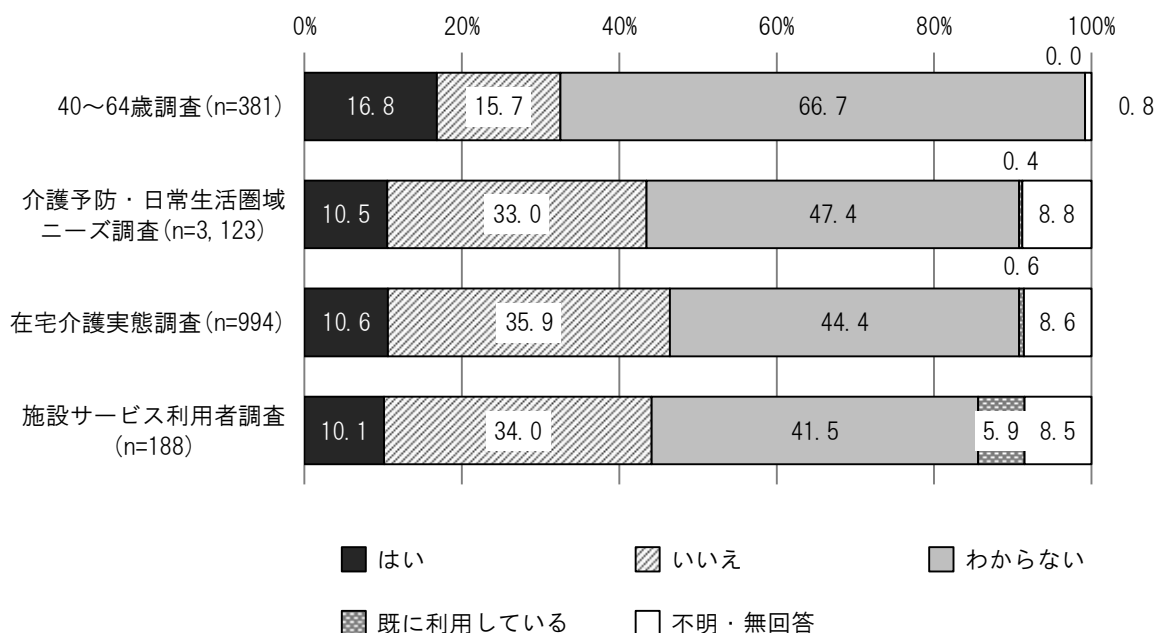
また、【40~64歳調査】では「知らない」が63.5%で、『地域包括支援センターを知っている』の割合を上回っています。

（12）成年後見制度の認知度



成年後見制度の認知状況についてみると、いずれの調査でも「知っていた」が3~4割台、「内容はわからないが聞いたことはあった」「知らなかった」が2割台と、近い傾向となっています。

(13) 成年後見制度の利用意向

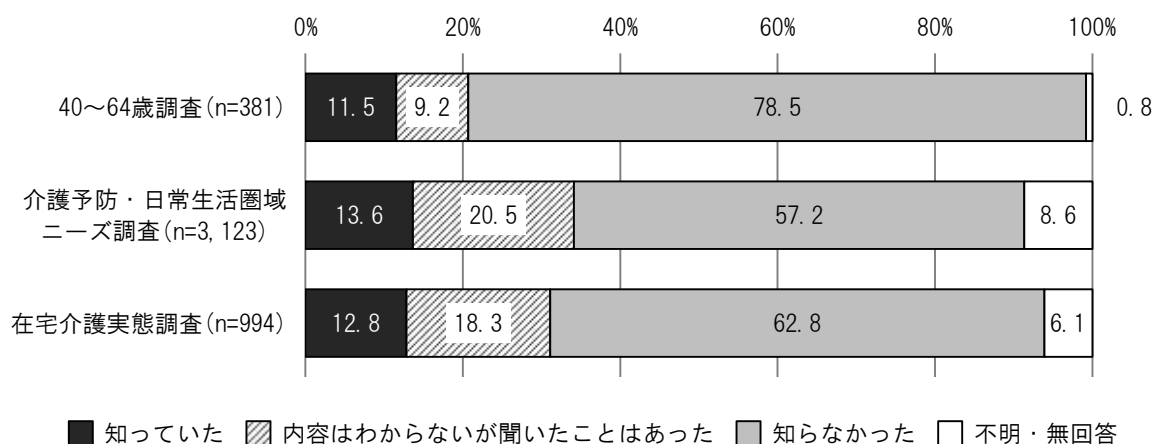


成年後見制度の利用意向についてみると、各調査とも「はい」が1割程度にとどまっています。

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】【在宅介護実態調査】【施設サービス利用者調査】では「いいえ」が3割台となっています。

また、「わからない」が【40~64歳調査】で6割台、それ以外の調査で4割台となっています。

（14）市民後見人の認知度



市民後見人の認知状況についてみると、各調査とも「知っていた」が1割台にとどまっています。「知っていた」と「内容はわからないが聞いたことはあった」を合わせた『市民後見人の認知あり』では【40～64歳調査】で2割、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】【在宅介護実態調査】で3割台となっています。また、【40～64歳調査】では「知らなかった」が78.5%と、他の調査に比べて高くなっています。

（15）日常生活における聴力の問題について

単位：%		聴力に問題はない	聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない	聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている	聴力の低下により、出かけるのがおっくうになったり、控えたりしている	聴力の低下により、その他日常生活で不安を感じることもある	不明・無回答
調査間比較	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (n=3,123)	42.2	41.4	12.6	1.8	4.0	4.6
	在宅介護実態調査 (n=994)	32.2	33.7	21.3	4.2	6.5	11.4
	施設サービス利用者調査 (n=188)	26.1	33.5	27.1	2.7	5.9	13.3

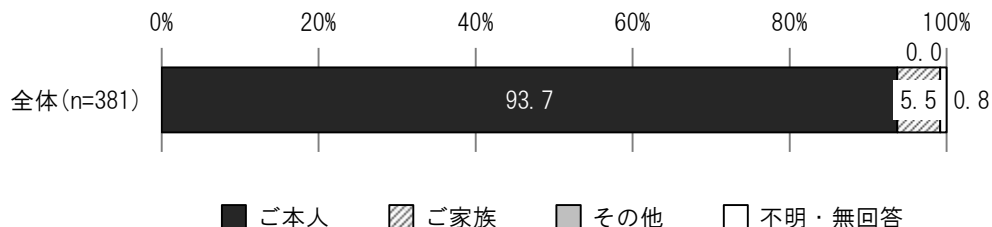
日常生活における聴力の問題についてみると、【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】では「聴力に問題はない」「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」がいずれも4割台となっています。

一方で、【在宅介護実態調査】【施設サービス利用者調査】では「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」が2割台と一定数みられる状況です。

第3章 40～64 歳調査結果

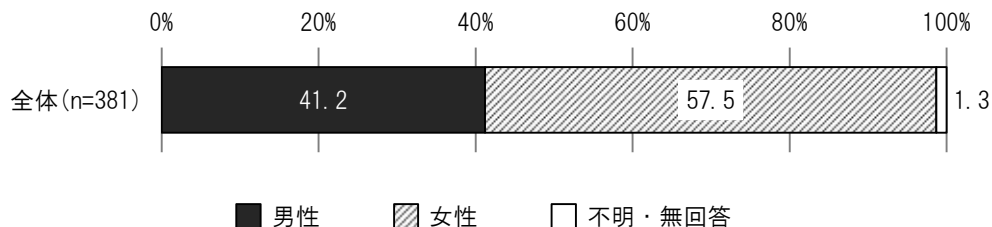
問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(○は1つ)

調査票の記入者についてみると、「ご本人」が93.7%、「ご家族」が5.5%となっています。



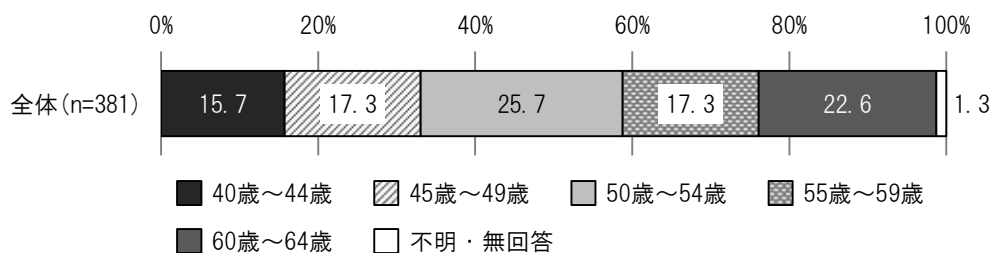
問2 あなたの性別は。(○は1つ)

性別についてみると、「男性」が41.2%、「女性」が57.5%となっています。



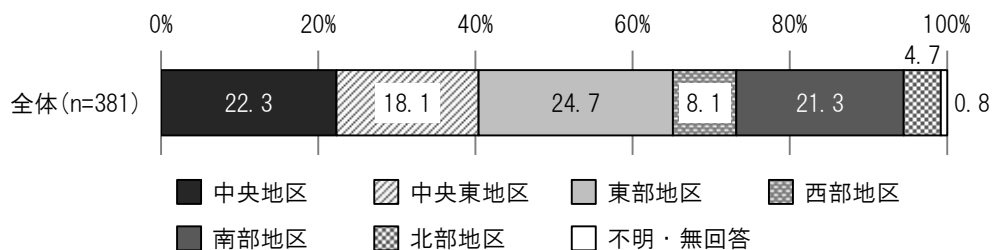
問3 あなたの年齢は。(○は1つ)

年齢についてみると、「50歳～54歳」が25.7%と最も高く、次いで「60歳～64歳」が22.6%、「45歳～49歳」「55～59歳」が17.3%となっています。



問4 あなたのお住まいの地区は。(○は1つ)

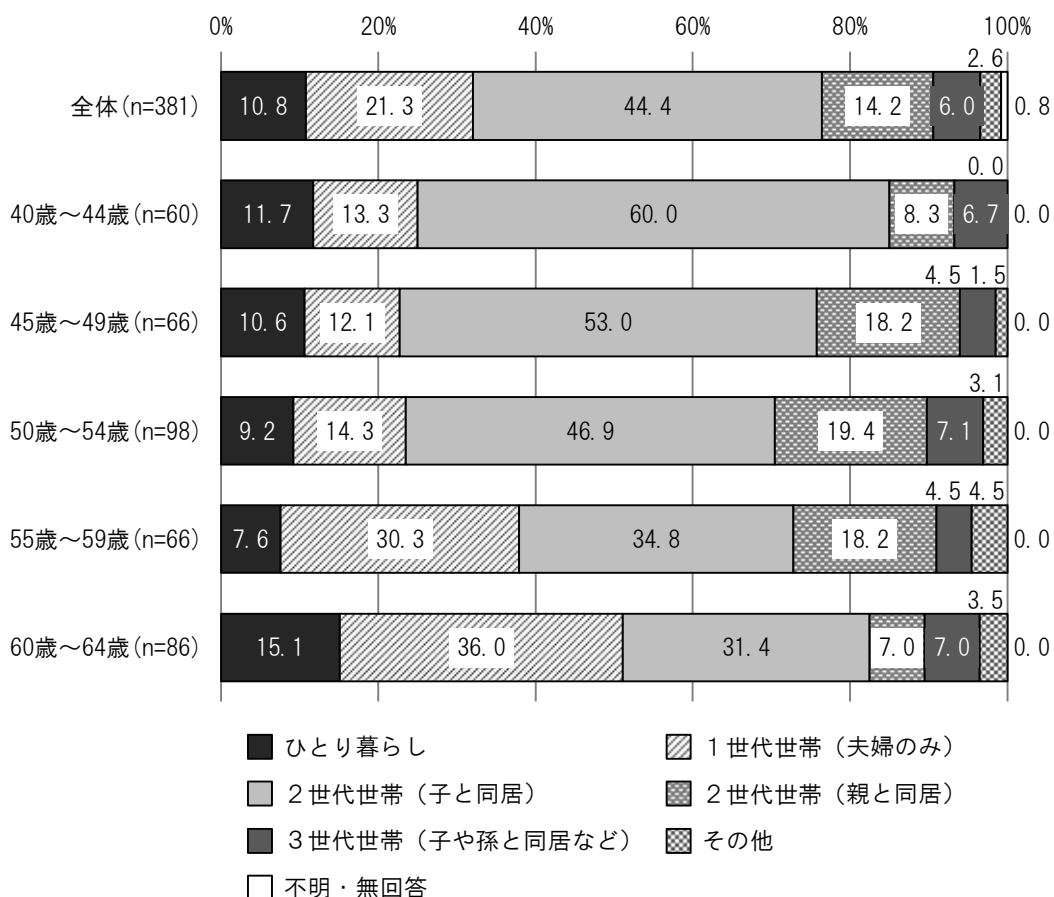
居住地区についてみると、「東部地区」が24.7%と最も高く、次いで「中央地区」が22.3%、「南部地区」が21.3%となっています。



問5 あなたと同居されているご家族は。(〇は1つ) × 年齢別

同居家族についてみると、「2世代世帯（子と同居）」が44.4%と最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦のみ）」が21.3%、「2世代世帯（親と同居）」が14.2%となっています。

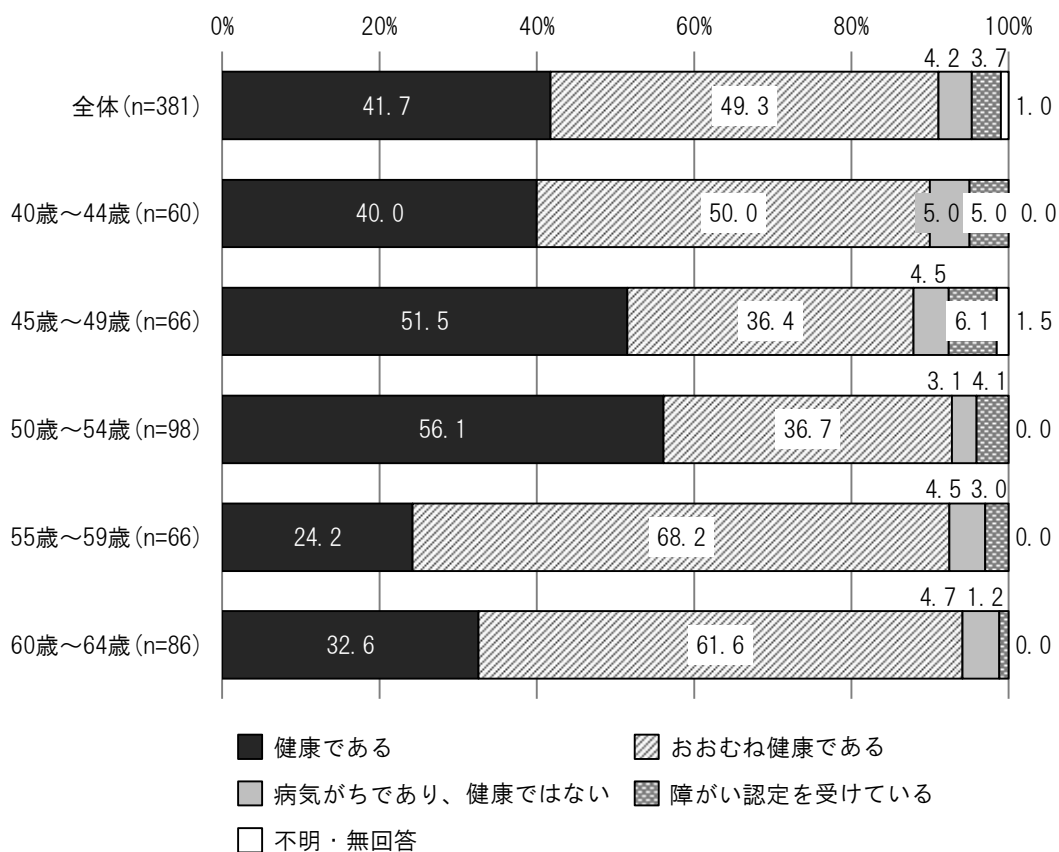
年齢別にみると、〈60歳～64歳〉では「1世代世帯（夫婦のみ）」、それ以外の区分では「2世代世帯（子と同居）」が最も高くなっています。



問6 あなたご自身の健康状態はいかがですか。(〇は1つ) × 年齢別

健康状態についてみると、「おおむね健康である」が49.3%と最も高く、次いで「健康である」が41.7%、「病気がちであり、健康ではない」が4.2%となっています。

年齢別にみると、〈45歳～49歳〉〈50歳～54歳〉では「健康である」が5割を超えています。〈55歳～59歳〉〈60歳～64歳〉では「健康である」がそれぞれ24.2%、32.6%と、他の区分に比べて低くなっています。



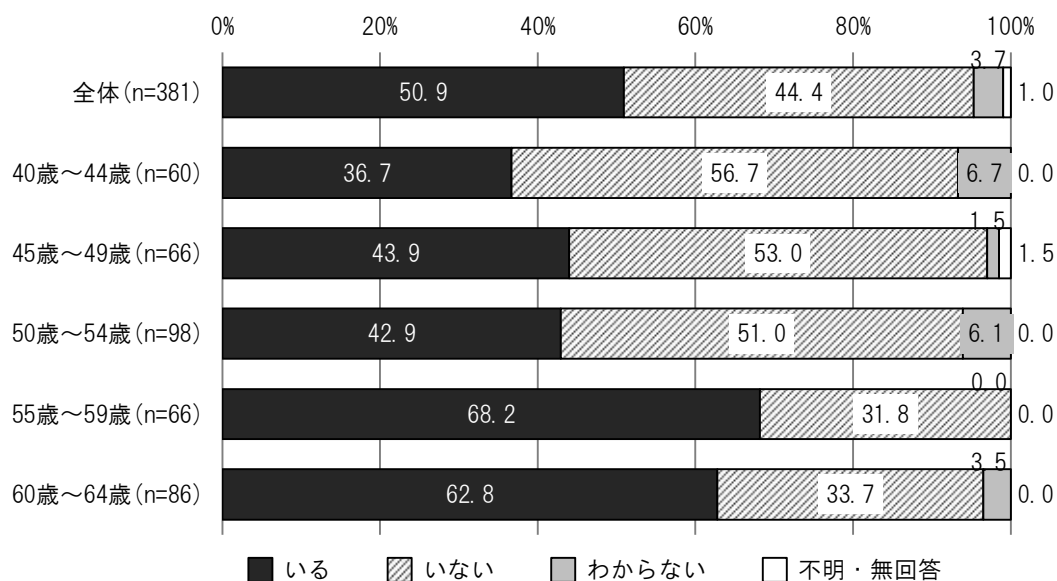
●健康づくり・地域のつながりについて

問7 あなたは、健康や病気のことを相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師」がいますか。(それぞれ1つに〇)

ア. 「かかりつけ医」の有無 × 年齢別

かかりつけ医の有無についてみると、「いる」が50.9%と最も高く、次いで「いない」が44.4%、「わからない」が3.7%となっています。

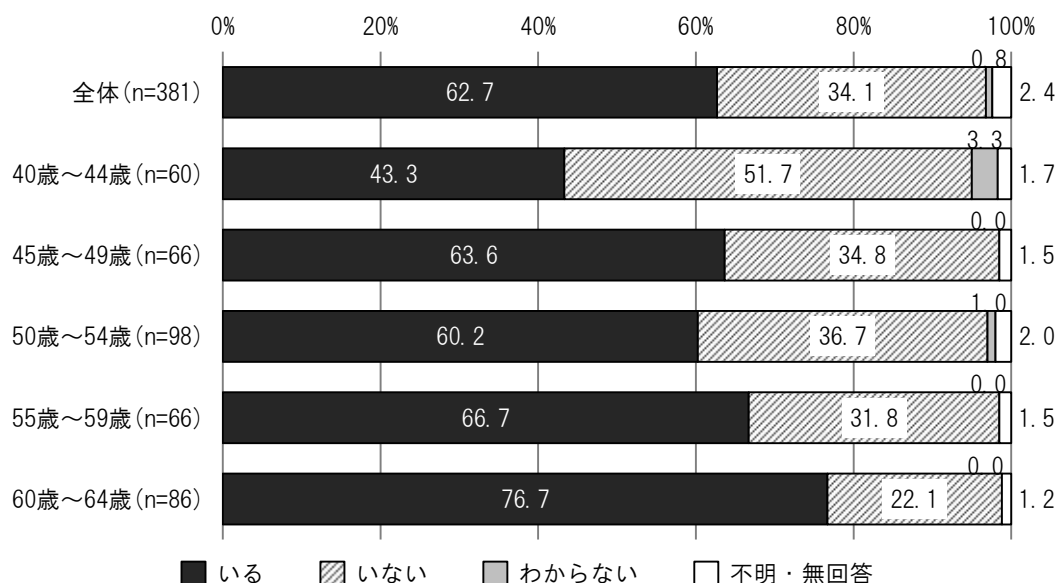
年齢別にみると、〈55歳～59歳〉〈60歳～64歳〉では「いる」が6割を超えています。



イ. 「かかりつけ歯科医」の有無 × 年齢別

かかりつけ歯科医の有無についてみると、「いる」が62.7%と最も高く、次いで「いない」が34.1%、「わからない」が0.8%となっています。

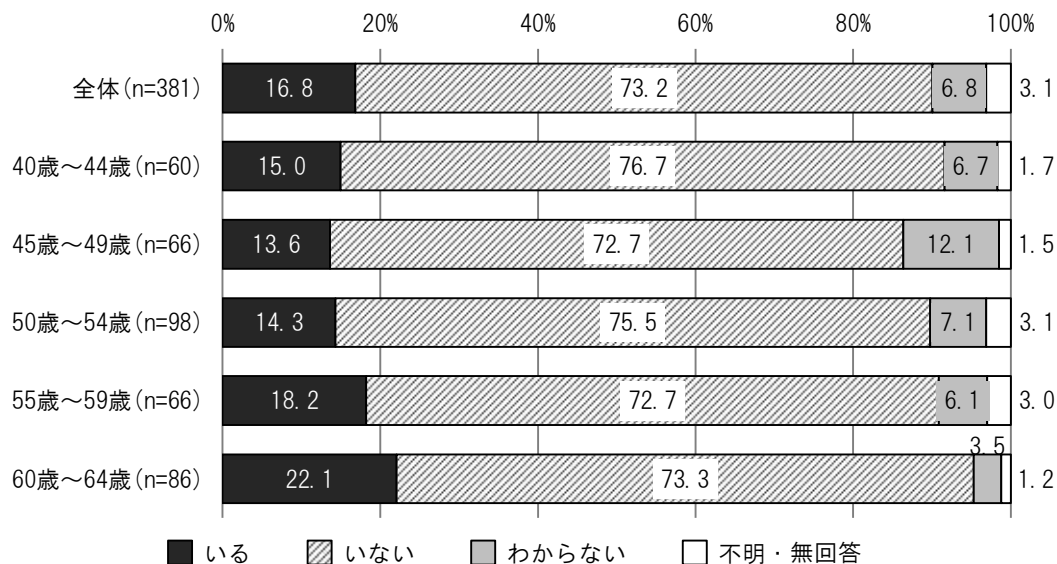
年齢別にみると、〈40歳～44歳〉では「いない」が5割を超えています。



ウ. 「かかりつけ薬剤師」の有無 × 年齢別

かかりつけ薬剤師の有無についてみると、「いない」が73.2%と最も高く、次いで「いる」が16.8%、「わからない」が6.8%となっています。

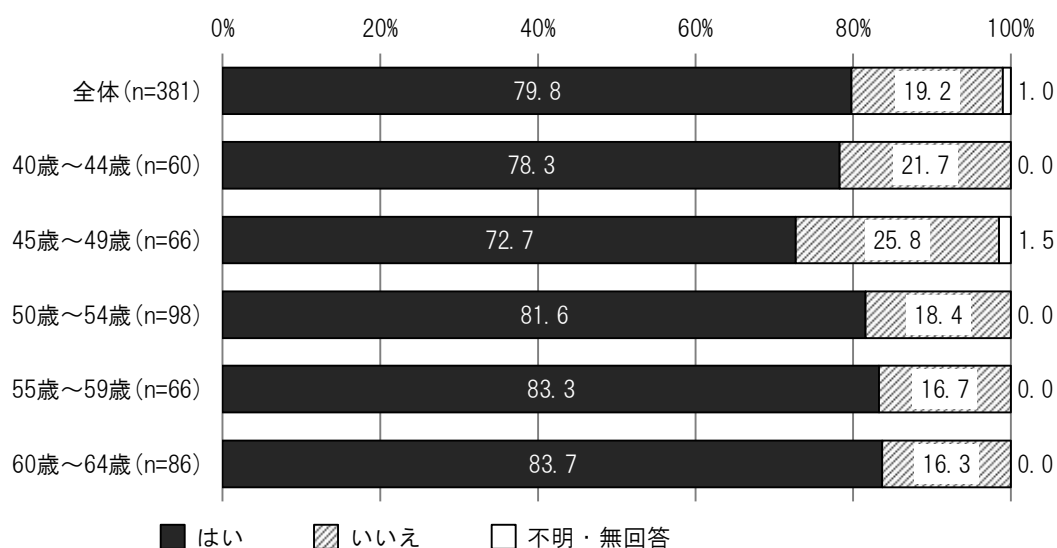
年齢別にみると、すべての区分で「いない」が7割を超えています。



問8 毎年健康診断を受けていますか。※治療中で定期的な検査を受けている人も含みます。
(○は1つ) × 年齢別

毎年健康診断を受けているかについてみると、「はい」が79.8%、「いいえ」が19.2%となっています。

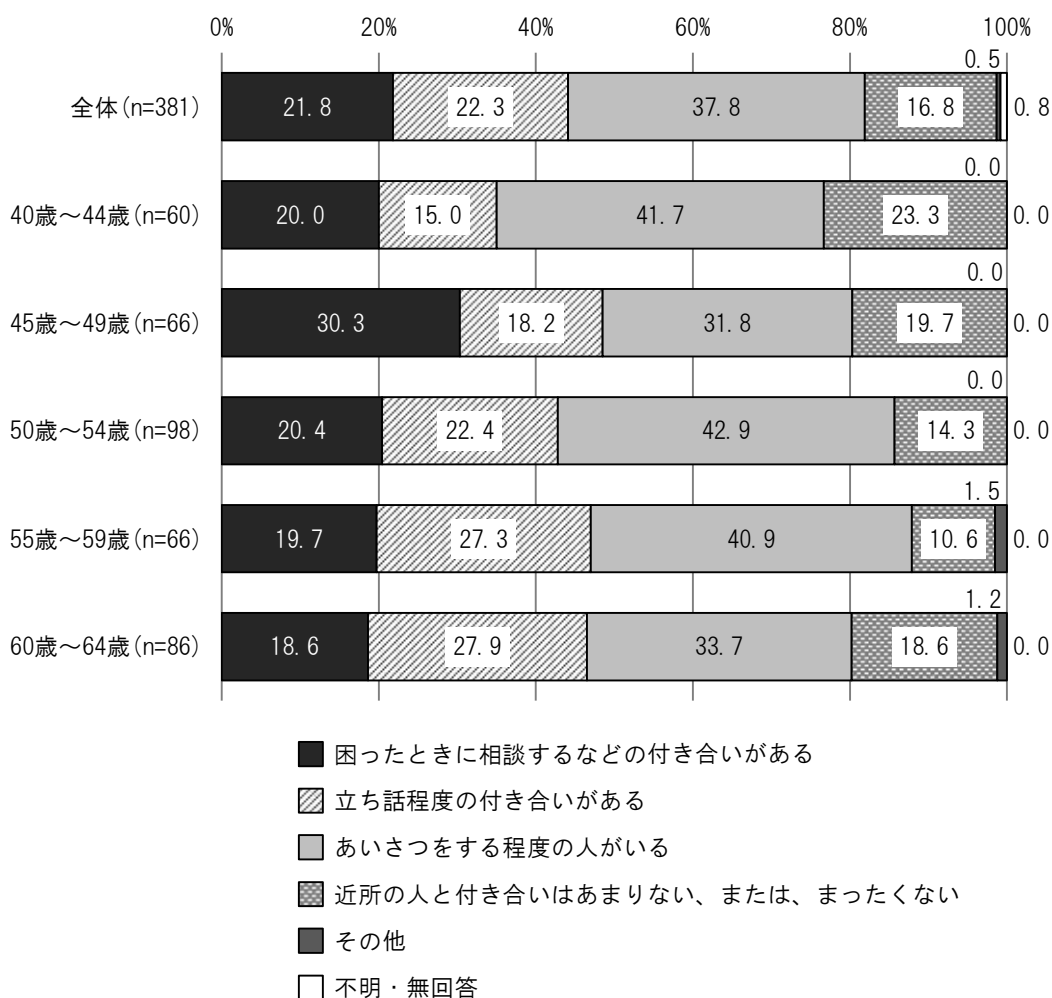
年齢別にみると、〈50歳～54歳〉以上では「はい」が8割を超えています。



問9 地域とのつながりはどれくらいありますか。(あてはまるものすべてに○) × 年齢別

地域とのつながりの程度についてみると、「あいさつをする程度の人がいる」が 37.8%と最も高く、次いで「立ち話程度の付き合いがある」が 22.3%、「困ったときに相談するなどの付き合いがある」が 21.8%となっています。

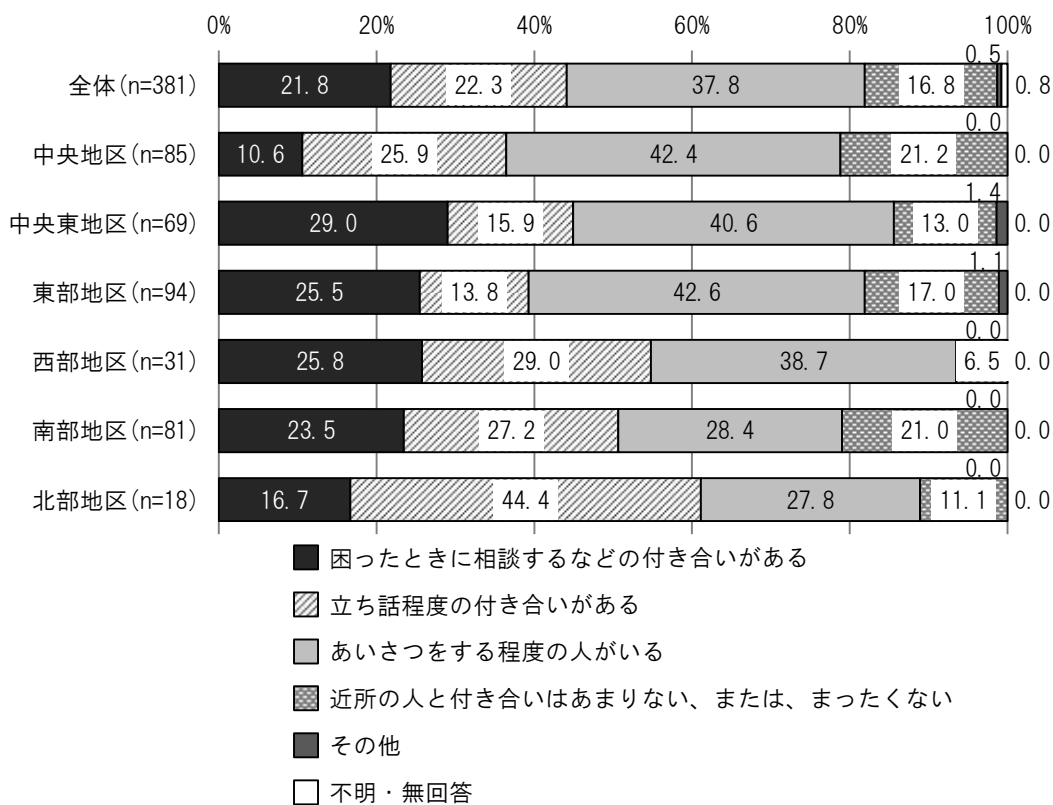
年齢別にみると、すべての区分で「あいさつをする程度の人がいる」が最も高く、次いで〈40歳～44歳〉では「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」、〈45歳～49歳〉では「困ったときに相談するなどの付き合いがある」、〈50歳～54歳〉以上では「立ち話程度の付き合いがある」となっています。



※アンケート調査では複数回答形式でご回答いただいたうえで、1「困ったときに相談するなどの付き合いがある」、2「立ち話程度の付き合いがある」、3「あいさつをする程度の人がいる」から複数をご選択いただいた方については、最も若い番号の選択肢を選んだものとして集計しています。

問9 地域とのつながりはどれくらいありますか。× 地区別

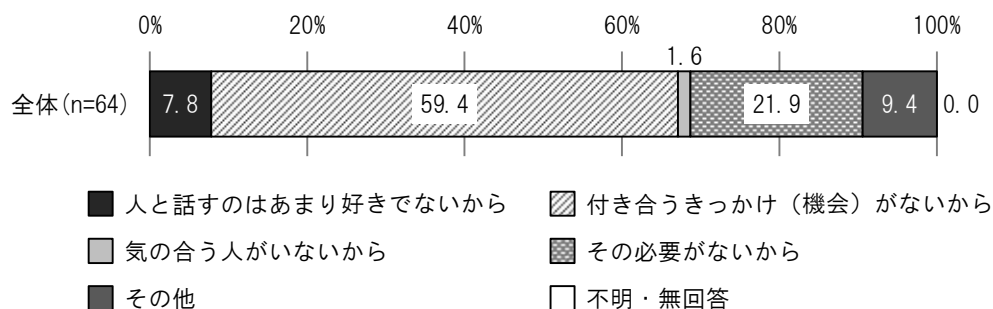
地区別にみると、〈北部地区〉では「立ち話程度の付き合いがある」、それ以外の区分では「あいさつをする程度の人がいる」が最も高くなっています。〈中央地区〉〈南部地区〉では「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」が2割を超えています。



問9で「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」と回答した方

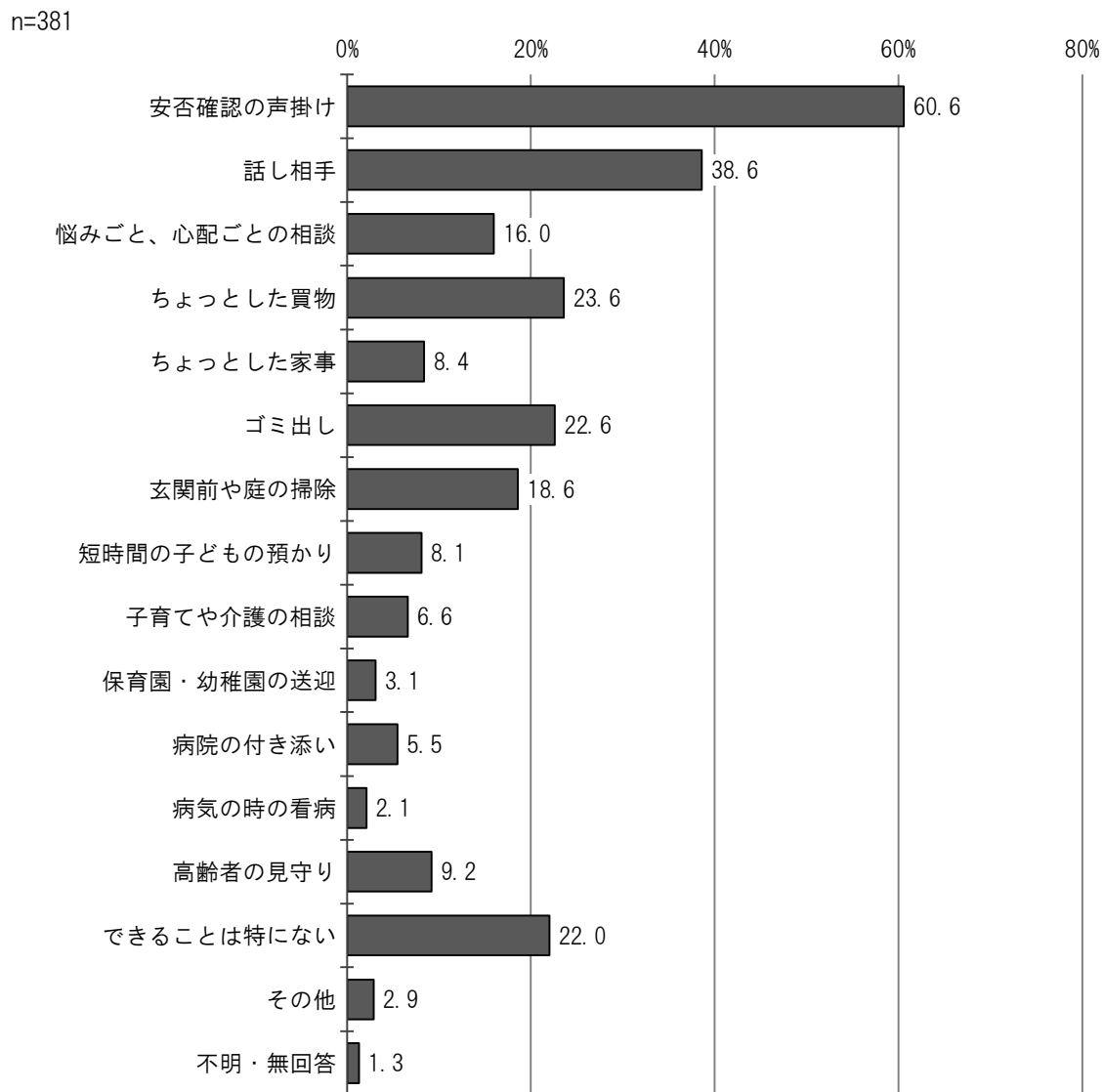
問9-1 近所の人と交流が無い理由は何ですか。(主な理由1つに○)

近所の人と交流が無い理由についてみると、「付き合うきっかけ（機会）がないから」が59.4%と最も高く、次いで「その必要がないから」が21.9%、「その他」が9.4%となっています。



問 10 隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることについてみると、「安否確認の声掛け」が60.6%と最も高く、次いで「話し相手」が38.6%、「ちょっとした買物」が23.6%となっています。



第3章 40～64 歳調査結果

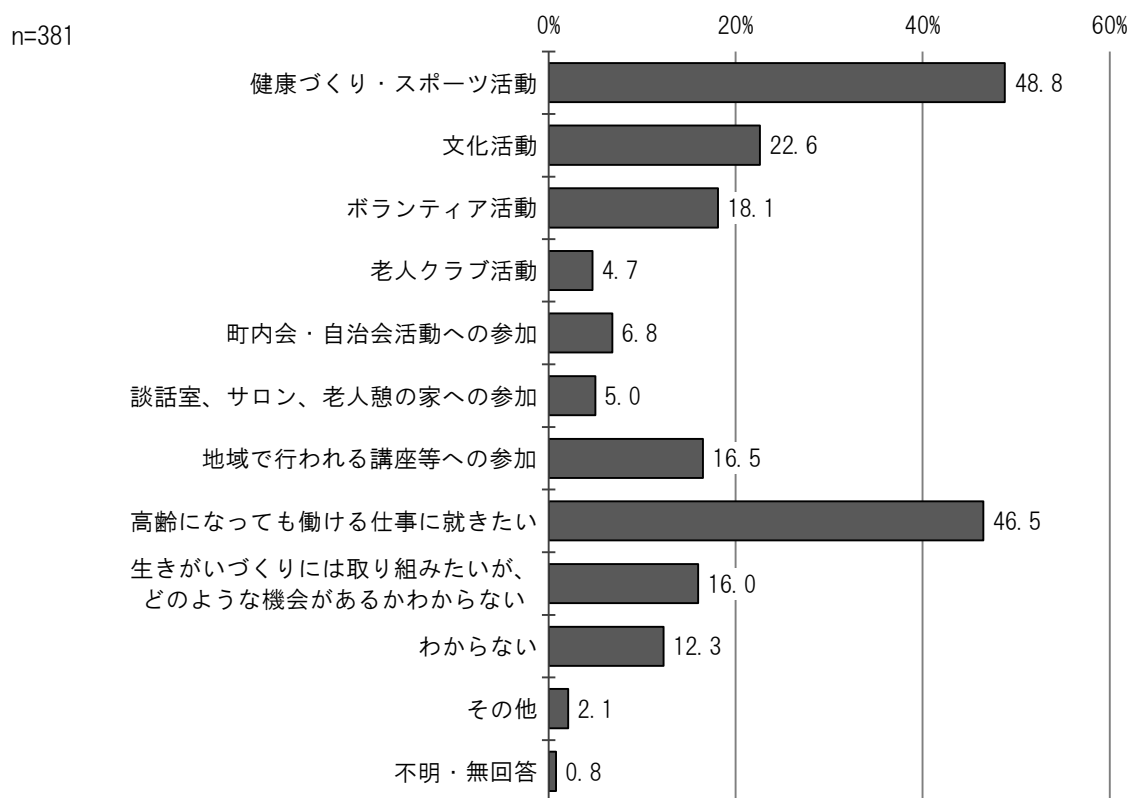
問10 隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることはありますか。× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「安否確認の声掛け」が最も高く、次いで「話し相手」となっています。

単位：%		安否確認の声掛け	話し相手	悩みごと、 心配ごとの相談	ちょっとした買物	ちょっとした家事	ゴミ出し	玄関前や庭の掃除
全体(n=381)		60.6	38.6	16.0	23.6	8.4	22.6	18.6
年齢別	40歳～44歳(n=60)	60.0	40.0	20.0	23.3	5.0	11.7	10.0
	45歳～49歳(n=66)	63.6	48.5	19.7	30.3	6.1	24.2	21.2
	50歳～54歳(n=98)	65.3	37.8	15.3	22.4	9.2	26.5	18.4
	55歳～59歳(n=66)	51.5	39.4	16.7	22.7	6.1	24.2	19.7
	60歳～64歳(n=86)	61.6	30.2	9.3	20.9	12.8	22.1	20.9
単位：%		短時間の子どもの 預かり	子育てや介護の 相談	保育園・幼稚園の 送迎	病院の付き添い	病気の時の看病	高齢者の見守り	できることは 特にない
全体(n=381)		8.1	6.6	3.1	5.5	2.1	9.2	22.0
年齢別	40歳～44歳(n=60)	11.7	6.7	3.3	5.0	1.7	6.7	30.0
	45歳～49歳(n=66)	10.6	9.1	7.6	6.1	4.5	12.1	15.2
	50歳～54歳(n=98)	8.2	6.1	2.0	8.2	2.0	9.2	19.4
	55歳～59歳(n=66)	4.5	7.6	3.0	4.5	1.5	6.1	27.3
	60歳～64歳(n=86)	4.7	3.5	-	3.5	1.2	10.5	22.1
単位：%		その他	不明・無回答					
全体(n=381)		2.9	1.3					
年齢別	40歳～44歳(n=60)	3.3	-					
	45歳～49歳(n=66)	4.5	1.5					
	50歳～54歳(n=98)	2.0	1.0					
	55歳～59歳(n=66)	-	-					
	60歳～64歳(n=86)	4.7	-					

問 11 あなたが高齢期を迎えたときに、生きがいつくりのためにやってみたいことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

高齢期を迎えたときに、生きがいつくりのためにやってみたいことについてみると、「健康づくり・スポーツ活動」が48.8%と最も高く、次いで「高齢になっても働ける仕事に就きたい」が46.5%、「文化活動」が22.6%となっています。



問 11 あなたが高齢期を迎えたときに、生きがいつくりのためにやってみたいことはありますか。
× 年齢別

年齢別にみると、〈50歳～54歳〉〈60歳～64歳〉では「健康づくり・スポーツ活動」、それ以外の区分では「高齢になっても働ける仕事に就きたい」が最も高くなっています。

単位：%	健康づくり・スポーツ活動	文化活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	町内会・自治会活動への参加	談話室、サロン、老人憩の家への参加	地域で行われる講座等への参加
全体(n=381)	48.8	22.6	18.1	4.7	6.8	5.0	16.5
年齢別	40歳～44歳(n=60)	45.0	26.7	18.3	6.7	8.3	15.0
	45歳～49歳(n=66)	48.5	22.7	12.1	1.5	4.5	12.1
	50歳～54歳(n=98)	56.1	23.5	23.5	7.1	7.1	25.5
	55歳～59歳(n=66)	42.4	18.2	18.2	1.5	6.1	10.6
	60歳～64歳(n=86)	48.8	22.1	16.3	4.7	7.0	15.1
単位：%	高齢になっても働ける仕事に就きたい	生きがいつくりには取り組みたいが、どのような機会があるかわからない	わからない	その他	不明・無回答		
全体(n=381)	46.5	16.0	12.3	2.1	0.8		
年齢別	40歳～44歳(n=60)	53.3	11.7	15.0	3.3	-	
	45歳～49歳(n=66)	50.0	18.2	6.1	1.5	-	
	50歳～54歳(n=98)	55.1	11.2	11.2	1.0	-	
	55歳～59歳(n=66)	45.5	22.7	12.1	-	-	
	60歳～64歳(n=86)	31.4	17.4	17.4	4.7	-	

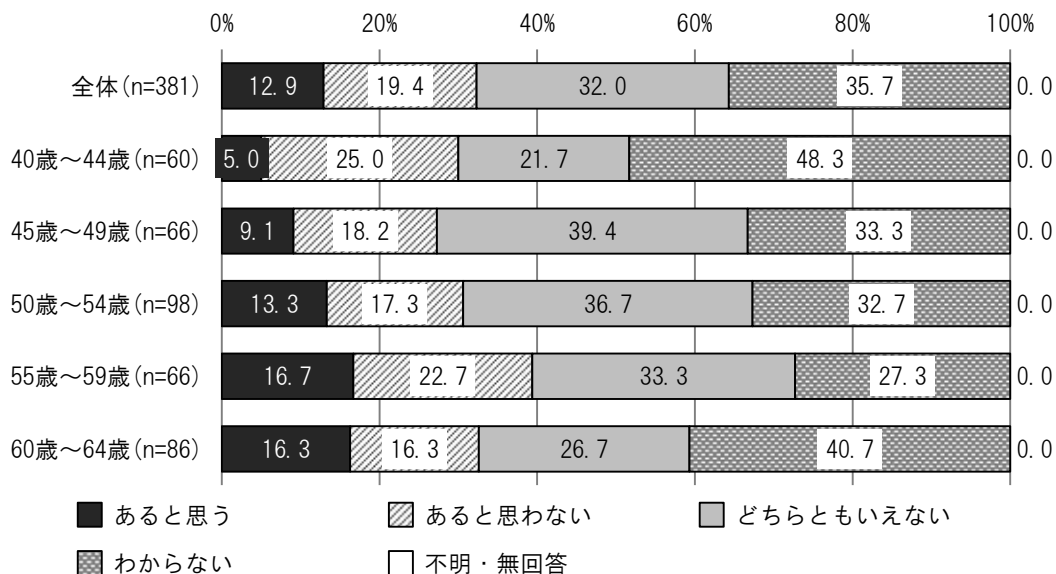
●市の高齢者福祉施策について

問 12 認知症の方が地域で生活することに、地域の方々の理解や協力があると思いますか。

(○は1つ) × 年齢別

認知症の方が地域で生活することに、地域の方々の理解や協力があると思うかについてみると、「わからない」が35.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が32.0%、「あると思わない」が19.4%となっています。

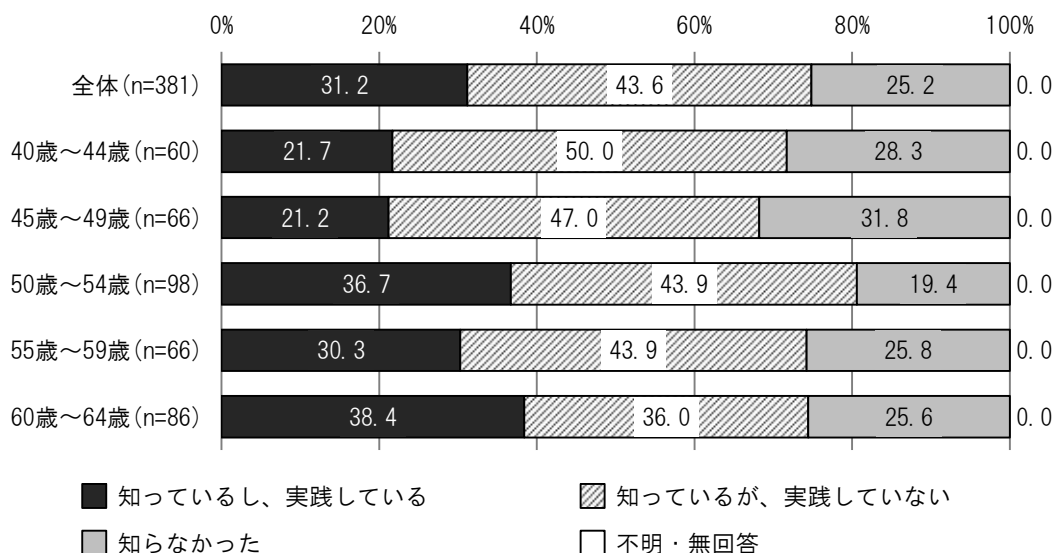
年齢別にみると、「あると思う」の割合は概ね年齢が上がるほど高くなっています。



問 13 認知症を予防するために規則正しい生活や食生活、生きがい活動が効果的だと知っていますか。また、実践していますか。(○は1つ) × 年齢別

認知症予防のために規則正しい生活や食生活、生きがい活動が効果的だと知っているか、また、実践しているかについてみると、「知っているが、実践していない」が43.6%と最も高く、次いで「知っているし、実践している」が31.2%、「知らなかった」が25.2%となっています。

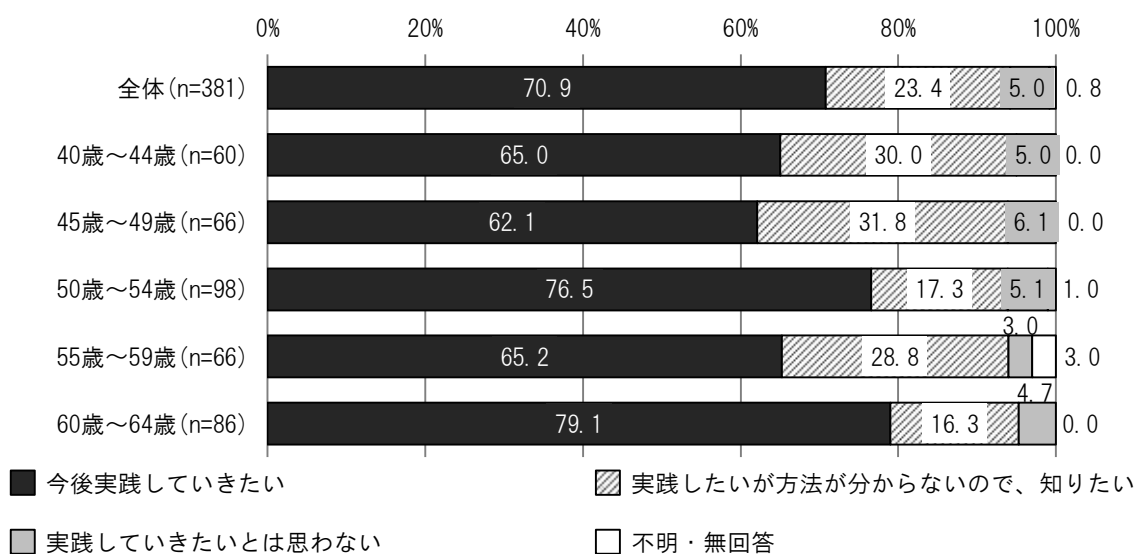
年齢別にみると、〈60歳～64歳〉では「知っているし、実践している」、それ以外の区分では「知っているが、実践していない」が最も高くなっています。



問 14 認知症を予防するために、規則正しい生活や食生活、生きがい活動を、今後実践していきたいと思いませんか。(○は1つ) × 年齢別

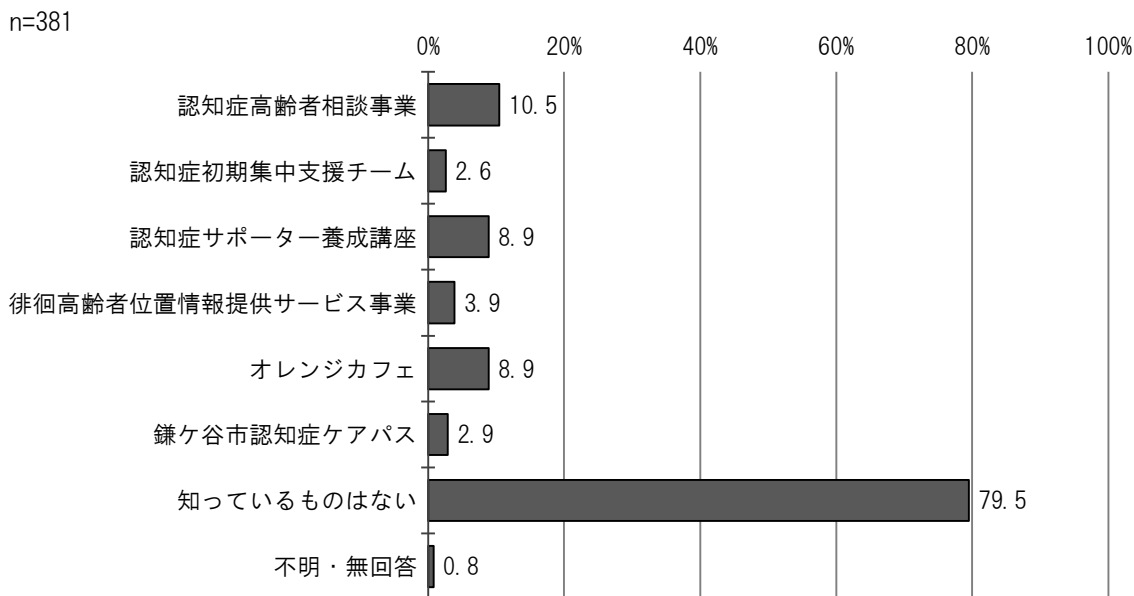
認知症を予防するために、規則正しい生活や食生活、生きがい活動を、今後実践していきたいと思うかについてみると、「今後実践していきたい」が70.9%と最も高く、次いで「実践したいが方法が分からないので、知りたい」が23.4%、「実践していきたくはない」と思わない」が5.0%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「今後実践していきたい」が最も高く、次いで「実践したいが方法が分からないので、知りたい」となっています。



問 15 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症に関連する市の施策で知っているものについてみると、「知っているものはない」が 79.5%と最も高く、次いで「認知症高齢者相談事業」が 10.5%、「認知症サポーター養成講座」「オレンジカフェ」が 8.9%となっています。



問 15 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。× 年齢別

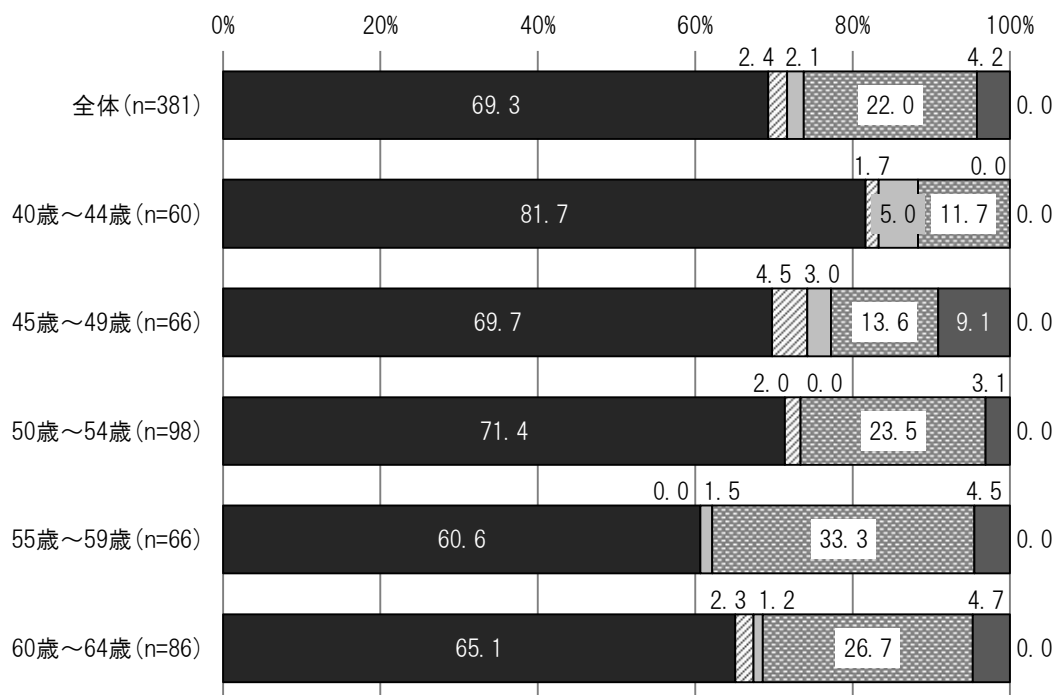
年齢別にみると、すべての区分で「知っているものはない」が最も高く、次いで〈50歳～54歳〉では「オレンジカフェ」、それ以外の区分では「認知症高齢者相談事業」となっています。

単位：%		認知症高齢者 相談事業	認知症初期集中 支援チーム	認知症サポーター 養成講座	徘徊高齢者 位置情報提供 サービス事業	オレンジカフェ	鎌ヶ谷市 認知症ケアパス	知っている ものはない
全体(n=381)		10.5	2.6	8.9	3.9	8.9	2.9	79.5
年齢別	40歳～44歳(n=60)	11.7	1.7	5.0	5.0	8.3	3.3	78.3
	45歳～49歳(n=66)	6.1	1.5	3.0	1.5	4.5	1.5	92.4
	50歳～54歳(n=98)	9.2	2.0	10.2	4.1	11.2	2.0	79.6
	55歳～59歳(n=66)	12.1	4.5	10.6	7.6	6.1	4.5	78.8
	60歳～64歳(n=86)	12.8	2.3	11.6	1.2	11.6	2.3	73.3
単位：%		不明・無回答						
全体(n=381)		0.8						
年齢別	40歳～44歳(n=60)	1.7						
	45歳～49歳(n=66)	-						
	50歳～54歳(n=98)	1.0						
	55歳～59歳(n=66)	-						
	60歳～64歳(n=86)	-						

問 16 同居・近居する親世代の運転免許返納について、あなたはどのように考えていますか。
(○は1つ) × 年齢別

同居・近居する親世代の運転免許返納に対する考えについてみると、「事故を未然に防ぐため、認知状況に危険があれば返納してほしい」が69.3%と最も高く、次いで「同居・近居する親世代に該当する人はいない」が22.0%、「その他」が4.2%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「事故を未然に防ぐため、認知状況に危険があれば返納してほしい」が最も高く、特に〈40歳～44歳〉では8割を超えています。



- 事故を未然に防ぐため、認知状況に危険があれば返納してほしい
- ▨ 返納してしまうとあなたや家族の生活の負担（買物・通院等）が大きく、できれば返納してほしくない
- 親世代の免許返納について考えたことが無かった
- ▤ 同居・近居する親世代に該当する人はいない
- その他
- 不明・無回答

問 16 で「できれば返納してほしくない」と回答した方

問 16-1 返納が可能となるにはどのような支援が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

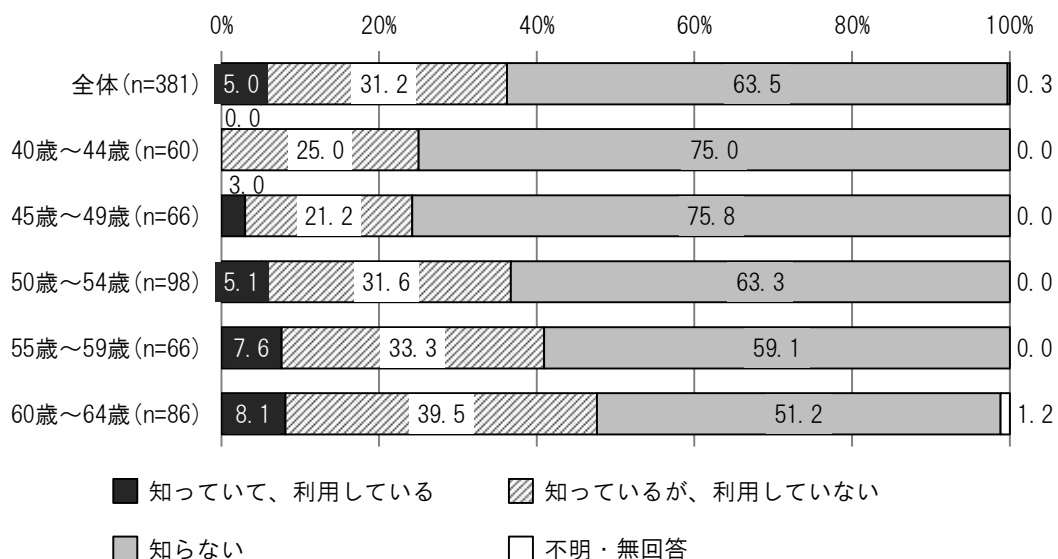
返納が可能となるために必要な支援については9件の回答があり、「家の近くから利用できるコミュニティバス等の移手段の充実」「公共交通等の移動にかかる経済的支援（タクシー券補助など）」がそれぞれ6件と最も高くなっています。

(n数が少ないためグラフは省略)

問 17 高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、利用されていますか。(○は1つ) × 年齢別

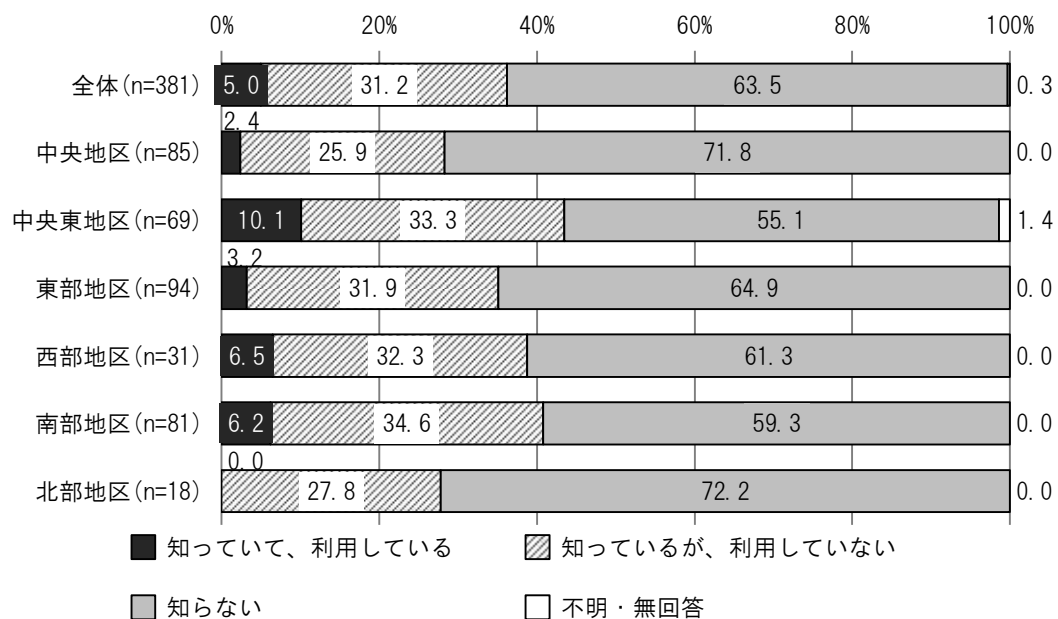
「地域包括支援センター」の認知・利用状況についてみると、「知らない」が63.5%と最も高く、次いで「知っているが、利用していない」が31.2%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「知らない」が最も高くなっています。「知っている、利用している」の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。



問 17 高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、利用されていますか。× 地区別

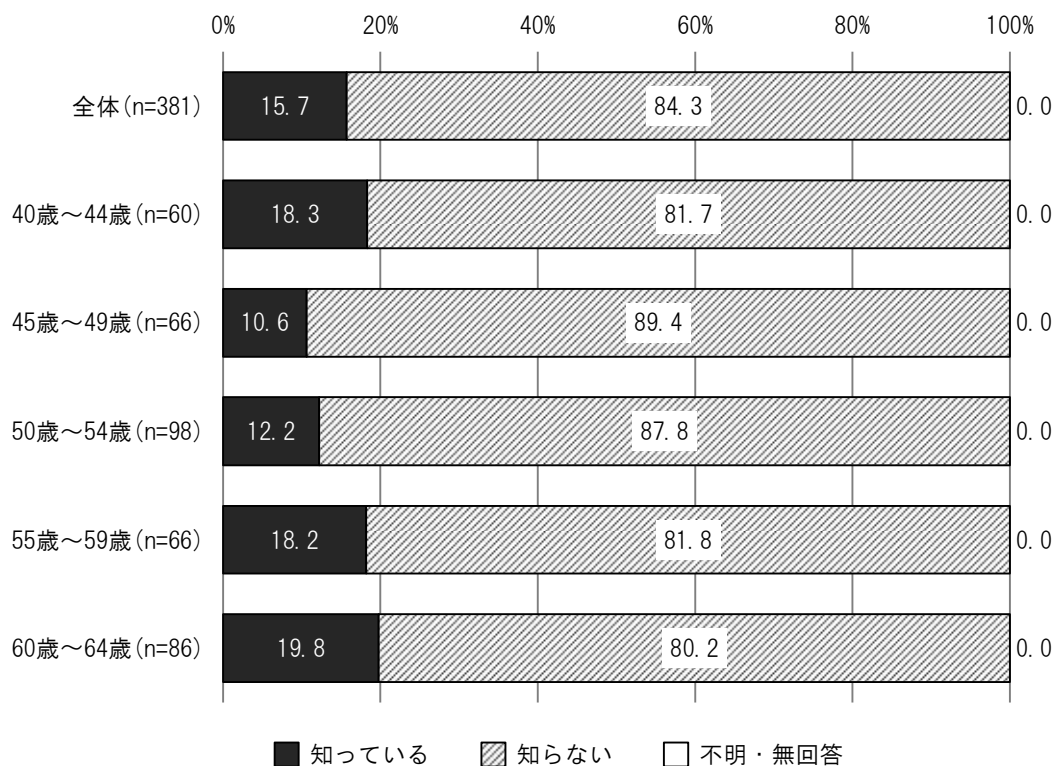
地区別にみると、すべての区分で「知らない」が最も高く、特に〈中央地区〉〈北部地区〉では7割を超えています。



問 18 市内で訪問診療ができる医療機関を知っていますか。(○は1つ) × 年齢別

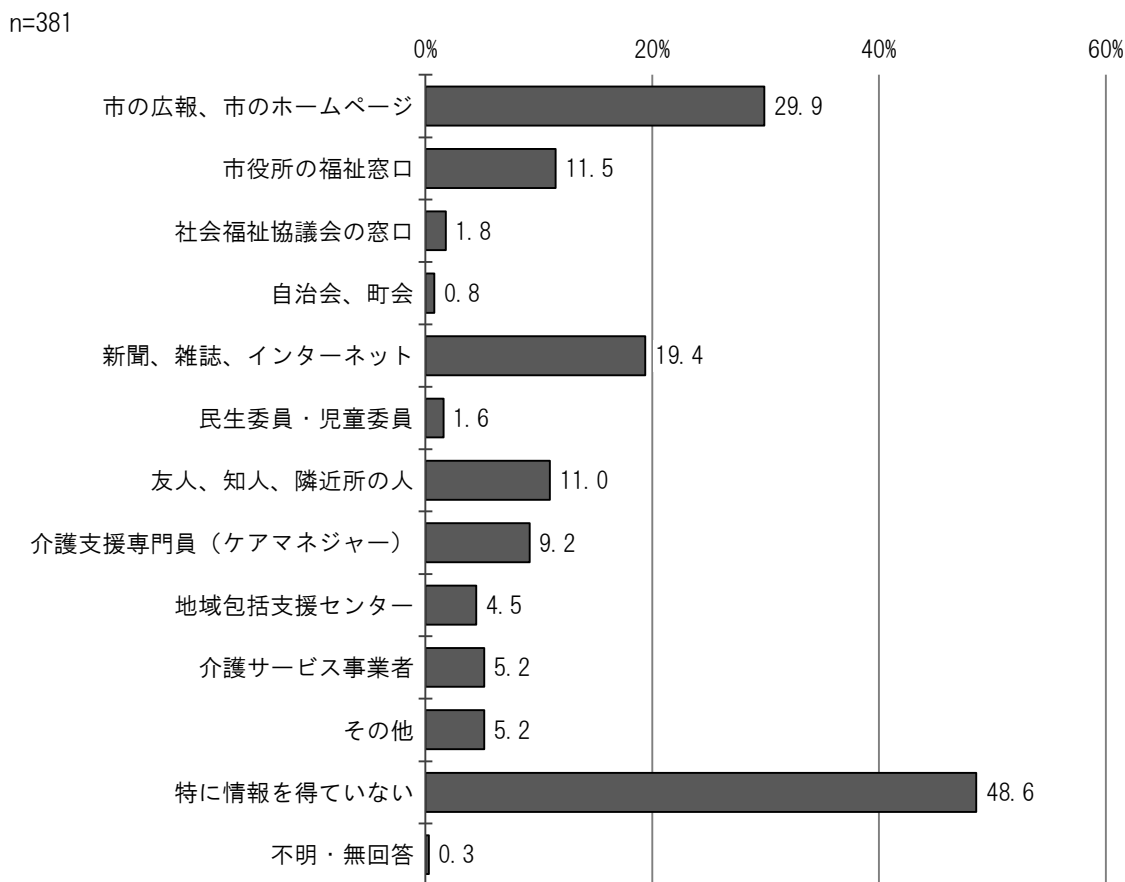
市内で訪問診療ができる医療機関を知っているかについてみると、「知っている」が15.7%、「知らない」が84.3%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「知らない」が8割を超えています。



問 19 介護に関する情報は、どのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

介護に関する情報の入手先についてみると、「特に情報を得ていない」が 48.6%と最も高く、次いで「市の広報、市のホームページ」が 29.9%、「新聞、雑誌、インターネット」が 19.4%となっています。



問 19 介護に関する情報は、どのように得ていますか。× 年齢別

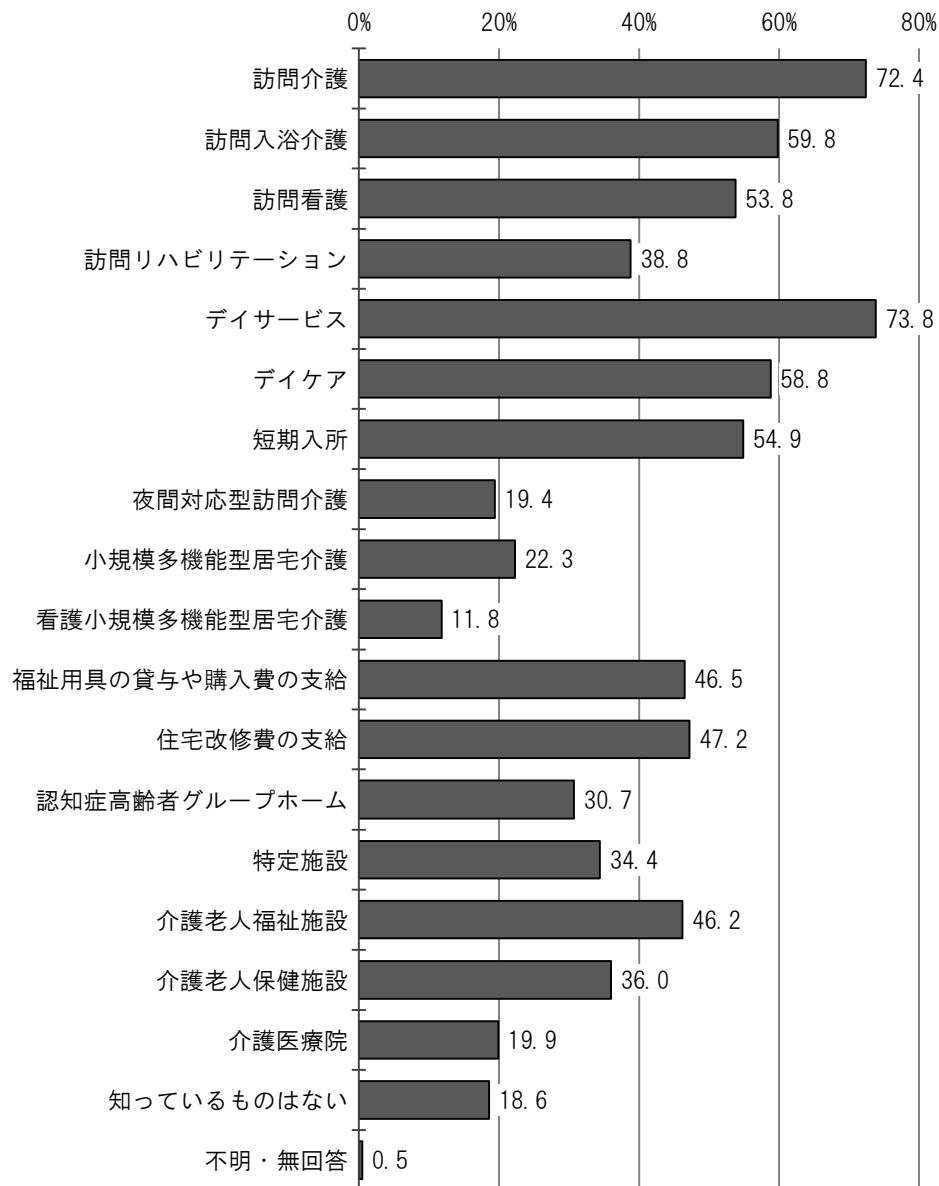
年齢別にみると、〈55歳～59歳〉〈60歳～64歳〉では「市の広報、市のホームページ」、それ以外の区分では「特に情報を得ていない」が最も高くなっています。

単位：%	市の広報、市のホームページ	市役所の福祉窓口	社会福祉協議会の窓口	自治会、町会	新聞、雑誌、インターネット	民生委員・児童委員	友人、知人、隣近所の人
全体(n=381)	29.9	11.5	1.8	0.8	19.4	1.6	11.0
年齢別							
40歳～44歳(n=60)	15.0	6.7	1.7	-	10.0	-	10.0
45歳～49歳(n=66)	16.7	9.1	-	-	16.7	-	6.1
50歳～54歳(n=98)	31.6	11.2	1.0	-	17.3	2.0	7.1
55歳～59歳(n=66)	39.4	10.6	3.0	-	24.2	3.0	16.7
60歳～64歳(n=86)	39.5	16.3	1.2	2.3	25.6	1.2	12.8
単位：%	介護支援専門員（ケアマネジャー）	地域包括支援センター	介護サービス事業者	その他	特に情報を得ていない	不明・無回答	
全体(n=381)	9.2	4.5	5.2	5.2	48.6	0.3	
年齢別							
40歳～44歳(n=60)	5.0	1.7	1.7	6.7	66.7	1.7	
45歳～49歳(n=66)	6.1	3.0	3.0	4.5	59.1	-	
50歳～54歳(n=98)	7.1	4.1	4.1	5.1	53.1	-	
55歳～59歳(n=66)	12.1	4.5	13.6	3.0	33.3	-	
60歳～64歳(n=86)	14.0	7.0	3.5	7.0	36.0	-	

問 20 次の介護保険サービスについてご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスの認知状況についてみると、「デイサービス」が 73.8%と最も高く、次いで「訪問介護」が 72.4%、「訪問入浴介護」が 59.8%となっています。

n=381



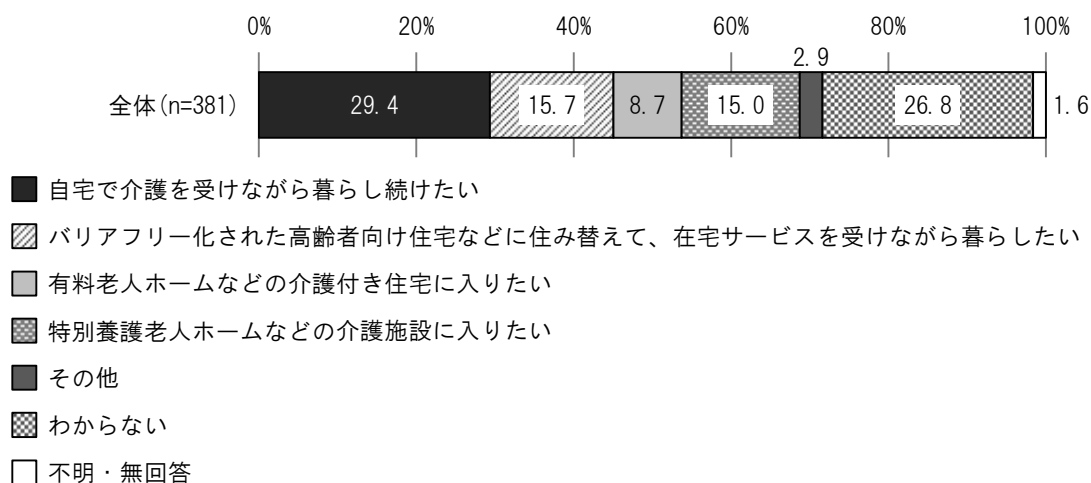
問 20 次の介護保険サービスについてご存知ですか。× 年齢別

年齢別にみると、〈40 歳～44 歳〉〈55 歳～59 歳〉では、「訪問介護」が最も高く、次いで「デイサービス」となっています。それ以外の区分では「デイサービス」が最も高く、次いで「訪問介護」となっています。

単位：％		訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	デイサービス	デイケア	短期入所
全体(n=381)		72.4	59.8	53.8	38.8	73.8	58.8	54.9
年齢別	40歳～44歳(n=60)	68.3	55.0	46.7	40.0	65.0	48.3	41.7
	45歳～49歳(n=66)	71.2	62.1	54.5	40.9	75.8	60.6	54.5
	50歳～54歳(n=98)	71.4	57.1	50.0	33.7	74.5	60.2	53.1
	55歳～59歳(n=66)	75.8	59.1	54.5	36.4	74.2	56.1	57.6
	60歳～64歳(n=86)	74.4	65.1	60.5	43.0	76.7	66.3	64.0
単位：％		夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	福祉用具の貸与や購入費の支給	住宅改修費の支給	認知症高齢者グループホーム	特定施設
全体(n=381)		19.4	22.3	11.8	46.5	47.2	30.7	34.4
年齢別	40歳～44歳(n=60)	13.3	11.7	8.3	33.3	35.0	25.0	20.0
	45歳～49歳(n=66)	15.2	18.2	7.6	39.4	42.4	28.8	33.3
	50歳～54歳(n=98)	17.3	17.3	12.2	45.9	44.9	29.6	30.6
	55歳～59歳(n=66)	18.2	30.3	13.6	50.0	47.0	30.3	39.4
	60歳～64歳(n=86)	30.2	32.6	15.1	58.1	61.6	37.2	45.3
単位：％		介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	知っているものはない	不明・無回答		
全体(n=381)		46.2	36.0	19.9	18.6	0.5		
年齢別	40歳～44歳(n=60)	36.7	28.3	11.7	25.0	1.7		
	45歳～49歳(n=66)	51.5	37.9	15.2	16.7	1.5		
	50歳～54歳(n=98)	42.9	36.7	21.4	22.4	-		
	55歳～59歳(n=66)	47.0	34.8	22.7	16.7	-		
	60歳～64歳(n=86)	51.2	40.7	25.6	12.8	-		

問 21 仮に、あなたが、将来介護が必要になった場合、介護を受ける場所としてどのような場所を希望しますか。(○は1つ)

将来介護が必要になった場合に希望する介護形態についてみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が29.4%と最も高く、次いで「わからない」が26.8%、「バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅サービスを受けながら暮らしたい」が15.7%となっています。



問 21 仮に、あなたが、将来介護が必要になった場合、介護を受ける場所としてどのような場所を希望しますか。× 年齢別

年齢別にみると、〈40 歳～44 歳〉では「わからない」、それ以外の区分では「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が最も高くなっています。

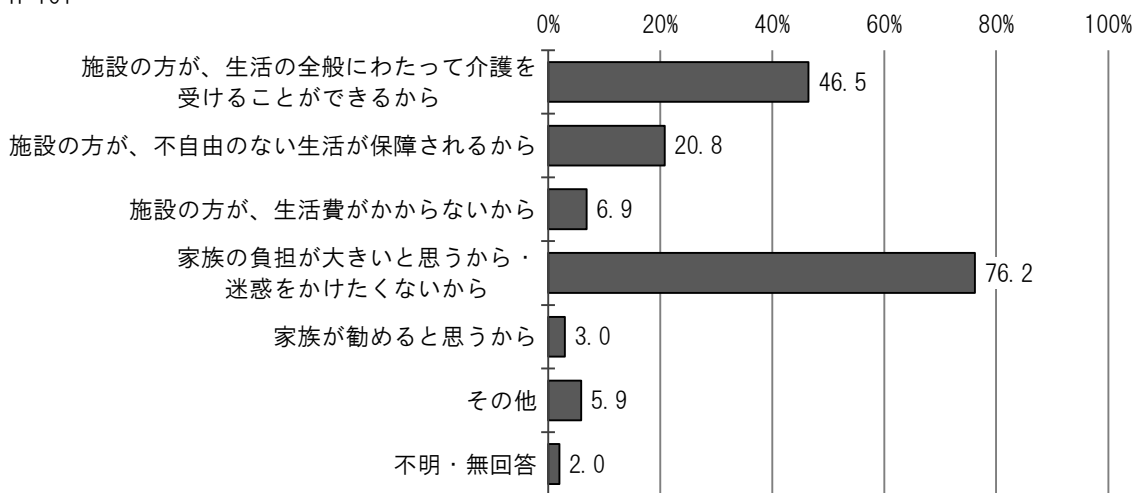
単位：%	自宅で介護を受けながら暮らし続けたい	バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅サービスを受けながら暮らしたい	有料老人ホームなどの介護付き住宅に入りたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=381)	29.4	15.7	8.7	15.0	2.9	26.8	1.6
40歳～44歳(n=60)	23.3	16.7	10.0	11.7	3.3	35.0	-
45歳～49歳(n=66)	27.3	18.2	12.1	19.7	3.0	18.2	1.5
50歳～54歳(n=98)	32.7	18.4	6.1	13.3	1.0	28.6	-
55歳～59歳(n=66)	31.8	15.2	10.6	16.7	-	22.7	3.0
60歳～64歳(n=86)	30.2	11.6	5.8	14.0	7.0	27.9	3.5

問 21 で「有料老人ホームなどの介護付き住宅に入りたい」「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」「その他」のいずれかを回答した方

問 21-1 入所（居）を希望する理由は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

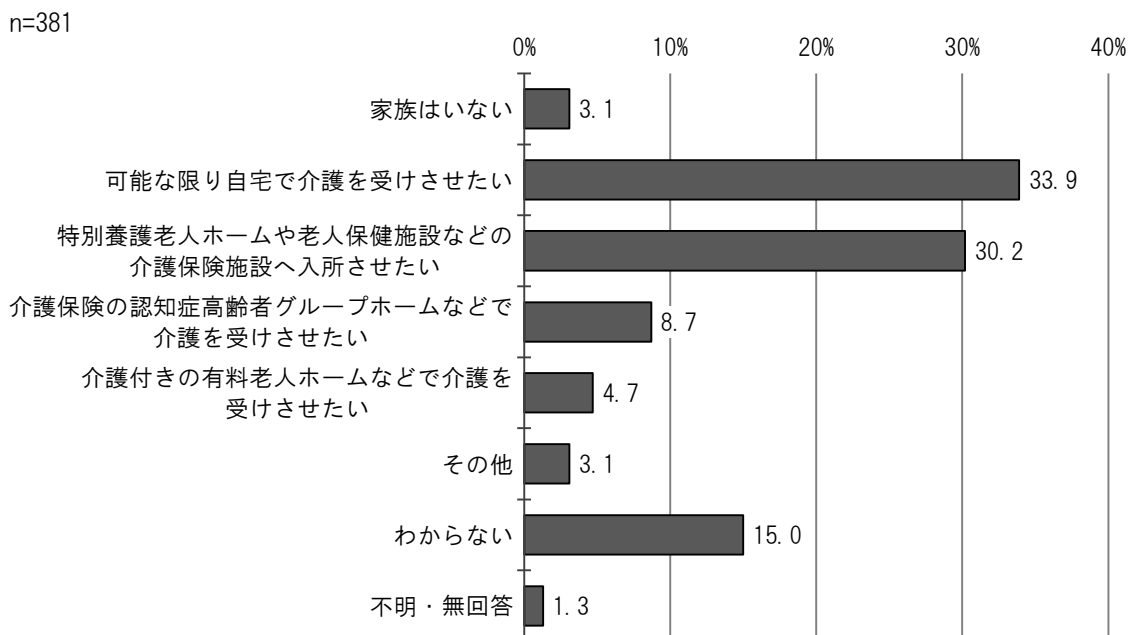
入所（居）を希望する理由についてみると、「家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから」が76.2%と最も高く、次いで「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が46.5%、「施設の方が、不自由のない生活が保障されるから」が20.8%、「施設の方が、生活費がかからないから」が6.9%、「施設の方が、生活費がかからないから」が6.9%、「家族が勧めると思うから」が3.0%、「その他」が5.9%、「不明・無回答」が2.0%となっています。

n=101



問 22 仮に、ご家族が寝たきりや認知症になり、あなたが介護する立場になったら、どこで介護を受けさせたいと思いますか。(○は1つ)

家族を介護する立場になった場合に希望する介護形態についてみると、「可能な限り自宅で介護を受けさせたい」が33.9%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設へ入所させたい」が30.2%、「わからない」が15.0%となっています。



問 22 仮に、ご家族が寝たきりや認知症になり、あなたが介護する立場になったら、どこで介護を受けさせたいと思いますか。× 年齢別

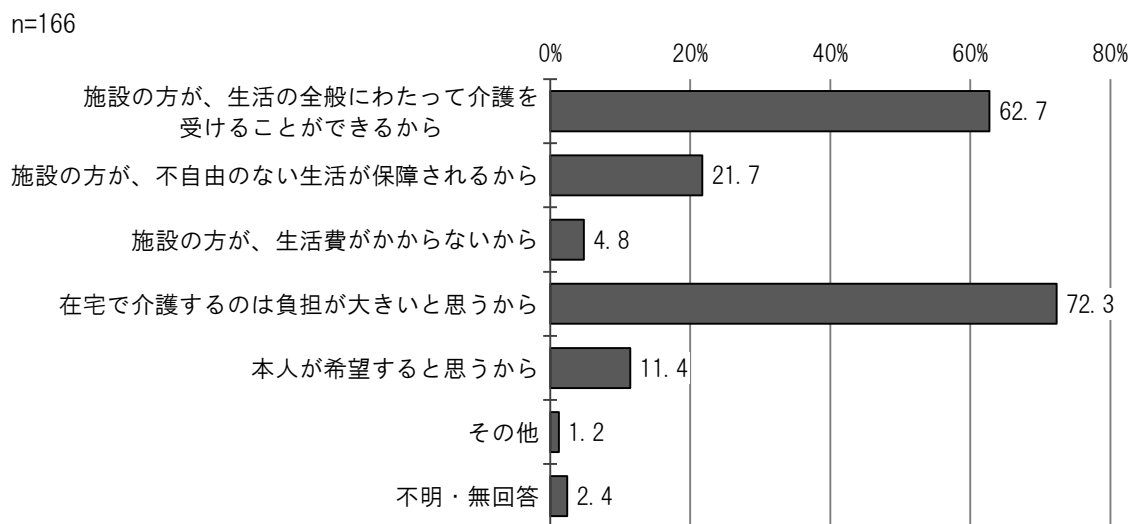
年齢別にみると、〈45歳～49歳〉〈60歳～64歳〉では「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設へ入所させたい」、それ以外の区分では「可能な限り自宅で介護を受けさせたい」が最も高くなっています。

単位：%	家族はいない	可能な限り自宅で介護を受けさせたい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設へ入所させたい	介護保険の認知症高齢者グループホームなどで介護を受けさせたい	介護付きの有料老人ホームなどで介護を受けさせたい	その他	わからない	
全体(n=381)	3.1	33.9	30.2	8.7	4.7	3.1	15.0	
年齢別	40歳～44歳(n=60)	1.7	28.3	26.7	8.3	8.3	3.3	21.7
	45歳～49歳(n=66)	1.5	31.8	33.3	7.6	1.5	1.5	21.2
	50歳～54歳(n=98)	3.1	37.8	28.6	10.2	5.1	3.1	12.2
	55歳～59歳(n=66)	1.5	40.9	25.8	10.6	4.5	3.0	12.1
	60歳～64歳(n=86)	7.0	30.2	34.9	7.0	4.7	3.5	10.5
単位：%	不明・無回答							
全体(n=381)	1.3							
年齢別	40歳～44歳(n=60)	1.7						
	45歳～49歳(n=66)	1.5						
	50歳～54歳(n=98)	-						
	55歳～59歳(n=66)	1.5						
	60歳～64歳(n=86)	2.3						

問 22 で「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設へ入所させたい」「介護保険の認知症高齢者グループホームなどで介護を受けさせたい」「介護付きの有料老人ホームなどで介護を受けさせたい」のいずれかを回答した方

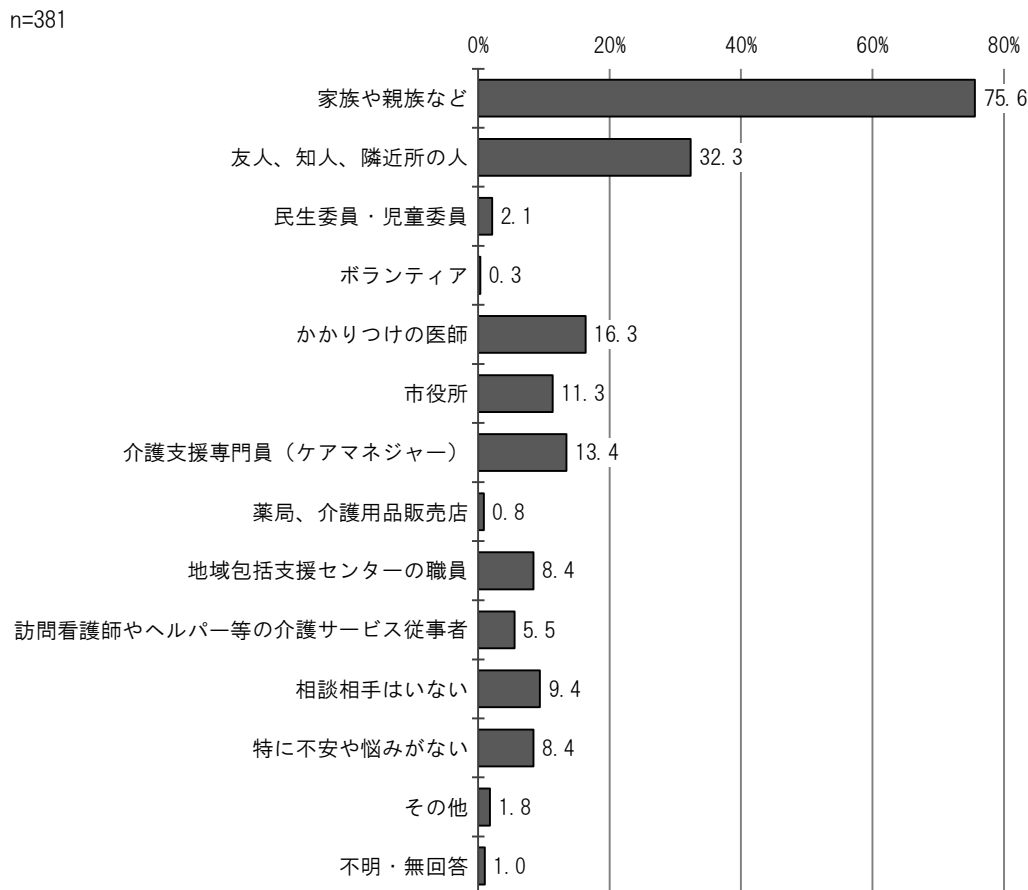
問 22-1 入所（居）を希望する理由は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

入所（居）を希望する理由についてみると、「在宅で介護するのは負担が大きいと思うから」が 72.3% と最も高く、次いで「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が 62.7%、「施設の方が、不自由のない生活が保障されるから」が 21.7%となっています。



問 23 あなたは、健康や介護についての不安や悩みを誰に相談していますか。または相談しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

健康や介護についての不安や悩みの相談相手についてみると、「家族や親族など」が 75.6%と最も高く、次いで「友人、知人、隣近所の人」が 32.3%、「かかりつけの医師」が 16.3%となっています。



問 23 あなたは、健康や介護についての不安や悩みを誰に相談していますか。または相談しようと思いますか。× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「家族や親族など」が最も高く、次いで「友人、知人、隣近所の人」となっています。

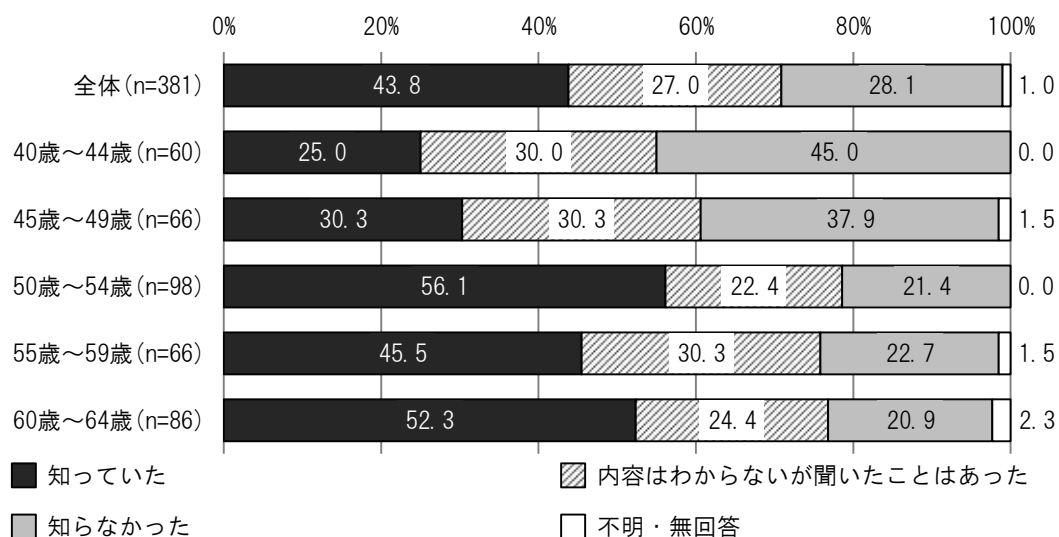
単位：%	家族や親族など	友人、知人、隣近所の人	民生委員・児童委員	ボランティア	かかりつけの医師	市役所	介護支援専門員(ケアマネジャー)	
全体(n=381)	75.6	32.3	2.1	0.3	16.3	11.3	13.4	
年齢別	40歳～44歳(n=60)	80.0	36.7	3.3	1.7	18.3	5.0	8.3
	45歳～49歳(n=66)	74.2	34.8	-	-	10.6	9.1	6.1
	50歳～54歳(n=98)	69.4	24.5	1.0	-	15.3	11.2	10.2
	55歳～59歳(n=66)	80.3	42.4	1.5	-	18.2	13.6	15.2
	60歳～64歳(n=86)	76.7	27.9	3.5	-	18.6	15.1	22.1
単位：%	薬局、介護用品販売店	地域包括支援センターの職員	訪問看護師やヘルパー等の介護サービス従事者	相談相手はいない	特に不安や悩みがない	その他	不明・無回答	
全体(n=381)	0.8	8.4	5.5	9.4	8.4	1.8	1.0	
年齢別	40歳～44歳(n=60)	-	6.7	3.3	8.3	15.0	1.7	
	45歳～49歳(n=66)	-	6.1	4.5	7.6	10.6	3.0	1.5
	50歳～54歳(n=98)	-	6.1	3.1	11.2	11.2	2.0	1.0
	55歳～59歳(n=66)	1.5	4.5	3.0	12.1	3.0	1.5	1.5
	60歳～64歳(n=86)	-	16.3	9.3	7.0	2.3	1.2	1.2

● 成年後見制度について

問 24 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(○は1つ) × 年齢別

成年後見制度の認知状況についてみると、「知っていた」が 43.8%と最も高く、次いで「知らなかった」が 28.1%、「内容はわからないが聞いたことはあった」が 27.0%となっています。

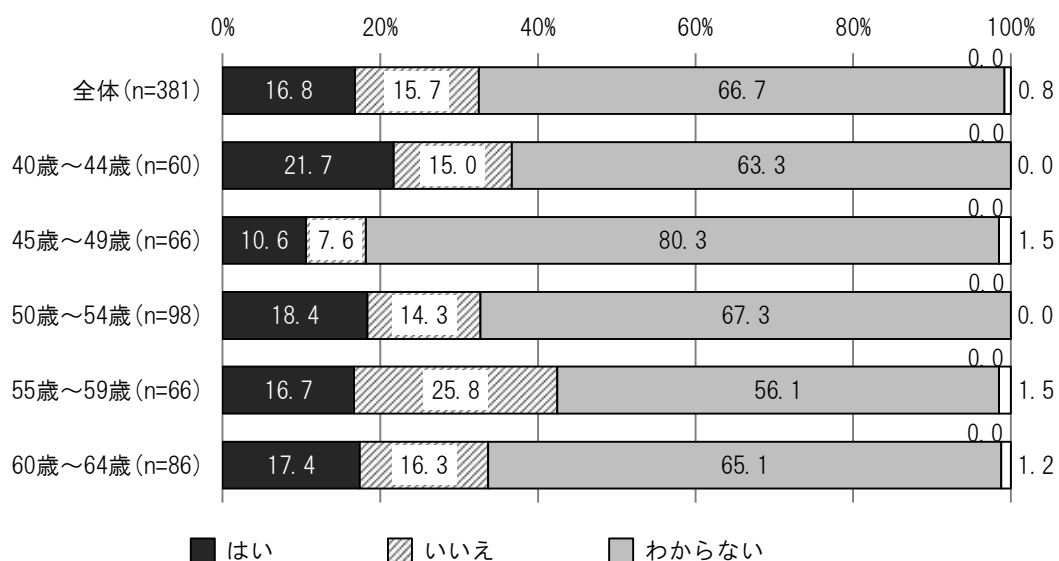
年齢別にみると、〈40 歳～44 歳〉〈45 歳～49 歳〉では「知らなかった」、それ以外の区分では「知っていた」が最も高くなっています。



問 25 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ) × 年齢別

将来、成年後見制度を利用したいと思うかについてみると、「わからない」が 66.7%と最も高く、次いで「はい」が 16.8%、「いいえ」が 15.7%となっています。

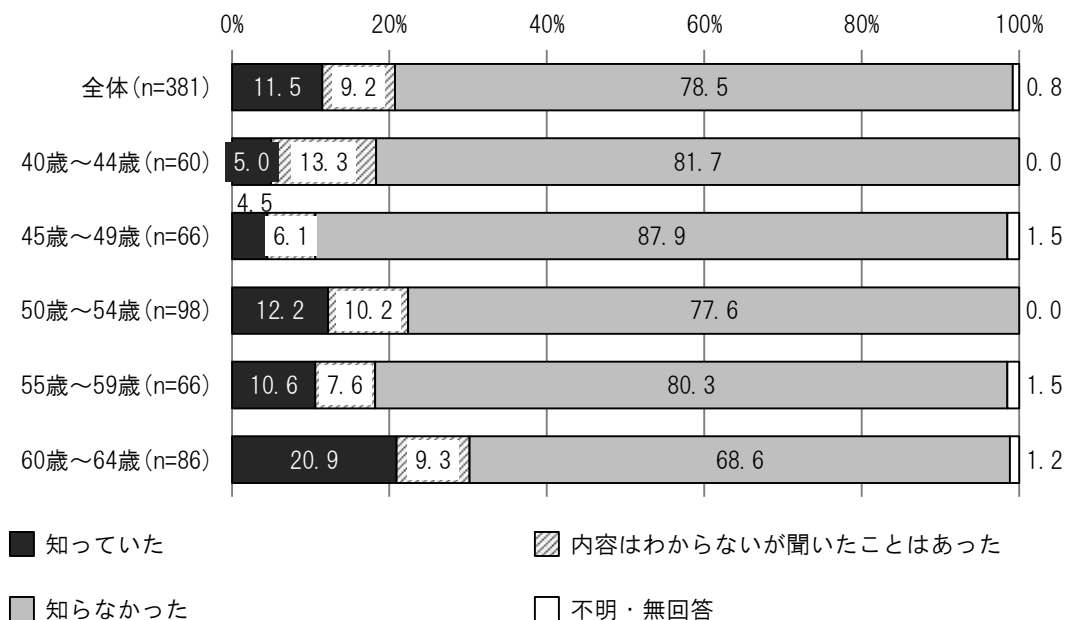
年齢別にみると、すべての区分で「わからない」が最も高く、次いで〈55 歳～59 歳〉では「いいえ」、それ以外の区分では「はい」となっています。〈45 歳～49 歳〉では「はい」が 10.6%と他の区分に比べて低くなっています。



問 26 このアンケート前から市民後見人を知っていましたか。(○は1つ) × 年齢別

市民後見人の認知状況についてみると、「知らなかった」が78.5%と最も高く、次いで「知っていた」が11.5%、「内容はわからないが聞いたことはあった」が9.2%となっています。

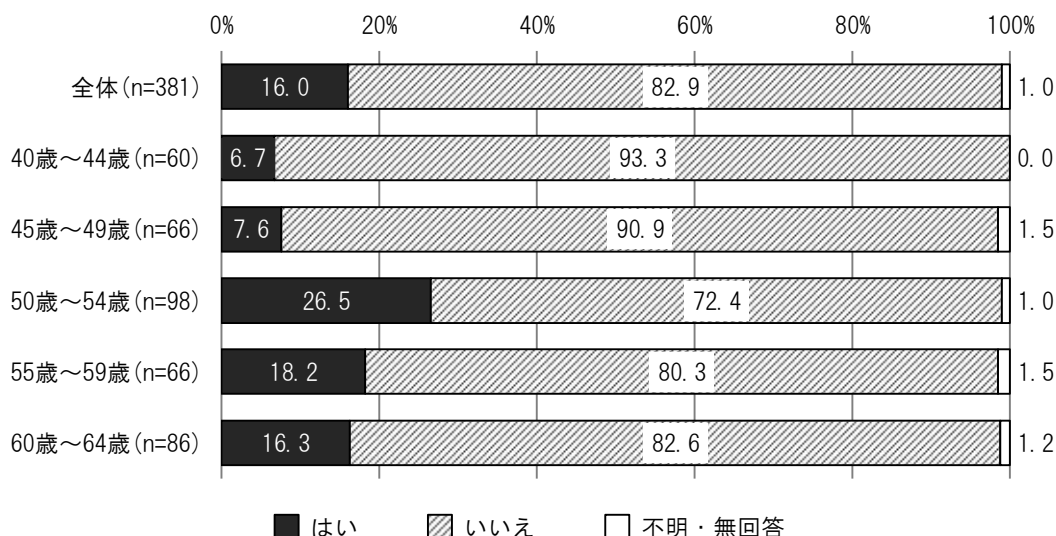
年齢別にみると、すべての区分で「知らなかった」が最も高くなっています。〈60歳～64歳〉では「知っていた」が20.9%と他の区分に比べて高くなっています。



問 27 市民後見人の講座を受講したいと思いますか。(○は1つ) × 年齢別

市民後見人の講座を受講したいと思うかについてみると、「はい」が16.0%、「いいえ」が82.9%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っており、特に〈40歳～44歳〉〈45歳～49歳〉では「いいえ」が9割を超えています。〈50歳～54歳〉では「はい」が26.5%と他の区分に比べて高くなっています。



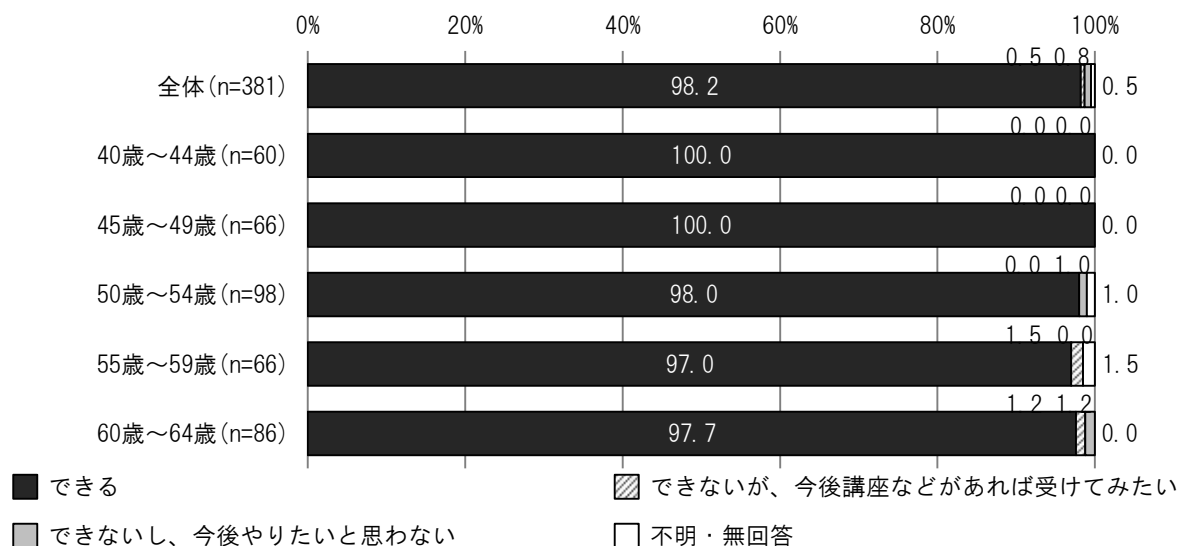
● デジタルの活用について

問 28 パソコンやスマートフォンを使って、次のことが1人でできますか。(項目ごとに1つに○)

ア. 家族や友人と連絡を取る × 年齢別

[ア. 家族や友人と連絡を取る] についてみると、「できる」が98.2%と最も高く、次いで「できないし、今後やりたいと思わない」が0.8%、「できないが、今後講座などがあれば受けてみたい」が0.5%となっています。

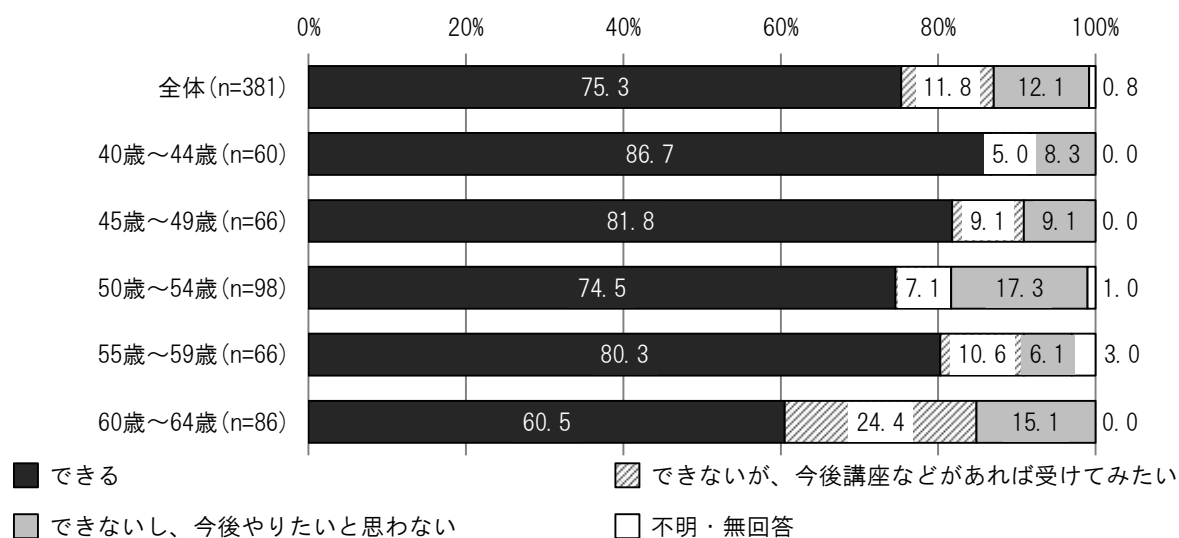
年齢別にみると、すべての区分で「できる」が最も高くなっています。



イ. オンライン会議やビデオ通話を行う × 年齢別

[イ. オンライン会議やビデオ通話を行う] についてみると、「できる」が75.3%と最も高く、次いで「できないし、今後やりたいと思わない」が12.1%、「できないが、今後講座などがあれば受けてみたい」が11.8%となっています。

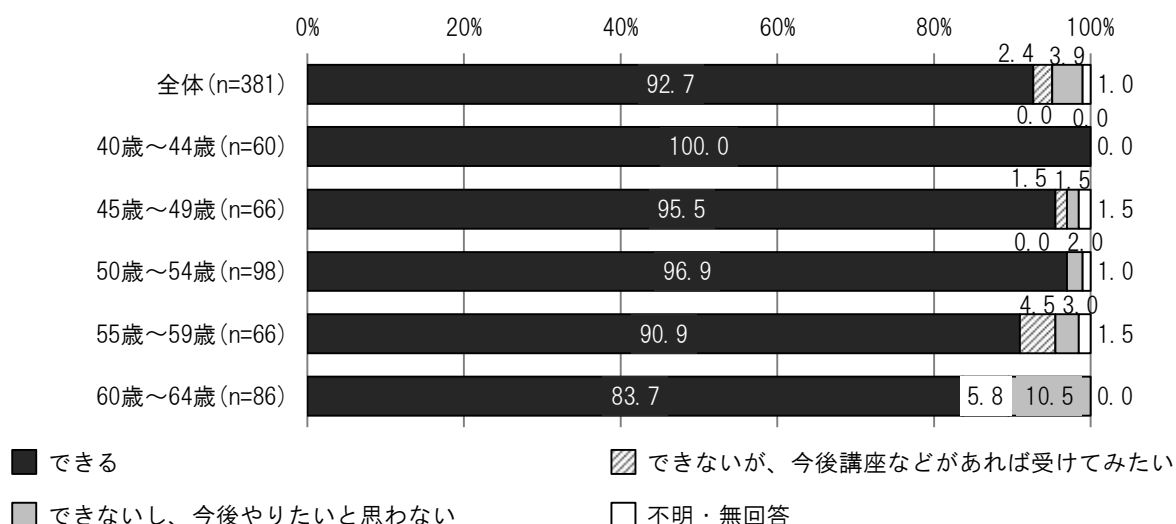
年齢別にみると、すべての区分で「できる」が最も高くなっていますが、〈60歳～64歳〉では60.5%と他の区分に比べて低くなっています。



ウ. 市のホームページから必要な情報を確認する × 年齢別

〔ウ. 市のホームページから必要な情報を確認する〕についてみると、「できる」が 92.7%と最も高く、次いで「できないし、今後やりたいと思わない」が 3.9%、「できないが、今後講座などがあれば受けてみたい」が 2.4%となっています。

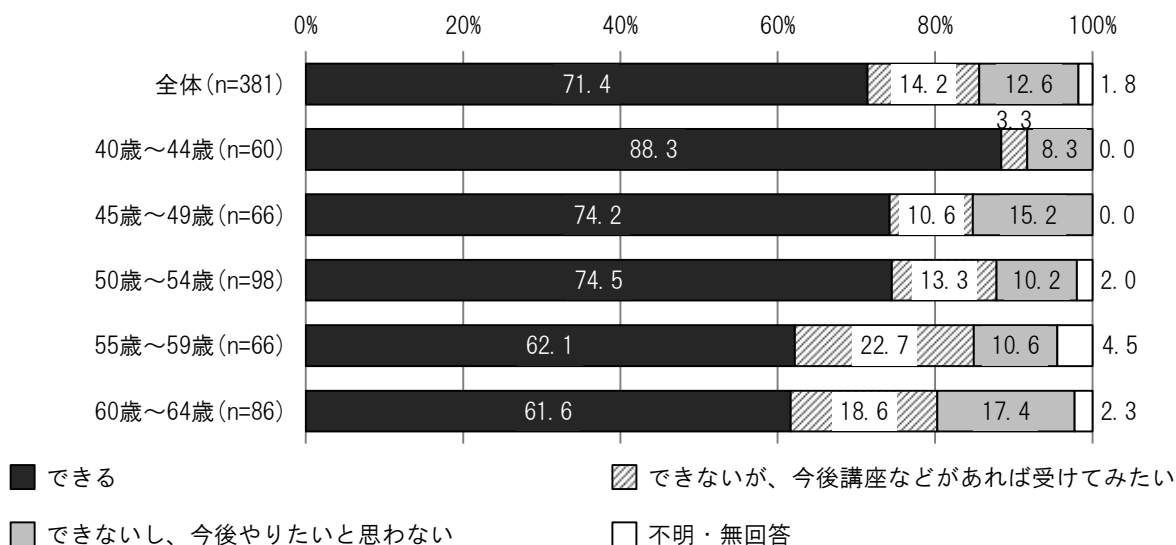
年齢別にみると、すべての区分で「できる」が最も高くなっていますが、〈60 歳～64 歳〉では 83.7%と他の区分に比べて低くなっています。



エ. 市のSNS (Twitter・Facebook) の情報を確認する × 年齢別

〔エ. 市のSNS (Twitter・Facebook) の情報を確認する〕についてみると、「できる」が 71.4%と最も高く、次いで「できないが、今後講座などがあれば受けてみたい」が 14.2%、「できないし、今後やりたいと思わない」が 12.6%となっています。

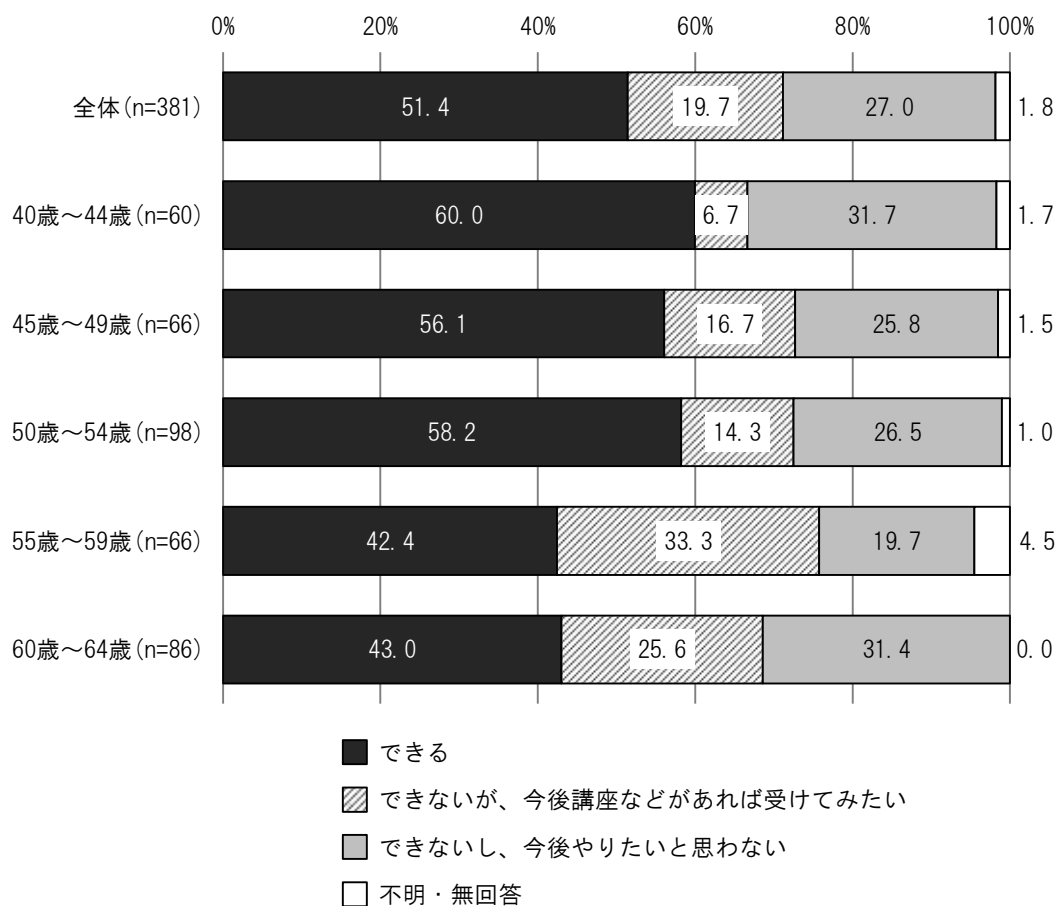
年齢別にみると、すべての区分で「できる」が最も高くなっていますが、〈55 歳～59 歳〉〈60 歳～64 歳〉では、それぞれ 62.1%、61.6%と他の区分に比べて低くなっています。



オ. 地域活動や趣味の活動のお知らせなどの資料を作る × 年齢別

[オ. 地域活動や趣味の活動のお知らせなどの資料を作る] についてみると、「できる」が 51.4%と最も高く、次いで「できないし、今後やりたいと思わない」が 27.0%、「できないが、今後講座などがあれば受けてみたい」が 19.7%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「できる」が最も高くなっていますが、〈55 歳～59 歳〉〈60 歳～64 歳〉では、それぞれ 42.4%、43.0%と他の区分に比べて低くなっています。「できないが、今後講座などがあれば受けてみたい」は〈55 歳～59 歳〉で3割を超えています。



問 29 ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は 40 件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	7
医療	1
情報提供	3
経済的な不安	2
アンケート	4
その他	23
合計	40

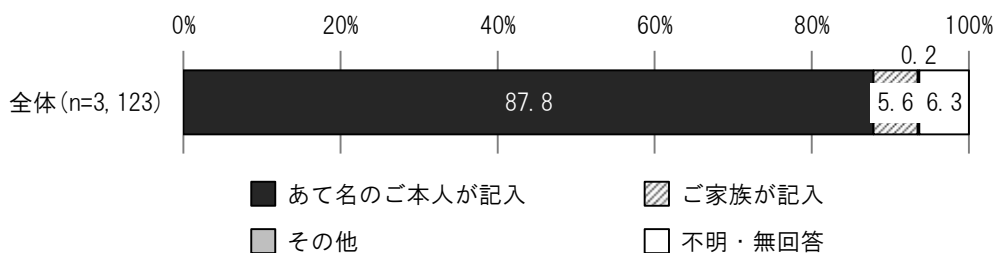
主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

- 介護施設等に入居する際に、金銭の心配をしない様な制度が出来る様になって欲しい。
- 介護保険料が高いと聞いた事があるので、負担する金額が減るか、必ず返納される様にして欲しい。
- 少子高齢化の現代において、人間関係も希薄になり、働けなくなった後は絶望しかありません。市の予算等もあるでしょうが、人として最低限の生活ができるよう市政に生かしてほしいと思います。
- 高齢者の政策より現役世代への対策の方が必要。
- より良い施設を期待しています。何事もスピード勝負です。早めの実施を希望します。折角ある施策をより使いやすく提供されるよう頑張っていきましょう。市民として協力します！
- 今後の老人世代増加に伴い、介護施設、老人入居ホーム等の設備増加施策を希望いたします。できる限り待つことなく入居できる体制をお願いしたいです。

第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

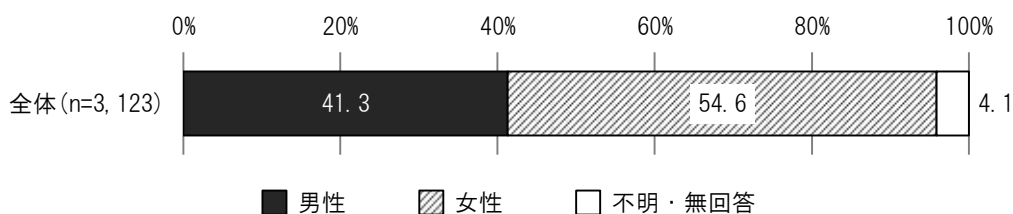
問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(〇は1つ)

調査票の記入者についてみると、「あて名のご本人が記入」が87.8%、「ご家族が記入」が5.6%、「その他」が0.2%となっています。



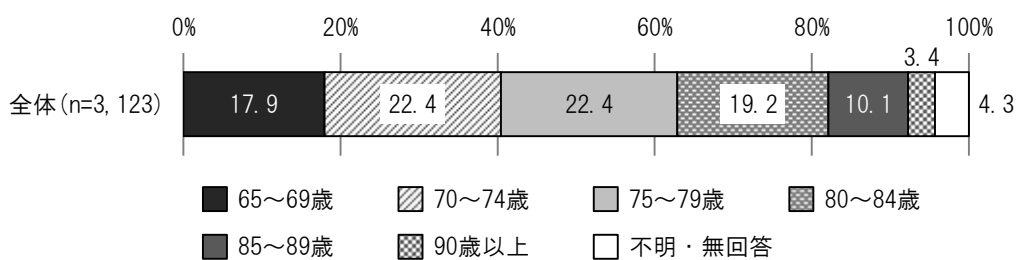
問3 あなたの性別は。(〇は1つ)

性別についてみると、「男性」が41.3%、「女性」が54.6%となっています。



問4 あなたの年齢は。

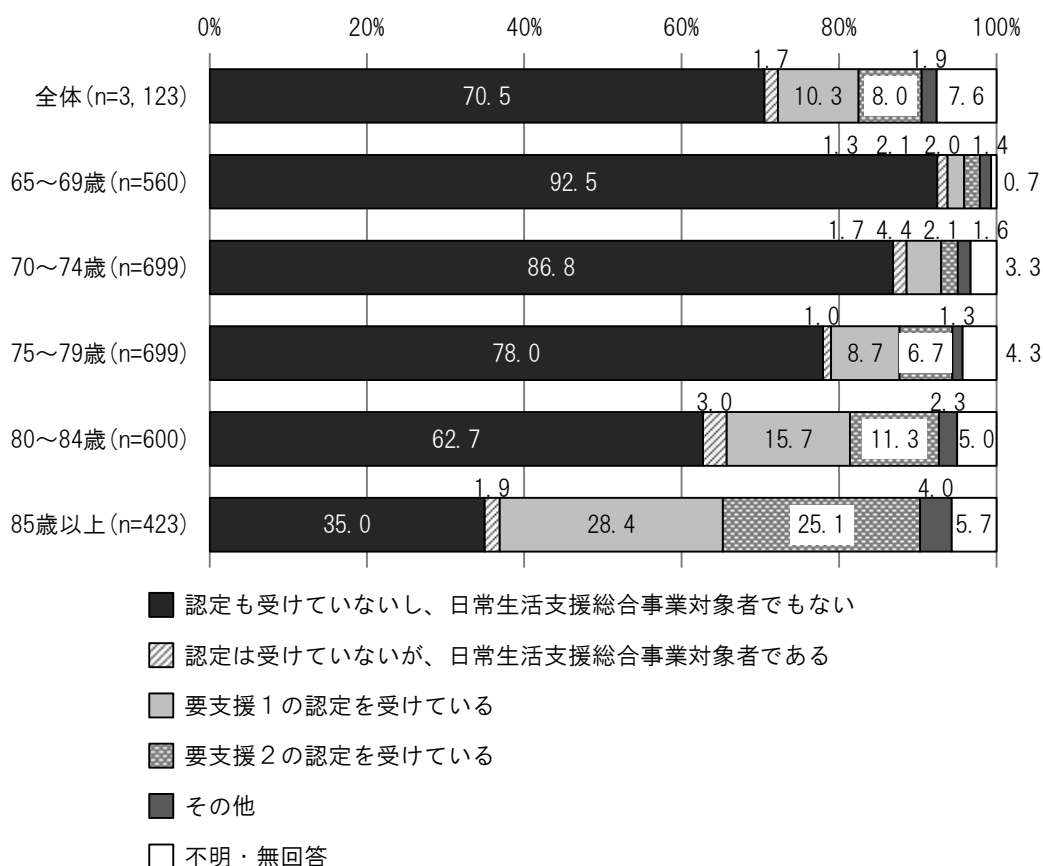
年齢についてみると、「70～74歳」「75～79歳」が22.4%と最も高く、次いで「80～84歳」が19.2%、「65～69歳」が17.9%となっています。



問5 あなたは介護保険の認定を受けていますか。または総合事業対象者ですか。(○は1つ)
× 年齢別

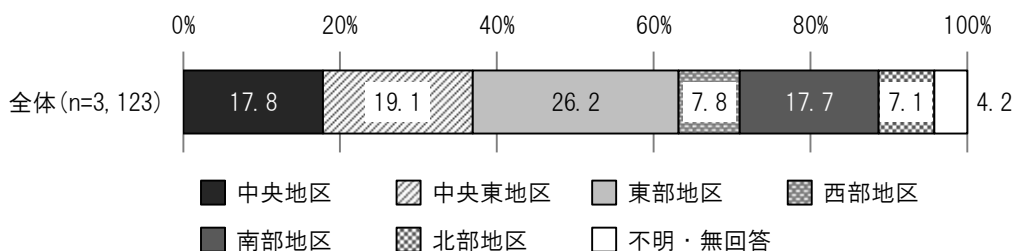
介護保険の認定を受けているか、または総合事業対象者であるかについてみると、「認定も受けていないし、日常生活支援総合事業対象者でもない」が70.5%と最も高く、次いで「要支援1の認定を受けている」が10.3%、「要支援2の認定を受けている」が8.0%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「認定も受けていないし、日常生活支援総合事業対象者でもない」が最も高く、次いで「要支援1の認定を受けている」となっています。また、「認定も受けていないし、日常生活支援総合事業対象者でもない」の割合は、年齢が上がるほど低くなっています。



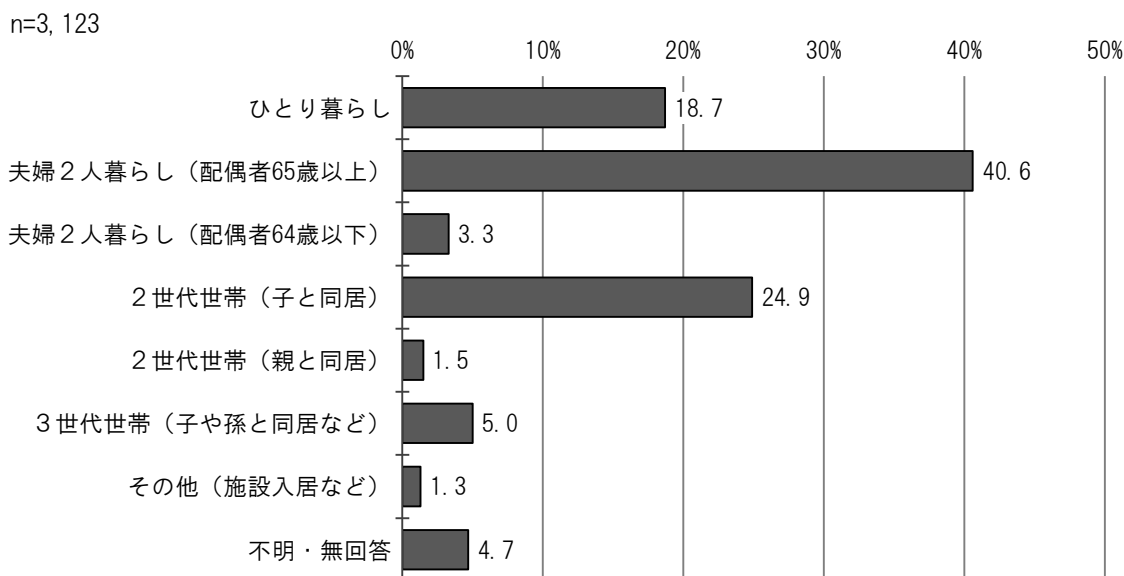
問6 あなたのお住いの地区は。(○は1つ)

居住地区についてみると、「東部地区」が26.2%と最も高く、次いで「中央東地区」が19.1%、「中央地区」が17.8%となっています。



問7 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

家族構成についてみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が40.6%と最も高く、次いで「2世代世帯(子と同居)」が24.9%、「ひとり暮らし」が18.7%となっています。



問7 家族構成をお教えてください。× 年齢別

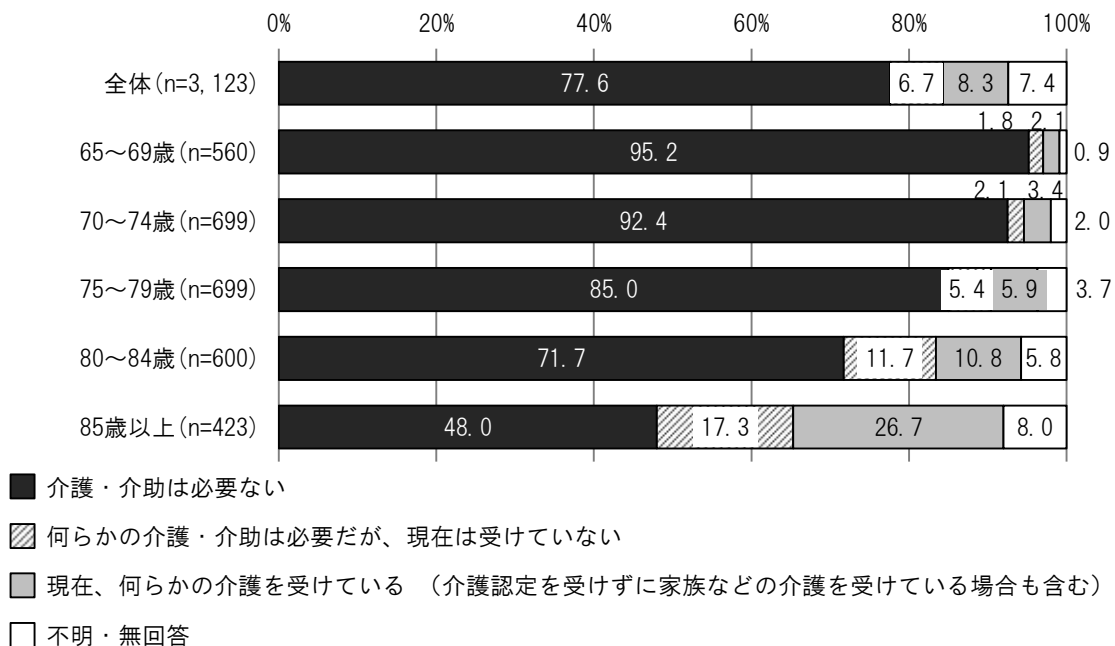
年齢別にみると、〈85歳以上〉では「2世代世帯(子と同居)」が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」となっています。それ以外の区分では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も高く、次いで「2世代世帯(子と同居)」となっています。

単位: %		ひとり暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2世代世帯 (子と同居)	2世代世帯 (親と同居)	3世代世帯 (子や孫と同居など)	その他 (施設入居など)
全体(n=3,123)		18.7	40.6	3.3	24.9	1.5	5.0	1.3
年齢別	65~69歳(n=560)	16.3	35.5	10.9	26.1	5.2	4.3	1.6
	70~74歳(n=699)	18.3	45.4	3.6	25.2	1.6	4.0	1.4
	75~79歳(n=699)	17.2	50.5	0.9	24.3	0.7	4.7	0.6
	80~84歳(n=600)	21.2	44.2	1.0	24.8	-	5.8	1.2
	85歳以上(n=423)	26.7	29.6	0.9	31.0	0.2	7.6	2.8
単位: %		不明・無回答						
全体(n=3,123)		4.7						
年齢別	65~69歳(n=560)	0.2						
	70~74歳(n=699)	0.6						
	75~79歳(n=699)	1.1						
	80~84歳(n=600)	1.8						
	85歳以上(n=423)	1.2						

問8 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ) × 年齢別

介護・介助の必要性についてみると、「介護・介助は必要ない」が77.6%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が8.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.7%となっています。

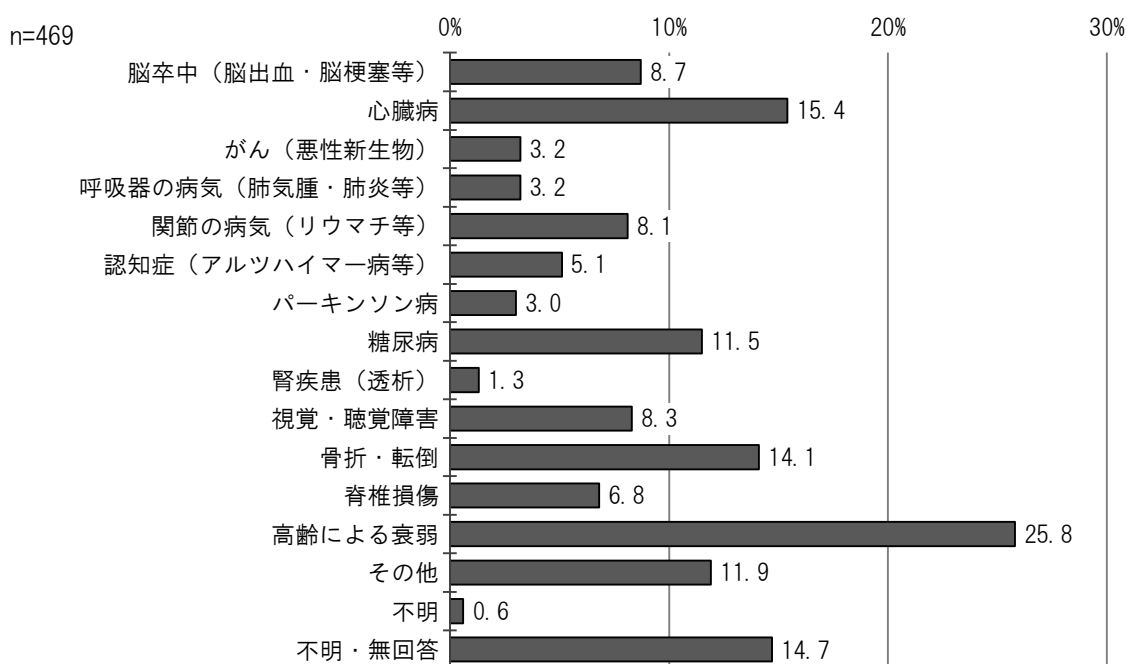
年齢別にみると、すべての区分で「介護・介助は必要ない」が最も高くなっていますが、年代が上がるほどその割合は低くなる傾向にあります。



介護・介助が必要な方のみ

問8-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

介護・介助が必要になった主な原因についてみると、「高齢による衰弱」が25.8%と最も高く、次いで「心臓病」が15.4%、「骨折・転倒」が14.1%となっています。



問8-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。× 年齢別

年齢別にみると、〈65～69歳〉では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「糖尿病」「骨折・転倒」が最も高く、次いで「その他」となっています。

〈70～74歳〉では、「その他」が最も高く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「関節の病気（リウマチ等）」「糖尿病」となっています。

〈75～79歳〉では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が最も高く、次いで「高齢による衰弱」となっています。

〈80～84歳×85歳以上〉では「高齢による衰弱」が最も高く、次いで「心臓病」となっています。

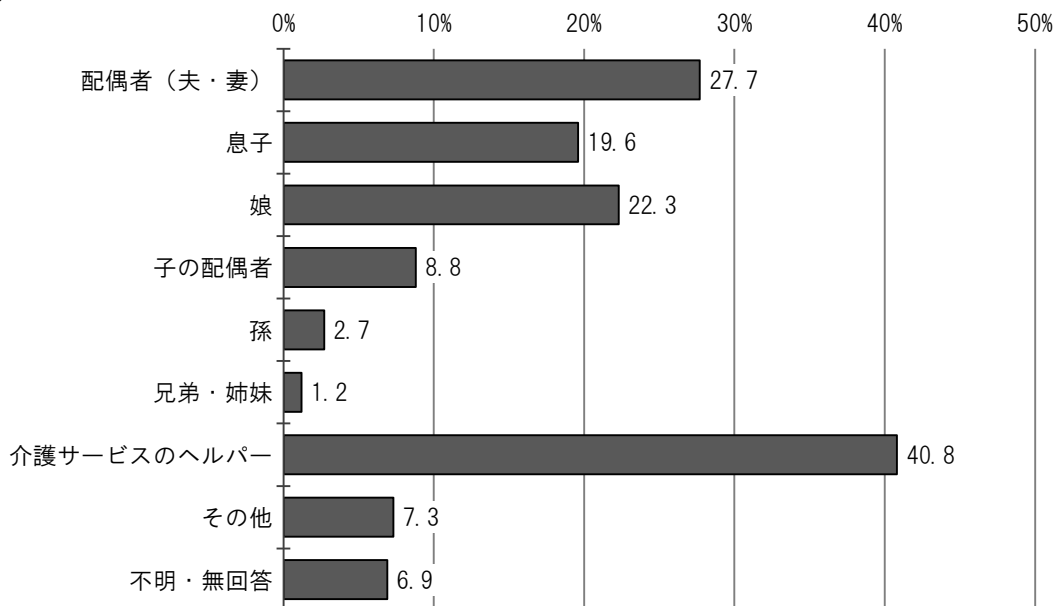
単位：％		脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症(アルツ ハイマー病等)	パーキンソン病
全体(n=469)		8.7	15.4	3.2	3.2	8.1	5.1	3.0
年齢別	65～69歳(n=22)	22.7	4.5	4.5	9.1	9.1	4.5	-
	70～74歳(n=39)	17.9	12.8	-	-	17.9	-	12.8
	75～79歳(n=79)	17.7	15.2	1.3	3.8	6.3	7.6	1.3
	80～84歳(n=135)	5.9	14.1	5.9	3.0	8.9	5.2	4.4
	85歳以上(n=186)	2.7	18.3	2.7	3.2	6.5	5.4	1.1
単位：％		糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他
全体(n=469)		11.5	1.3	8.3	14.1	6.8	25.8	11.9
年齢別	65～69歳(n=22)	22.7	-	9.1	22.7	4.5	4.5	13.6
	70～74歳(n=39)	17.9	-	10.3	10.3	5.1	15.4	20.5
	75～79歳(n=79)	12.7	3.8	5.1	13.9	6.3	16.5	13.9
	80～84歳(n=135)	8.9	-	5.2	12.6	11.1	23.7	10.4
	85歳以上(n=186)	10.8	1.6	11.8	15.1	4.3	35.5	10.8
単位：％		不明	不明・無回答					
全体(n=469)		0.6	14.7					
年齢別	65～69歳(n=22)	-	13.6					
	70～74歳(n=39)	-	5.1					
	75～79歳(n=79)	2.5	19.0					
	80～84歳(n=135)	-	14.8					
	85歳以上(n=186)	0.5	15.1					

介護・介助を受けている方のみ

問8-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護・介助者についてみると、「介護サービスのヘルパー」が40.8%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が27.7%、「娘」が22.3%となっています。

n=260



問8-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。× 年齢別

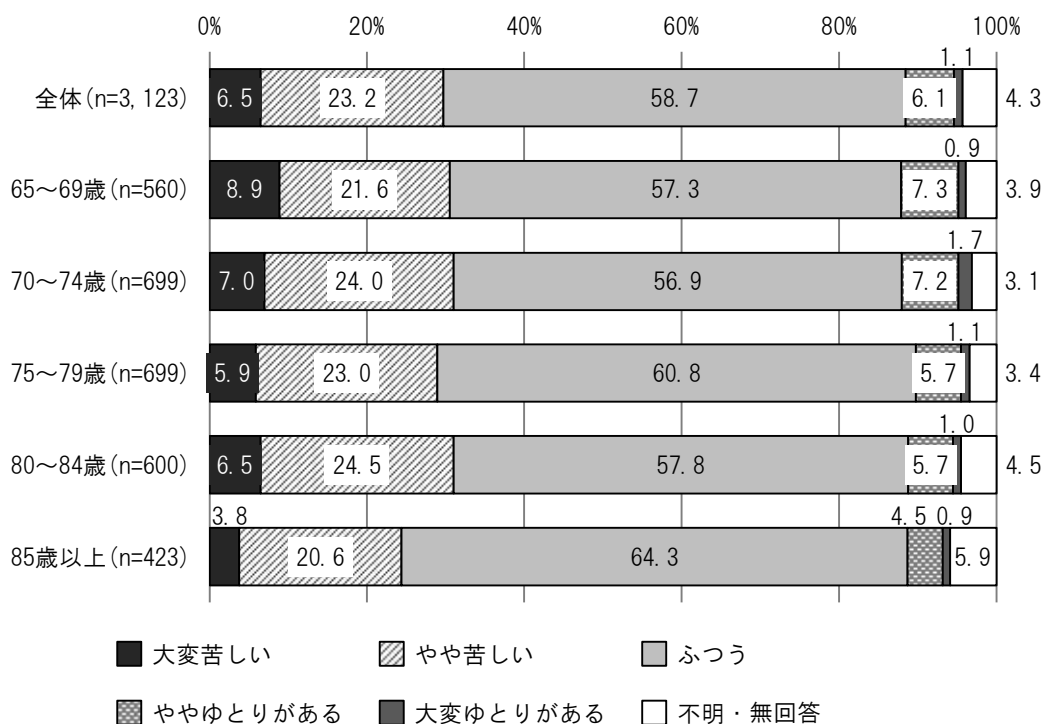
年齢別にみると、〈70～74歳〉〈75～79歳〉では「配偶者(夫・妻)」が最も高くなっています。一方で、〈65～69歳〉〈80～84歳〉〈85歳以上〉では「介護サービスのヘルパー」が最も高くなっています。

単位：%		配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー
全体(n=260)		27.7	19.6	22.3	8.8	2.7	1.2	40.8
年齢別	65～69歳(n=12)	25.0	8.3	8.3	-	-	-	50.0
	70～74歳(n=24)	54.2	16.7	12.5	8.3	-	-	29.2
	75～79歳(n=41)	39.0	14.6	24.4	2.4	4.9	2.4	24.4
	80～84歳(n=65)	38.5	26.2	15.4	4.6	1.5	3.1	40.0
	85歳以上(n=113)	12.4	19.5	28.3	15.0	3.5	-	49.6
単位：%		その他	不明・無回答					
全体(n=260)		7.3	6.9					
年齢別	65～69歳(n=12)	25.0	8.3					
	70～74歳(n=24)	-	4.2					
	75～79歳(n=41)	4.9	12.2					
	80～84歳(n=65)	6.2	4.6					
	85歳以上(n=113)	8.0	7.1					

問9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ) × 年齢別

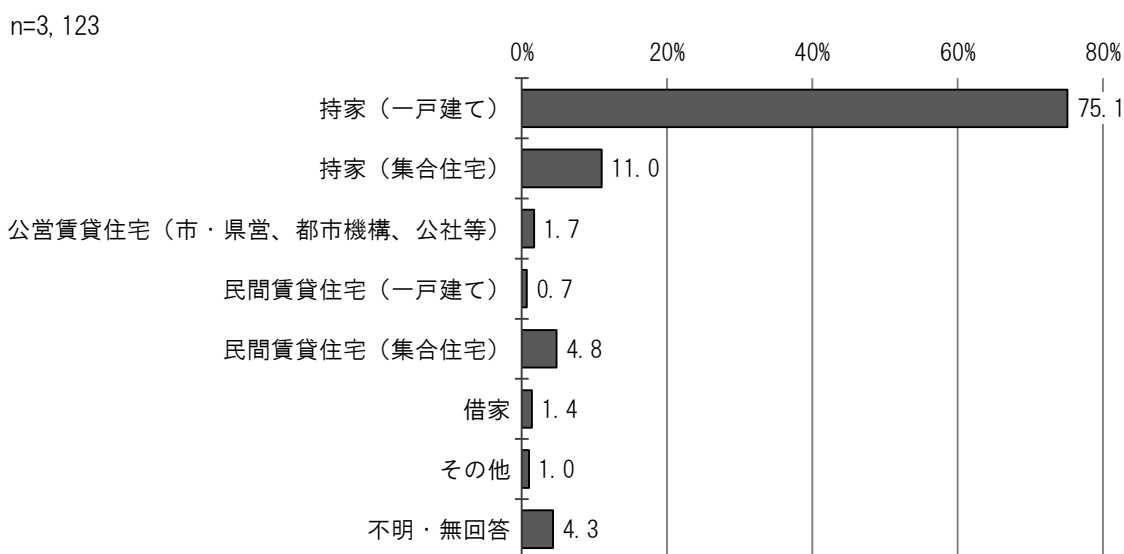
経済的にみた現在の暮らしの状況についてみると、「ふつう」が58.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」が23.2%、「大変苦しい」が6.5%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「ふつう」が最も高く、次いで「やや苦しい」となっています。



問10 お住まいは、次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

住居の種類と所有形態についてみると、「持家（一戸建て）」が75.1%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が11.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が4.8%となっています。

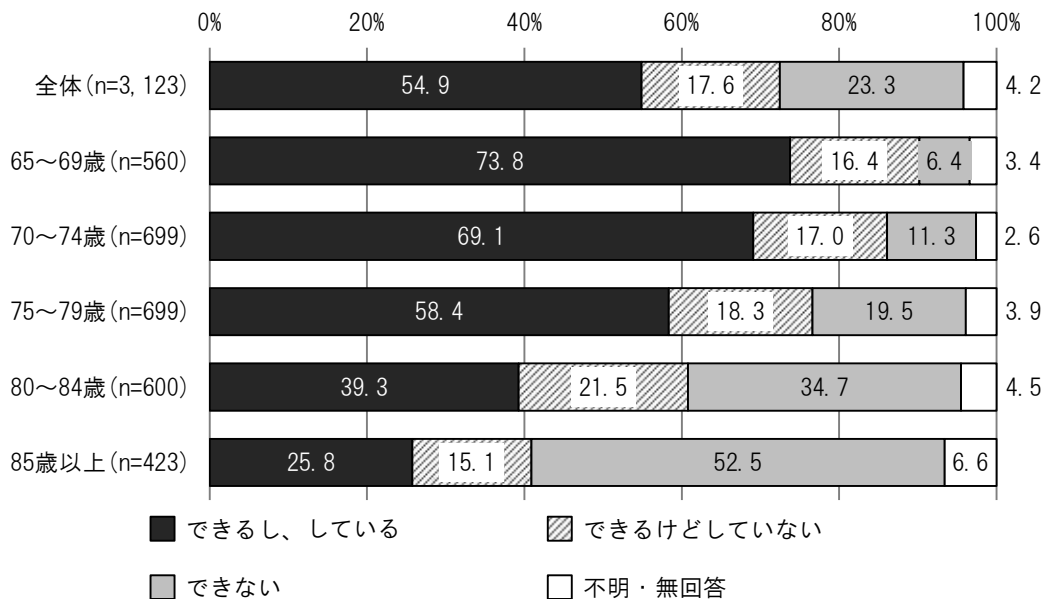


●からだを動かすことについて

問 11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ) × 年齢別

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについてみると、「できるし、している」が54.9%と最も高く、次いで「できない」が23.3%、「できるけどしていない」が17.6%となっています。

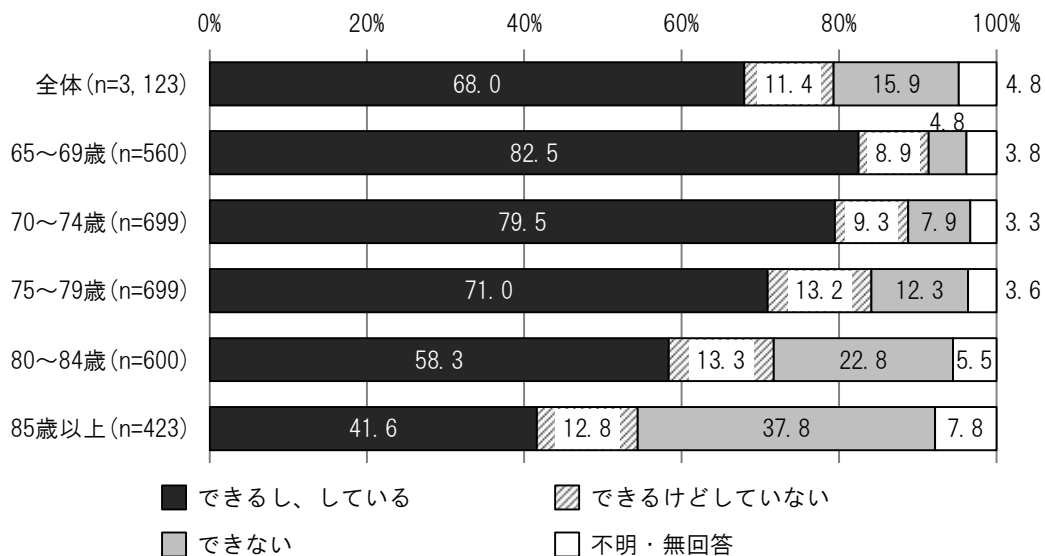
年齢別にみると、〈85歳以上〉では「できない」、それ以外の区分では「できるし、している」が最も高くなっています。また、「できない」の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。



問 12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ) × 年齢別

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が68.0%と最も高く、次いで「できない」「できるけどしていない」が1割台となっています。

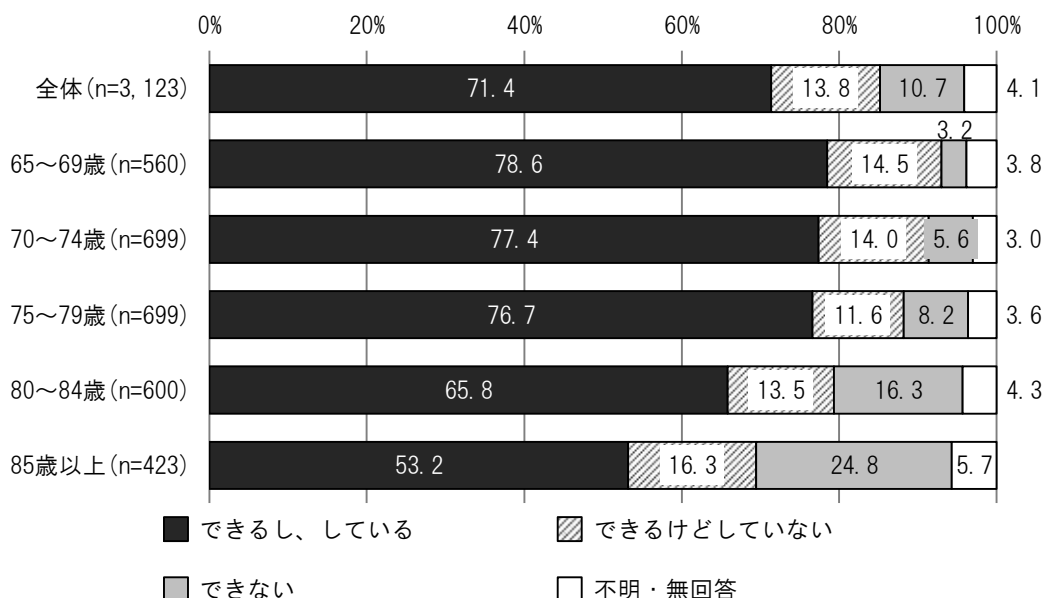
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 13 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ) × 年齢別

15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が71.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.8%、「できない」が10.7%となっています。

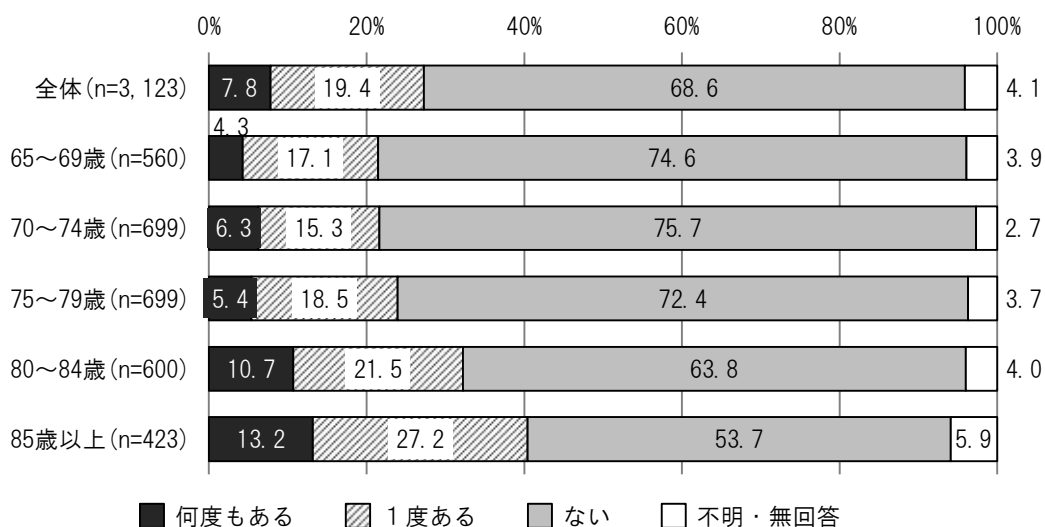
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 14 この1年間に転んだことがありますか。(○は1つ) × 年齢別

この1年間に転んだことがあるかについてみると、「ない」が68.6%と最も高く、次いで「1度ある」が19.4%、「何度もある」が7.8%となっています。

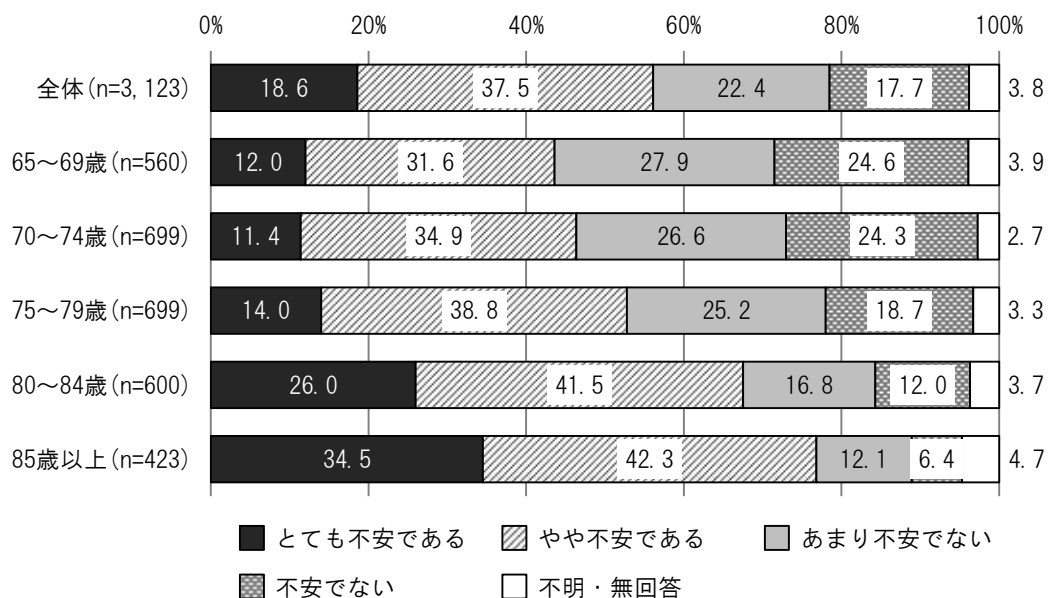
年齢別にみると、すべての区分で「ない」が最も高くなっています。『ある(「何度もある」と「1度ある」の計)』の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。



問 15 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ) × 年齢別

転倒に対する不安は大きいかについてみると、「やや不安である」が37.5%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が22.4%、「とても不安でない」が18.6%、「とても不安である」が18.6%となっています。

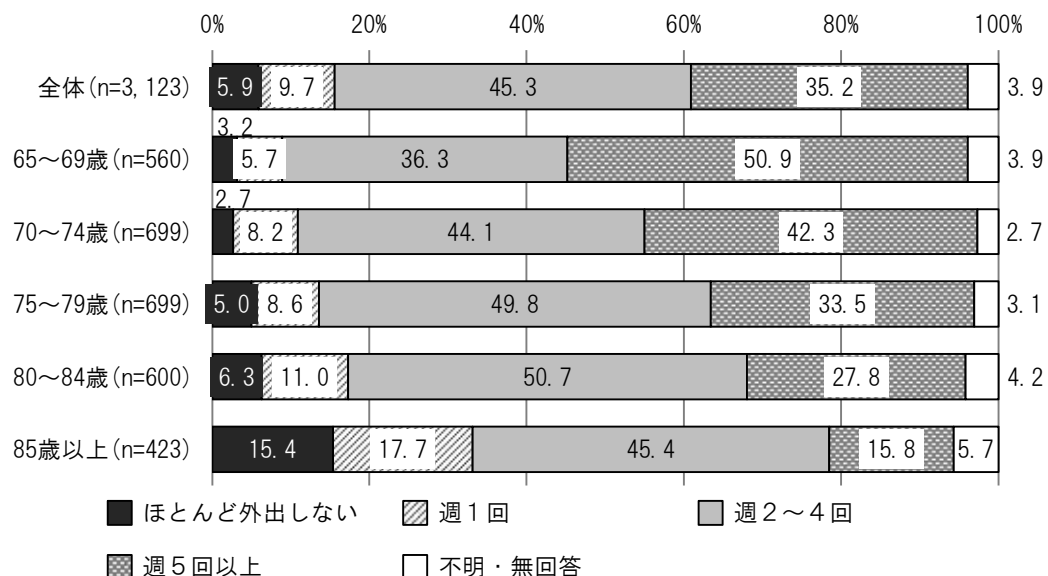
年齢別にみると、すべての区分で「やや不安である」が最も高く、次いで〈80～84歳〉〈85歳以上〉では「とても不安である」、それ以外の区分では「あまり不安でない」となっています。



問 16 週にどれくらい外出していますか。(〇は1つ) × 年齢別

外出の頻度についてみると、「週2～4回」が45.3%と最も高く、次いで「週5回以上」が35.2%、「週1回」が9.7%となっています。

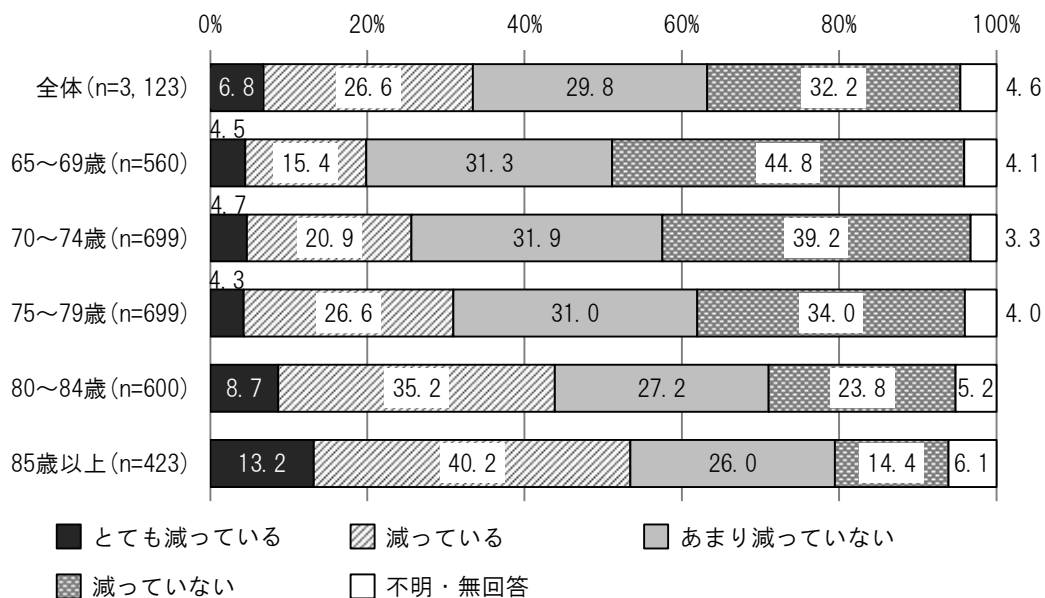
年齢別にみると、〈65～69歳〉では「週5回以上」、それ以外の区分では「週2～4回」が最も高くなっています。〈85歳以上〉では「ほとんど外出しない」が15.4%と他の区分に比べて高くなっています。



問 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ) × 年齢別

昨年と比べて外出の回数が減っているかについてみると、「減っていない」が 32.2%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が 29.8%、「減っている」が 26.6%となっています。

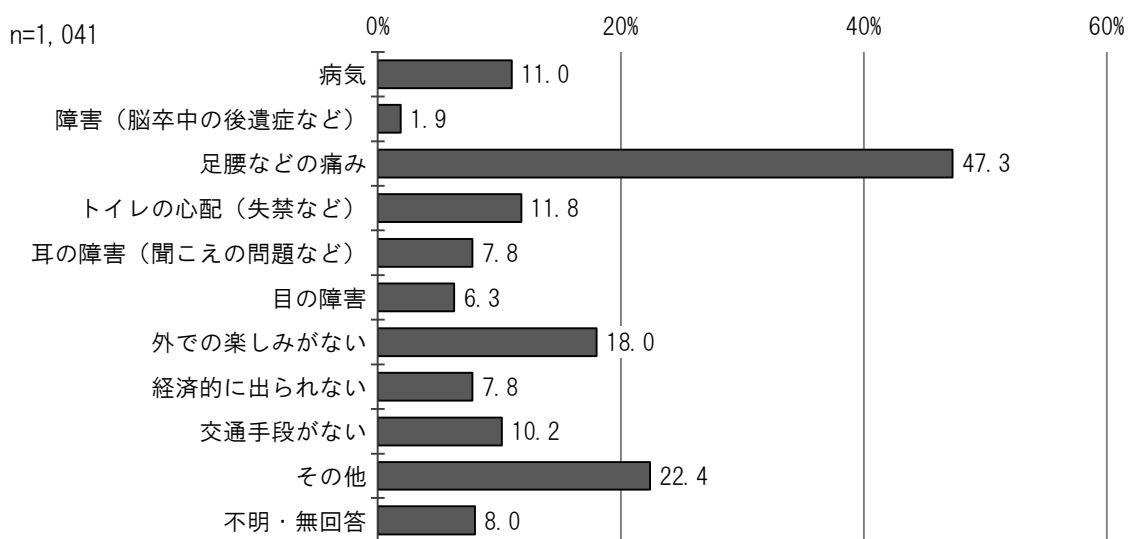
年齢別にみると、〈80～84 歳〉〈85 歳以上〉では「減っている」、それ以外の区分では「減っていない」が最も高くなっています。また、『減っている(「とても減っている」と「減っている」の計)』の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。



問 17 で「とても減っている」「減っている」と回答した方

問 17-1 外出の回数が減った理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

外出の回数が減った理由についてみると、「足腰などの痛み」が 47.3%と最も高く、次いで「その他」が 22.4%、「外での楽しみがない」が 18.0%となっています。



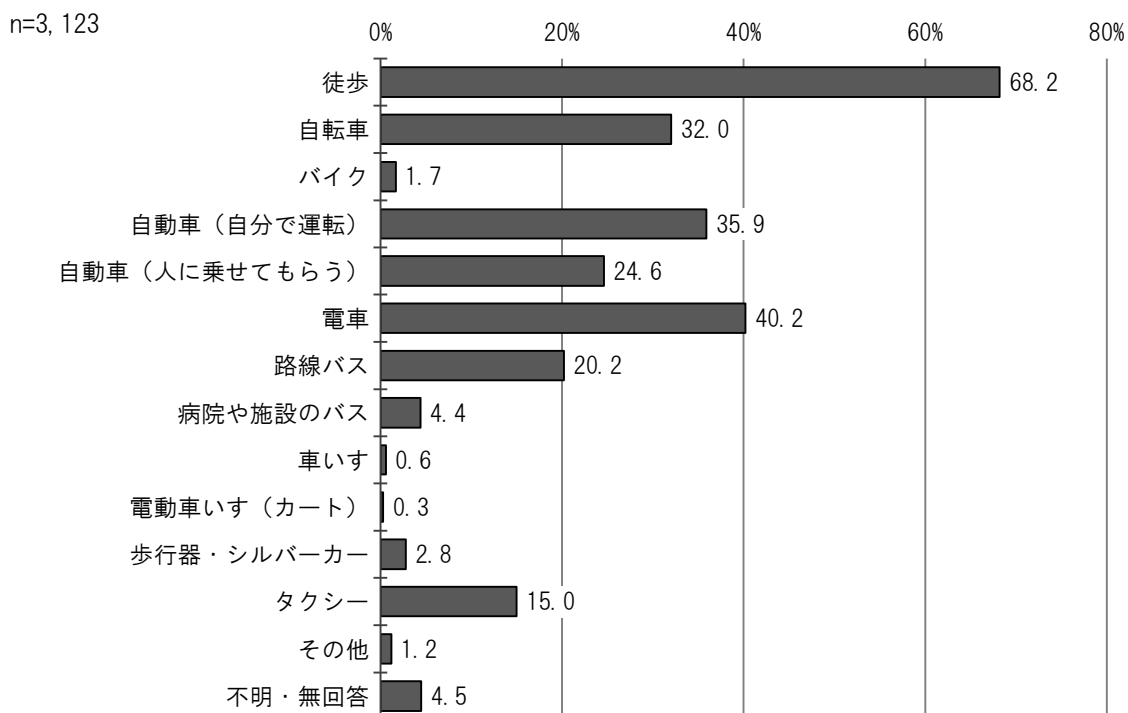
問 17-1 外出の回数が減った理由は、次のどれですか。× 年齢別

年齢別にみると、〈65～69歳〉では「その他」が最も高く、次いで「足腰などの痛み」となっています。〈85歳以上〉では「足腰などの痛み」が最も高く、次いで「耳の障害（聞こえの問題など）」となっています。それ以外の区分では「足腰などの痛み」が最も高く、次いで「その他」となっています。

単位：％		病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない
全体(n=1,041)		11.0	1.9	47.3	11.8	7.8	6.3	18.0
年齢別	65～69歳(n=111)	6.3	0.9	22.5	6.3	2.7	1.8	19.8
	70～74歳(n=179)	11.2	2.8	36.9	6.1	1.1	3.9	24.0
	75～79歳(n=216)	11.6	1.9	40.7	12.5	4.6	6.9	18.5
	80～84歳(n=263)	11.8	1.5	54.8	13.7	7.6	6.5	14.8
	85歳以上(n=226)	11.5	2.2	63.3	15.5	17.3	8.8	15.0
単位：％		経済的に出られない	交通手段がない	その他	不明・無回答			
全体(n=1,041)		7.8	10.2	22.4	8.0			
年齢別	65～69歳(n=111)	14.4	2.7	40.5	12.6			
	70～74歳(n=179)	12.3	6.7	33.5	8.9			
	75～79歳(n=216)	5.1	11.1	19.9	12.5			
	80～84歳(n=263)	6.1	11.4	17.5	5.7			
	85歳以上(n=226)	3.5	13.3	14.2	3.5			

問 18 外出する際の移動手段はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

外出する際の移動手段についてみると、「徒歩」が68.2%と最も高く、次いで「電車」が40.2%、「自動車（自分で運転）」が35.9%となっています。



問 18 外出する際の移動手段はなんですか。× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「徒歩」が最も高く、次いで〈65～69歳〉では「自動車（自分で運転）」、〈85歳以上〉では「自動車（人に乗せてもらう）」、それ以外の区分では「電車」となっています。

単位：％		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車(人に 乗せてもらう)	電車	路線バス
全体(n=3,123)		68.2	32.0	1.7	35.9	24.6	40.2	20.2
年齢別	65～69歳(n=560)	71.1	34.1	2.7	55.9	18.2	47.3	13.6
	70～74歳(n=699)	72.8	38.9	2.4	45.8	22.2	49.6	20.3
	75～79歳(n=699)	71.1	35.8	1.6	36.2	25.6	40.3	20.6
	80～84歳(n=600)	65.7	29.5	0.8	23.3	25.5	33.0	23.2
	85歳以上(n=423)	59.6	16.3	0.7	11.6	33.1	27.2	25.1
単位：％		病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	不明・無回答
全体(n=3,123)		4.4	0.6	0.3	2.8	15.0	1.2	4.5
年齢別	65～69歳(n=560)	1.6	0.2	0.2	0.2	4.6	0.5	4.6
	70～74歳(n=699)	1.6	0.7	-	0.9	9.9	1.1	3.4
	75～79歳(n=699)	4.6	0.4	0.1	1.0	11.4	0.4	4.1
	80～84歳(n=600)	6.5	0.7	0.5	3.8	23.3	2.3	4.7
	85歳以上(n=423)	9.7	1.2	0.7	10.9	32.6	2.1	5.2

問 18 外出する際の移動手段はなんですか。× 地区別

地区別にみると、すべての区分で「徒歩」が最も高く、次いで〈中央東地区〉では「自動車（自分で運転）」、それ以外の区分では「電車」となっています。

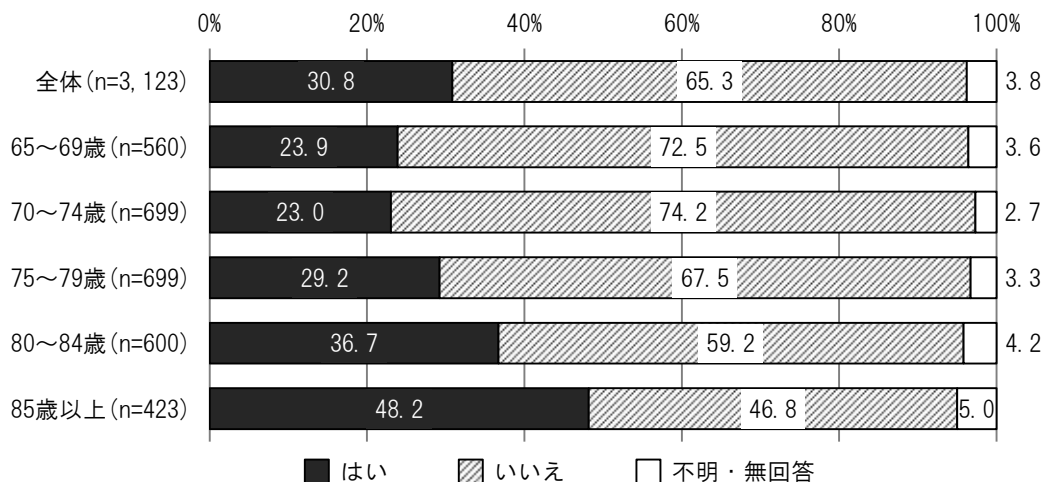
単位：％		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車(人に 乗せてもらう)	電車	路線バス
全体(n=3,123)		68.2	32.0	1.7	35.9	24.6	40.2	20.2
地区別	中央地区(n=555)	74.6	33.5	1.8	31.9	25.8	42.7	10.1
	中央東地区(n=598)	65.1	36.8	1.5	38.1	23.4	34.9	21.7
	東部地区(n=817)	70.5	32.4	1.6	38.1	24.7	42.5	28.6
	西部地区(n=245)	63.7	29.4	1.6	37.1	25.7	45.3	9.4
	南部地区(n=554)	67.3	30.0	2.7	32.5	21.5	39.7	26.0
	北部地区(n=222)	65.8	23.9	0.9	41.0	30.6	41.9	12.2
単位：％		病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	不明・無回答
全体(n=3,123)		4.4	0.6	0.3	2.8	15.0	1.2	4.5
地区別	中央地区(n=555)	4.0	0.7	0.4	2.9	14.4	2.3	4.7
	中央東地区(n=598)	5.5	0.5	0.2	2.2	16.7	0.3	3.8
	東部地区(n=817)	3.8	0.9	0.5	3.4	15.8	1.5	3.4
	西部地区(n=245)	5.3	-	0.4	4.1	13.5	2.4	4.9
	南部地区(n=554)	4.9	0.7	0.2	2.0	16.2	0.7	5.2
	北部地区(n=222)	3.2	0.5	-	2.3	11.3	0.5	5.0

●食べることについて

問 20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ) × 年齢別

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「はい」が30.8%、「いいえ」が65.3%となっています。

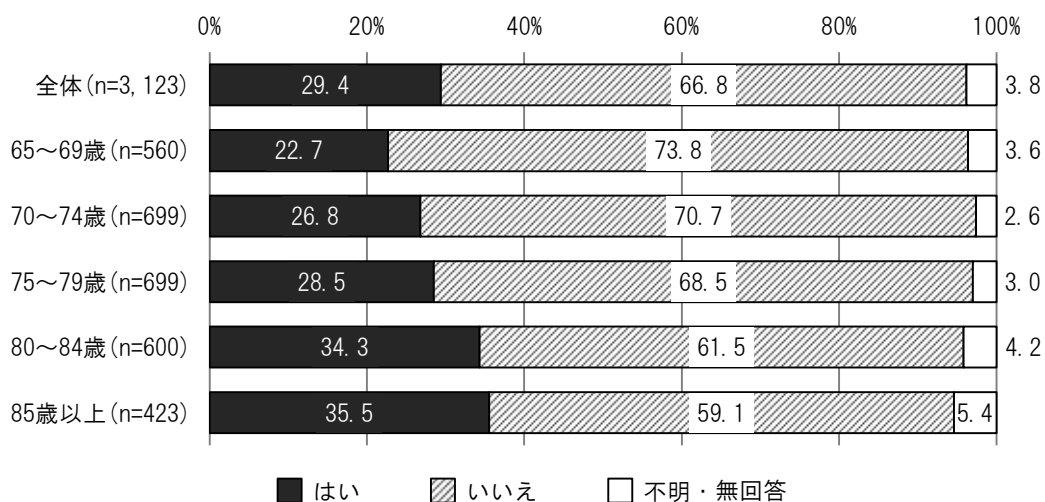
年齢別にみると、〈85歳以上〉では「はい」が「いいえ」を上回っており、「はい」の割合は概ね年齢が上がるほどが高くなっています。



問 21 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ) × 年齢別

お茶や汁物等でむせることがあるかについてみると、「はい」が29.4%、「いいえ」が66.8%となっています。

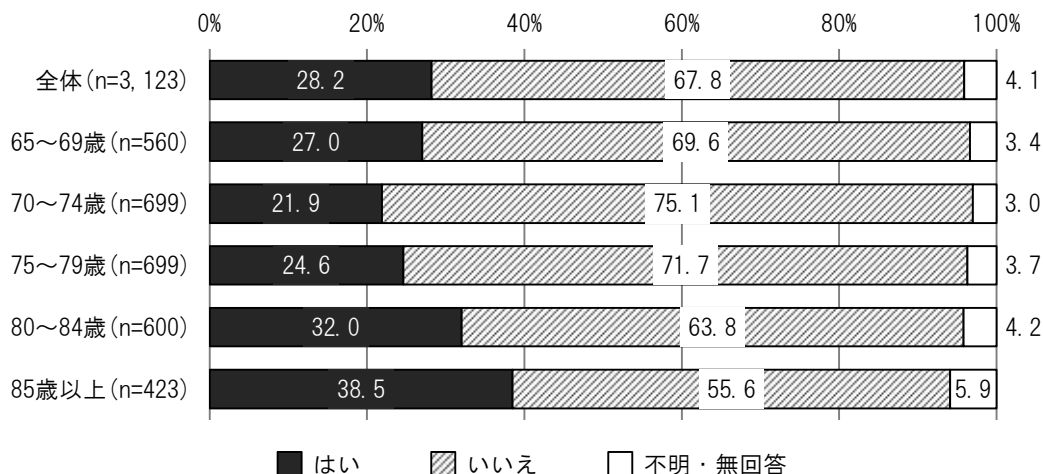
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っています。「はい」の割合は、年齢が上がるほどが高くなっています。



問 22 口の渇きが気になりますか。(○は1つ) × 年齢別

口の渇きが気になるかについてみると、「はい」が28.2%、「いいえ」が67.8%となっています。

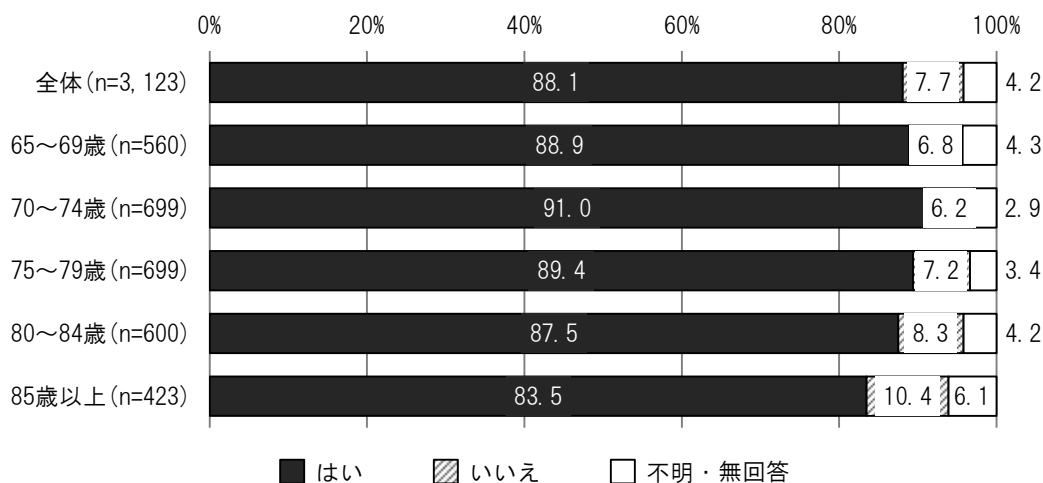
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っています。〈80～84歳〉〈85歳以上〉では「はい」が3割を超えています。



問 23 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。(○は1つ) × 年齢別

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかについてみると、「はい」が88.1%、「いいえ」が7.7%となっています。

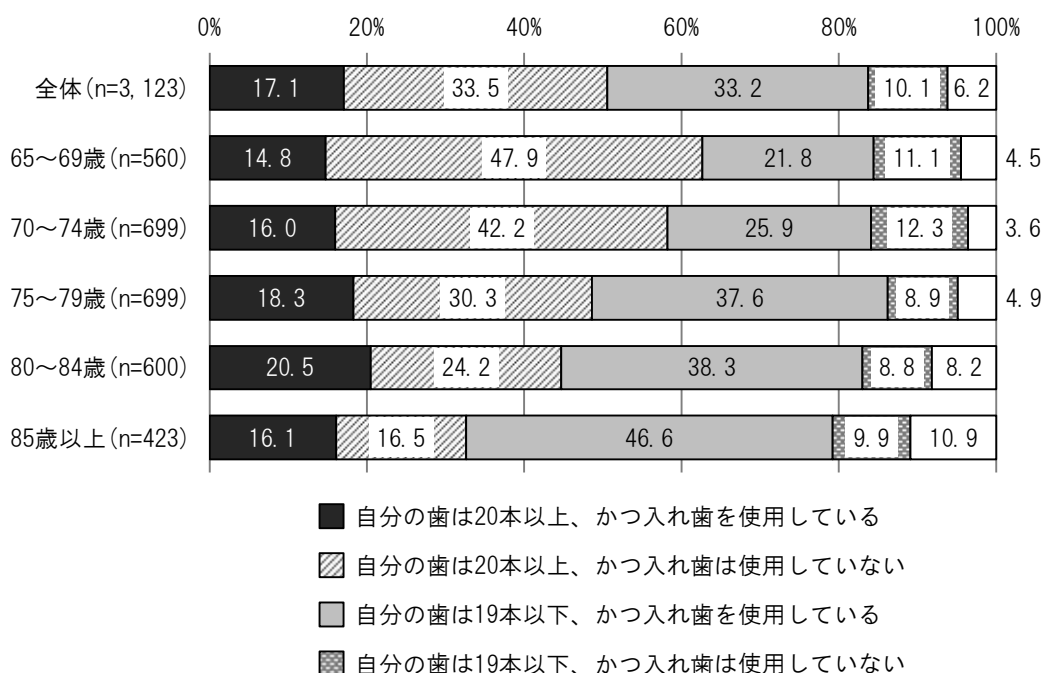
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が8割を超えています。その割合は概ね年齢が上がるほど低くなっています。



問 24 現在の歯の数は何本ですか。また、入れ歯を使用していますか。(○は1つ) × 年齢別

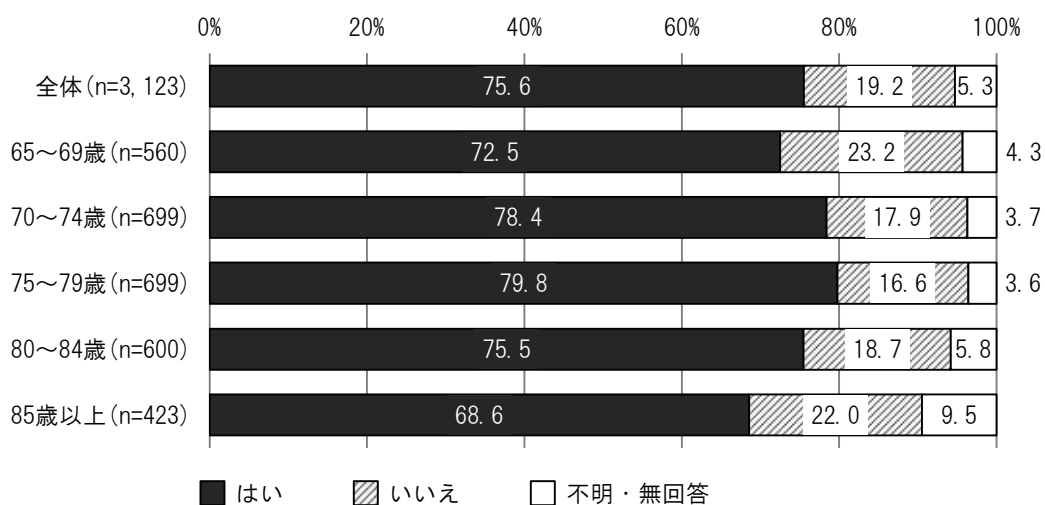
現在の歯の数についてみると、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯は使用していない」が 33.5%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用している」が 33.2%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を使用している」が 17.1%となっています。

年齢別にみると、〈65～69 歳〉〈70～74 歳〉では「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯は使用していない」が最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用している」となっています。それ以外の区分では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用している」が最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯は使用していない」となっています。



問 25 噛み合わせは良いですか。(○は1つ) × 年齢別

噛み合わせは良いかについてみると、「はい」が 75.6%、「いいえ」が 19.2%となっています。年齢別にみると、〈85 歳以上〉を除くすべての区分で「はい」が7割を超えています。

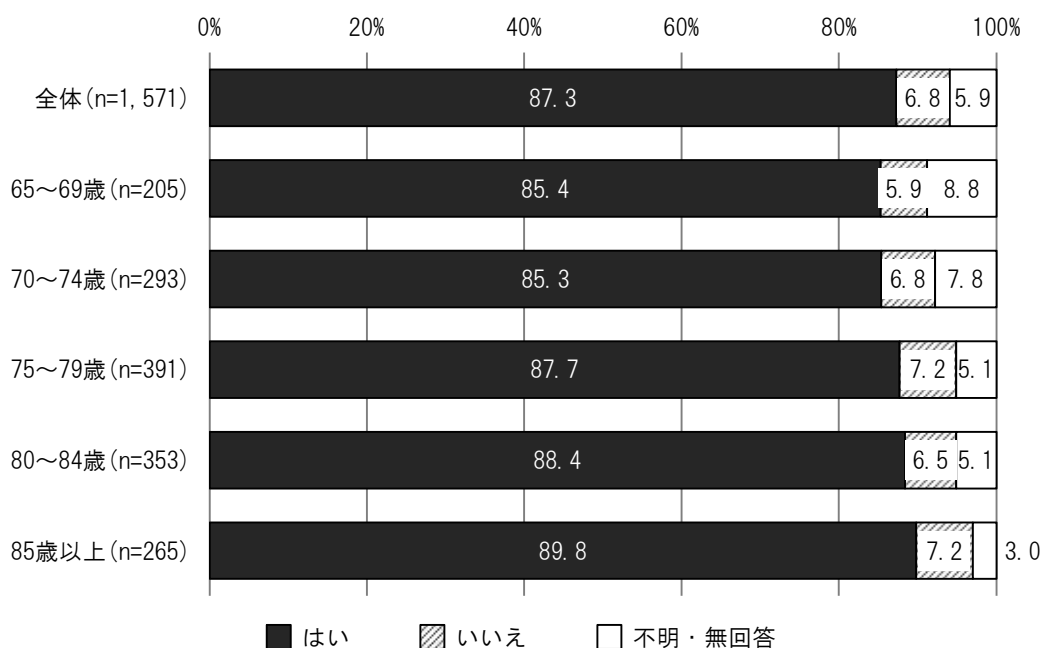


問 24 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を使用している」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を使用している」とお答えの方

問 26 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ) × 年齢別

毎日入れ歯の手入れをしているかについてみると、「はい」が87.3%、「いいえ」が6.8%となっています。

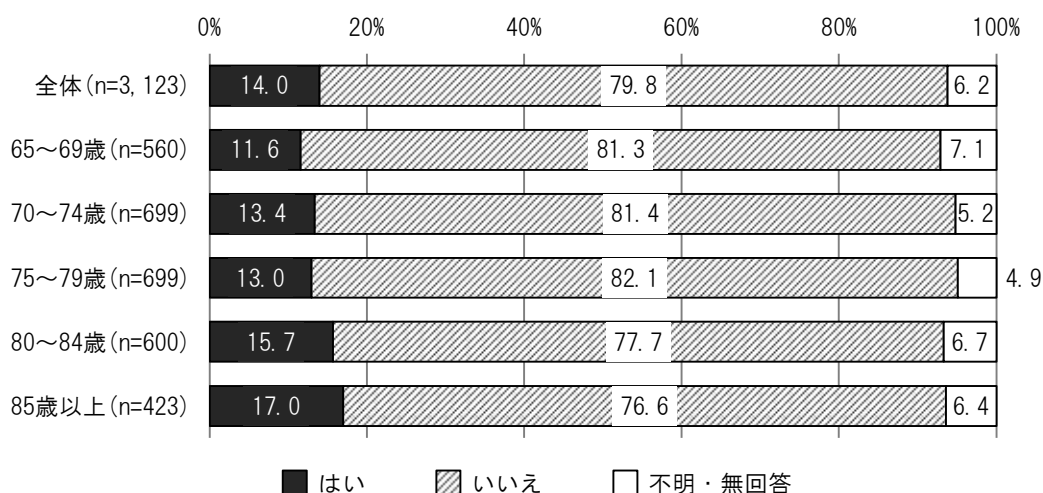
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が8割を超えています。



問 27 6か月間（この半年）で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ) × 年齢別

6か月間（この半年）で2～3kg以上の体重減少があったかについてみると、「はい」が14.0%、「いいえ」が79.8%となっています。

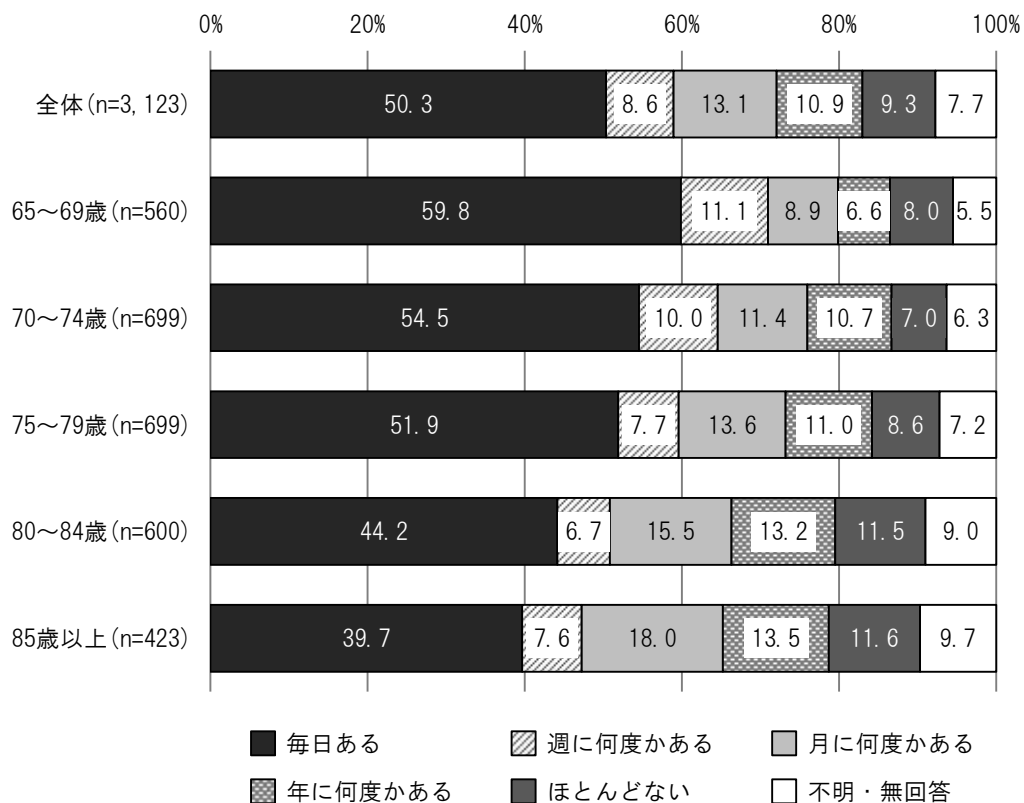
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っています。「はい」の割合は概ね年齢が上がるほどが高くなっています。



問 28 どなたかと食事をともしる機会がありますか。(○は1つ) × 年齢別

だれかと食事をともしる機会についてみると、「毎日ある」が 50.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 13.1%、「年に何度かある」が 10.9%となっています。

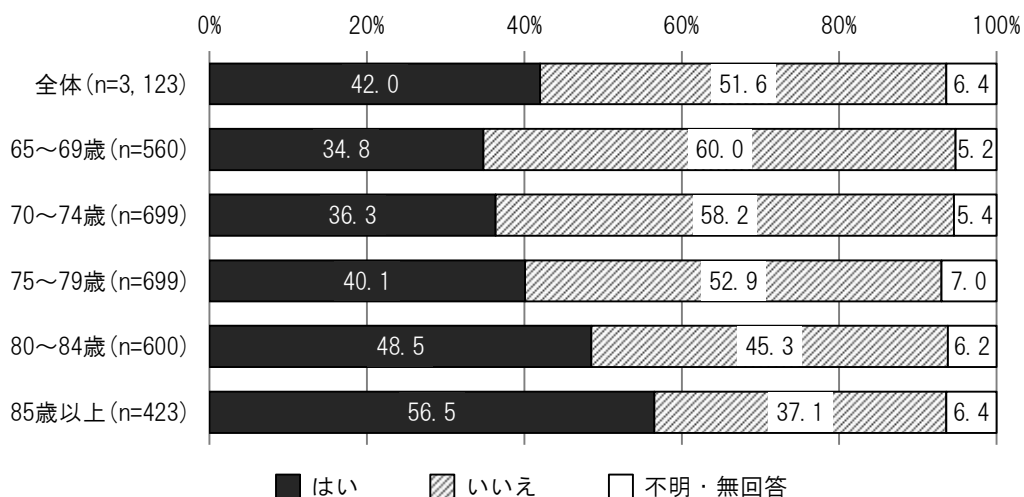
年齢別にみると、すべての区分で「毎日ある」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



●毎日の生活について

問 29 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ) × 年齢別

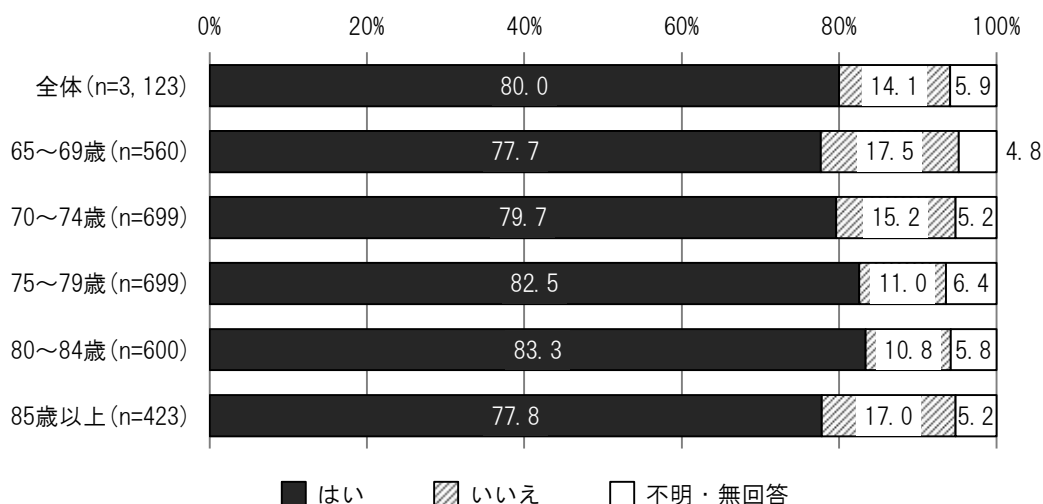
物忘れが多いと感じるかについてみると、「はい」が42.0%、「いいえ」が51.6%となっています。
 年齢別にみると、「はい」の割合は年齢が上がるほど高くなっており、〈80～84歳〉〈85歳以上〉では「はい」が「いいえ」を上回っています。



問 30 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ) × 年齢別

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについてみると、「はい」が80.0%、「いいえ」が14.1%となっています。

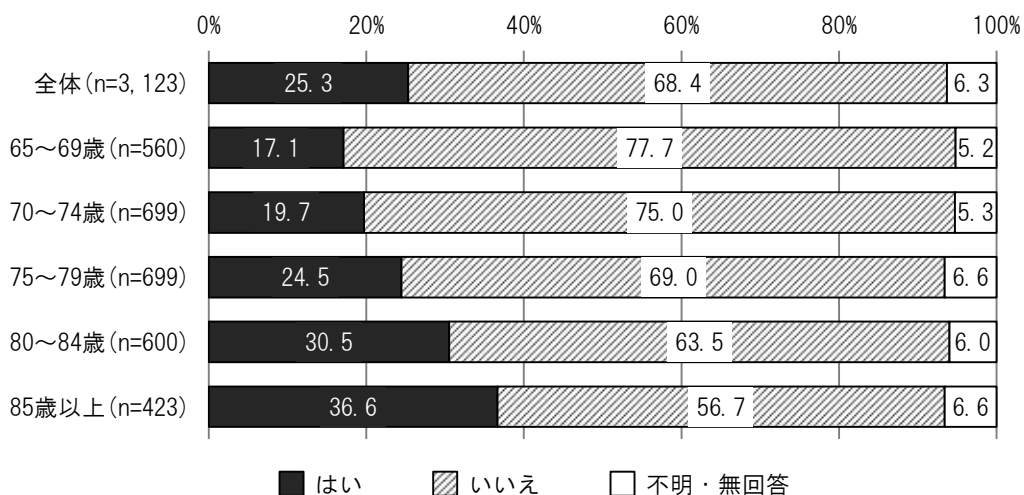
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が7割を超えています。



問 31 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ) × 年齢別

今日が何月何日かわからない時があるかについてみると、「はい」が25.3%、「いいえ」が68.4%となっています。

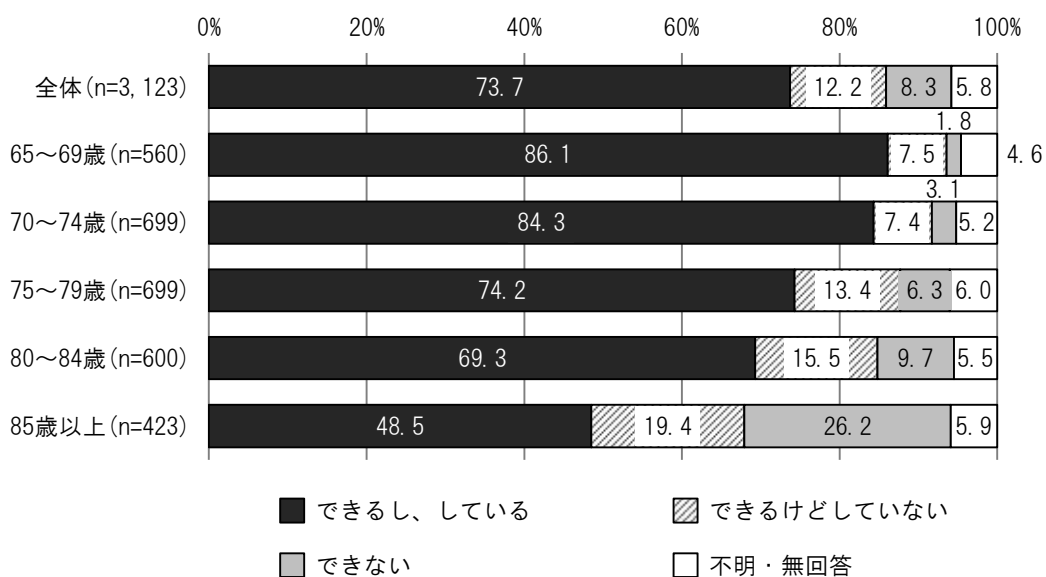
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っています。「はい」の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。



問 32 バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ) × 年齢別

バスや電車で一人で外出しているかについてみると、「できるし、している」が73.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が8.3%となっています。

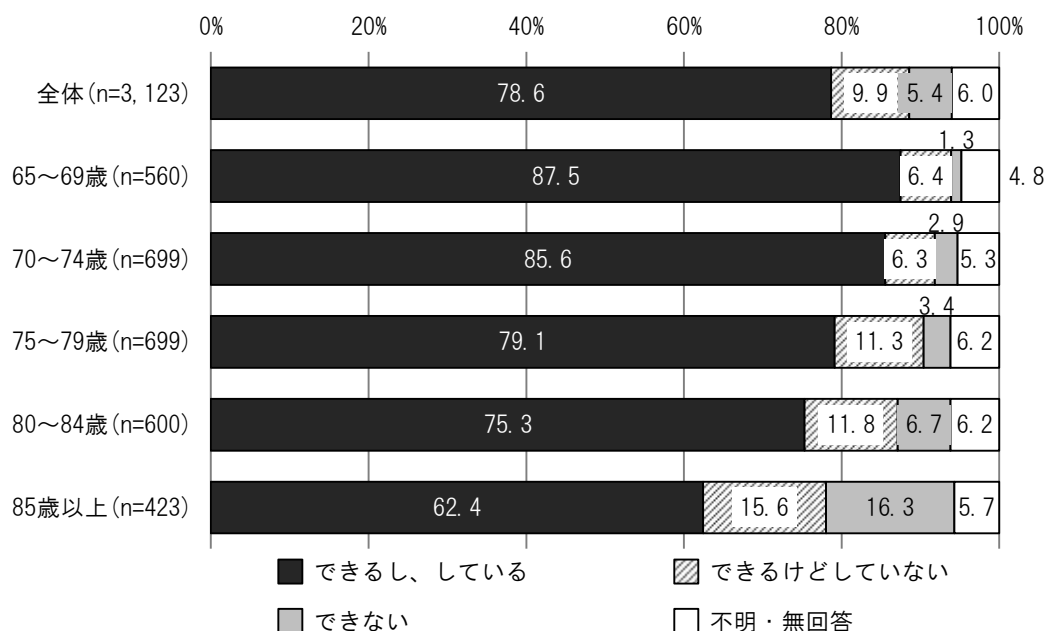
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 33 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ) × 年齢別

自分で食品・日用品の買物をしているかについてみると、「できるし、している」が78.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が5.4%となっています。

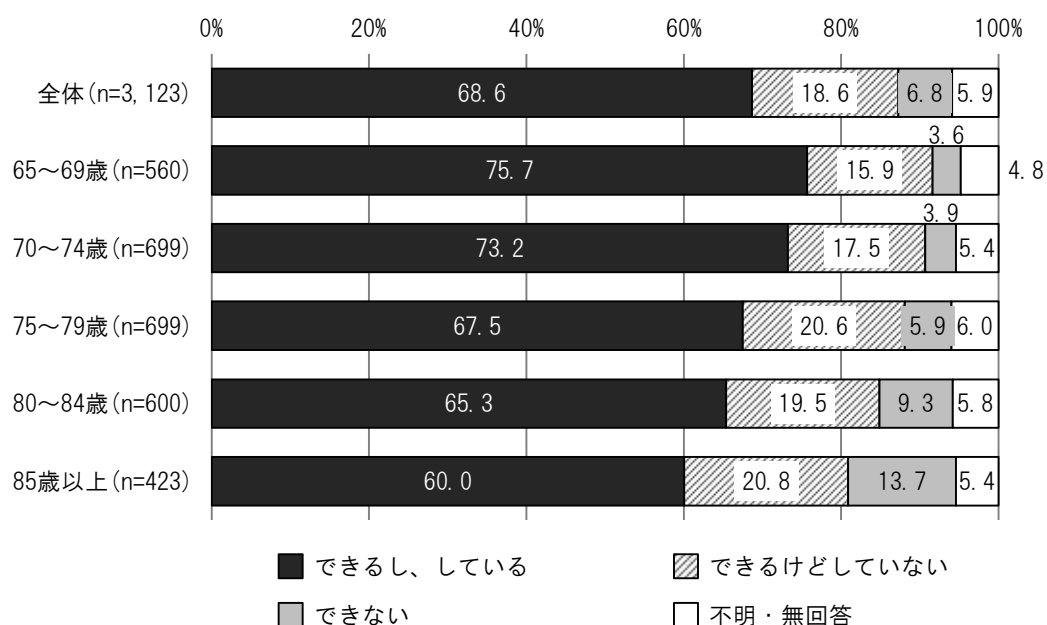
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 34 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ) × 年齢別

自分で食事の用意をしているかについてみると、「できるし、している」が68.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が18.6%、「できない」が6.8%となっています。

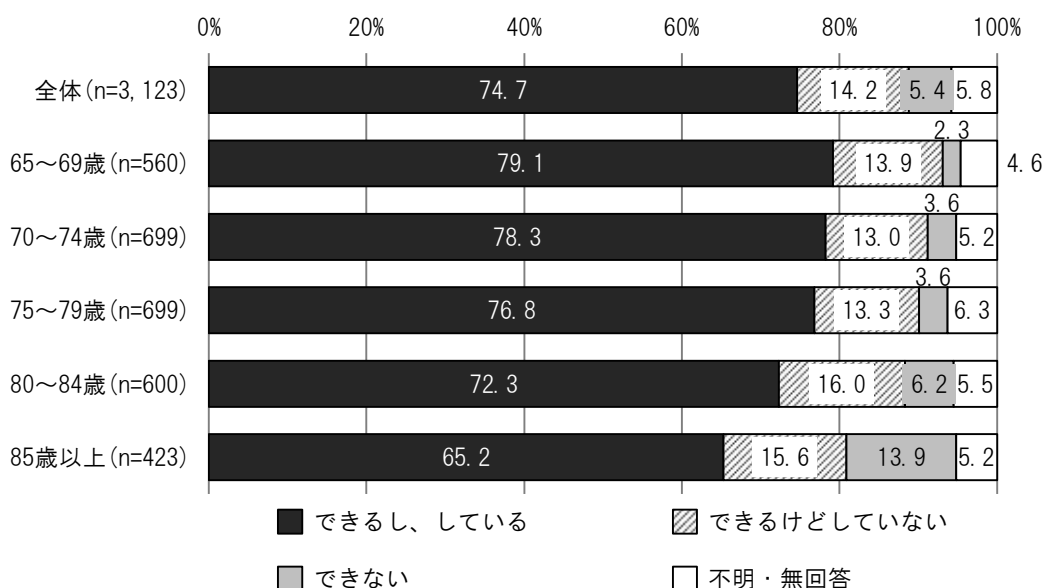
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 35 自分でゴミの分別を行い、忘れずにゴミステーションへ出していますか。(〇は1つ)
× 年齢別

自分でゴミの分別を行い、忘れずにゴミステーションへ出しているかについてみると、「できるし、している」が74.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が5.4%となっています。

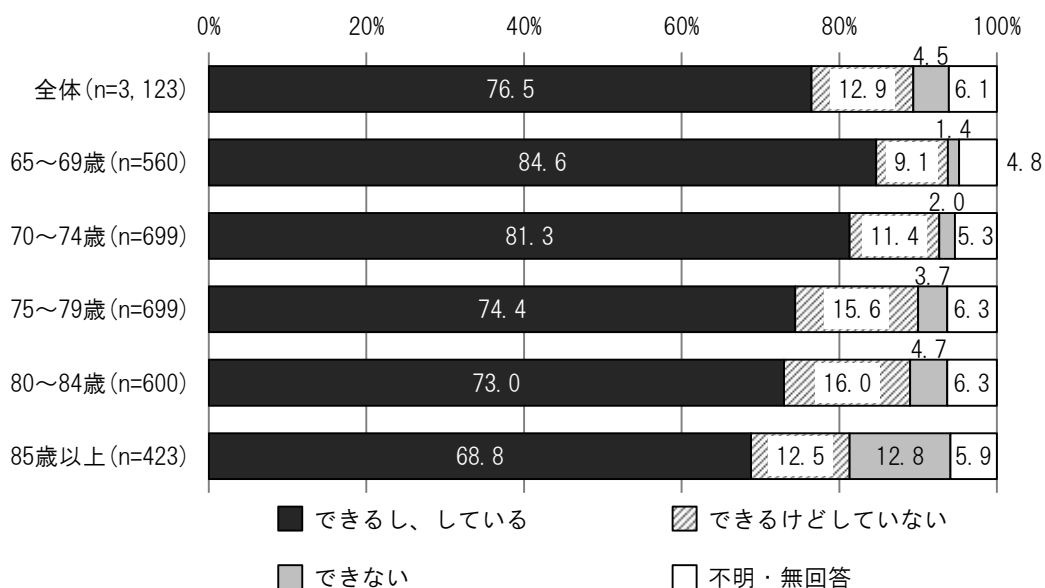
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 36 自分で請求書の支払いをしていますか。(〇は1つ) × 年齢別

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、「できるし、している」が76.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.9%、「できない」が4.5%となっています。

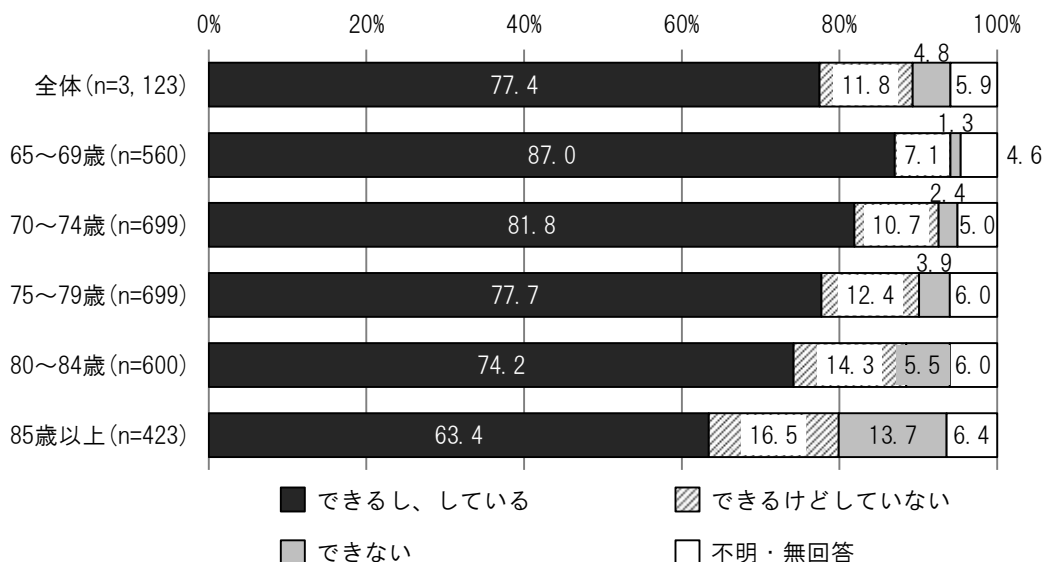
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 37 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ) × 年齢別

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、「できるし、している」が77.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が4.8%となっています。

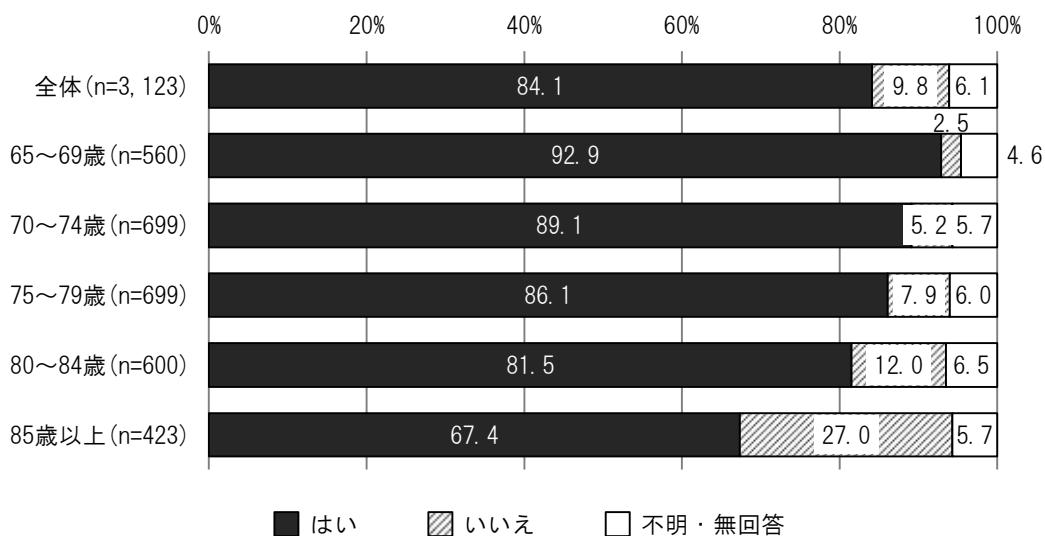
年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も高くなっていますが、その割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 38 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(○は1つ) × 年齢別

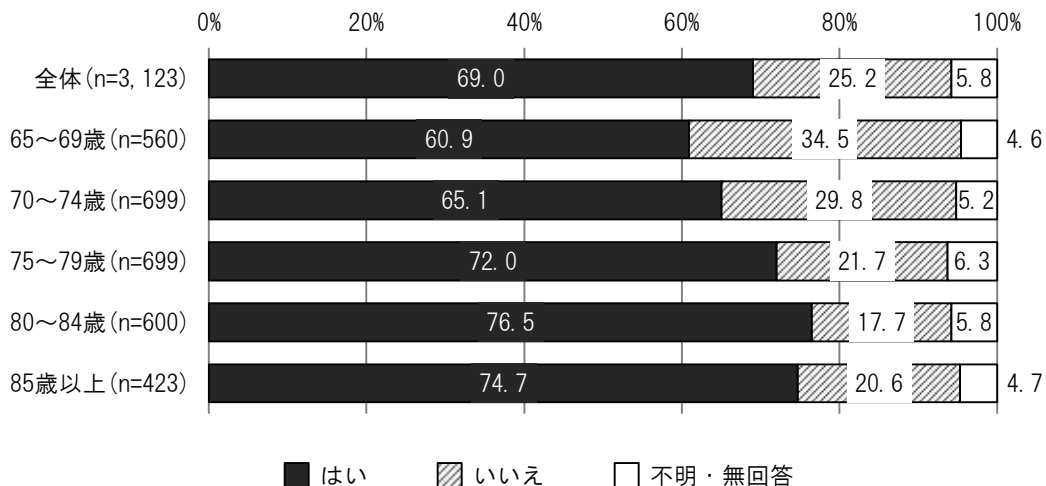
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについてみると、「はい」が84.1%、「いいえ」が9.8%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「はい」が「いいえ」を上回っていますが、「はい」の割合は年齢が上がるほど低くなっています。



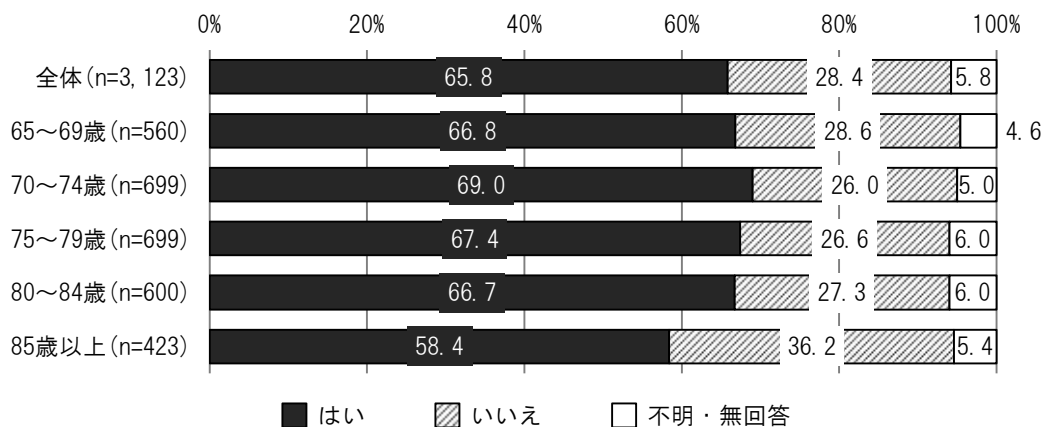
問 39 新聞を読んでいますか。(○は1つ) × 年齢別

新聞を読んでいるかについてみると、「はい」が69.0%、「いいえ」が25.2%となっています。
 年齢別にみると、すべての区分で「はい」が「いいえ」を上回っており、特に〈75～79歳〉以上では「はい」が7割を超えています。



問 40 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ) × 年齢別

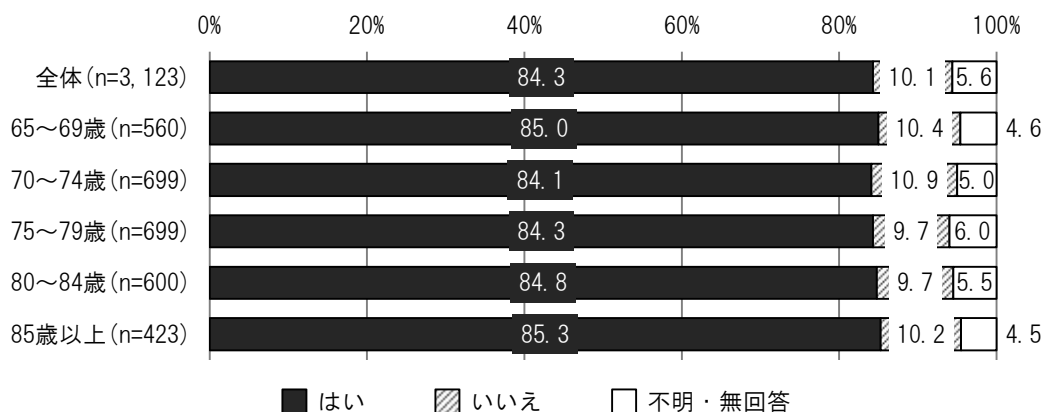
本や雑誌を読んでいるかについてみると、「はい」が65.8%、「いいえ」が28.4%となっています。
 年齢別にみると、すべての区分で「はい」が「いいえ」を上回っていますが、〈85歳以上〉では「はい」が58.4%と他の区分に比べて低くなっています。



問 41 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ) × 年齢別

健康についての記事や番組に関心があるかについてみると、「はい」が84.3%、「いいえ」が10.1%となっています。

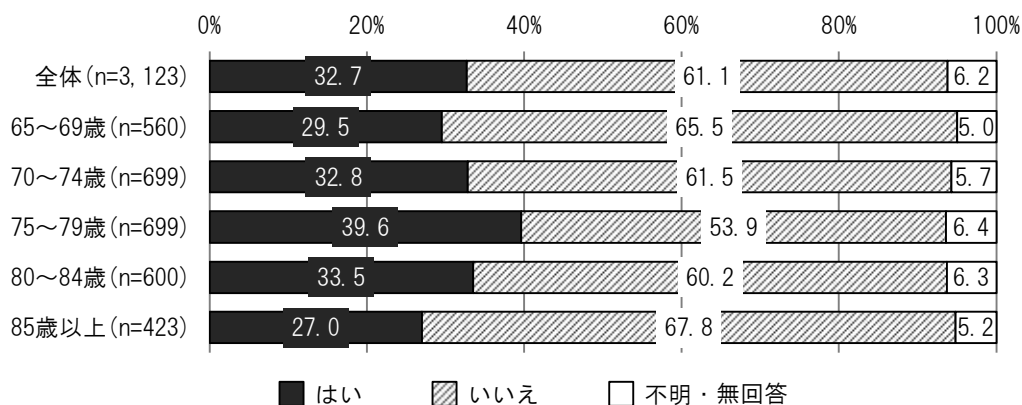
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が8割を超えています。



問 42 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ) × 年齢別

友人の家を訪ねているかについてみると、「はい」が32.7%、「いいえ」が61.1%となっています。

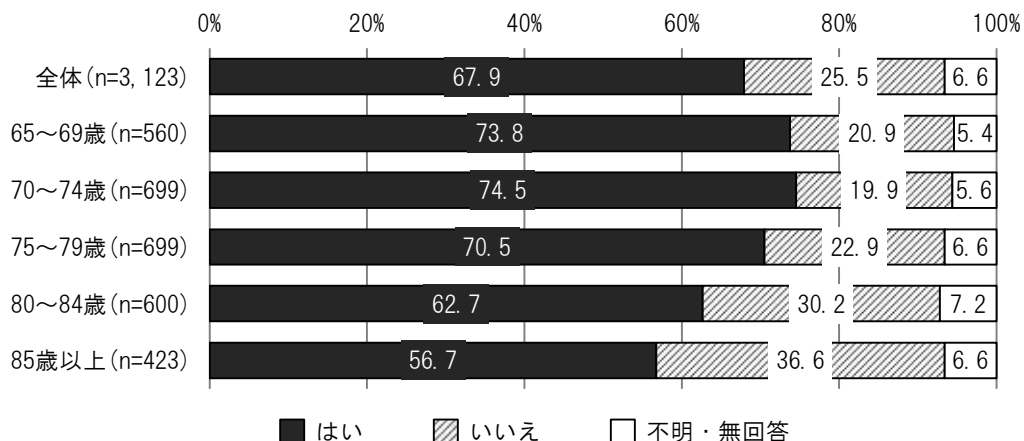
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っており、〈75～79歳〉を除くすべての区分で「いいえ」が6割を超えています。



問 43 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ) × 年齢別

家族や友人の相談にのっているかについてみると、「はい」が67.9%、「いいえ」が25.5%となっています。

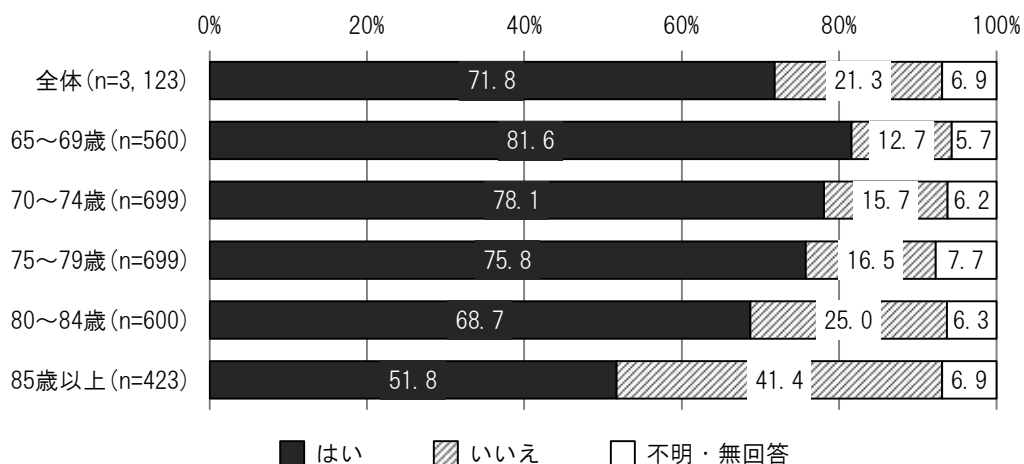
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が「いいえ」を上回っていますが、「はい」の割合は概ね年齢が上がるほど低くなっています。



問 44 病人を見舞うことができますか。(○は1つ) × 年齢別

病人を見舞うことができるかについてみると、「はい」が71.8%、「いいえ」が21.3%となっています。

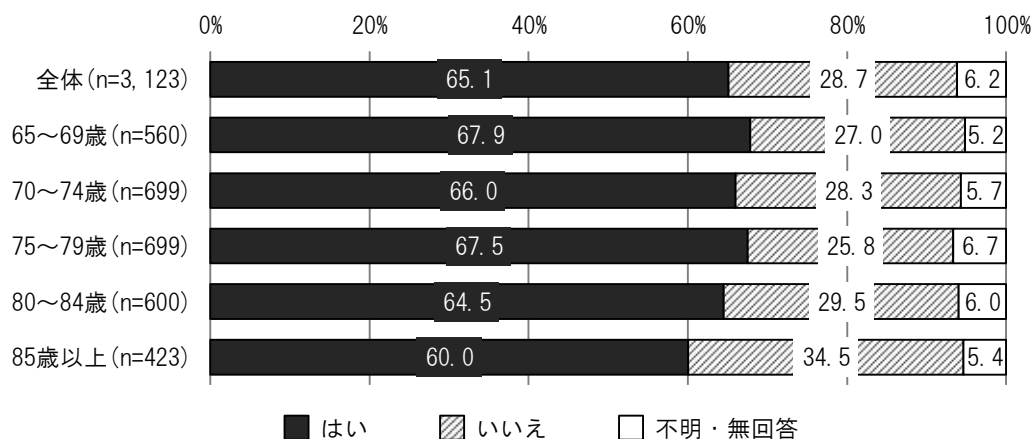
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が「いいえ」を上回っていますが、「はい」の割合は年齢が上がるほど低くなっています。



問 45 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ) × 年齢別

若い人に自分から話しかけることがあるかについてみると、「はい」が65.1%、「いいえ」が28.7%となっています。

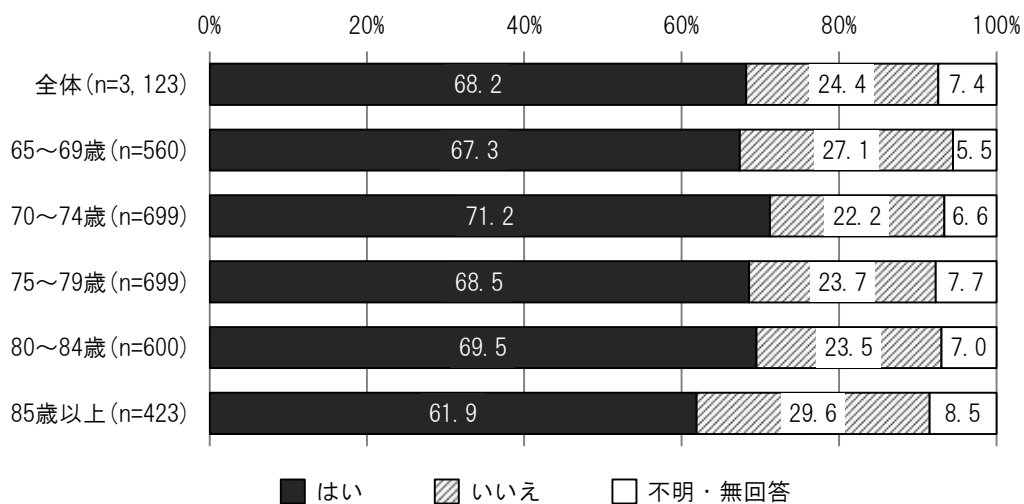
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が「いいえ」を上回っていますが、「はい」の割合は概ね年齢が上がるほど低くなっています。



問 46 趣味はありますか。(○は1つ) × 年齢別

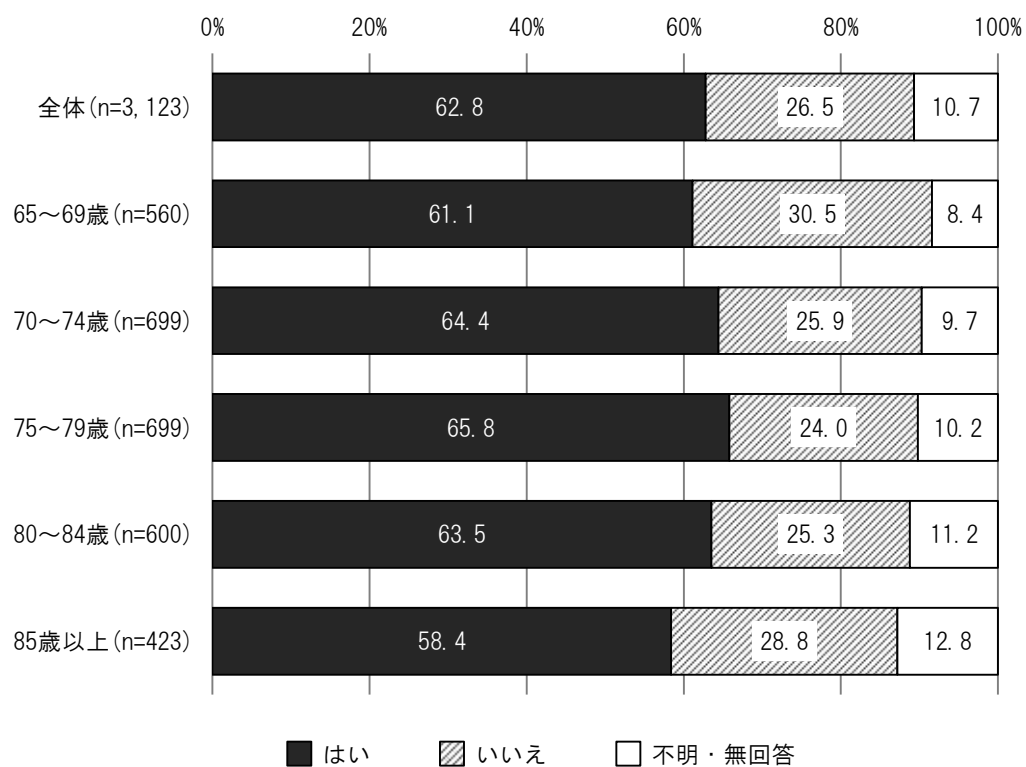
趣味はあるかについてみると、「はい」が68.2%、「いいえ」が24.4%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「はい」が6割を超えています。



問 47 生きがいがありますか。(○は1つ) × 年齢別

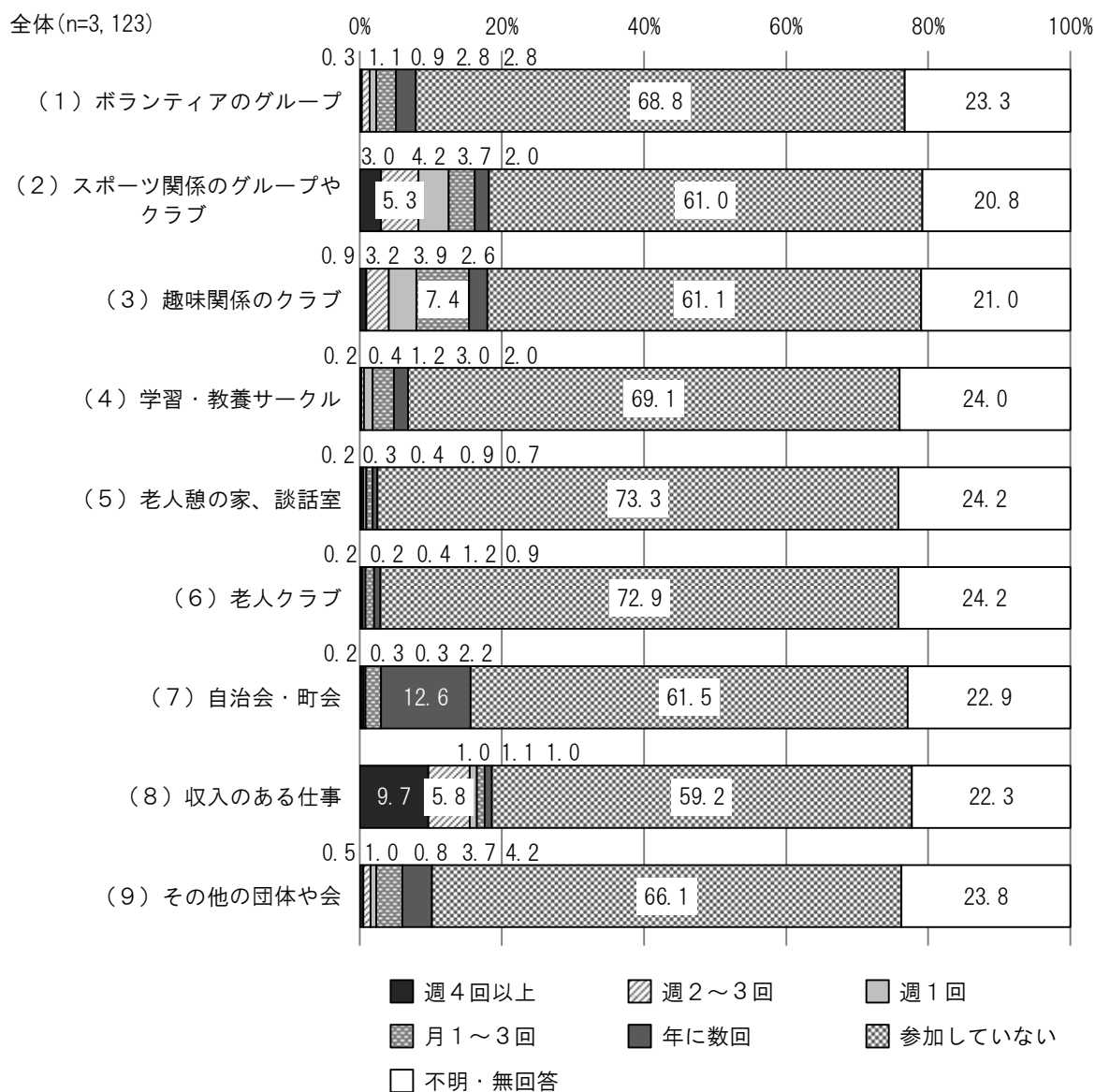
生きがいがあるかについてみると、「はい」が62.8%、「いいえ」が26.5%となっています。
年齢別にみると、〈85歳以上〉を除くすべての区分で「はい」が6割を超えています。



●地域での活動について

問 48 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(各項目で○は1つ)

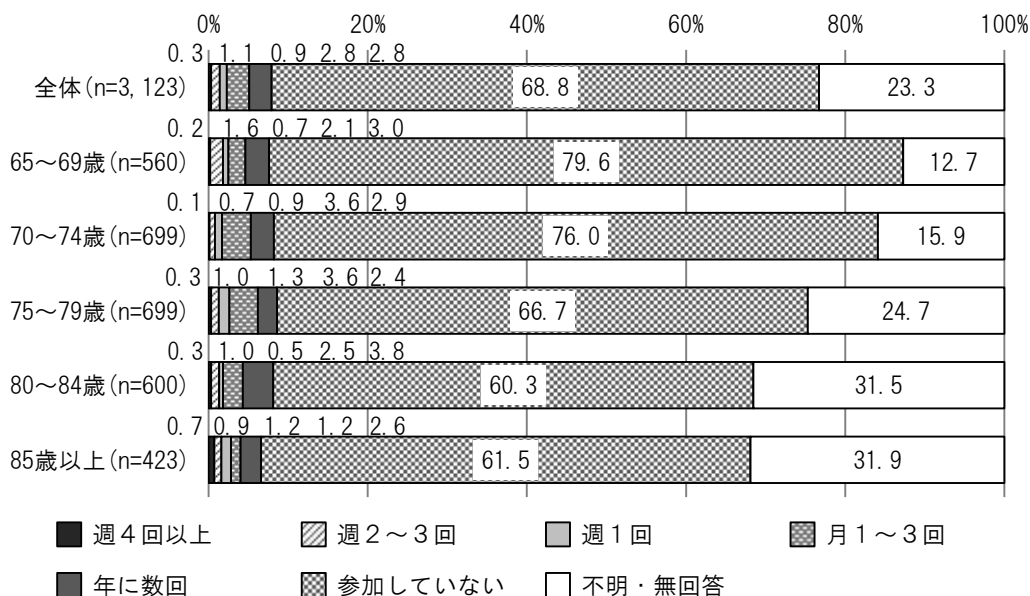
会・グループ等への参加頻度についてみると、いずれの会・グループも「参加していない」が最も高く、次いで〔(1) ボランティアのグループ〕では「月1～3回」「年に数回」、〔(2) スポーツ関係のグループやクラブ〕では「週2～3回」、〔(7) 自治会・町会〕〔(9) その他の団体や会〕では「年に数回」、〔(8) 収入のある仕事〕では「週4回以上」、その他の会・グループでは「月1～3回」となっています。



(1) ボランティアのグループ × 年齢別

全体では、「参加していない」が68.8%と最も高く、次いで「月1～3回」「年に数回」が2.8%となっています。

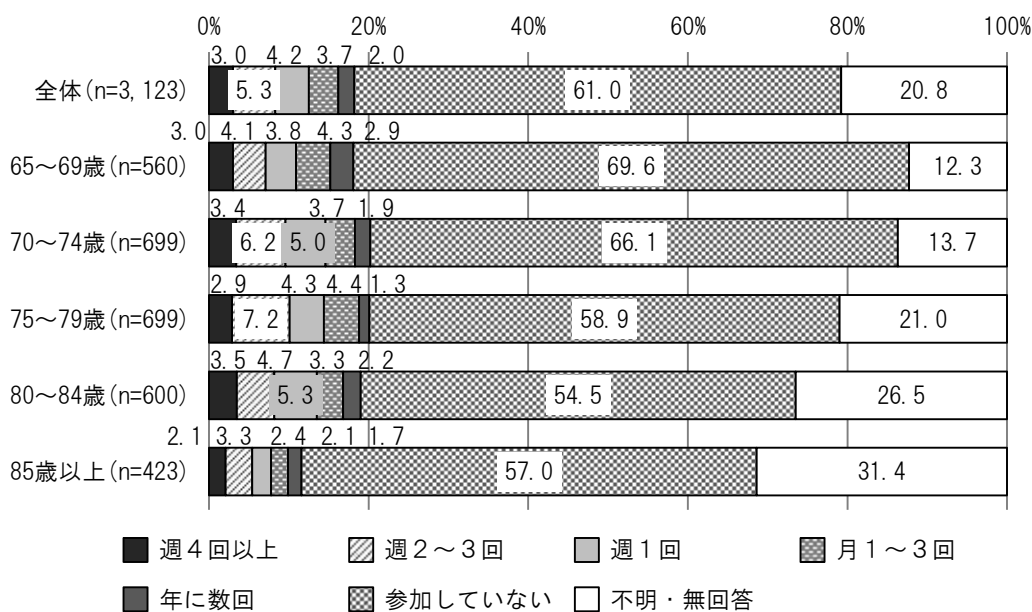
年齢別にみると、(年に数回以上)『参加している』は〈65～69歳〉で7.6%、〈70～74歳〉で8.2%、〈75～79歳〉で8.6%、〈80～84歳〉で8.1%、〈85歳以上〉で6.6%となっています。



(2) スポーツ関係のグループやクラブ × 年齢別

全体では、「参加していない」が61.0%と最も高く、次いで「週2～3回」が5.3%、「週1回」が4.2%となっています。

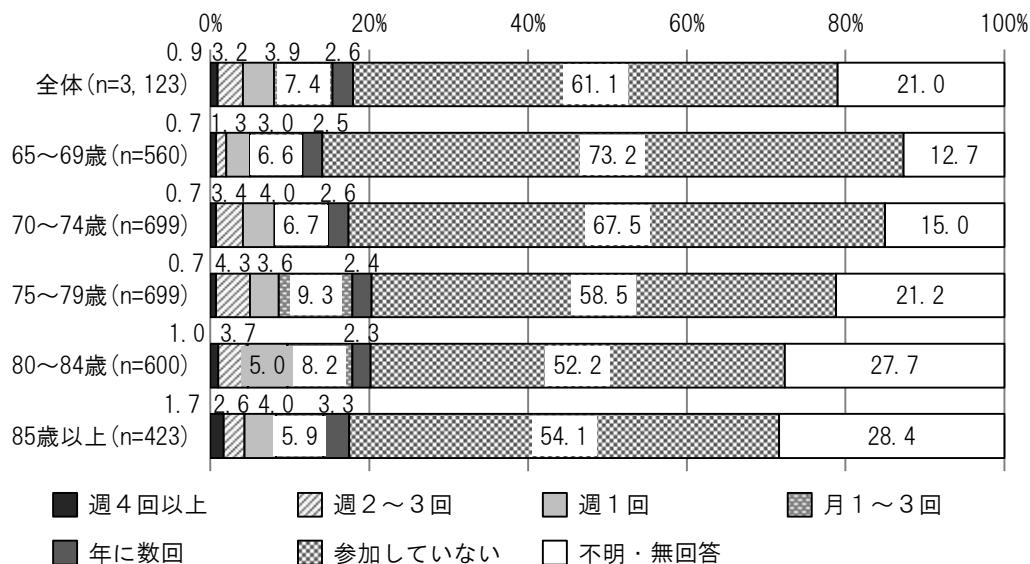
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で18.1%、〈70～74歳〉で20.2%、〈75～79歳〉で20.1%、〈80～84歳〉で19.0%、〈85歳以上〉で11.6%となっています。



(3) 趣味関係のクラブ × 年齢別

全体では、「参加していない」が61.1%と最も高く、次いで「月1～3回」が7.4%、「週1回」が3.9%となっています。

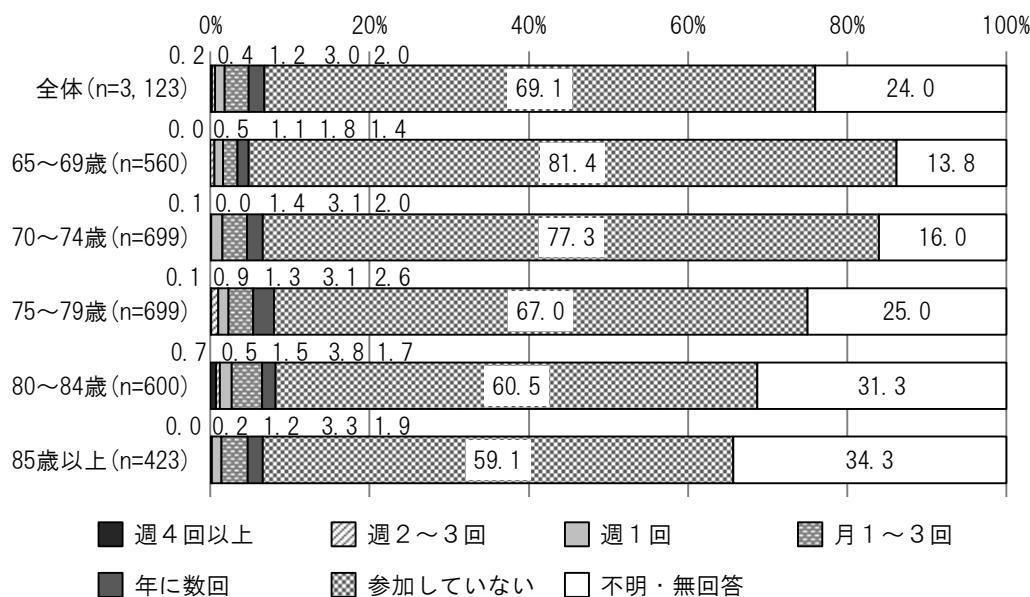
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で14.1%、〈70～74歳〉で17.4%、〈75～79歳〉で20.3%、〈80～84歳〉で20.2%、〈85歳以上〉で17.5%となっています。



(4) 学習・教養サークル × 年齢別

全体では、「参加していない」が69.1%と最も高く、次いで「月1～3回」が3.0%、「年に数回」が2.0%となっています。

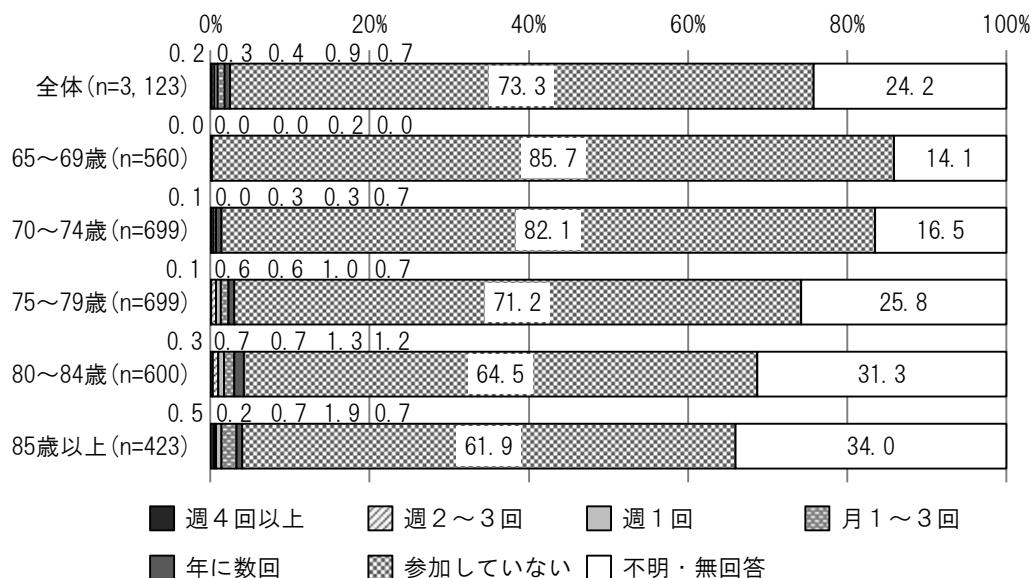
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で4.8%、〈70～74歳〉で6.6%、〈75～79歳〉で8.0%、〈80～84歳〉で8.2%、〈85歳以上〉で6.6%となっています。



(5) 老人憩の家、談話室 × 年齢別

全体では、「参加していない」が73.3%と最も高く、次いで「月1～3回」が0.9%、「年に数回」が0.7%となっています。

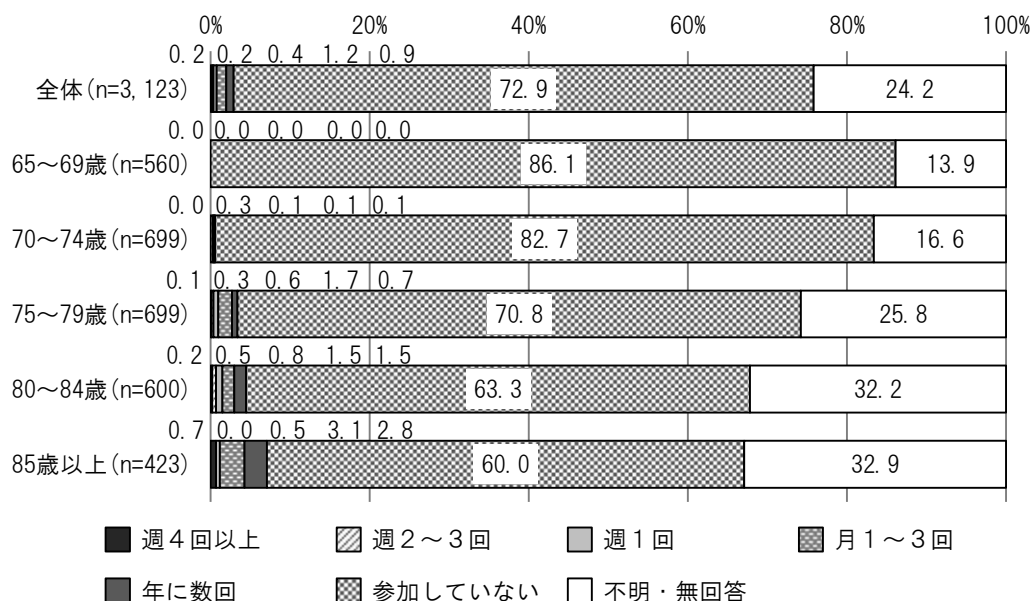
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で0.2%、〈70～74歳〉で1.4%、〈75～79歳〉で3.0%、〈80～84歳〉で4.2%、〈85歳以上〉で4.0%となっています。



(6) 老人クラブ × 年齢別

全体では、「参加していない」が72.9%と最も高く、次いで「月1～3回」が1.2%、「年に数回」が0.9%となっています。

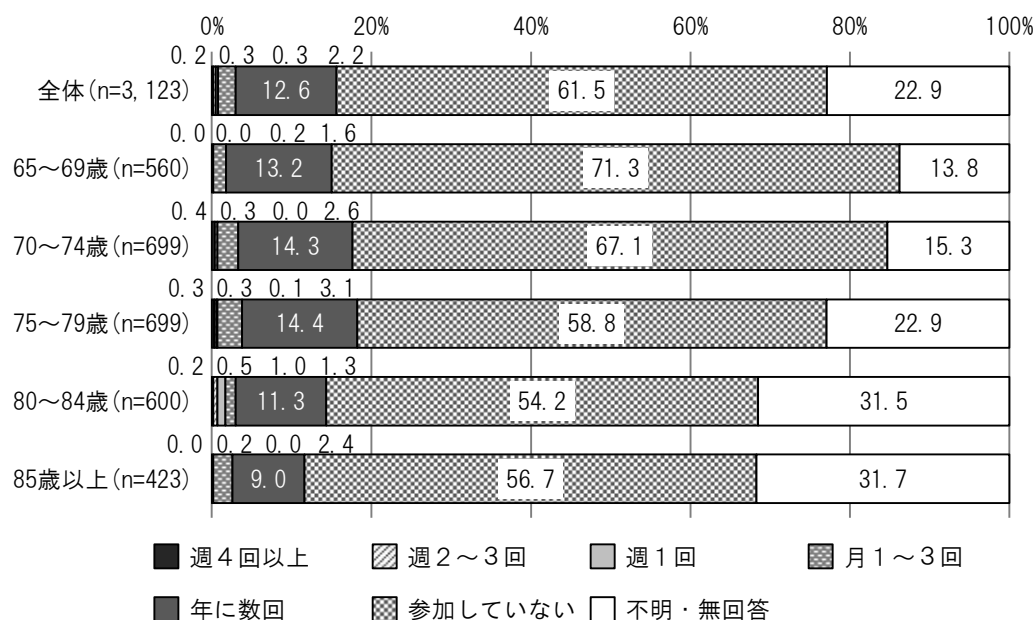
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で0.0%、〈70～74歳〉で0.6%、〈75～79歳〉で3.4%、〈80～84歳〉で4.5%、〈85歳以上〉で7.1%となっています。



(7) 自治会・町会 × 年齢別

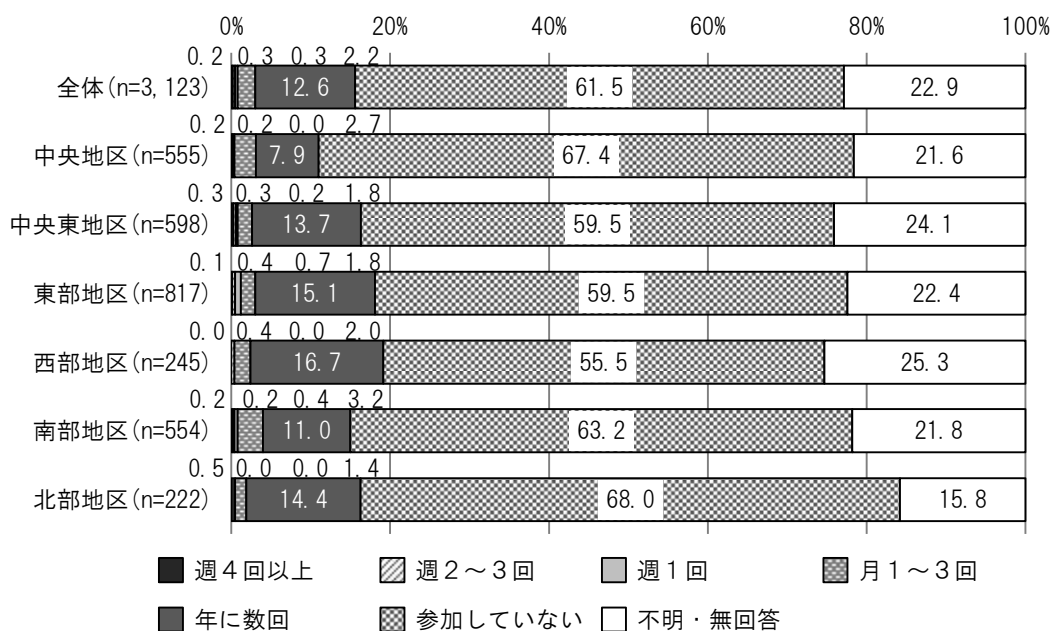
全体では、「参加していない」が61.5%と最も高く、次いで「年に数回」が12.6%、「月1～3回」が2.2%となっています。

年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で15.0%、〈70～74歳〉で17.6%、〈75～79歳〉で18.2%、〈80～84歳〉で14.3%、〈85歳以上〉で11.6%となっています。



(7) 自治会・町会 × 地区別

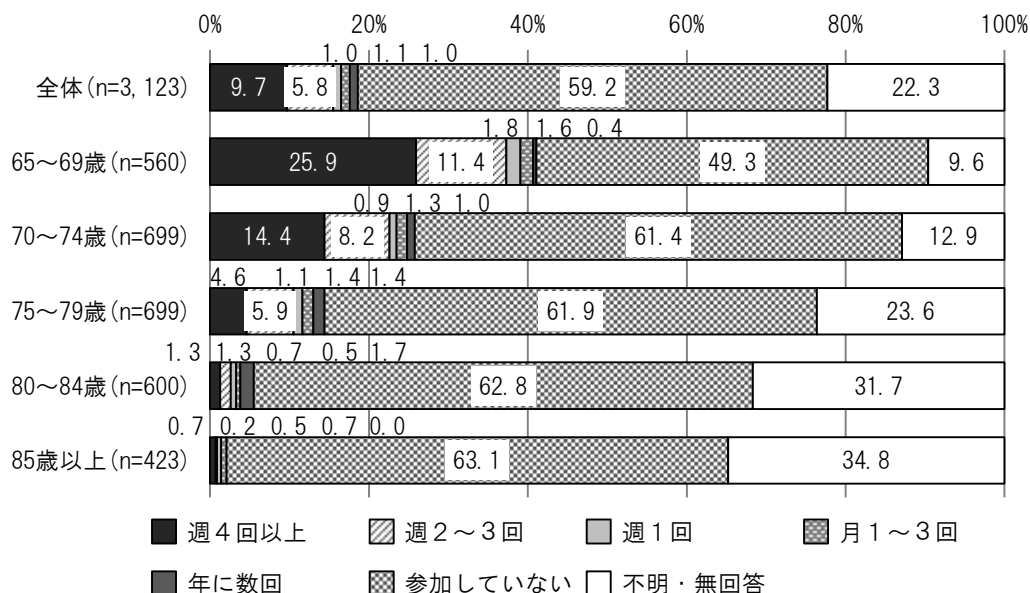
地区別にみると、『参加している』は〈中央地区〉で11.0%、〈中央東地区〉で16.3%、〈東部地区〉で18.1%、〈西部地区〉で19.1%、〈南部地区〉で15.0%、〈北部地区〉で16.3%となっています。



(8) 収入のある仕事 × 年齢別

全体では、「参加していない」が59.2%と最も高く、次いで「週4回以上」が9.7%、「週2～3回」が5.8%となっています。

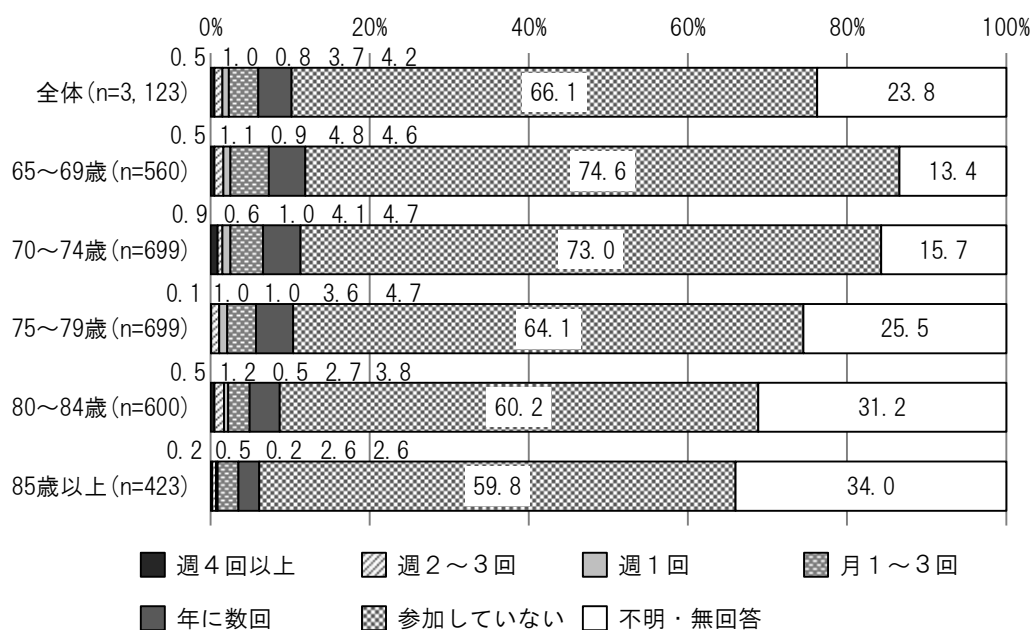
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で41.1%、〈70～74歳〉で25.8%、〈75～79歳〉で14.4%、〈80～84歳〉で5.5%、〈85歳以上〉で2.1%となっています。



(9) その他の団体や会 × 年齢別

全体では、「参加していない」が66.1%と最も高く、次いで「年に数回」が4.2%、「月1～3回」が3.7%となっています。

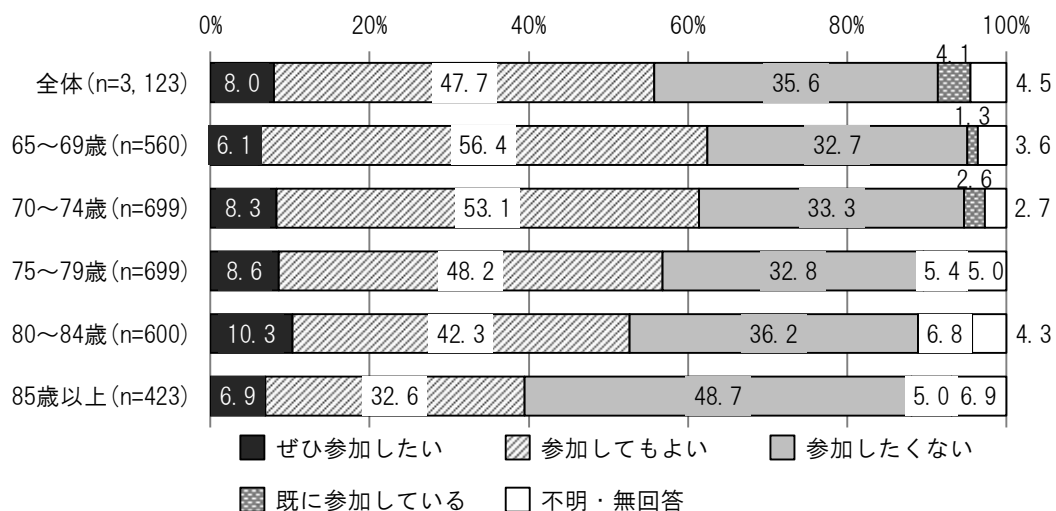
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で11.9%、〈70～74歳〉で11.3%、〈75～79歳〉で10.4%、〈80～84歳〉で8.7%、〈85歳以上〉で6.1%となっています。



問 49 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ) × 年齢別

地域づくり活動への参加者としての参加意向についてみると、「参加してもよい」が47.7%と最も高く、次いで「参加したくない」が35.6%、「ぜひ参加したい」が8.0%となっています。

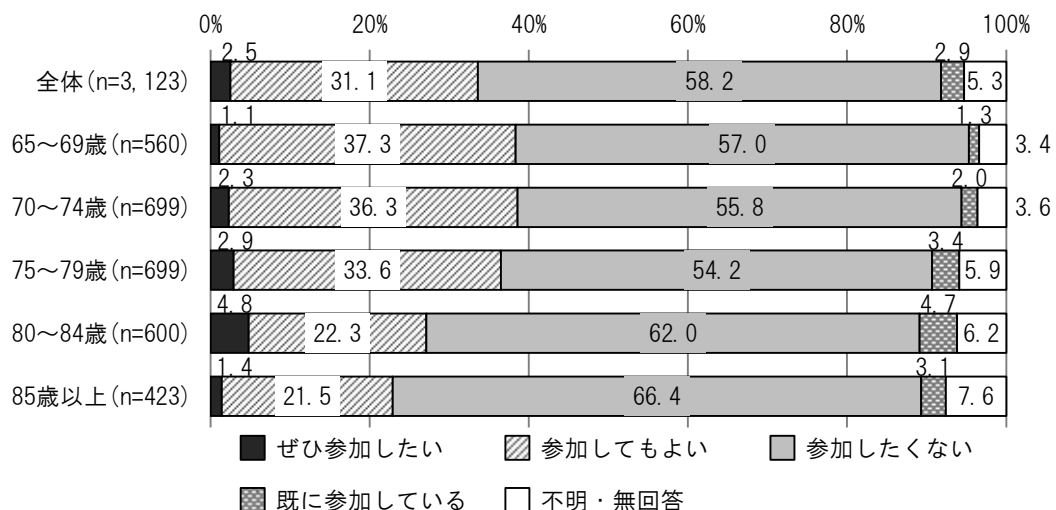
年齢別にみると、〈85歳以上〉では「参加したくない」、それ以外の区分では「参加してもよい」が最も高くなっています。『参加の意思あり(「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の計)』の割合は、年齢が上がるほど低くなっています。



問 50 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ) × 年齢別

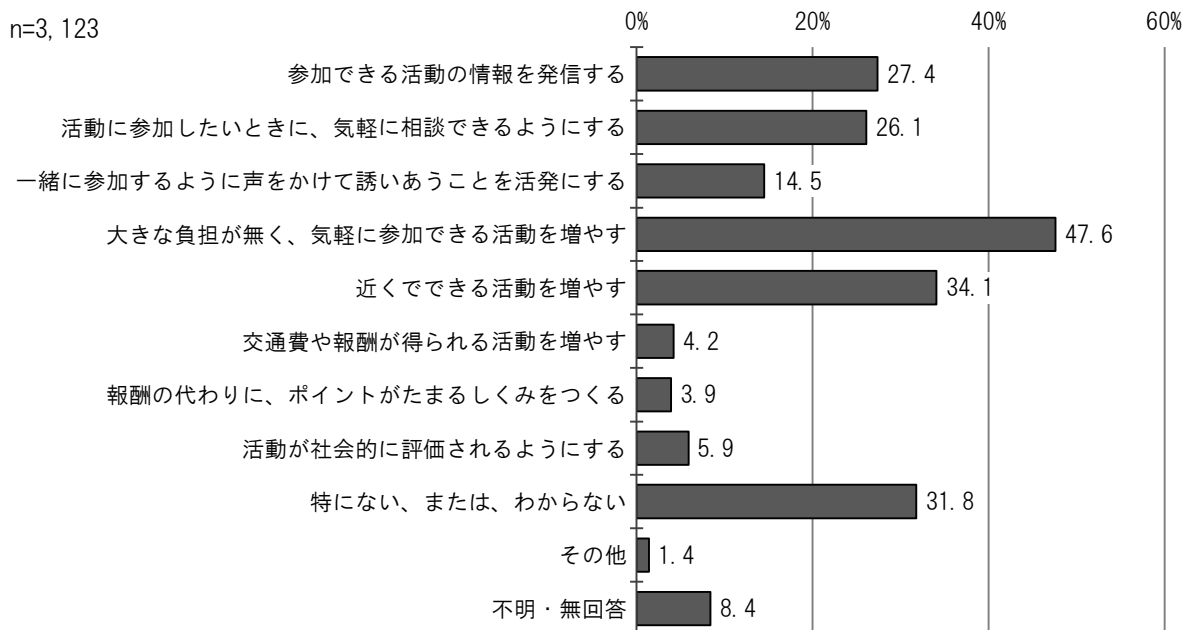
地域づくり活動への企画・運営(お世話役)としての参加意向についてみると、「参加したくない」が58.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」が31.1%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「参加したくない」が最も高くなっています。『参加の意思あり』の割合は、概ね年齢が上がるほど低くなっています。



問 51 あなたや周りの人がより地域活動に参加していけるような地域づくりに向けて、どのような取り組みを優先的に進めるのがよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

自身や周りの人がより地域活動に参加していけるような地域づくりに向けて、優先的に進めるのがよいと思う取り組みについてみると、「大きな負担が無く、気軽に参加できる活動を増やす」が47.6%と最も高く、次いで「近くでできる活動を増やす」が34.1%、「特にない、または、わからない」が31.8%となっています。



問 51 あなたや周りの人がより地域活動に参加していけるような地域づくりに向けて、どのような取り組みを優先的に進めるのがよいと思いますか。× 年齢別

年齢別にみると、〈85歳以上〉では「特にない、または、わからない」が最も高く、次いで「大きな負担が無く、気軽に参加できる活動を増やす」となっています。〈80～84歳〉以下では「大きな負担が無く、気軽に参加できる活動を増やす」が最も高く、次いで〈65～69歳〉では「参加できる活動の情報を発信する」、〈70～74歳〉〈75～79歳〉では「近くでできる活動を増やす」、〈80～84歳〉では「特にない、または、わからない」となっています。

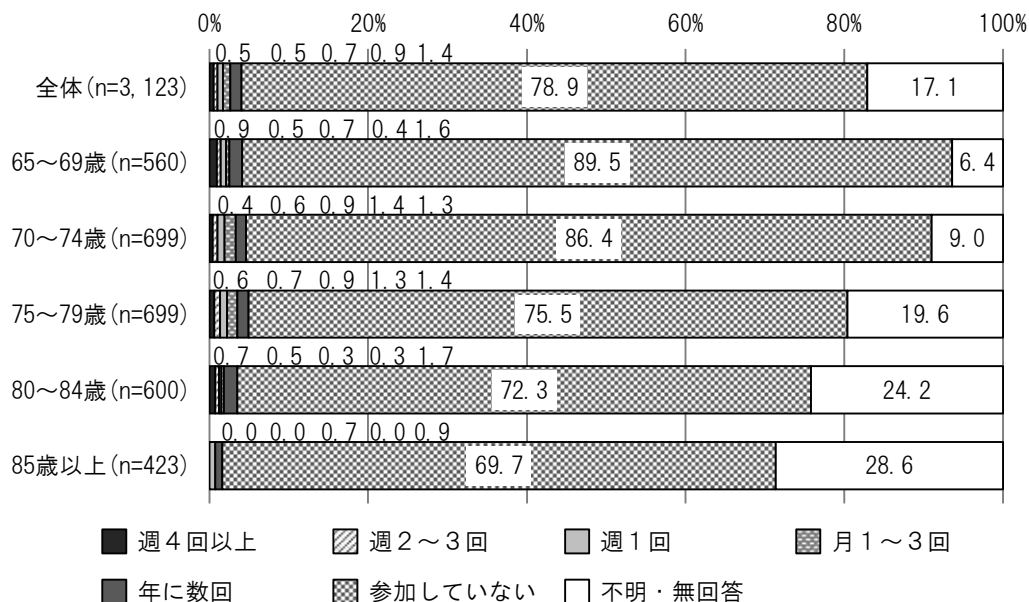
単位：%		参加できる活動の情報を発信する	活動に参加したいときに、気軽に相談できるようにする	一緒に参加するように声をかけて誘いあうことを活発にする	大きな負担が無く、気軽に参加できる活動を増やす	近くでできる活動を増やす	交通費や報酬が得られる活動を増やす	報酬の代わりに、ポイントがたまるしくみをつくる
全体(n=3,123)		27.4	26.1	14.5	47.6	34.1	4.2	3.9
年齢別	65～69歳(n=560)	40.7	30.9	12.5	58.4	37.5	9.1	6.1
	70～74歳(n=699)	33.6	27.8	15.7	56.2	39.3	4.7	4.3
	75～79歳(n=699)	24.0	24.9	16.2	45.9	35.9	2.9	4.3
	80～84歳(n=600)	22.2	25.0	14.8	42.2	31.3	2.5	3.0
	85歳以上(n=423)	14.2	19.9	13.7	30.3	23.9	0.9	1.7
単位：%		活動が社会的に評価されるようにする	特にない、または、わからない	その他	不明・無回答			
全体(n=3,123)		5.9	31.8	1.4	8.4			
年齢別	65～69歳(n=560)	9.3	25.4	0.9	4.8			
	70～74歳(n=699)	5.3	27.5	1.1	5.7			
	75～79歳(n=699)	4.9	31.2	0.6	10.3			
	80～84歳(n=600)	4.8	34.7	2.7	8.3			
	85歳以上(n=423)	5.7	44.2	1.9	13.0			

問 52 以下のような社会参加活動をどのくらいの頻度でしていますか。(各項目で○は1つ)

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動 × 年齢別

見守りが必要な高齢者を支援する活動の参加頻度についてみると、「参加していない」が78.9%と最も高く、次いで「年に数回」が1.4%、「月1～3回」が0.9%となっています。

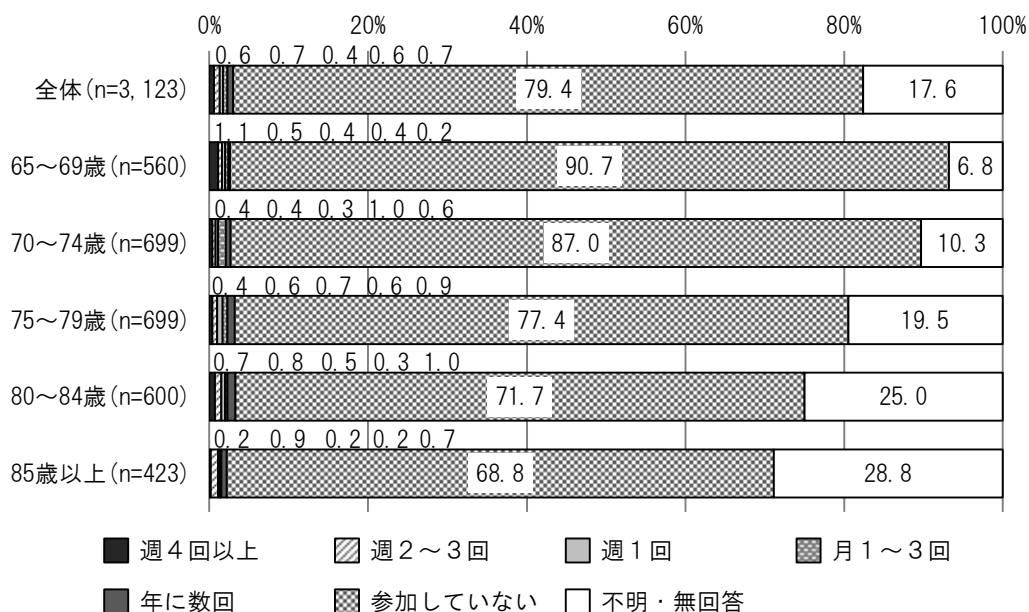
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で4.1%、〈70～74歳〉で4.6%、〈75～79歳〉で4.9%、〈80～84歳〉で3.5%、〈85歳以上〉で1.6%となっています。



(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動 × 年齢別

介護が必要な高齢者を支援する活動の参加頻度についてみると、「参加していない」が79.4%と最も高く、次いで「週2～3回」「年に数回」が0.7%となっています。

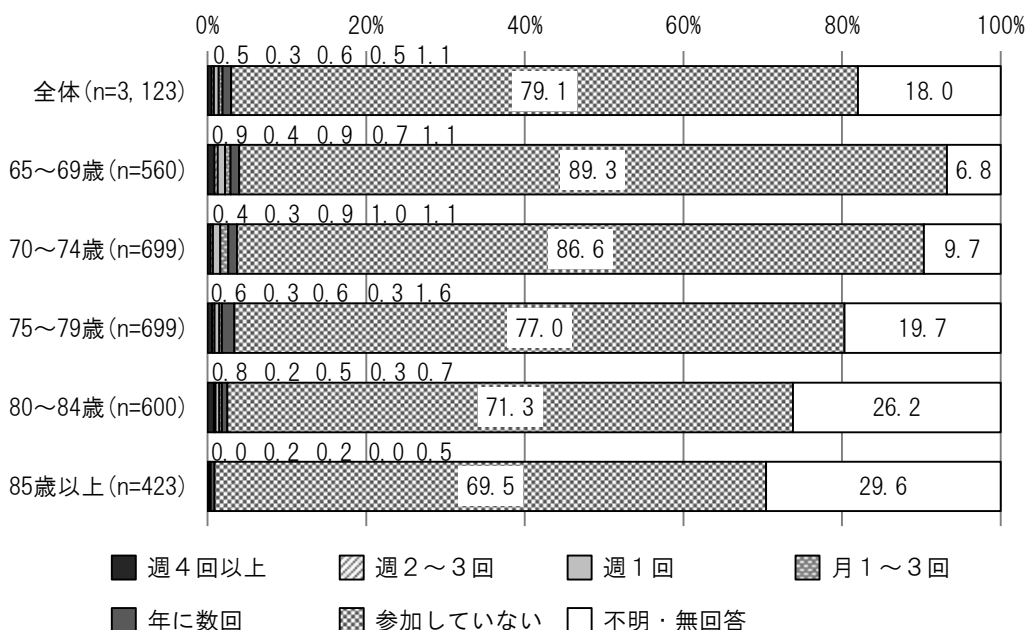
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で2.6%、〈70～74歳〉で2.7%、〈75～79歳〉で3.2%、〈80～84歳〉で3.3%、〈85歳以上〉で2.2%となっています。



(3) 子どもを育てている親を支援する活動 × 年齢別

子どもを育てている親を支援する活動の参加頻度についてみると、「参加していない」が79.1%と最も高く、次いで「年に数回」が1.1%、「週1回」が0.6%となっています。

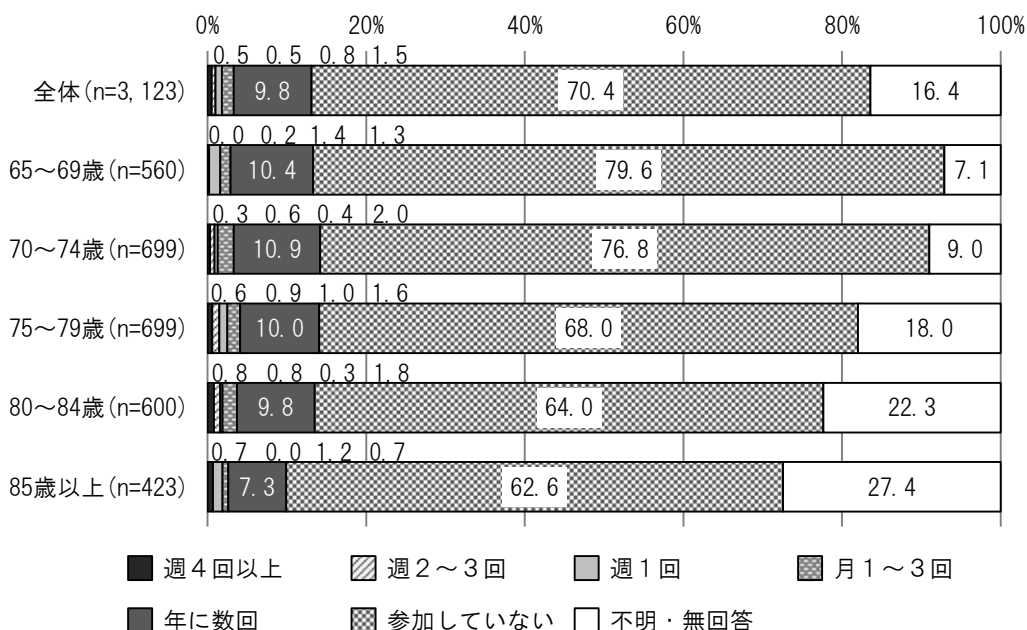
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で4.0%、〈70～74歳〉で3.7%、〈75～79歳〉で3.4%、〈80～84歳〉で2.5%、〈85歳以上〉で0.9%となっています。



(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動 × 年齢別

地域の生活環境の改善（美化）活動の参加頻度についてみると、「参加していない」が70.4%と最も高く、次いで「年に数回」が9.8%、「月1～3回」が1.5%となっています。

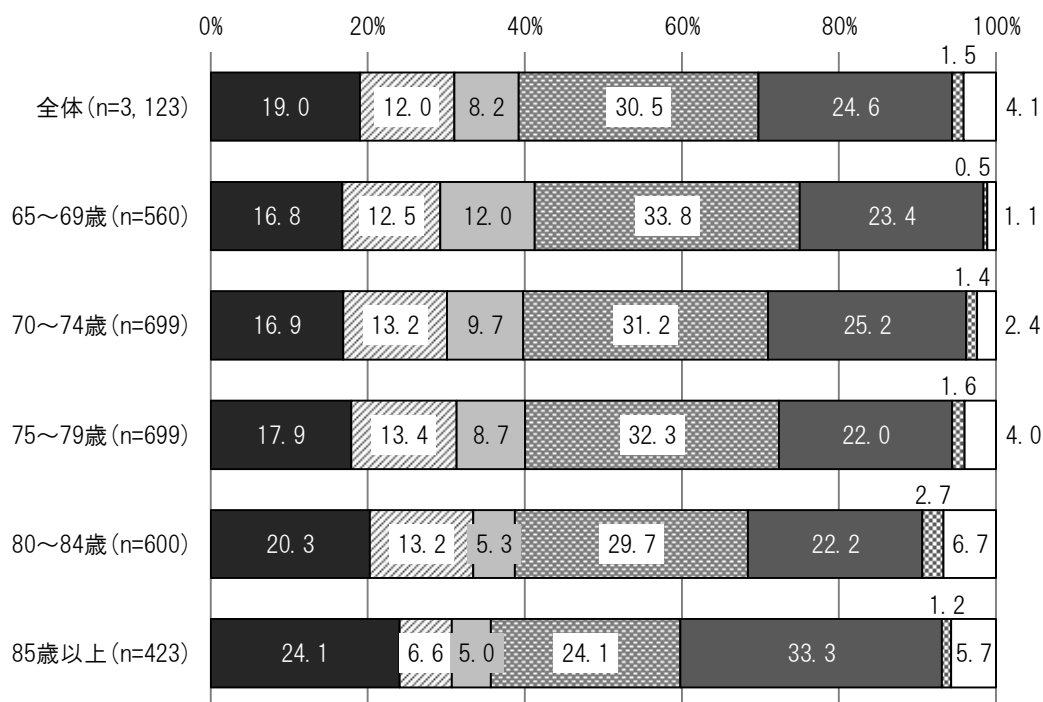
年齢別にみると、『参加している』は〈65～69歳〉で13.3%、〈70～74歳〉で14.2%、〈75～79歳〉で14.1%、〈80～84歳〉で13.5%、〈85歳以上〉で9.9%となっています。



問 53 新型コロナウイルス感染症の流行により、身体を動かして運動を行う頻度に影響はありましたか。(○は1つ) × 年齢別

新型コロナウイルス感染症の流行により、身体を動かして運動を行う頻度に影響はあったかについてみると、「特に影響はなかった」が 30.5%と最も高く、次いで「もともと運動を行っていなかった」が 24.6%、「最近も含めて、運動を行う頻度が少なくなっている」が 19.0%となっています。

年齢別にみると、〈85 歳以上〉では「もともと運動を行っていなかった」が最も高く、次いで「最近も含めて、運動を行う頻度が少なくなっている」「特に影響はなかった」となっています。それ以外の区分では「特に影響はなかった」が最も高く、次いで「もともと運動を行っていなかった」となっています。



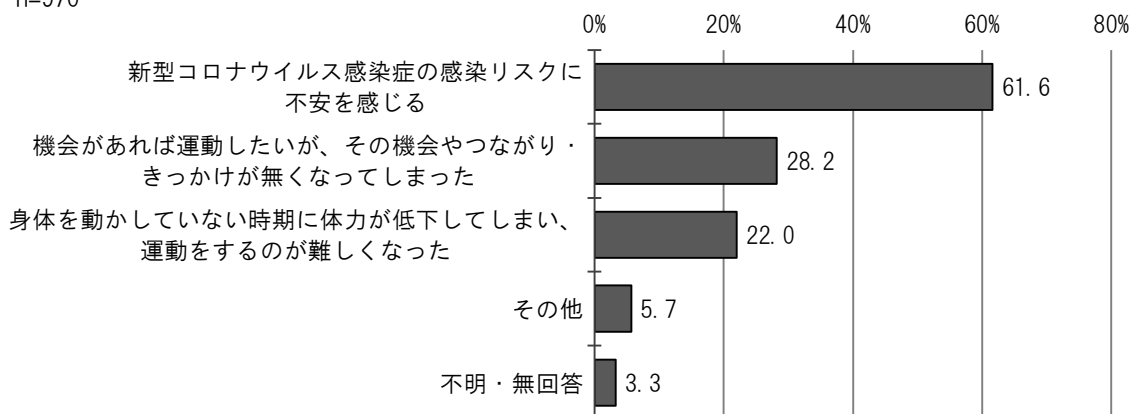
- 最近も含めて、運動を行う頻度が少なくなっている
- ▨ 感染拡大期は運動を行う頻度が少なくなっており、最近は頻度が戻ってきているが、流行前の水準には達していない
- ▩ 感染拡大期は運動を行う頻度が少なくなっていたが、最近は頻度が戻ってきており、流行前と同等かそれ以上に運動を行っている
- ▤ 特に影響はなかった
- もともと運動を行っていなかった
- ▤ その他
- 不明・無回答

問 53 で「最近も含めて、運動を行う頻度が少なくなっている」「感染拡大期は運動を行う頻度が少なくなっており、最近頻度が戻ってきているが、流行前の水準には達していない」と回答した方

問 53-1 身体を動かす頻度が少なくなっている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

身体を動かす頻度が少なくなっている理由についてみると、「新型コロナウイルス感染症の感染リスクに不安を感じる」が61.6%と最も高く、次いで「機会があれば運動したいが、その機会やつながり・きっかけが無くなってしまった」が28.2%、「身体を動かしていない時期に体力が低下してしまい、運動をするのが難しくなった」が22.0%となっています。

n=970



問 53-1 身体を動かす頻度が少なくなっている理由は何ですか。× 年齢別

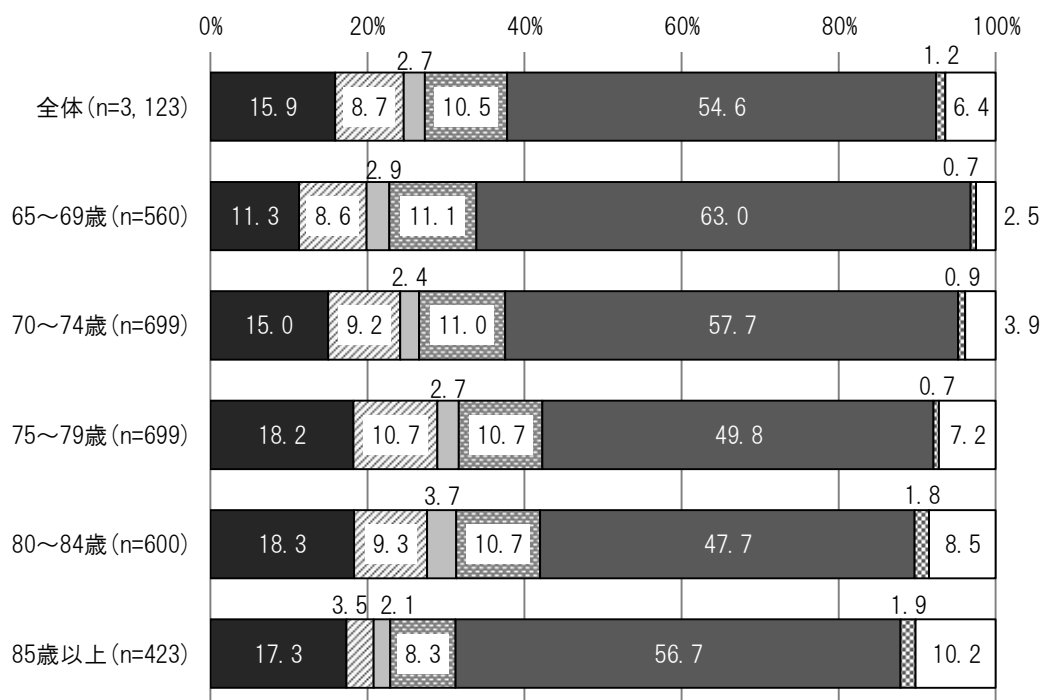
年齢別にみると、すべての区分で「新型コロナウイルス感染症の感染リスクに不安を感じる」が最も高く、特に〈65～69歳〉〈70～74歳〉では6割を超えています。また、〈85歳以上〉では「身体を動かしていない時期に体力が低下してしまい、運動をするのが難しくなった」が36.9%と他の区分に比べて高くなっています。

単位：%		新型コロナウイルス感染症の感染リスクに不安を感じる	機会があれば運動したいが、その機会やつながり・きっかけが無くなってしまった	身体を動かしていない時期に体力が低下してしまい、運動をするのが難しくなった	その他	不明・無回答
全体(n=970)		61.6	28.2	22.0	5.7	3.3
年齢別	65～69歳(n=164)	65.2	25.6	11.6	12.2	2.4
	70～74歳(n=210)	69.5	33.3	15.2	2.4	1.4
	75～79歳(n=219)	57.1	33.8	21.0	4.6	5.0
	80～84歳(n=201)	59.7	23.9	27.9	7.0	3.5
	85歳以上(n=130)	50.8	22.3	36.9	3.1	3.8

問 54 新型コロナウイルス感染症の流行により、地域活動を行う頻度に影響はありましたか。(〇は1つ) × 年齢別

新型コロナウイルス感染症の流行により、地域活動を行う頻度に影響はあったかについてみると、「もともと地域活動を行っていなかった」が54.6%と最も高く、次いで「最近も含めて、地域活動を行う頻度が少なくなっている」が15.9%、「特に影響はなかった」が10.5%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「もともと地域活動を行っていなかった」が最も高く、次いで「最近も含めて、地域活動を行う頻度が少なくなっている」となっています。

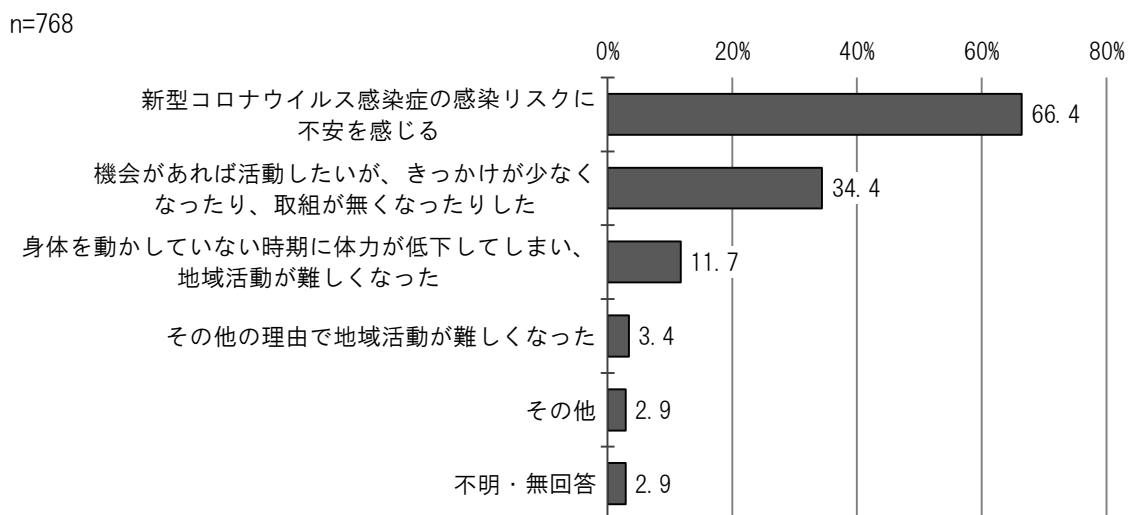


- 最近も含めて、地域活動を行う頻度が少なくなっている
- ▨ 感染拡大期は地域活動を行う頻度が少なくなっており、最近は頻度が戻ってきているが、流行前の水準には達していない
- 感染拡大期は地域活動を行う頻度が少なくなっていたが、最近は頻度が戻ってきており、流行前と同等かそれ以上に地域活動を行っている
- ▤ 特に影響はなかった
- もともと地域活動を行っていなかった
- ▩ その他
- 不明・無回答

問 54 で「最近も含めて、地域活動を行う頻度が少なくなっている」「感染拡大期は地域活動を行う頻度が少なくなっており、最近は頻度が戻ってきているが、流行前の水準には達していない」と回答した方

問 54-1 地域活動の頻度が少なくなっている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動の頻度が少なくなっている理由についてみると、「新型コロナウイルス感染症の感染リスクに不安を感じる」が66.4%と最も高く、次いで「機会があれば活動したいが、きっかけが少なくなったり、取組が無くなったりした」が34.4%、「身体を動かしていない時期に体力が低下してしまい、地域活動が難しくなった」が11.7%となっています。



問 54-1 地域活動の頻度が少なくなっている理由は何ですか。× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「新型コロナウイルス感染症の感染リスクに不安を感じる」が最も高く、次いで「機会があれば活動したいが、きっかけが少なくなったり、取組が無くなったりした」となっています。

単位：%	新型コロナウイルス感染症の感染リスクに不安を感じる	機会があれば活動したいが、きっかけが少なくなったり、取組が無くなったりした	身体を動かしていない時期に体力が低下してしまい、地域活動が難しくなった	その他の理由で地域活動が難しくなった	その他	不明・無回答
全体(n=768)	66.4	34.4	11.7	3.4	2.9	2.9
年齢別						
65～69歳(n=111)	70.3	36.9	4.5	1.8	3.6	0.9
70～74歳(n=169)	59.8	44.4	7.1	4.1	2.4	1.2
75～79歳(n=202)	66.3	35.1	9.4	3.0	3.0	4.5
80～84歳(n=166)	68.7	28.9	17.5	3.6	2.4	2.4
85歳以上(n=88)	69.3	21.6	19.3	5.7	4.5	4.5

●助け合いについて

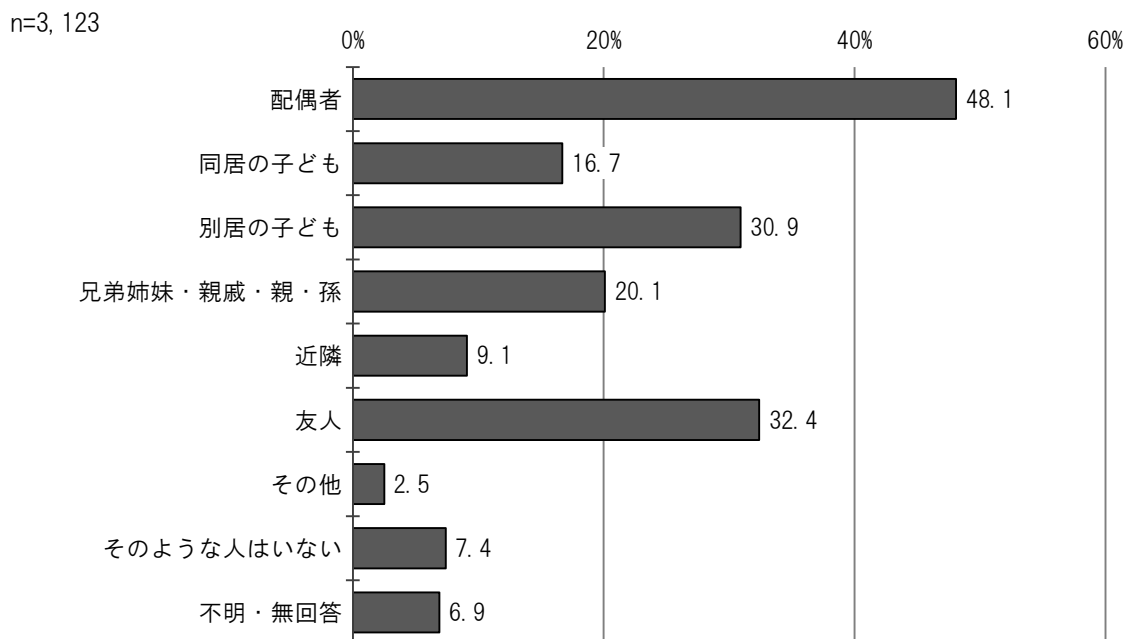
問 55 あなたとまわりの人の「助け合い」についてお伺いします。

各項目で、あてはまるものすべてに○をしてください。

(あてはまる人がいない場合は「そのような人はいない」に○をつけてください)

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が48.1%と最も高く、次いで「友人」が32.4%、「別居の子ども」が30.9%となっています。



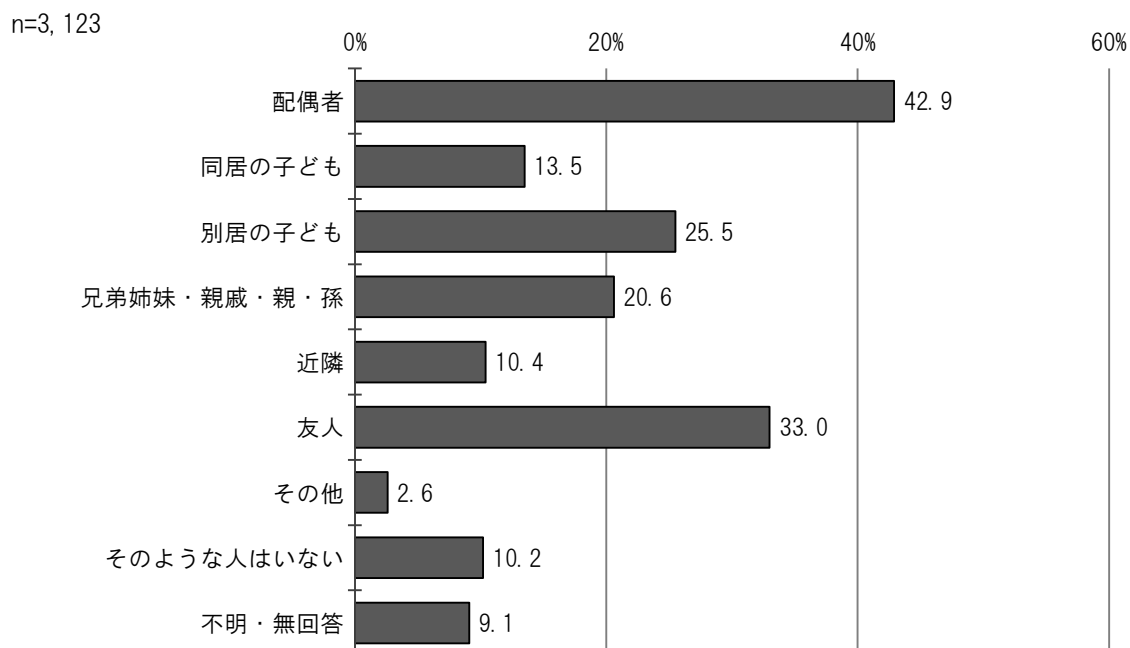
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 × 年齢別

年齢別にみると、〈85歳以上〉では「別居の子ども」が最も高く、次いで「配偶者」となっています。それ以外の区分では「配偶者」が最も高く、次いで「友人」となっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他
全体(n=3,123)		48.1	16.7	30.9	20.1	9.1	32.4	2.5
年齢別	65～69歳(n=560)	55.5	15.4	33.0	23.8	6.3	38.9	5.5
	70～74歳(n=699)	52.5	14.0	31.5	22.0	9.4	38.6	3.1
	75～79歳(n=699)	52.6	16.7	31.6	21.7	11.2	32.8	1.4
	80～84歳(n=600)	43.8	17.3	29.0	16.8	8.3	30.0	0.8
	85歳以上(n=423)	29.8	23.4	30.7	16.1	11.1	19.6	1.7
単位：%		そのような人はいない	不明・無回答					
全体(n=3,123)		7.4	6.9					
年齢別	65～69歳(n=560)	6.8	3.9					
	70～74歳(n=699)	8.7	5.0					
	75～79歳(n=699)	6.6	6.3					
	80～84歳(n=600)	7.8	7.7					
	85歳以上(n=423)	7.8	10.2					

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人についてみると、「配偶者」が42.9%と最も高く、次いで「友人」が33.0%、「別居の子ども」が25.5%となっています。



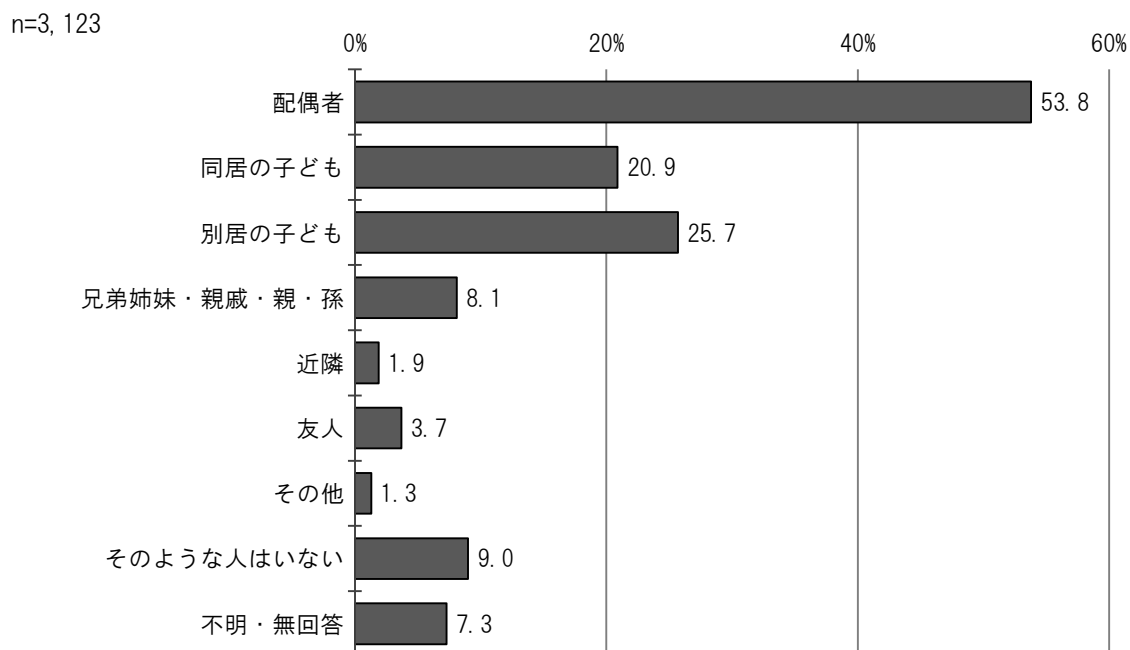
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 × 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「配偶者」が最も高く、次いで「友人」となっています。

単位：%	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	
全体(n=3,123)	42.9	13.5	25.5	20.6	10.4	33.0	2.6	
年齢別	65～69歳(n=560)	52.1	15.4	32.7	24.5	8.2	39.6	6.1
	70～74歳(n=699)	48.5	12.2	30.9	23.2	11.3	40.6	2.6
	75～79歳(n=699)	46.2	13.9	26.0	22.7	13.3	33.9	1.7
	80～84歳(n=600)	37.8	12.0	19.3	16.8	9.2	29.2	1.3
	85歳以上(n=423)	24.6	15.6	18.2	14.7	9.9	19.4	1.2
単位：%	そのような人はいない	不明・無回答						
全体(n=3,123)	10.2	9.1						
年齢別	65～69歳(n=560)	7.1	5.4					
	70～74歳(n=699)	9.0	5.3					
	75～79歳(n=699)	8.7	7.7					
	80～84歳(n=600)	12.5	10.0					
	85歳以上(n=423)	15.6	17.7					

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人についてみると、「配偶者」が53.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」が25.7%、「同居の子ども」が20.9%となっています。



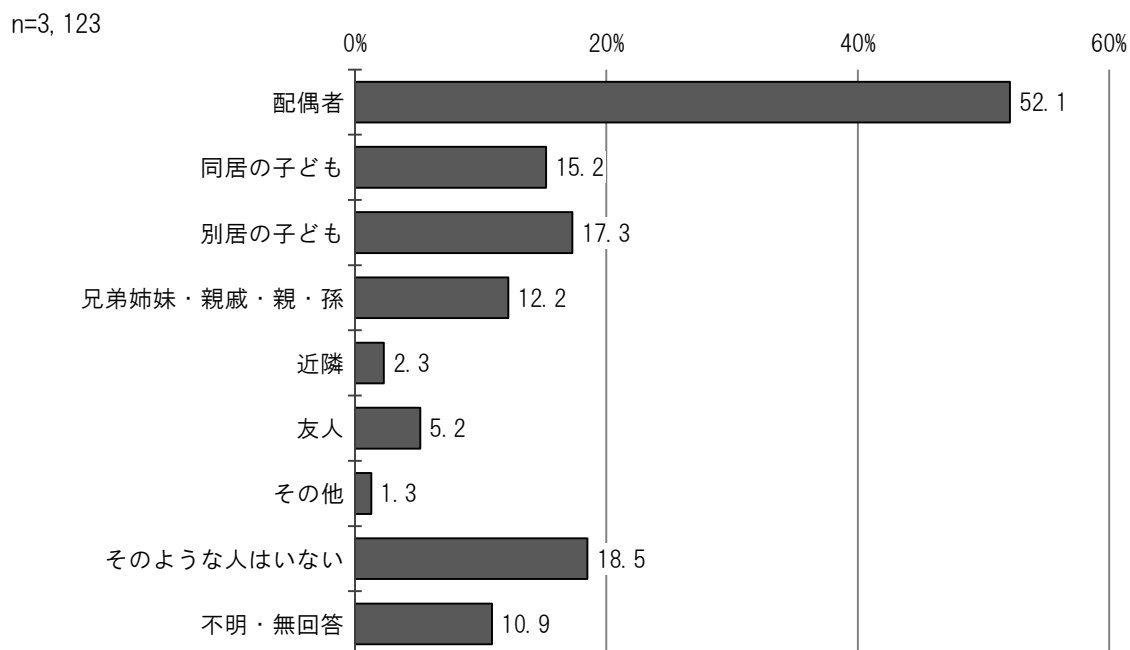
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 × 年齢別

年齢別にみると、〈85歳以上〉では「同居の子ども」が29.3%と最も高く、次いで「配偶者」が29.1%となっています。それ以外の区分では「配偶者」が最も高く、次いで「別居の子ども」となっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他
全体(n=3,123)		53.8	20.9	25.7	8.1	1.9	3.7	1.3
年齢別	65～69歳(n=560)	64.6	18.8	21.4	8.9	1.1	3.6	1.1
	70～74歳(n=699)	59.7	18.3	27.3	8.4	1.6	4.1	0.9
	75～79歳(n=699)	59.2	21.6	26.3	8.3	2.1	4.3	1.0
	80～84歳(n=600)	48.5	20.2	26.2	8.2	2.2	3.5	1.7
	85歳以上(n=423)	29.1	29.3	27.9	7.8	2.6	2.8	2.4
単位：%		そのような人はいない	不明・無回答					
全体(n=3,123)		9.0	7.3					
年齢別	65～69歳(n=560)	9.8	5.0					
	70～74歳(n=699)	10.4	4.7					
	75～79歳(n=699)	6.0	7.3					
	80～84歳(n=600)	8.7	8.2					
	85歳以上(n=423)	10.9	11.1					

(4) 反対に、看病や世話をしあける人

看病や世話をしあける人についてみると、「配偶者」が52.1%と最も高く、次いで「そのような人はいない」が18.5%、「別居の子ども」が17.3%となっています。



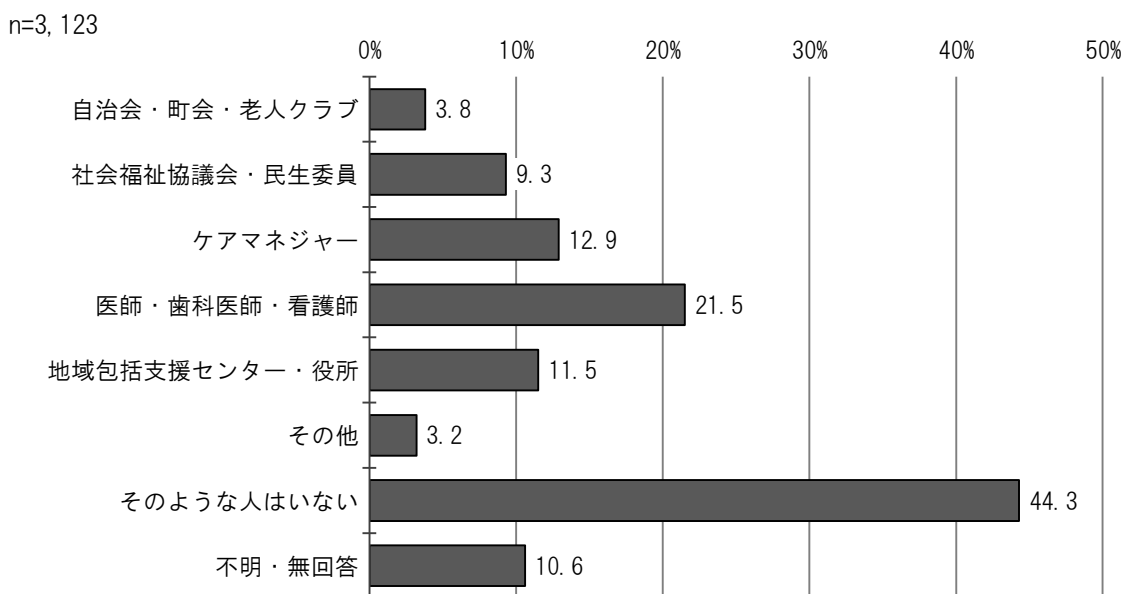
(4) 反対に、看病や世話をしあける人 × 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「配偶者」が最も高く、次いで〈80～84歳〉〈85歳以上〉では「そのような人はいない」、それ以外の区分では「別居の子ども」となっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他
全体(n=3,123)		52.1	15.2	17.3	12.2	2.3	5.2	1.3
年齢別	65～69歳(n=560)	64.1	19.6	24.8	18.6	2.0	6.3	1.8
	70～74歳(n=699)	56.7	15.6	21.2	15.6	2.4	6.0	1.0
	75～79歳(n=699)	56.5	15.9	18.7	13.3	2.9	5.7	0.6
	80～84歳(n=600)	48.0	12.2	11.5	7.0	2.5	4.5	1.0
	85歳以上(n=423)	29.8	13.9	8.7	4.3	1.9	3.1	2.6
単位：%		そのような人はいない	不明・無回答					
全体(n=3,123)		18.5	10.9					
年齢別	65～69歳(n=560)	10.9	5.7					
	70～74歳(n=699)	17.5	6.6					
	75～79歳(n=699)	15.5	9.7					
	80～84歳(n=600)	23.3	12.8					
	85歳以上(n=423)	27.4	20.6					

問 56 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が44.3%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が21.5%、「ケアマネジャー」が12.9%となっています。



問 56 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。× 年齢別

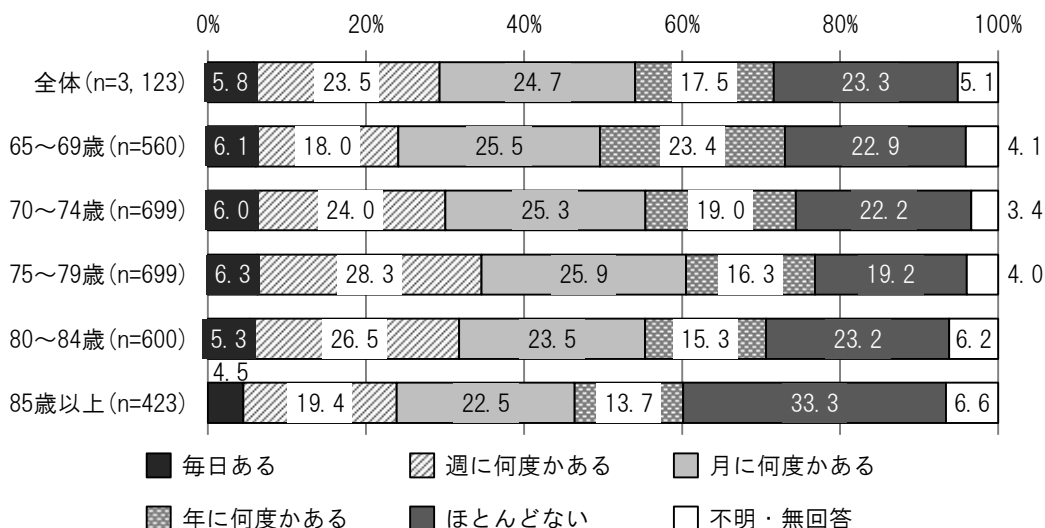
年齢別にみると、〈85歳以上〉では、「ケアマネジャー」が最も高く、次いで「そのような人はいない」となっています。それ以外の区分では「そのような人はいない」が最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」となっています。

単位：%		自治会・町会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない
全体(n=3,123)		3.8	9.3	12.9	21.5	11.5	3.2	44.3
年齢別	65～69歳(n=560)	1.8	1.8	3.6	21.1	8.6	3.9	58.6
	70～74歳(n=699)	3.9	8.9	5.4	20.2	9.4	3.0	56.2
	75～79歳(n=699)	4.9	9.6	10.0	22.2	13.0	2.3	42.2
	80～84歳(n=600)	4.7	13.5	20.0	21.0	14.3	4.0	34.5
	85歳以上(n=423)	4.3	15.4	32.4	24.1	13.5	3.5	26.7
単位：%		不明・無回答						
全体(n=3,123)		10.6						
年齢別	65～69歳(n=560)	7.7						
	70～74歳(n=699)	7.0						
	75～79歳(n=699)	12.2						
	80～84歳(n=600)	11.2						
	85歳以上(n=423)	12.5						

問 57 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ) × 年齢別

友人・知人と会う頻度についてみると、「月に何度かある」が 24.7%と最も高く、次いで「週に何度かある」が 23.5%、「ほとんどない」が 23.3%となっています。

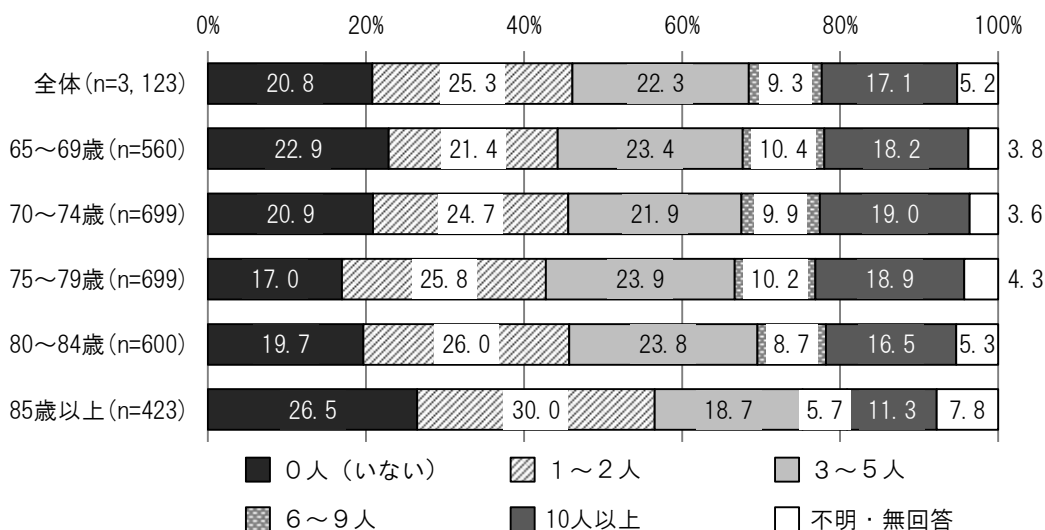
年齢別にみると、〈65～69歳〉〈70～74歳〉では「月に何度かある」が最も高く、次いで〈65～69歳〉では「年に何度かある」、〈70～74歳〉では「週に何度かある」となっています。〈75～79歳〉〈80～84歳〉では「週に何度かある」が最も高く、次いで「月に何度かある」となっています。〈85歳以上〉では「ほとんどない」が最も高く、次いで「月に何度かある」となっています。



問 58 この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ) × 年齢別

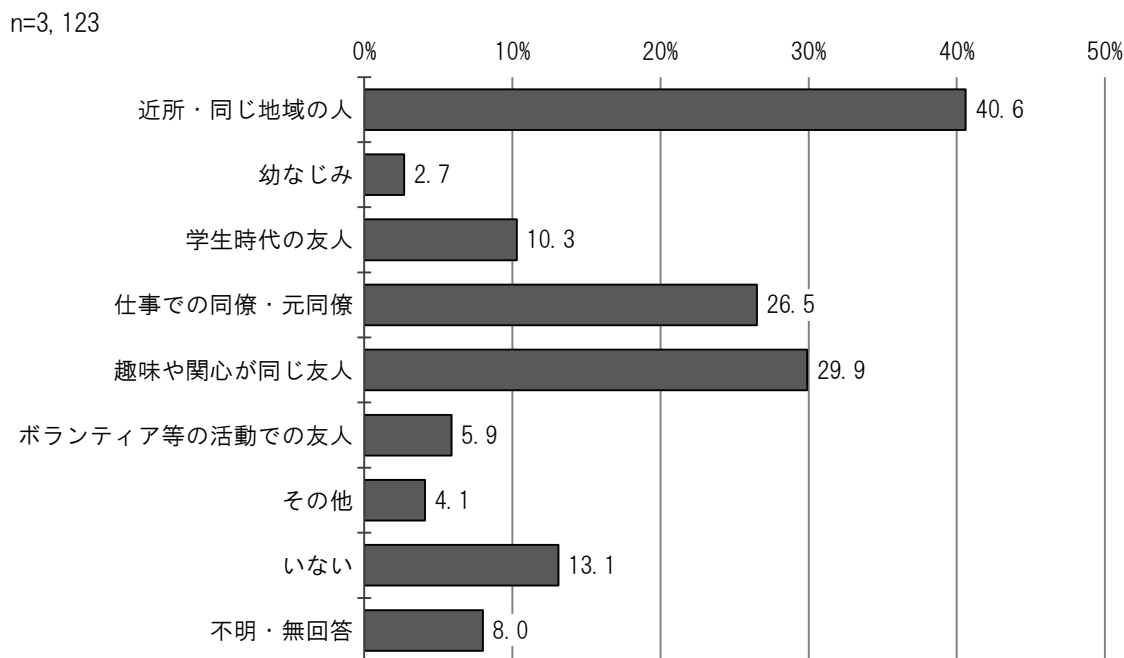
この1ヶ月間に会った友人・知人の人数についてみると、「1～2人」が 25.3%と最も高く、次いで「3～5人」が 22.3%、「0人 (いない)」が 20.8%となっています。

年齢別にみると、〈65～69歳〉では「3～5人」が最も高く、次いで「0人 (いない)」となっています。〈70～74歳〉以上では「1～2人」が最も高く、次いで〈85歳以上〉では「0人 (いない)」、それ以外の区分では「3～5人」となっています。



問 59 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)

よく会う友人・知人との関係についてみると、「近所・同じ地域の人」が40.6%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が29.9%、「仕事での同僚・元同僚」が26.5%となっています。



問 59 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。× 年齢別

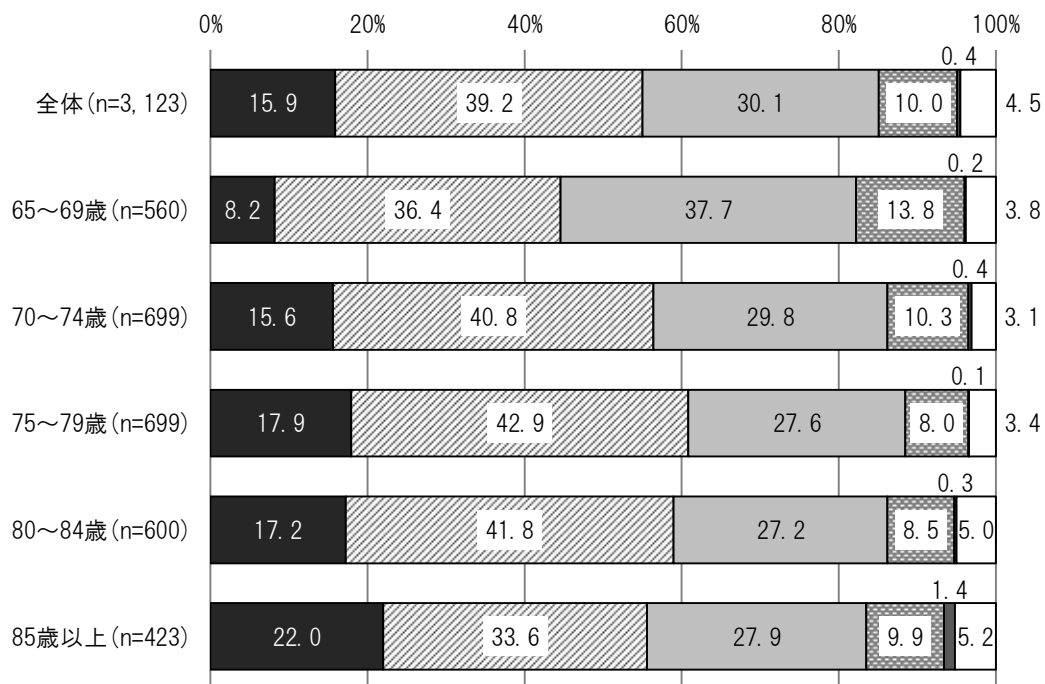
年齢別にみると、〈65～69歳〉では「仕事での同僚・元同僚」が最も高く、次いで「近所・同じ地域の人」となっています。〈70～74歳〉以上では「近所・同じ地域の人」が最も高く、次いで〈70～74歳〉では「仕事での同僚・元同僚」、それ以外の区分では「趣味や関心が同じ友人」となっています。

単位：%		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	
全体(n=3,123)		40.6	2.7	10.3	26.5	29.9	5.9	4.1	
年齢別	65～69歳(n=560)	29.5	3.4	17.3	44.3	26.8	5.4	3.2	
	70～74歳(n=699)	35.8	3.9	13.7	34.5	31.2	7.6	3.7	
	75～79歳(n=699)	46.5	3.0	9.9	27.9	34.8	7.0	2.7	
	80～84歳(n=600)	47.5	2.0	5.5	13.5	31.8	5.0	4.7	
	85歳以上(n=423)	47.0	0.7	3.8	7.3	23.2	3.3	7.8	
単位：%		いない	不明・無回答						
全体(n=3,123)		13.1	8.0						
年齢別	65～69歳(n=560)	12.5	5.0						
	70～74歳(n=699)	13.2	5.6						
	75～79歳(n=699)	10.4	6.7						
	80～84歳(n=600)	12.5	10.3						
	85歳以上(n=423)	18.9	11.1						

問 60 地域とのつながりはどれくらいありますか。(〇は1つ) × 年齢別

地域とのつながりの程度についてみると、「立ち話程度の付き合いがある」が 39.2%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」が 30.1%、「困ったときに相談するなどの付き合いがある」が 15.9%となっています。

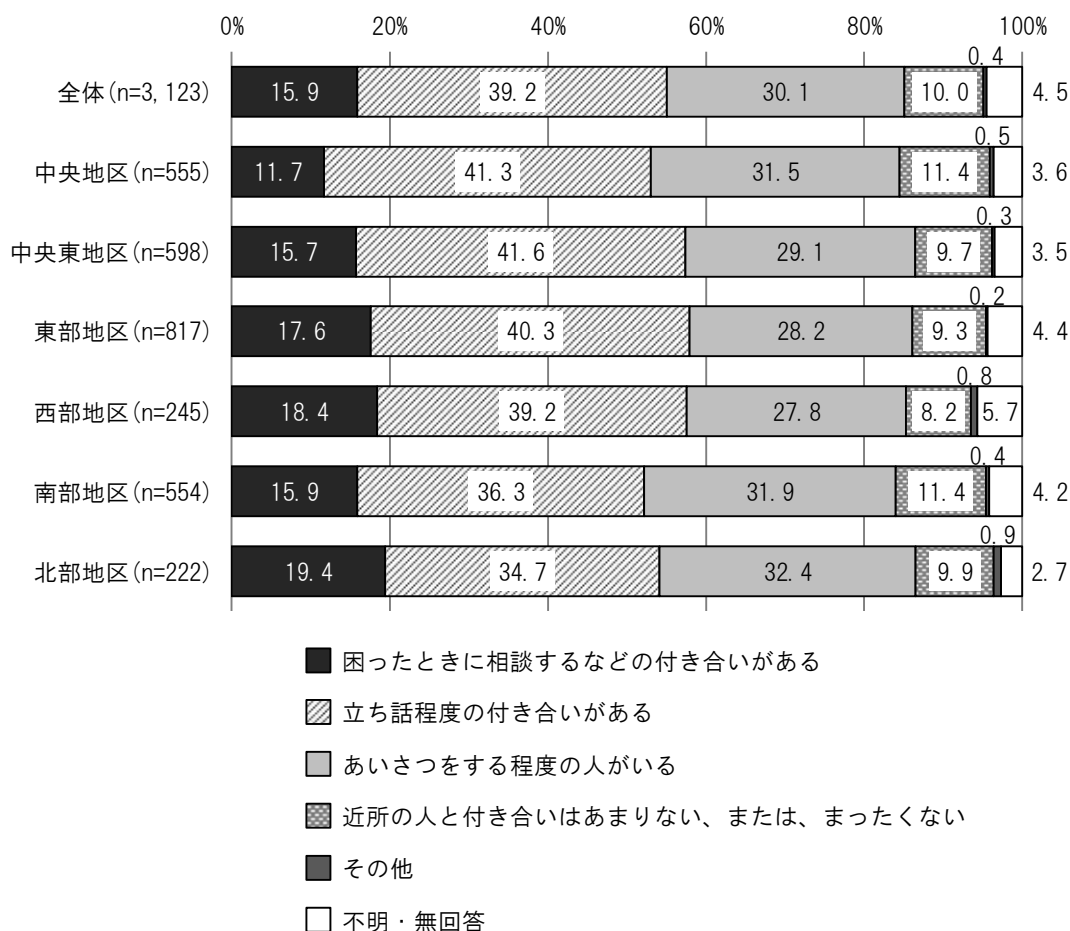
年齢別にみると、〈65～69歳〉では「あいさつをする程度の人がいる」が最も高く、次いで「立ち話程度の付き合いがある」となっています。それ以外の区分では「立ち話程度の付き合いがある」が最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」となっています。



- 困ったときに相談するなどの付き合いがある
- ▨ 立ち話程度の付き合いがある
- あいさつをする程度の人がいる
- ▤ 近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない
- その他
- 不明・無回答

問 60 地域とのつながりはどれくらいありますか。× 地区別

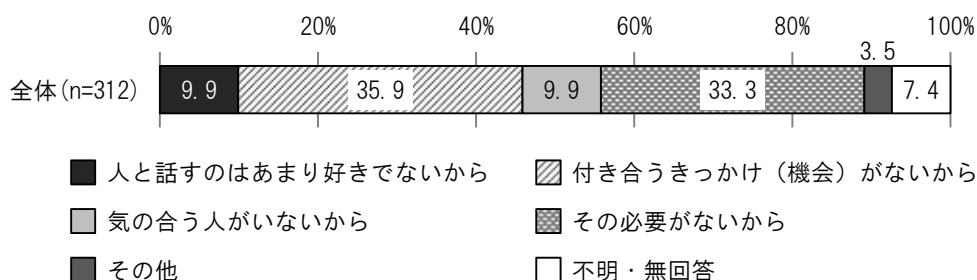
地区別にみると、すべての区分で「立ち話程度の付き合いがある」が最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」となっています。



問 60 で「近所の人と付き合いはあまりない、または、まったくない」と回答した方

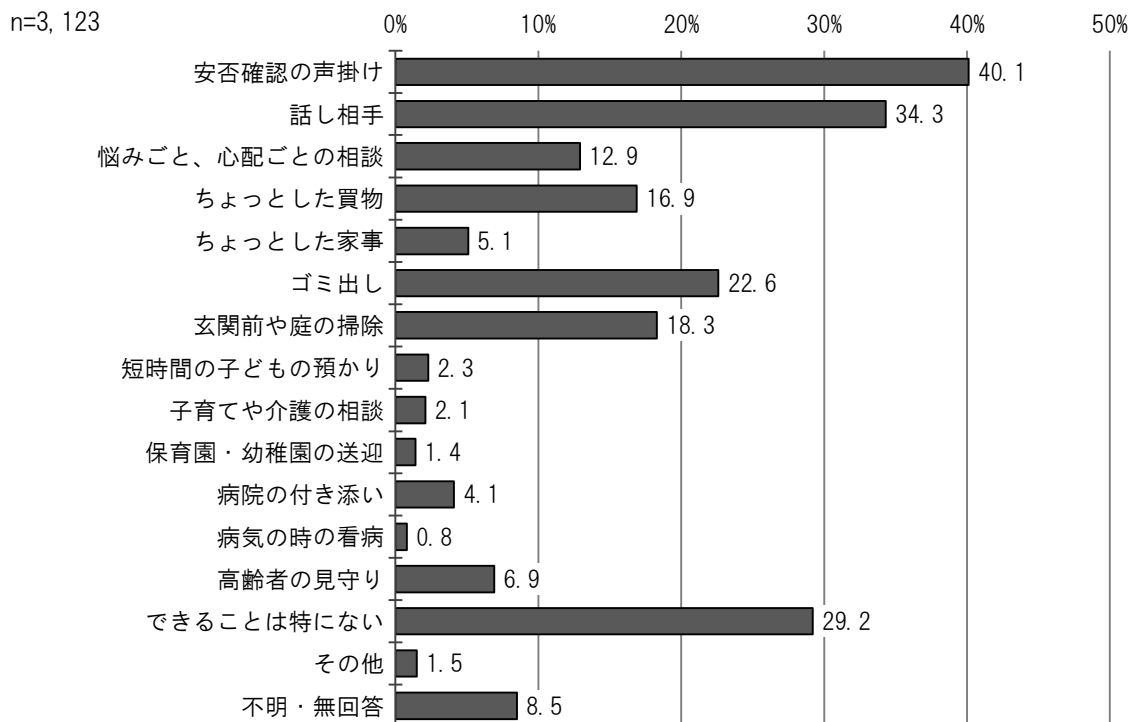
問 60-1 近所の人と交流が無い理由は何ですか。(主な理由1つに○)

近所の人と交流が無い理由についてみると、「付き合うきっかけ（機会）がないから」が 35.9%と最も高く、次いで「その必要がないから」が 33.3%、「人と話すのはあまり好きでないから」「気の合う人がいないから」が 9.9%となっています。



問 61 隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

隣近所で手助けできることについてみると、「安否確認の声掛け」が40.1%と最も高く、次いで「話し相手」が34.3%、「できることは特にない」が29.2%となっています。



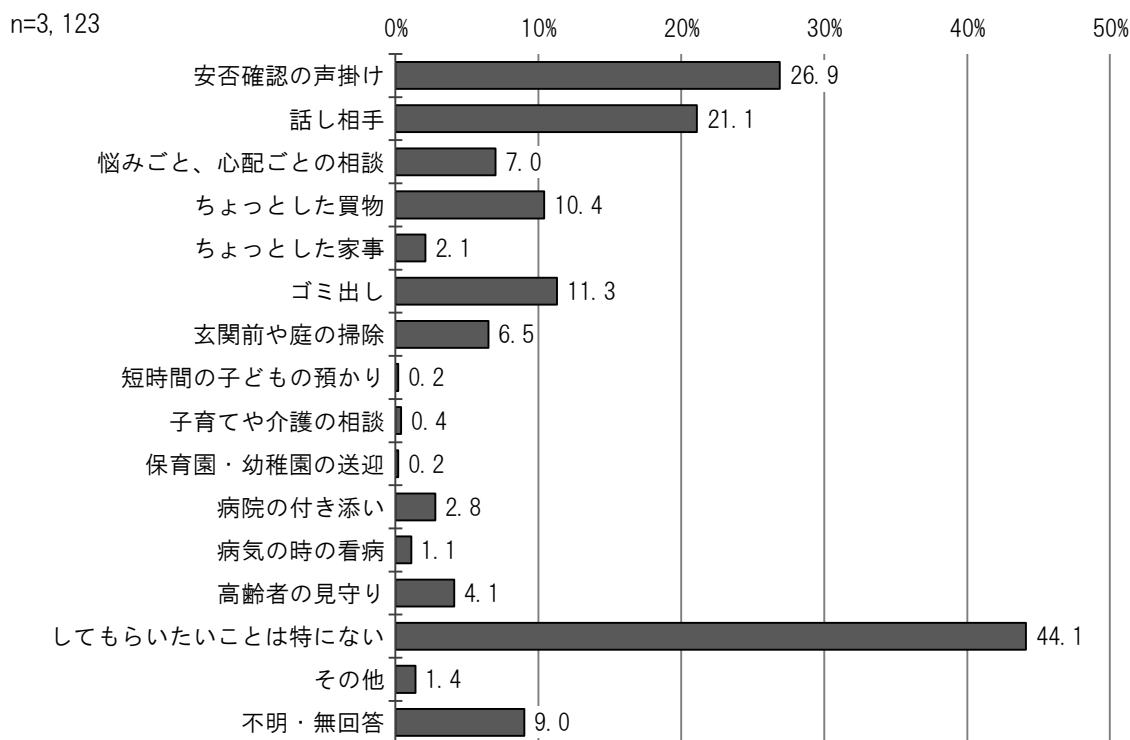
問 61 隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることはありますか。× 年齢別

年齢別にみると、〈85歳以上〉では「できることは特にない」が最も高く、次いで「話し相手」となっています。それ以外の区分では「安否確認の声掛け」が最も高く、次いで「話し相手」となっています。

単位：%	安否確認の声掛け	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	ちょっとした買物	ちょっとした家事	ゴミ出し	玄関前や庭の掃除	
全体(n=3,123)	40.1	34.3	12.9	16.9	5.1	22.6	18.3	
年齢別	65～69歳(n=560)	45.9	32.9	12.1	24.8	7.9	30.2	20.9
	70～74歳(n=699)	48.9	37.6	13.6	22.9	6.9	27.5	21.2
	75～79歳(n=699)	41.6	37.9	14.0	18.7	5.0	23.2	20.6
	80～84歳(n=600)	37.2	34.0	14.2	10.7	2.8	19.5	16.2
	85歳以上(n=423)	23.9	28.1	9.0	3.5	2.1	9.9	10.2
単位：%	短時間の子どもの預かり	子育てや介護の相談	保育園・幼稚園の送迎	病院の付き添い	病気の時の看病	高齢者の見守り	できることは特にない	
全体(n=3,123)	2.3	2.1	1.4	4.1	0.8	6.9	29.2	
年齢別	65～69歳(n=560)	3.4	4.5	1.6	5.7	0.7	8.8	28.0
	70～74歳(n=699)	3.0	2.3	2.4	5.2	0.9	9.4	25.2
	75～79歳(n=699)	2.1	2.0	1.3	5.2	1.1	6.4	26.5
	80～84歳(n=600)	1.7	1.5	1.0	2.8	0.8	5.3	31.3
	85歳以上(n=423)	0.7	0.2	0.2	0.9	0.2	2.8	40.2
単位：%	その他	不明・無回答						
全体(n=3,123)	1.5	8.5						
年齢別	65～69歳(n=560)	1.1	5.7					
	70～74歳(n=699)	1.6	5.6					
	75～79歳(n=699)	1.1	7.4					
	80～84歳(n=600)	1.5	9.0					
	85歳以上(n=423)	2.6	13.7					

問 62 反対に、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてもらいたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

隣近所の人に手助けしてもらいたいことについてみると、「してもらいたいことは特にない」が44.1%と最も高く、次いで「安否確認の声掛け」が26.9%、「話し相手」が21.1%となっています。



問 62 反対に、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてもらいたいですか。
× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「してもらいたいことは特にない」が最も高く、次いで「安否確認の声掛け」となっています。

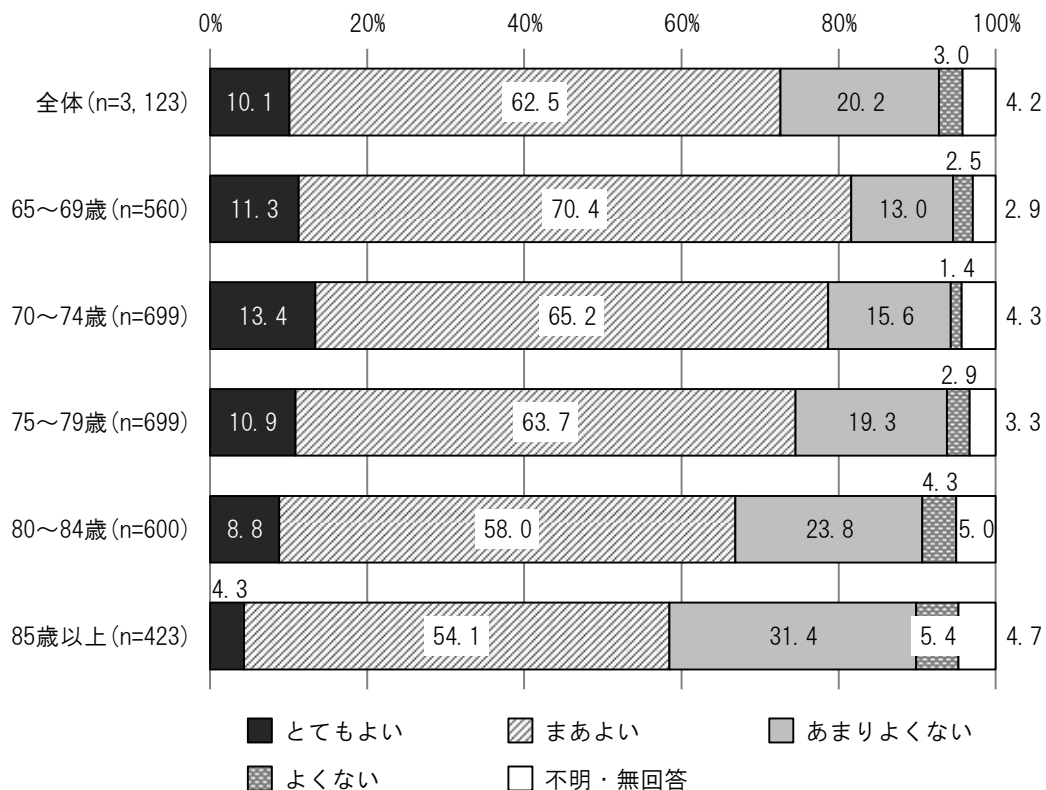
単位：%		安否確認の声掛け	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	ちょっとした買物	ちょっとした家事	ゴミ出し	玄関前や庭の掃除
全体(n=3,123)		26.9	21.1	7.0	10.4	2.1	11.3	6.5
年齢別	65～69歳(n=560)	24.3	16.6	6.4	9.6	1.6	11.8	6.6
	70～74歳(n=699)	26.6	20.0	5.7	10.4	2.1	11.3	5.7
	75～79歳(n=699)	28.0	23.5	7.0	10.6	2.0	9.0	5.3
	80～84歳(n=600)	27.7	23.3	10.0	12.7	3.2	14.5	8.3
	85歳以上(n=423)	30.0	23.6	5.7	9.2	1.9	11.1	7.6
単位：%		短時間の子どもの預かり	子育てや介護の相談	保育園・幼稚園の送迎	病院の付き添い	病気の時の看病	高齢者の見守り	してもらいたいことは特にない
全体(n=3,123)		0.2	0.4	0.2	2.8	1.1	4.1	44.1
年齢別	65～69歳(n=560)	0.2	0.4	0.2	1.8	1.3	2.9	50.5
	70～74歳(n=699)	-	0.4	-	2.1	0.9	3.0	50.1
	75～79歳(n=699)	0.6	0.6	0.3	2.7	1.0	4.3	45.5
	80～84歳(n=600)	0.2	0.2	0.2	4.7	1.5	5.0	37.0
	85歳以上(n=423)	0.2	0.5	0.2	3.1	0.9	6.4	33.6
単位：%		その他	不明・無回答					
全体(n=3,123)		1.4	9.0					
年齢別	65～69歳(n=560)	1.8	6.4					
	70～74歳(n=699)	1.9	6.9					
	75～79歳(n=699)	1.3	8.0					
	80～84歳(n=600)	0.5	10.0					
	85歳以上(n=423)	1.7	12.1					

●健康について

問 63 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ) × 年齢別

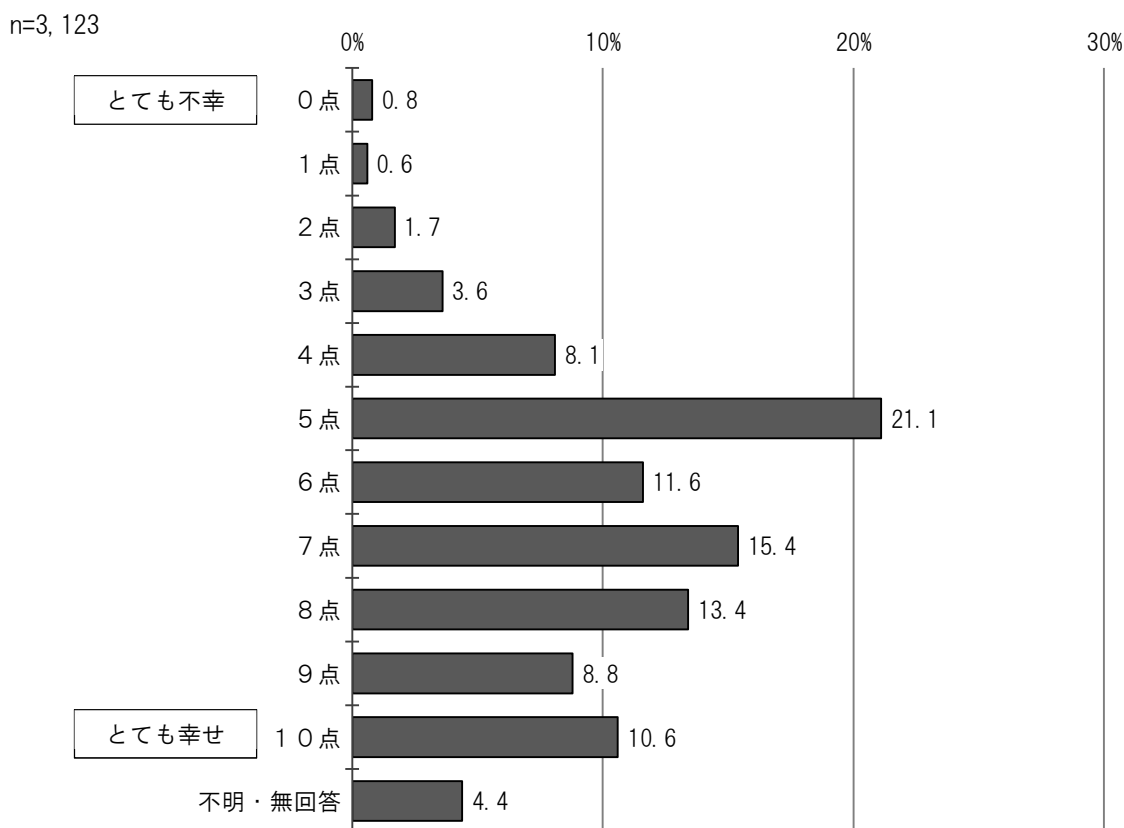
現在の健康状態についてみると、「まあよい」が62.5%と最も高く、次いで「あまりよくない」が20.2%、「とてもよい」が10.1%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「まあよい」が最も高く、次いで「あまりよくない」となっています。『よい(「とてもよい」と「まあよい」の計)』の割合は、年齢が上がるほど低くなっています。



問 64 あなたは、現在どの程度幸せですか。(あてはまる点数に○)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

現在の幸福度についてみると、「5点」が21.1%と最も高く、次いで「7点」が15.4%、「8点」が13.4%となっています。



問 64 あなたは、現在どの程度幸せですか。× 年齢別

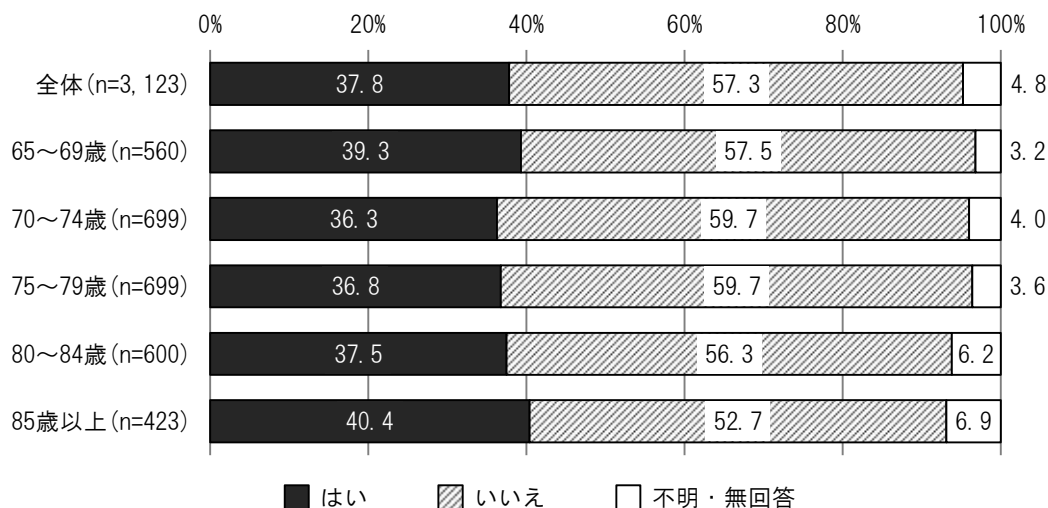
年齢別にみると、すべての区分で「5点」が最も高く、次いで〈85歳以上〉では「8点」、それ以外の区分では「7点」となっています。

単位：%		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全体(n=3,123)		0.8	0.6	1.7	3.6	8.1	21.1	11.6
年齢別	65～69歳(n=560)	0.5	0.5	2.1	3.8	7.5	19.3	11.3
	70～74歳(n=699)	0.3	0.1	2.1	3.6	9.0	22.9	10.9
	75～79歳(n=699)	1.3	0.1	1.3	3.6	6.6	22.7	12.0
	80～84歳(n=600)	1.2	0.8	0.8	4.3	7.2	19.2	12.5
	85歳以上(n=423)	0.5	1.4	1.9	1.9	11.1	21.0	12.8
単位：%		7点	8点	9点	10点	不明・無回答		
全体(n=3,123)		15.4	13.4	8.8	10.6	4.4		
年齢別	65～69歳(n=560)	19.1	12.0	7.5	11.6	4.8		
	70～74歳(n=699)	14.4	12.3	9.2	10.7	4.4		
	75～79歳(n=699)	14.7	14.4	9.3	9.7	4.1		
	80～84歳(n=600)	15.5	14.0	9.8	10.3	4.3		
	85歳以上(n=423)	12.8	14.2	8.0	10.9	3.5		

問 65 この1ヶ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ) × 年齢別

この1ヶ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについてみると、「はい」が37.8%、「いいえ」が57.3%となっています。

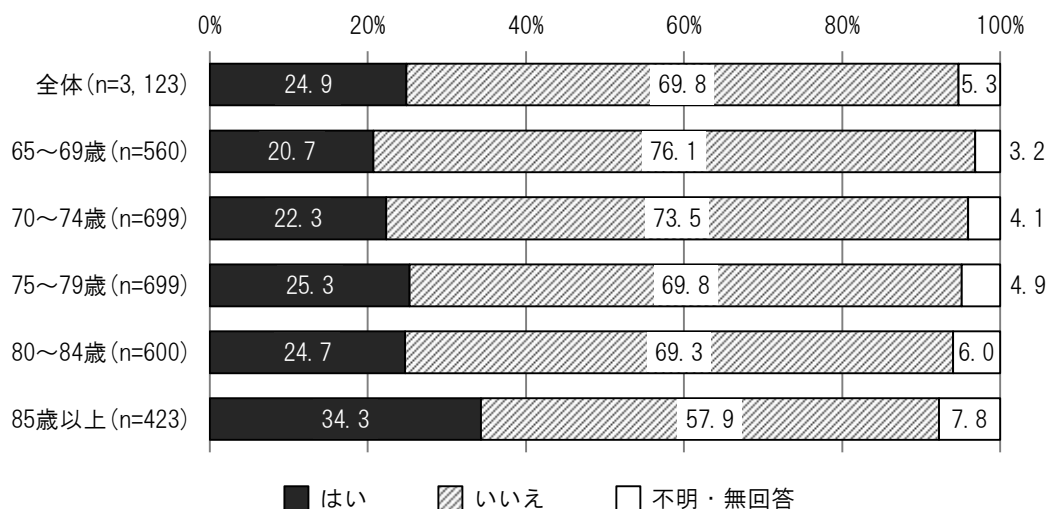
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が3割台後半から4割となっています。



問 66 この1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ) × 年齢別

この1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについてみると、「はい」が24.9%、「いいえ」が69.8%となっています。

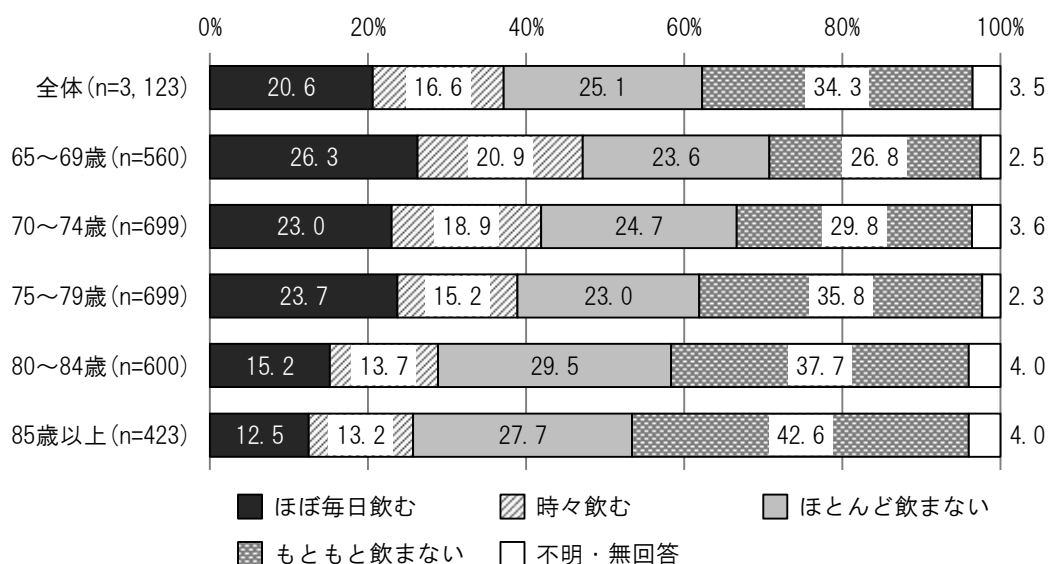
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っています。また、「はい」の割合は、概ね年齢が上がるほどが高くなっています。



問 67 お酒は飲みますか。(○は1つ) × 年齢別

飲酒の状況についてみると、「もともと飲まない」が34.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が25.1%、「ほぼ毎日飲む」が20.6%となっています。

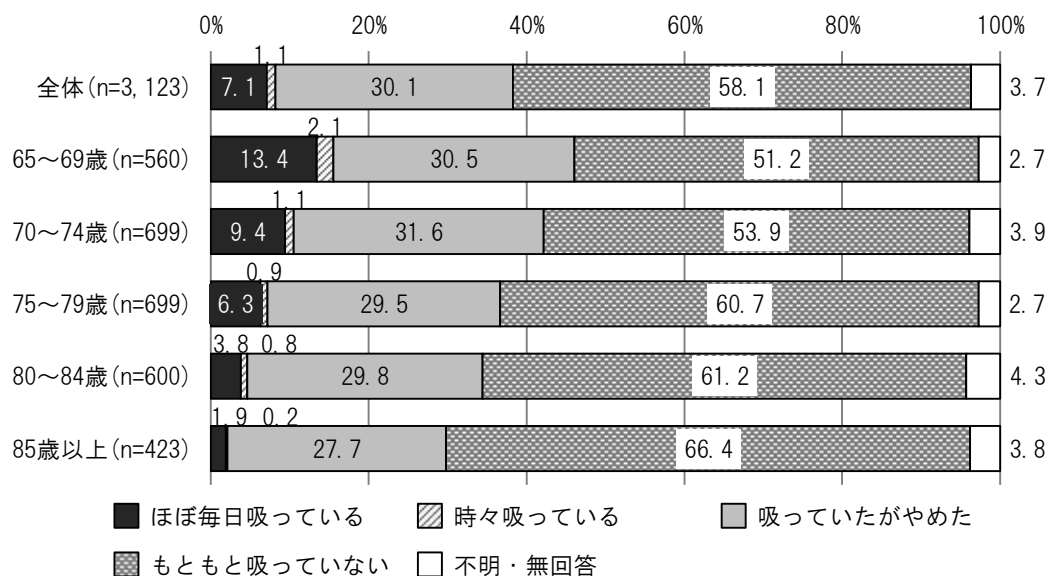
年齢別にみると、すべての区分で「もともと飲まない」が最も高く、次いで〈65～69歳〉〈75～79歳〉では「ほぼ毎日飲む」、それ以外の区分では「ほとんど飲まない」となっています。『飲む(「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の計)』の割合は、年齢が上がるほど低くなっています。



問 68 タバコは吸っていますか。(○は1つ) × 年齢別

喫煙の状況についてみると、「もともと吸っていない」が58.1%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が30.1%、「ほぼ毎日吸っている」が7.1%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「もともと吸っていない」が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」となっています。『吸っている(「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の計)』の割合は、年齢が上がるほど低くなっています。

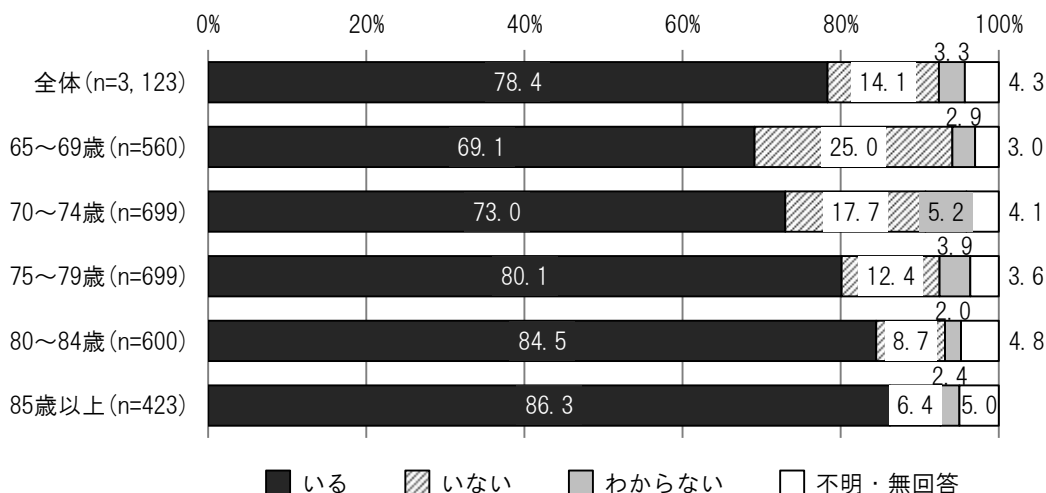


問 69 あなたは、健康や病気のことを相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師」がいますか。(それぞれ1つに〇)

ア. 「かかりつけ医」の有無 × 年齢別

「かかりつけ医」の有無についてみると、「いる」が78.4%と最も高く、次いで「いない」が14.1%、「わからない」が3.3%、「わからない」が3.3%となっています。

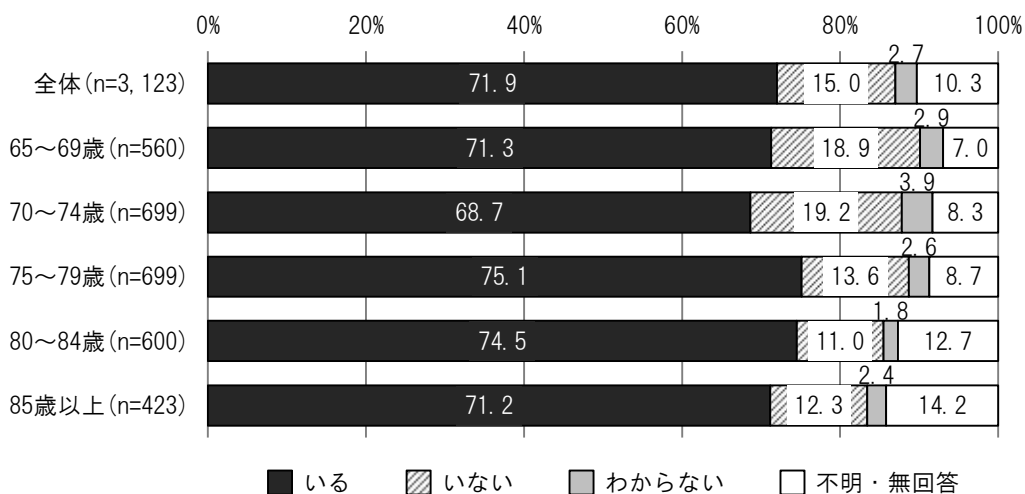
年齢別にみると、すべての区分で「いる」が最も高く、その割合は年齢が上がるほど高くなっています。



イ. 「かかりつけ歯科医」の有無 × 年齢別

「かかりつけ歯科医」の有無についてみると、「いる」が71.9%と最も高く、次いで「いない」が15.0%、「わからない」が2.7%となっています。

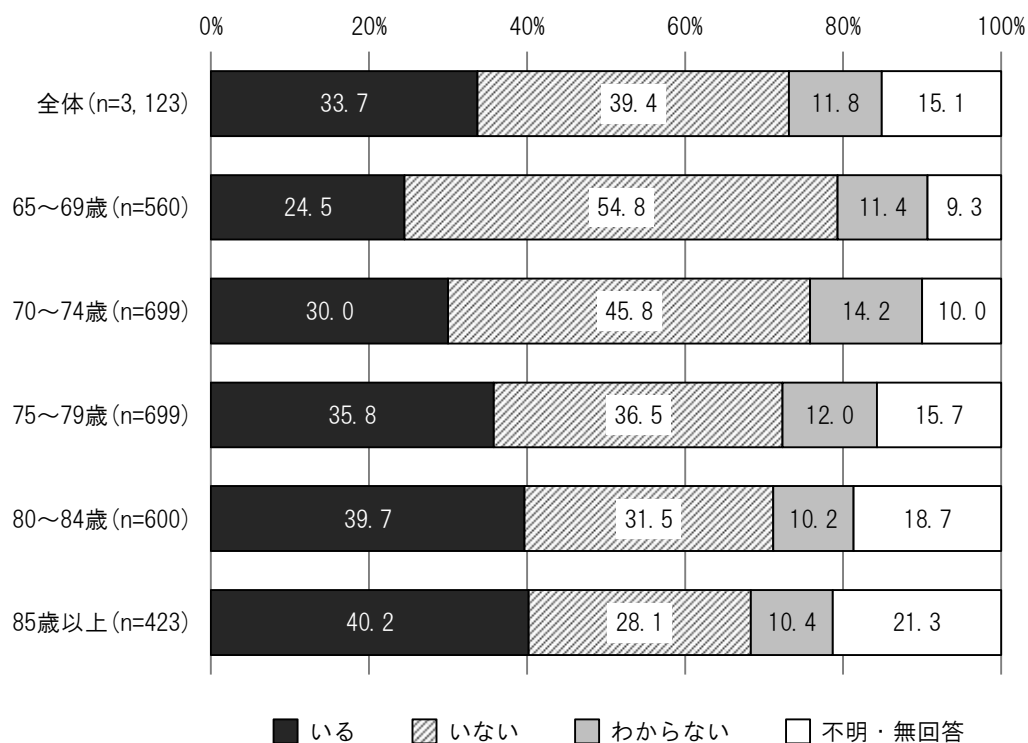
年齢別にみると、すべての区分で「いる」が最も高く、〈70～74歳〉を除くすべての区分で7割を超えています。



ウ. 「かかりつけ薬剤師」の有無 × 年齢別

「かかりつけ薬剤師」の有無についてみると、「いない」が39.4%と最も高く、次いで「いる」が33.7%、「わからない」が11.8%となっています。

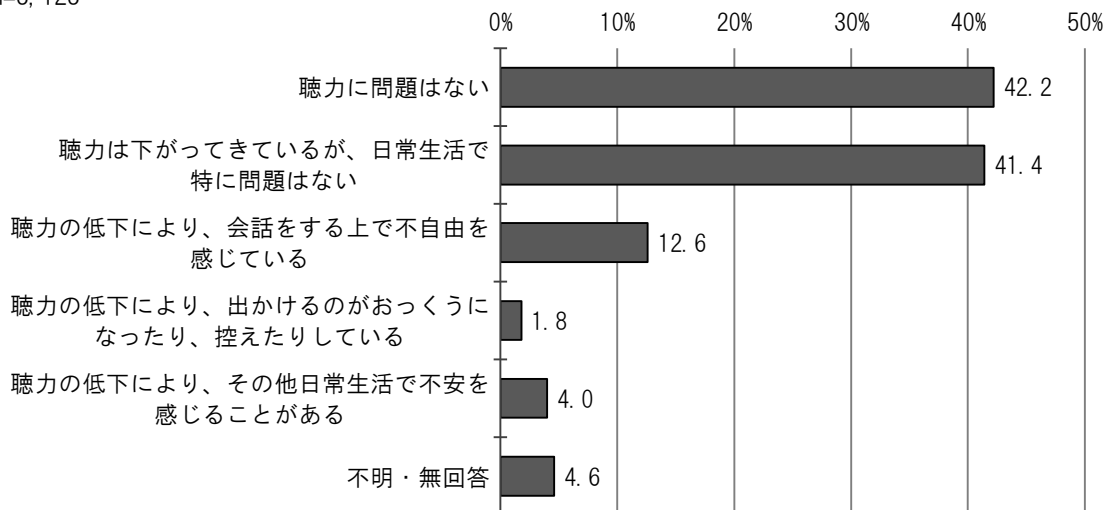
年齢別にみると、〈80～84歳〉〈85歳以上〉では「いる」、それ以外の区分では「いない」が最も高くなっています。「いる」の割合は、年齢が上がるほど高くなっています。



問 70 日常生活を送るうえで、聴力（聞こえ）の問題により、次のように感じたことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）

日常生活を送るうえで感じる聴力（聞こえ）の問題についてみると、「聴力に問題はない」が 42.2%と最も高く、次いで「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」が 41.4%、「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」が 12.6%となっています。

n=3, 123



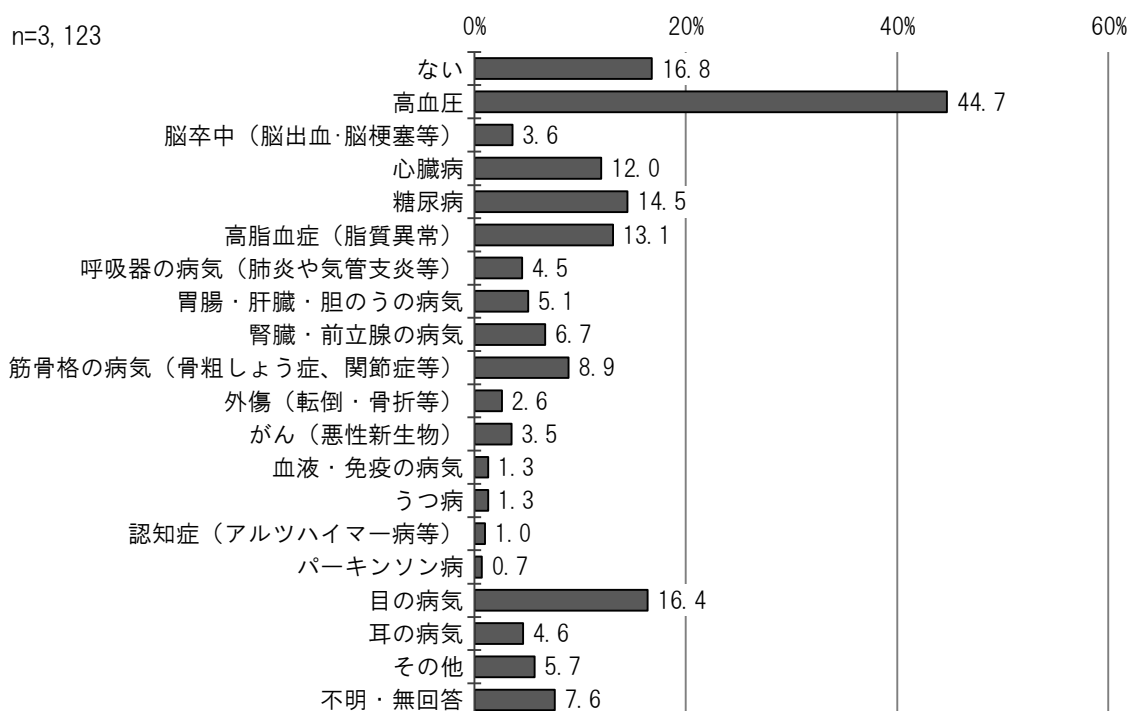
問 70 日常生活を送るうえで、聴力（聞こえ）の問題により、次のように感じたことがありましたか。× 年齢別

年齢別にみると、〈65～69歳〉〈70～74歳〉では「聴力に問題はない」が最も高く、次いで「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」となっています。〈75～79歳〉以上では、「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」が最も高く、次いで〈85歳以上〉では「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」、それ以外の区分では「聴力に問題はない」となっています。

単位：%		聴力に問題はない	聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない	聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている	聴力の低下により、出かけるのがおっくうになったり、控えたりしている	聴力の低下により、その他日常生活で不安を感じることもある	不明・無回答
全体(n=3,123)		42.2	41.4	12.6	1.8	4.0	4.6
年齢別	65～69歳(n=560)	56.3	37.3	4.3	0.7	1.3	3.0
	70～74歳(n=699)	46.2	43.6	6.6	0.6	1.4	4.7
	75～79歳(n=699)	42.9	44.5	9.0	0.9	2.1	4.0
	80～84歳(n=600)	36.5	41.3	17.2	1.8	6.5	5.5
	85歳以上(n=423)	25.3	39.2	31.2	6.9	11.3	4.3

問 71 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、「高血圧」が44.7%と最も高く、次いで「ない」が16.8%、「目の病気」が16.4%となっています。



問 71 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。 × 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「高血圧」が最も高く、次いで〈65～69歳〉〈70～74歳〉では「ない」、〈75～79歳〉〈80～84歳〉では「目の病気」、〈85歳以上〉では「心臓病」となっています。

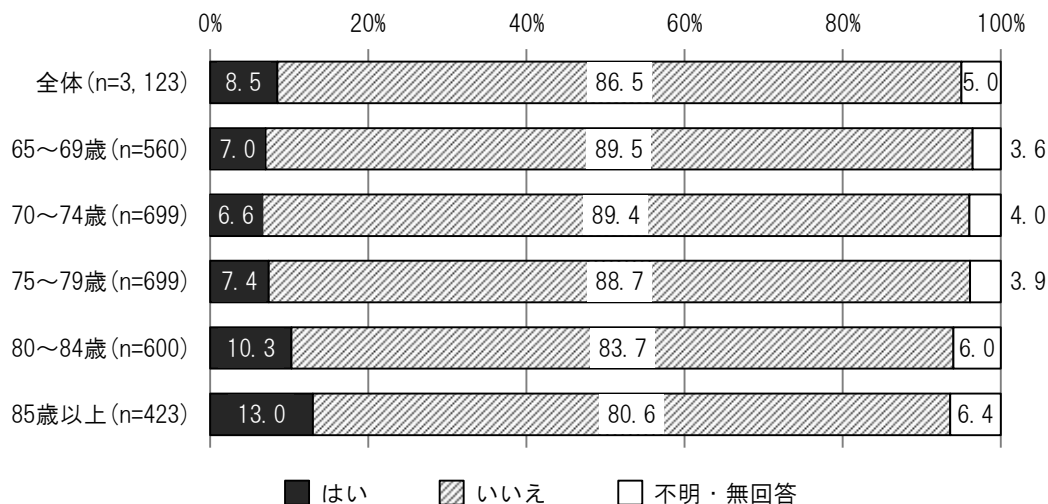
単位：%	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	
全体(n=3,123)	16.8	44.7	3.6	12.0	14.5	13.1	4.5	
年齢別	65～69歳(n=560)	26.6	33.6	4.1	5.9	8.9	14.6	3.9
	70～74歳(n=699)	21.0	41.3	3.4	9.0	14.9	16.2	4.9
	75～79歳(n=699)	16.2	47.9	4.0	12.4	16.0	13.6	3.4
	80～84歳(n=600)	11.3	49.0	3.2	14.5	16.8	11.2	5.3
	85歳以上(n=423)	6.1	55.1	2.6	21.0	14.2	8.3	6.1
単位：%	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	
全体(n=3,123)	5.1	6.7	8.9	2.6	3.5	1.3	1.3	
年齢別	65～69歳(n=560)	5.0	4.1	5.7	0.7	2.9	1.4	1.6
	70～74歳(n=699)	4.3	6.0	6.2	1.4	4.4	1.3	0.7
	75～79歳(n=699)	5.4	5.0	7.9	2.1	4.1	1.1	1.6
	80～84歳(n=600)	5.5	9.0	13.2	3.0	3.5	1.0	1.5
	85歳以上(n=423)	5.4	10.4	13.5	6.1	2.6	2.4	1.4
単位：%	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	不明・無回答		
全体(n=3,123)	1.0	0.7	16.4	4.6	5.7	7.6		
年齢別	65～69歳(n=560)	0.2	-	12.3	2.9	5.4	7.1	
	70～74歳(n=699)	0.1	0.9	13.0	3.7	7.3	7.9	
	75～79歳(n=699)	1.1	1.0	18.6	4.0	5.4	6.0	
	80～84歳(n=600)	1.7	1.2	20.0	5.0	5.7	8.7	
	85歳以上(n=423)	2.6	0.5	18.4	8.3	3.5	7.6	

●市の高齢者福祉施策について

問 72 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)
× 年齢別

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無についてみると、「はい」が8.5%、「いいえ」が86.5%となっています。

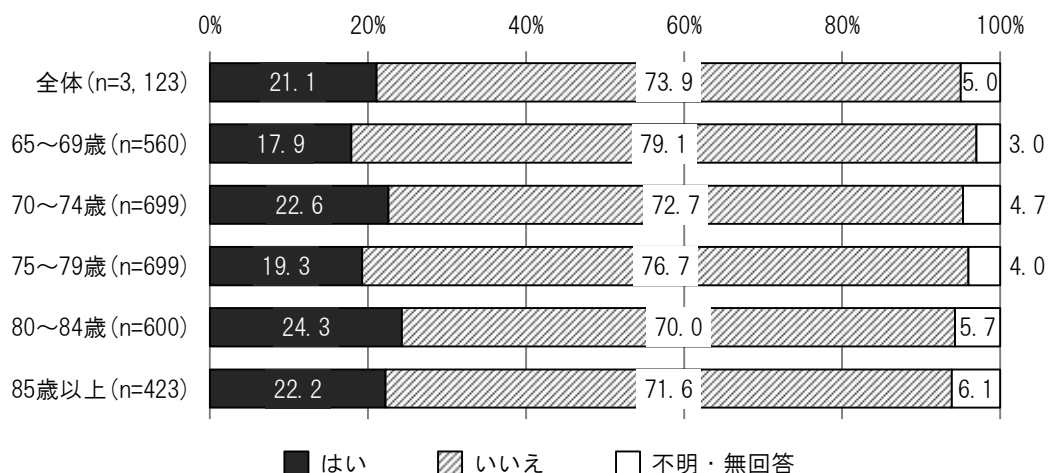
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が8割を超えています。



問 73 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ) × 年齢別

認知症に関する相談窓口を知っているかについてみると、「はい」が21.1%、「いいえ」が73.9%となっています。

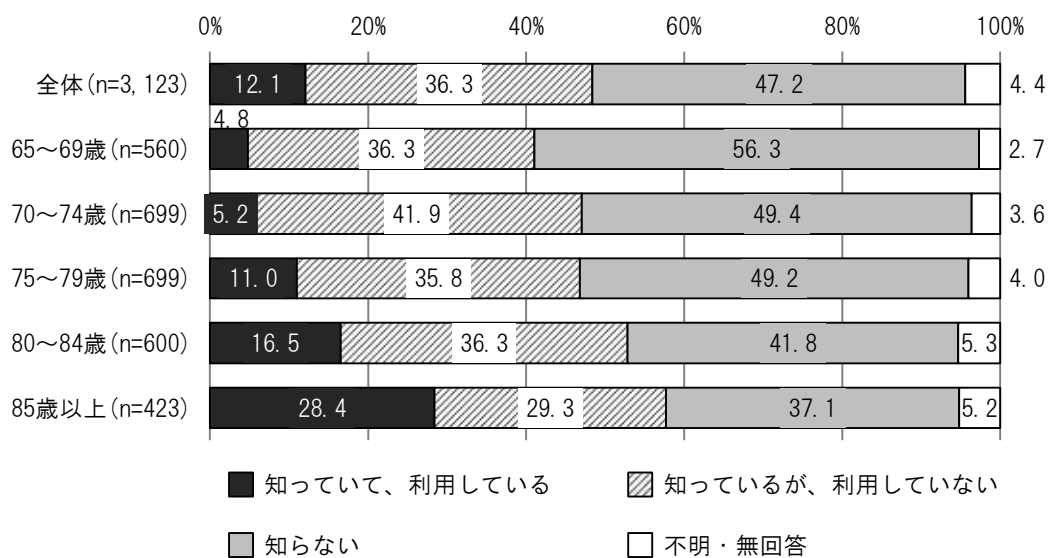
年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が「はい」を上回っており、〈65～69歳〉では約8割となっています。



問 74 高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、利用されていますか。(○は1つ) × 年齢別

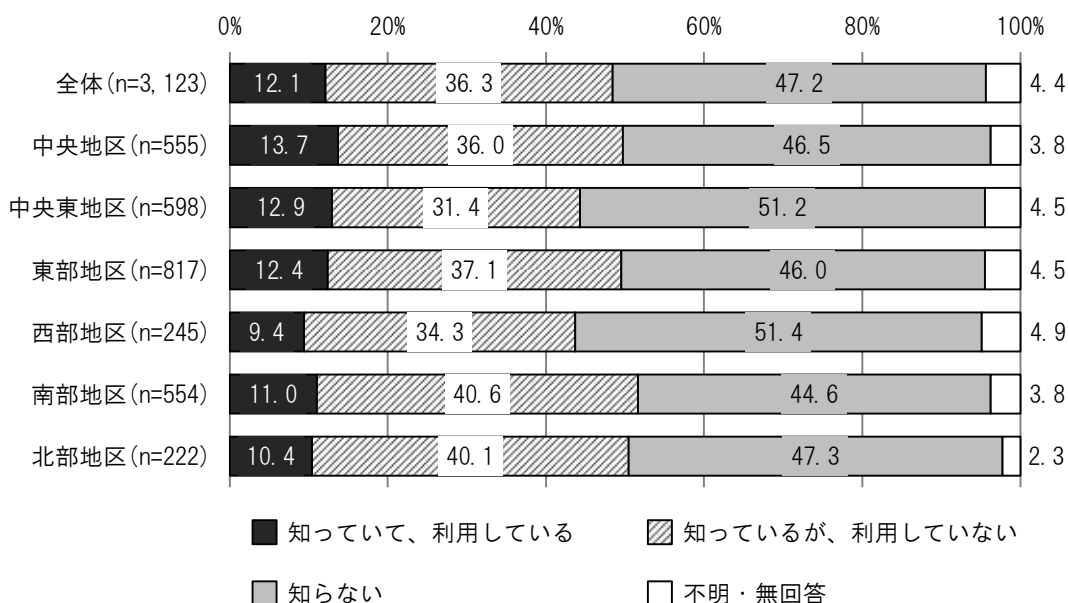
高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」を知っているかについてみると、「知らない」が47.2%と最も高く、次いで「知っているが、利用していない」が36.3%、「知っている、利用している」が12.1%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「知らない」が最も高くなっていますが、その割合は、年齢が上がるほど低くなっています。



問 74 高齢者の総合相談窓口として開設されている「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、利用されていますか。 × 地区別

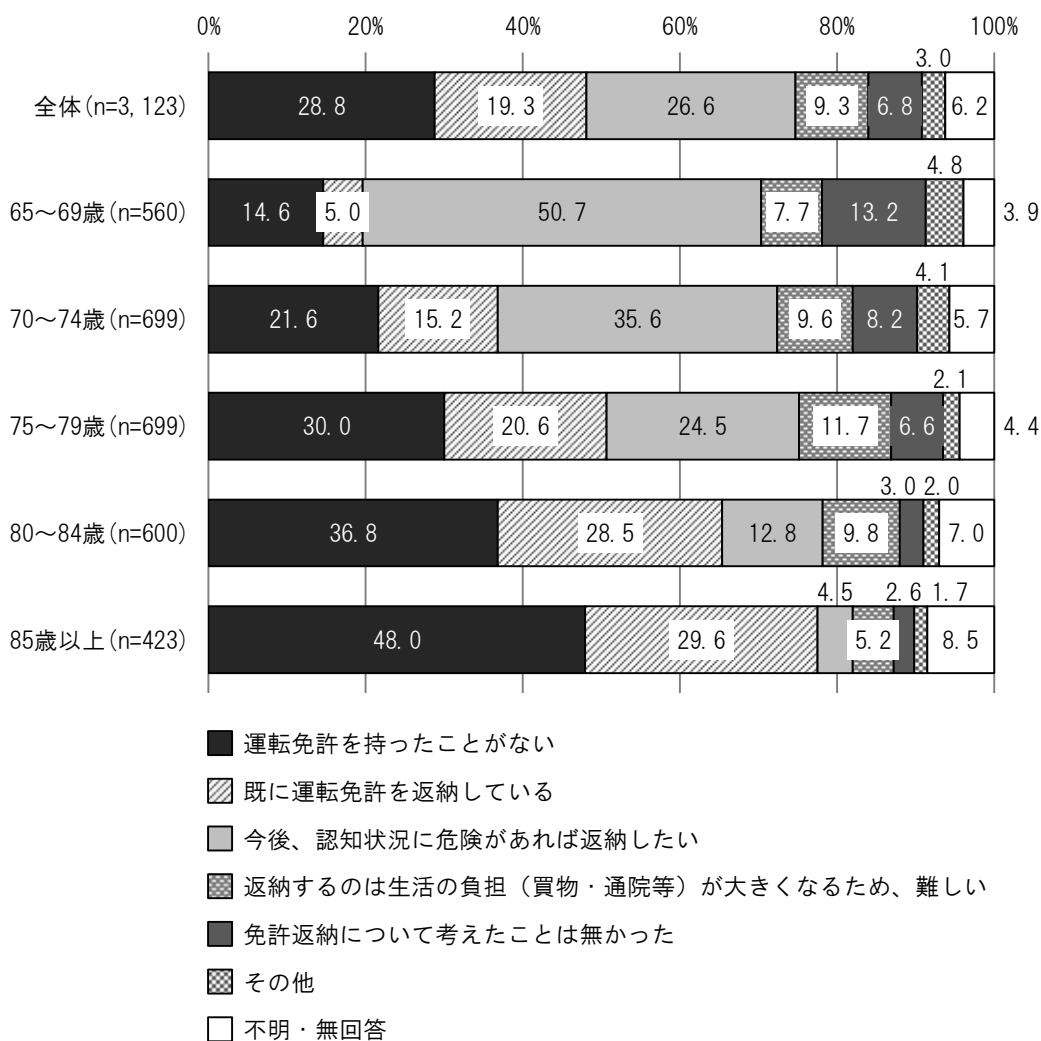
地区別にみると、すべての区分で「知らない」が最も高く、次いで「知っているが、利用していない」となっています。〈中央東地区〉〈西部地区〉では、「知らない」が5割台となっています。



問 75 あなたの運転免許返納について、あなたはどのように考えていますか。(〇は1つ)
× 年齢別

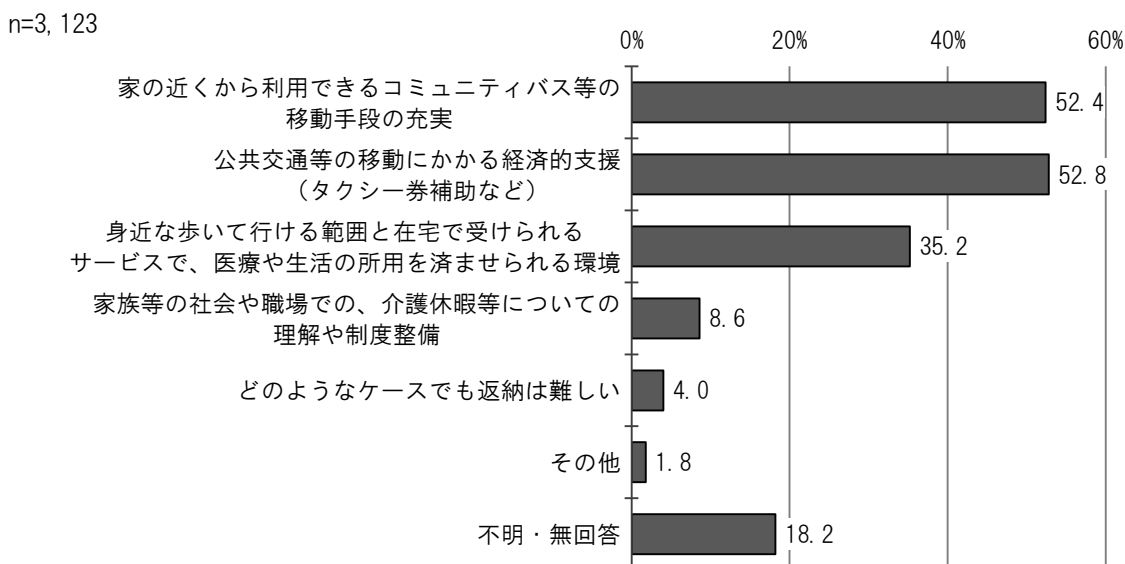
運転免許返納についての考え方についてみると、「運転免許を持ったことがない」が 28.8%と最も高く、次いで「今後、認知状況に危険があれば返納したい」が 26.6%、「既に運転免許を返納している」が 19.3%となっています。

年齢別にみると、〈65～69歳〉〈70～74歳〉では「今後、認知状況に危険があれば返納したい」が最も高く、次いで「運転免許を持ったことがない」となっています。〈75～79歳〉〈80～84歳〉〈85歳以上〉では「運転免許を持ったことがない」が最も高く、次いで〈75～79歳〉では「今後、認知状況に危険があれば返納したい」、それ以外の区分では「既に運転免許を返納している」となっています。



問 75-1 運転免許返納後の支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

運転免許返納後の支援として、必要だと思うことについてみると、「公共交通等の移動にかかる経済的支援（タクシー券補助など）」が 52.8%と最も高く、次いで「家の近くから利用できるコミュニティバス等の移動手段の充実」が 52.4%、「身近な歩いて行ける範囲と在宅で受けられるサービスで、医療や生活の所用を済ませられる環境」が 35.2%となっています。



問 75-1 運転免許返納後の支援として、どのようなことが必要だと思いますか。 × 年齢別

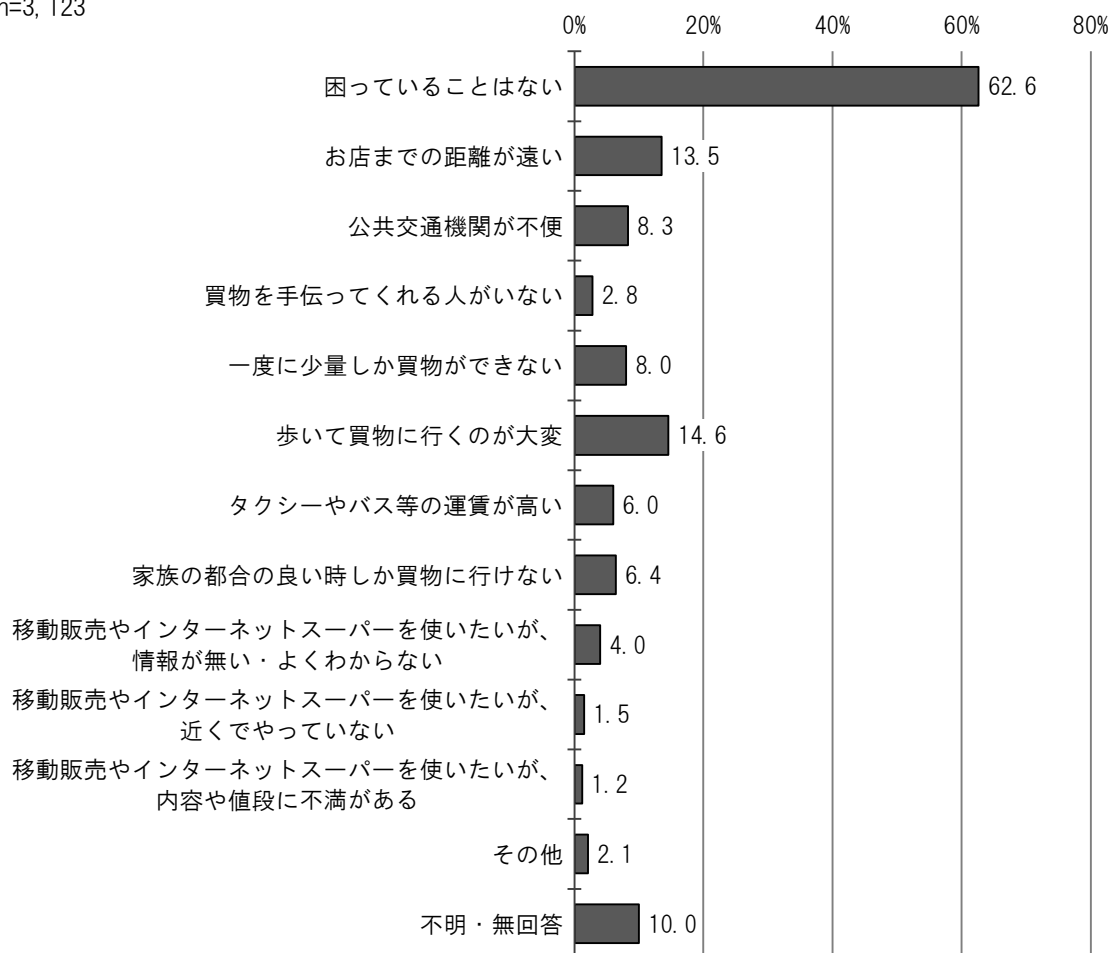
年齢別にみると、〈65～69歳〉〈85歳以上〉では「公共交通等の移動にかかる経済的支援（タクシー券補助など）」が最も高く、次いで「家の近くから利用できるコミュニティバス等の移動手段の充実」となっています。それ以外の区分では「家の近くから利用できるコミュニティバス等の移動手段の充実」が最も高く、次いで「公共交通等の移動にかかる経済的支援（タクシー券補助など）」となっています。

単位：%	家の近くから利用できるコミュニティバス等の移動手段の充実	公共交通等の移動にかかる経済的支援 (タクシー券補助など)	身近な歩いて行ける範囲と在宅で受けられるサービスで、医療や生活の所用を済ませられる環境	家族等の社会や職場での、介護休暇等についての理解や制度整備	どのようなケースでも返納は難しい	その他	不明・無回答
全体(n=3,123)	52.4	52.8	35.2	8.6	4.0	1.8	18.2
65～69歳(n=560)	59.1	60.9	46.4	13.2	5.2	1.8	8.0
70～74歳(n=699)	57.5	57.1	38.3	9.7	4.3	2.0	12.9
75～79歳(n=699)	53.5	53.2	33.9	9.2	4.7	2.3	17.7
80～84歳(n=600)	49.5	46.8	30.8	4.8	3.3	1.7	22.5
85歳以上(n=423)	41.8	43.0	27.7	5.7	1.4	1.4	33.3

問 76 日常の買物について、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常の買物について、困っていることについてみると、「困っていることはない」が 62.6%と最も高く、次いで「歩いて買物に行くのが大変」が 14.6%、「お店までの距離が遠い」が 13.5%となっています。

n=3, 123



問 76 日常の買物について、困っていることはありますか。 × 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「困っていることはない」が最も高く、次いで〈65～69歳〉〈70～74歳〉〈75～79歳〉では「お店までの距離が遠い」、それ以外の区分では「歩いて買物に行くのが大変」がとなっています。

単位：%	困っていることはない	お店までの距離が遠い	公共交通機関が不便	買物を手伝ってくれる人がいない	一度に少量しか買物ができない	歩いて買物に行くのが大変	タクシーやバス等の運賃が高い	
全体(n=3,123)	62.6	13.5	8.3	2.8	8.0	14.6	6.0	
年齢別	65～69歳(n=560)	75.9	9.8	6.3	1.8	4.1	8.8	1.8
	70～74歳(n=699)	72.5	10.2	6.2	1.3	6.6	9.2	3.1
	75～79歳(n=699)	64.8	12.9	7.2	2.6	7.4	12.6	3.9
	80～84歳(n=600)	53.8	16.8	10.5	3.7	11.0	20.0	10.3
	85歳以上(n=423)	42.1	19.9	13.2	6.4	11.1	26.7	11.8
単位：%	家族の都合の良い時しか買物に行けない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、情報が無い・よくわからない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、近くでやっていない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、内容や値段に不満がある	その他	不明・無回答		
全体(n=3,123)	6.4	4.0	1.5	1.2	2.1	10.0		
年齢別	65～69歳(n=560)	2.7	3.0	0.5	0.7	1.1	7.1	
	70～74歳(n=699)	4.4	2.9	0.7	1.0	1.4	8.0	
	75～79歳(n=699)	5.3	4.0	1.6	1.4	2.0	9.3	
	80～84歳(n=600)	7.3	5.8	1.7	1.3	3.2	11.0	
	85歳以上(n=423)	14.9	5.4	3.3	1.7	3.1	12.5	

問 76 日常の買物について、困っていることはありますか。 × 地区別

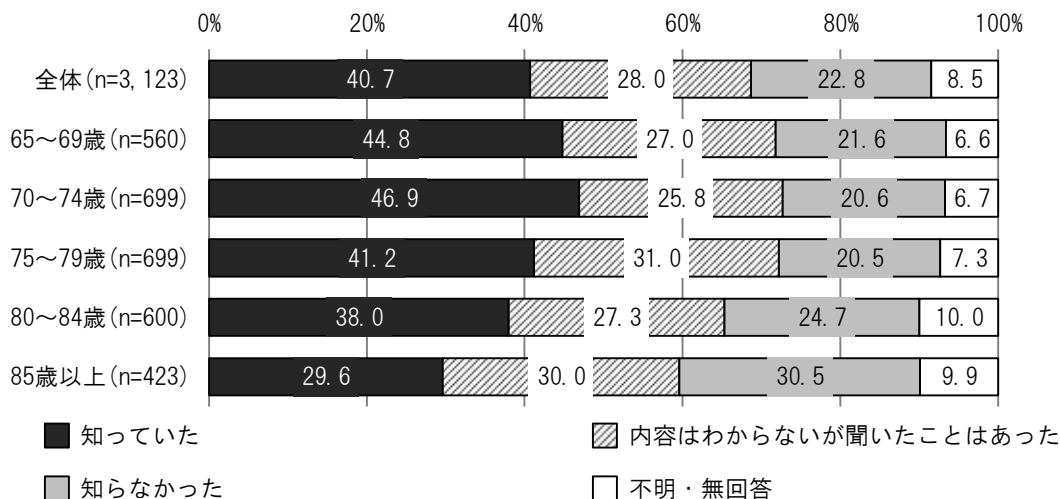
地区別にみると、すべての区分で「困っていることはない」が最も高く、次いで〈中央地区〉では「一度に少量しか買物ができない」、〈中央東地区〉〈東部地区〉では「歩いて買物に行くのが大変」、それ以外の区分では「お店までの距離が遠い」がとなっています。

単位：%	困っていることはない	お店までの距離が遠い	公共交通機関が不便	買物を手伝ってくれる人がいない	一度に少量しか買物ができない	歩いて買物に行くのが大変	タクシーやバス等の運賃が高い	
全体(n=3,123)	62.6	13.5	8.3	2.8	8.0	14.6	6.0	
地区別	中央地区(n=555)	70.3	5.2	3.4	1.8	9.9	9.0	4.0
	中央東地区(n=598)	64.0	10.5	11.4	2.7	6.9	14.0	5.7
	東部地区(n=817)	64.0	11.3	6.4	3.7	8.1	15.1	5.4
	西部地区(n=245)	62.4	18.0	7.3	1.2	4.1	15.5	6.5
	南部地区(n=554)	54.3	22.9	11.4	3.4	8.3	17.7	7.9
	北部地区(n=222)	63.1	23.9	13.1	3.6	7.7	19.4	5.4
単位：%	家族の都合の良い時しか買物に行けない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、情報が無い・よくわからない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、近くでやっていない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、内容や値段に不満がある	その他	不明・無回答		
全体(n=3,123)	6.4	4.0	1.5	1.2	2.1	10.0		
地区別	中央地区(n=555)	5.6	3.1	0.9	0.9	2.2	8.8	
	中央東地区(n=598)	5.2	4.3	1.7	1.2	2.0	9.2	
	東部地区(n=817)	6.6	4.0	1.3	1.2	1.6	9.4	
	西部地区(n=245)	6.1	4.1	0.8	0.4	2.0	8.2	
	南部地区(n=554)	7.6	5.6	1.8	1.8	2.9	12.1	
	北部地区(n=222)	6.8	2.7	2.3	0.9	1.8	6.3	

問 77 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(○は1つ) × 年齢別

このアンケート前から成年後見制度を知っていたかについてみると、「知っていた」が40.7%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはあった」が28.0%、「知らなかった」が22.8%となっています。

年齢別にみると、〈85歳以上〉では「知らなかった」、それ以外の区分では「知っていた」が最も高くなっています。「知っていた」の割合は概ね年齢が上がるほど低くなっています。



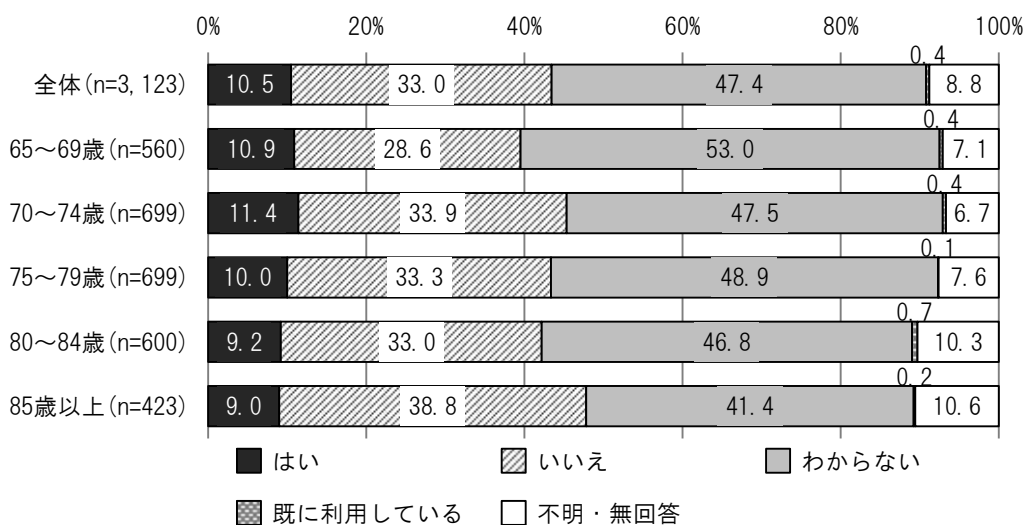
※成年後見制度について

成年後見制度は、認知症などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、ご本人の権利を守る成年後見人等を選ぶことで、ご本人の意思決定を支援する制度です。

問 78 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ) × 年齢別

成年後見制度の利用意向についてみると、「わからない」が47.4%と最も高く、次いで「いいえ」が33.0%、「はい」が10.5%となっています。

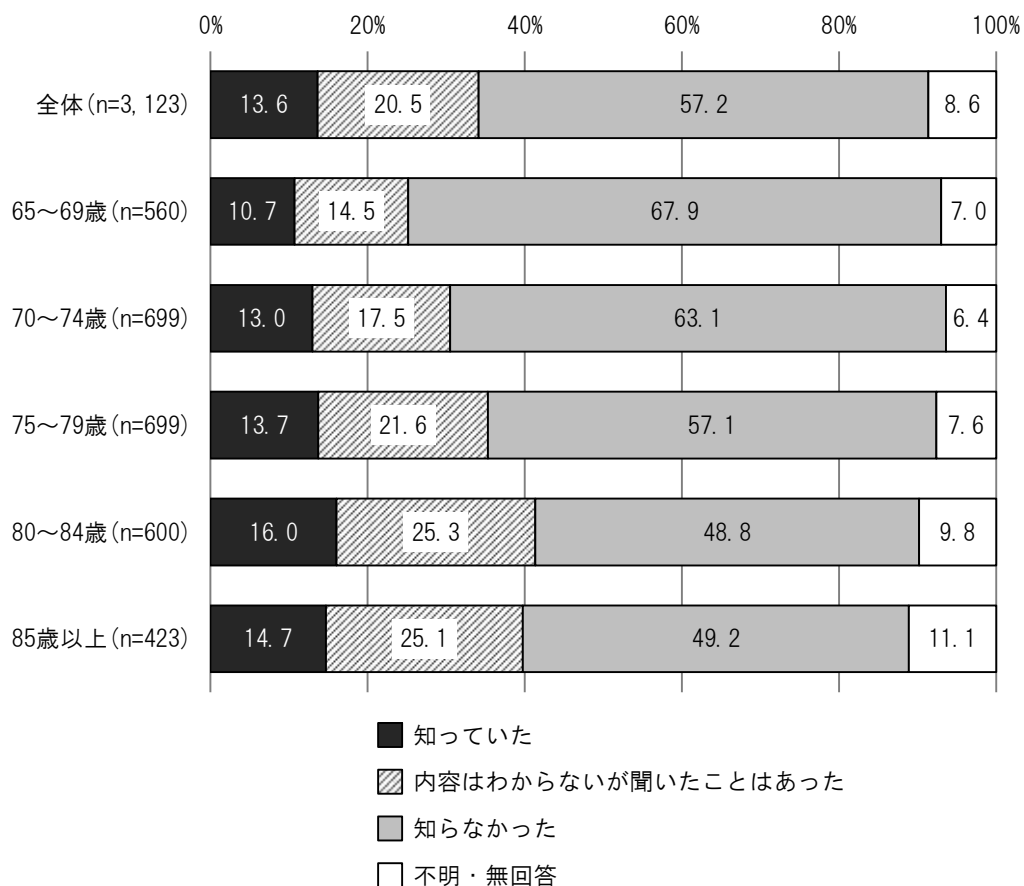
年齢別にみると、すべての区分で「わからない」が最も高く、次いで「いいえ」となっています。



問 79 このアンケート前から市民後見人を知っていましたか。(○は1つ) × 年齢別

アンケート前から市民後見人を知っていたかについてみると、「知らなかった」が57.2%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはあった」が20.5%、「知っていた」が13.6%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「知らなかった」が最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはあった」となっています。「知らなかった」の割合は概ね年齢が上がるほど低くなっています。



※市民後見人について

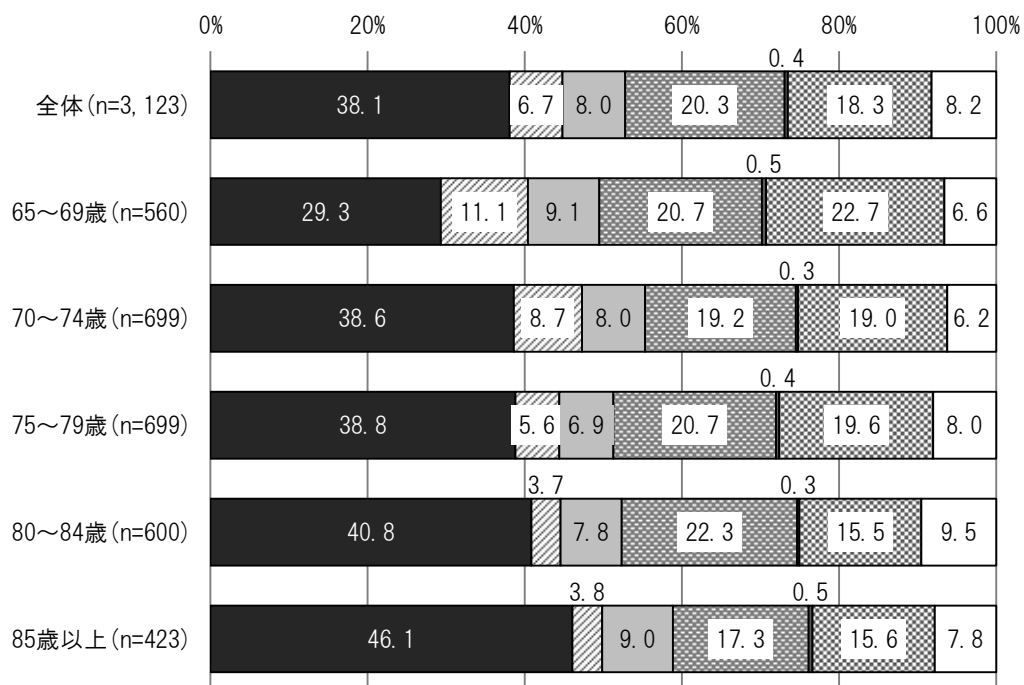
市民後見人とは、社会貢献への意欲が高い一般市民で、市町村が実施する養成研修を受講し、成年後見に関する一定の知識等を身に付けた人の中から、家庭裁判所により成年後見人等として選任された人のことです。

●市の介護保険施策について

問 80 仮に、あなたが寝たきりや認知症で、介護が必要になった場合、介護を受ける場所としてどのような場所を希望しますか。(○は1つ) × 年齢別

仮に寝たきりや認知症で介護が必要になった場合、希望する介護を受ける場所についてみると、「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が38.1%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」が20.3%、「わからない」が18.3%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」が最も高く、次いで〈65～69歳〉では「わからない」、それ以外の区分では「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」となっています。

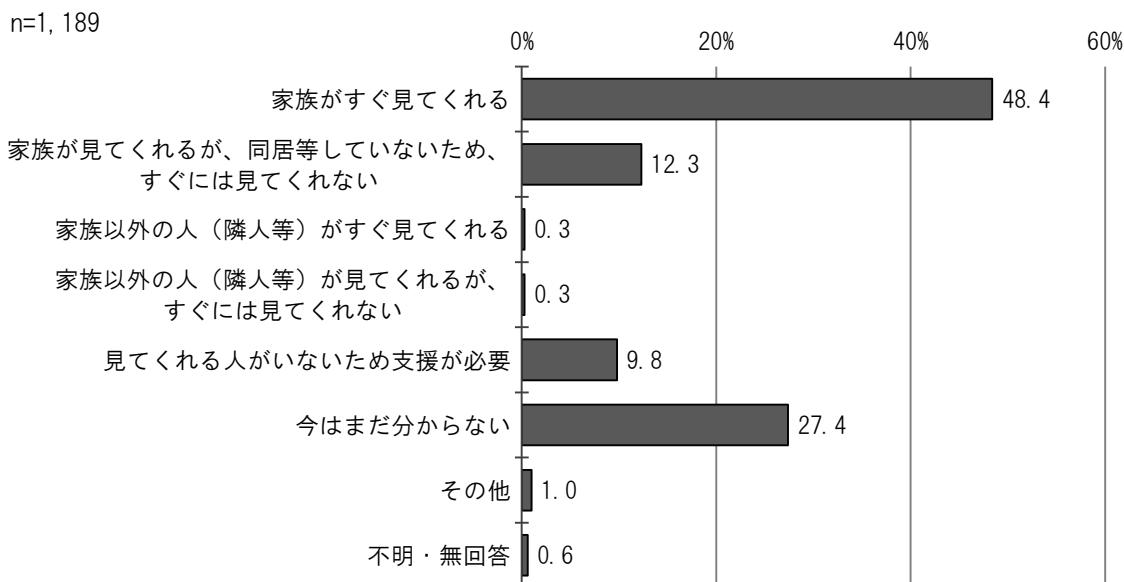


- 自宅で介護を受けながら暮らし続けたい
- ▨ バリアフリー化された高齢者向け住宅などに住み替えて、在宅サービスを受けながら暮らしたい
- 有料老人ホームなどの介護付き住宅に入りたい
- ▨ 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい
- その他
- ▨ わからない
- 不明・無回答

問 80 で「自宅で介護を受けながら暮らし続けたい」と回答した方

問 80-1 介護は誰が見てくれますか。また、介護が必要になった場合すぐに見てもらえますか。
(○は1つ)

介護は誰が見てくれるか、また、必要になった場合すぐに見てもらえるかについてみると、「家族がすぐ見てくれる」が48.4%と最も高く、次いで「今はまだ分からない」が27.4%、「家族が見てくれるが、同居等していないため、すぐには見てくれない」が12.3%となっています。



問 80-1 介護は誰が見てくれますか。また、介護が必要になった場合すぐに見てもらえますか。
× 年齢別

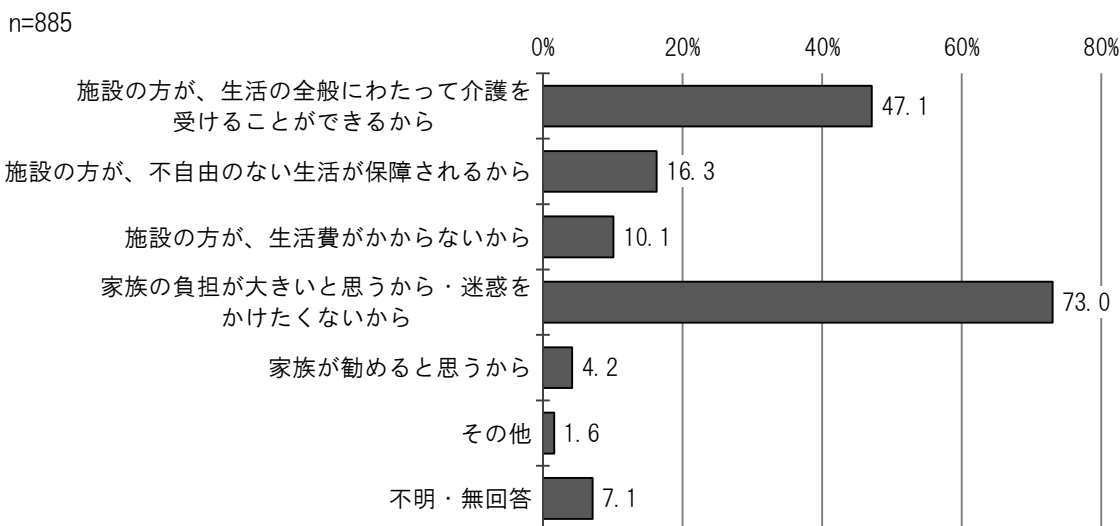
年齢別にみると、すべての区分で「家族がすぐ見てくれる」が最も高く、次いで「今はまだ分からない」となっています。「家族がすぐ見てくれる」の割合は概ね年齢が上がるほど高くなっています。

単位：%	家族がすぐ見てくれる	家族が見てくれるが、同居等していないため、すぐには見てくれない	家族以外の人（隣人等）がすぐ見てくれる	家族以外の人（隣人等）が見てくれるが、すぐには見てくれない	見てくれる人がいないため支援が必要	今はまだ分からない	その他	
全体(n=1,189)	48.4	12.3	0.3	0.3	9.8	27.4	1.0	
年齢別	65～69歳(n=164)	39.6	10.4	-	15.2	33.5	0.6	
	70～74歳(n=270)	46.3	12.6	-	0.4	6.7	32.6	
	75～79歳(n=271)	50.9	10.7	-	-	9.6	26.9	
	80～84歳(n=245)	47.8	13.5	0.4	0.4	12.2	24.1	
	85歳以上(n=195)	54.9	14.9	1.0	1.0	6.7	20.0	
単位：%	不明・無回答							
全体(n=1,189)	0.6							
年齢別	65～69歳(n=164)	0.6						
	70～74歳(n=270)	-						
	75～79歳(n=271)	0.7						
	80～84歳(n=245)	1.6						
	85歳以上(n=195)	-						

問 80 で「有料老人ホームなどの介護付き住宅に入りたい」または「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」と回答した方

問 80-2 入所（居）を希望する理由は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

入所（居）を希望する理由についてみると、「家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから」が73.0%と最も高く、次いで「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が47.1%、「施設の方が、不自由のない生活が保障されるから」が16.3%、「施設の方が、生活費がかからないから」が10.1%、「施設の方が、生活費がかからないから」が10.1%、「家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから」が73.0%、「家族が勤めると思うから」が4.2%、「その他」が1.6%、「不明・無回答」が7.1%となっています。



問 80-2 入所（居）を希望する理由は次のどれですか。 × 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから」が最も高く、次いで「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」となっています。

〈85歳以上〉では「家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから」が55.9%と、他の区分に比べて低くなっています。

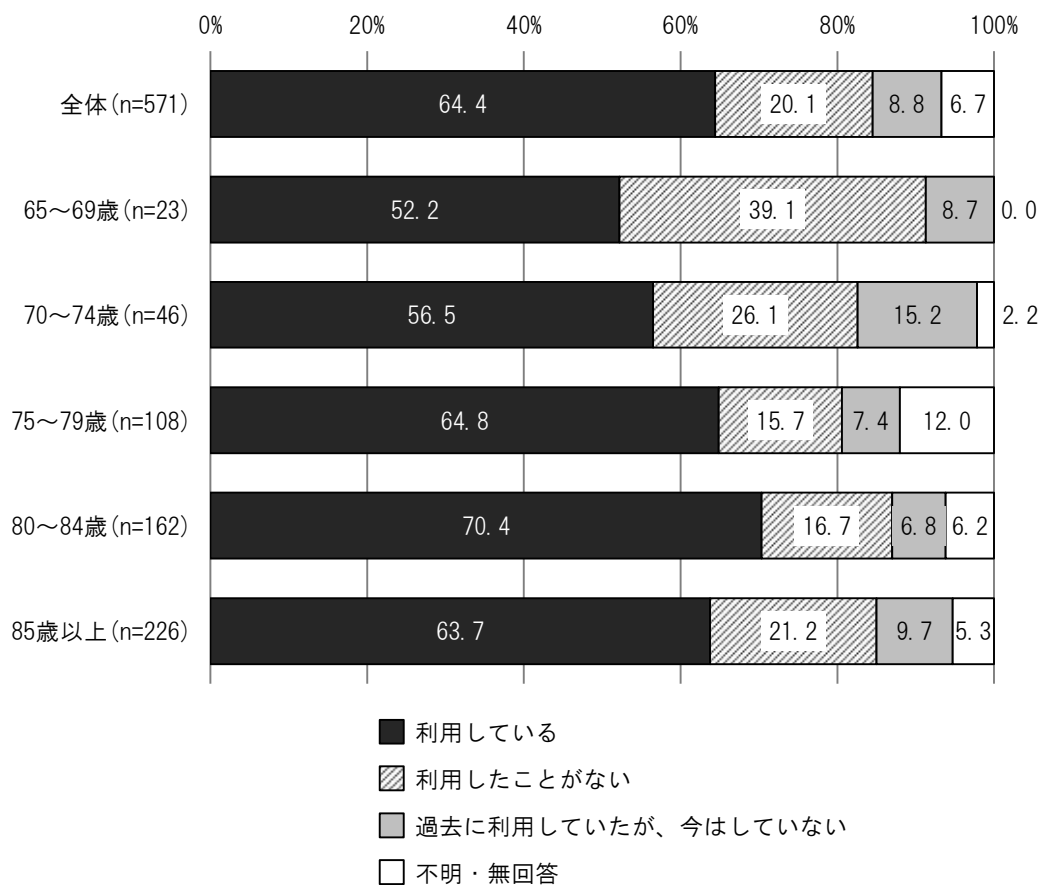
単位：%	施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから	施設の方が、不自由のない生活が保障されるから	施設の方が、生活費がかからないから	家族の負担が大きいと思うから・迷惑をかけたくないから	家族が勤めると思うから	その他	不明・無回答
全体(n=885)	47.1	16.3	10.1	73.0	4.2	1.6	7.1
年齢別							
65～69歳(n=167)	43.7	15.0	10.2	80.8	3.6	0.6	4.2
70～74歳(n=190)	55.8	17.4	11.1	75.8	4.2	2.1	3.7
75～79歳(n=193)	48.2	16.6	11.9	77.2	3.1	1.6	5.7
80～84歳(n=181)	39.2	16.0	9.4	71.3	5.0	2.8	9.9
85歳以上(n=111)	48.6	20.7	9.0	55.9	5.4	0.9	11.7

要支援1・2の方（問5で「要支援1の認定を受けている」「要支援2の認定を受けている」と回答した方）のみ

問81 あなたは介護保険のサービスを利用していますか。（○は1つ） × 年齢別

介護保険のサービスの利用状況についてみると、「利用している」が64.4%と最も高く、次いで「利用したことがない」が20.1%、「過去に利用していたが、今はしていない」が8.8%となっています。

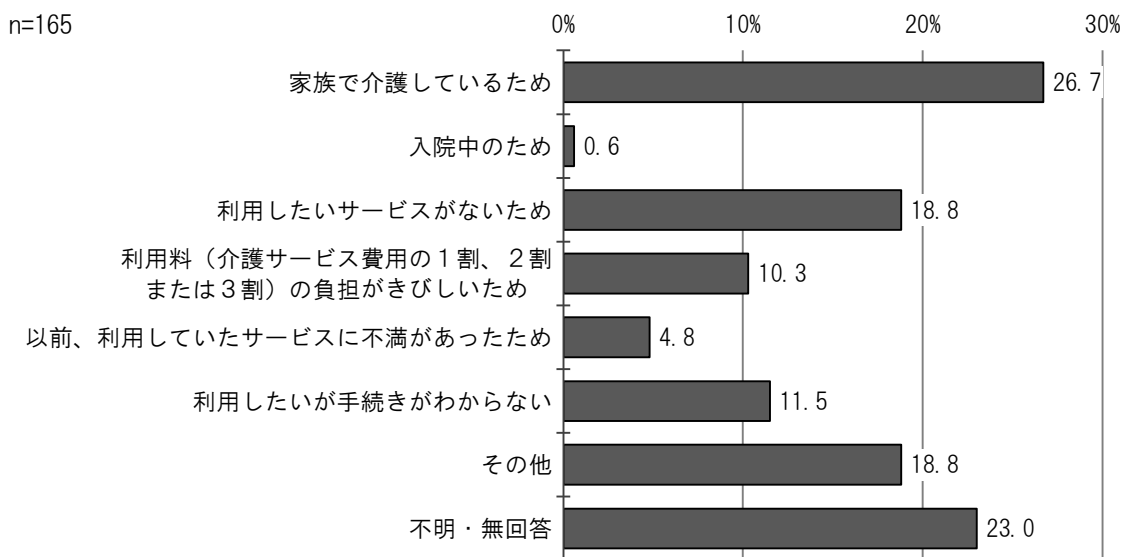
年齢別にみると、すべての区分で「利用している」が最も高く、次いで「利用したことがない」となっています。「利用している」の割合は概ね年齢が上がるにつれて高くなっています。



要支援1・2の方のうち、問81で「利用したことがない」または「過去に利用していたが、今はしていない」(介護保険サービスを利用していない)と回答した方

問81-1 サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

サービスを利用していない理由についてみると、「家族で介護しているため」が26.7%と最も高く、次いで「利用したいサービスがないため」「その他」が18.8%となっています。



問81-1 サービスを利用していない理由は何ですか。 × 年齢別

年齢別にみると、〈65～69歳〉では「利用したいサービスがないため」「利用料(介護サービス費用の1割、2割または3割)の負担がきびしいため」が最も高く、次いで「その他」となっています。〈70～74歳〉では「利用したいサービスがないため」が最も高く、次いで「家族で介護しているため」となっています。〈75～79歳〉では「家族で介護しているため」が最も高く、次いで「利用したいサービスがないため」「その他」となっています。〈80～84歳〉では「その他」が最も高く、次いで「家族で介護しているため」「利用したいサービスがないため」「利用料(介護サービス費用の1割、2割または3割)の負担がきびしいため」「利用したいが手続きがわからない」となっています。〈85歳以上〉では「家族で介護しているため」が最も高く、次いで「その他」となっています。

単位: %	家族で介護しているため	入院中のため	利用したいサービスがないため	利用料(介護サービス費用の1割、2割または3割)の負担がきびしいため	以前、利用していたサービスに不満があったため	利用したいが手続きがわからない	その他
全体(n=165)	26.7	0.6	18.8	10.3	4.8	11.5	18.8
年齢別	65～69歳(n=11)	9.1	-	27.3	27.3	-	18.2
	70～74歳(n=19)	31.6	5.3	36.8	10.5	10.5	15.8
	75～79歳(n=25)	40.0	-	12.0	8.0	8.0	12.0
	80～84歳(n=38)	10.5	-	10.5	10.5	7.9	18.4
	85歳以上(n=70)	32.9	-	20.0	8.6	1.4	21.4
単位: %	不明・無回答						
全体(n=165)	23.0						
年齢別	65～69歳(n=11)	27.3					
	70～74歳(n=19)	-					
	75～79歳(n=25)	24.0					
	80～84歳(n=38)	34.2					
	85歳以上(n=70)	21.4					

問 82 ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は 634 件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	89
健康・介護予防	38
生活支援	15
人付き合い、社会参加	26
医療	5
交通機関・公共施設	55
情報提供	39
経済的な不安	24
将来について	52
アンケート	65
お礼など	11
その他	215
合計	634

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

【介護サービスに関して】 89 件

- 介護施設はあるが、本人が希望する施設に入れず、入居許可が出ない人達が相当多くなっている。この問題を何とか希望をかなえられる様な社会を希望します。
- 今後益々、高齢化が進む中、特養等の施設の充実を図って頂きたい。希望すれば全員が入居できる市政を是非目指して欲しい。
- 要支援での介護サービスの利用があまり有効に活用されていないです。介護 2 の場合、介護 3 とあまり状態が変わらないのに、サービスの利用に差が有るので、利用者は大変困ってます。介護認定の仕方の見直しを希望します。
- デイサービスを受けているがサービスの内容がはっきりしていないので不満も多い。その不満をどこに言えばよいのか。

【健康・介護予防に関して】 38 件

- 高齢者が元気でいられるよう（病気をしない）、もう少し若い時から、もう啓発していくべきだと思います。
- 近くの公民館などで高齢者が利用出来る運動や学習ができるプログラムが有れば利用したいと思います。
- 年に心身の衰えを感じる毎日、少しでも、自立した日常生活を望み、気軽に参加出来る、市主催の健康講座等でお世話になり、感謝しています。

【生活支援に関して】 15 件（うち、成年後見制度利用について：2件）

- 例えば、「切れた電球を交換する」といったような、些細なことをお願いできるような仕組みがあると助かります。
- 成年後見制度についてもっと知りたいと思う。

【人付き合い、社会参加に関して】 26件

- 市の主催などでの高齢者向けに「集まってスポーツ、懇談など」をする機会、場所が少ない。
- 地域で助け合いボランティアをやってみたいが方法が分からない。地域住民の交流を深めたいが、きっかけをつかめない。

【医療に関して】 5件

- 医療と介護の連携を深めて欲しい。

【交通機関・公共施設に関して】 55件

- 運転免許証の返納を考えているのですが、駅やスーパーに行きやすい、市循環バスの本数や停留所を増やして頂きたいです。タクシートの割引券も発行して、気軽に外出できるようにお願い致します。
- 道路が狭く、歩道のない場所が多い。歩行者・自転車共に危険箇所が多いので、道路整備をお願いしたい。

【情報提供に関して】 39件

- 介護保険サービスについてまだ利用していなくても気軽に参加できる説明会をしてほしい。
- アパートなので老人会もなく、気楽であるが、もの足りなさも感じる。コロナでなくても誰でも参加出来るイベント等お知らせや情報がほしい。
- 介護保険は払っているが、サービスについては分からないので、利用する前に対象者ではなくても事前に説明して欲しい。受けられるサービスについてパンフレット等があれば良いと思う。
- 今回、このアンケートを頂き「鎌ヶ谷市高齢者の福祉。」についてホームページから検索してみました。初めて見る支援が多く良い機会に成りましたが、今後益々増えると思われる高齢者の一人暮らしの方はどのように知るのかと疑問に思いました。インターネットを利用していない高齢者も多くいるのではないかと。在宅・居住系サービスの利用者割合、介護費用額も全国に比べて低いので周知方法について検討願いたい。

【経済的な不安に関して】 24件

- 老後の事を考える時期に来ていると思うが、まだ決めていない。今は二人でいるがどちらかが体が不自由になったら介護施設を利用するようになるかと思いますが、施設の費用がどれくらいに必要か心配です。
- 介護施設入居をもう少し家族に負担のかからない様に安くしてもらいたい。

【将来について】 52件

- 出来る限り自分の力で生活していきたいと思っていますが、経済的にも生活環境の面でも大きな壁があります。解決に向かうには程遠く、むしろ悪化している様に思います。
- 夫と2人で居る間は、出来るだけ2人で頑張りたいが、1人になった時は、手助けが必要になる気がする。そんな時はよろしくお願いします。

【アンケートに関して】 65件

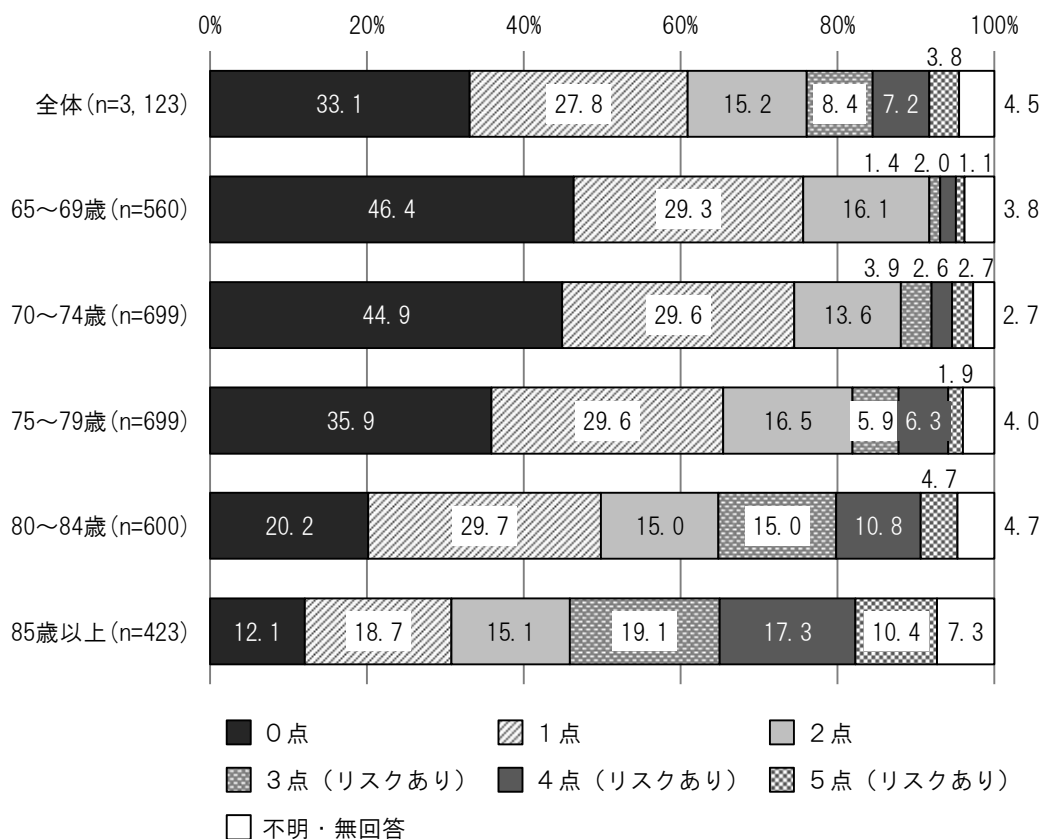
- 結果を公表してください。広報等で。
- 紙でのアンケートが必要な方も居るとは思いますが、政府はDXを推進しているのでWebアンケートでの省力化する事も良いと思います。

●日常生活におけるリスク判定の集計結果

運動機能リスク（〇は1つ） × 年齢別

運動機能リスクについてみると、「0点」が33.1%と最も高く、次いで「1点」が27.8%、「2点」が15.2%となっており、リスクあり（3点以上）の割合は19.4%となっています。

年代別にみると、年代が高くなるほどリスクありの割合は高くなる傾向にあり、〈80～84歳〉で30.5%、85歳以上で46.8%となっています。



上の運動機能のリスク判定については、国の基準を用いて、

問 11～13（立ち上がり・歩行等の動作）で、「3. できない」

問 14（転倒の経験）で、「1. 何度もある」または「2. 1度ある」

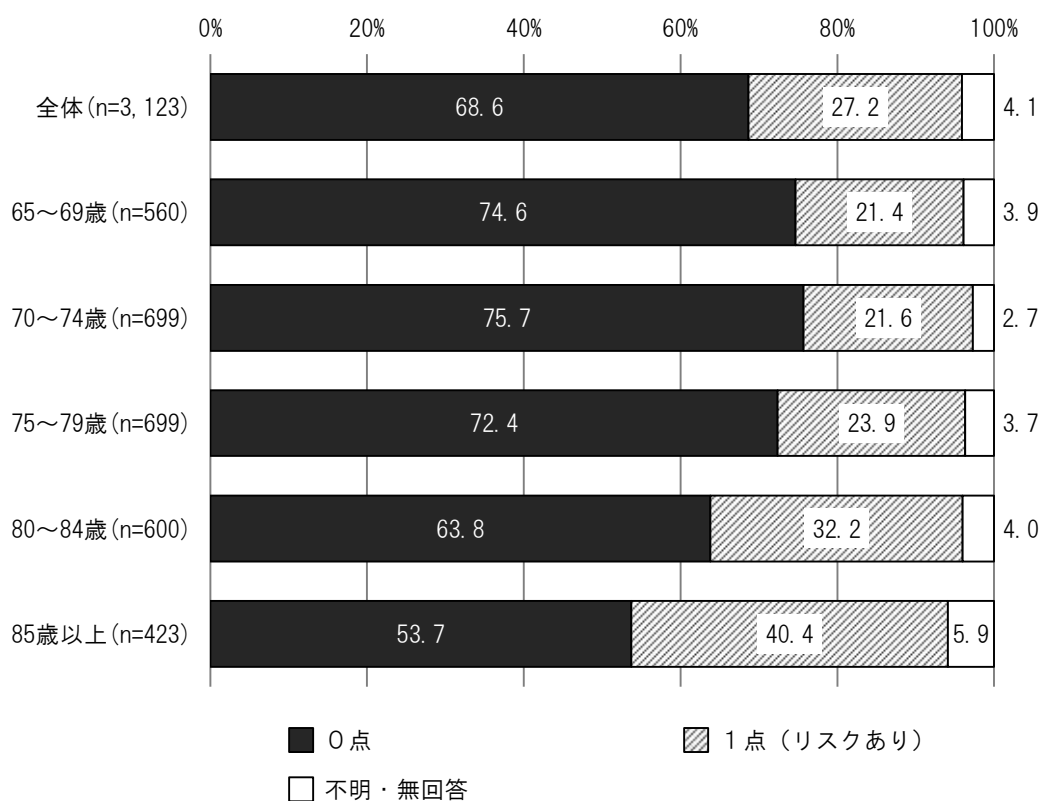
問 15（転倒の不安）で、「1. とても不安である」または「2. やや不安である」

の5問のうち該当する設問数について集計を行い、このうち3問以上該当した方についてリスクありと判定しています。

転倒リスク（〇は1つ） × 年齢別

転倒リスクについてみると、「0点」が68.6%、「1点（リスクあり）」が27.2%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「0点」が「1点（リスクあり）」を上回っています。「1点（リスクあり）」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっています。



上の転倒のリスク判定については、国の基準を用いて、

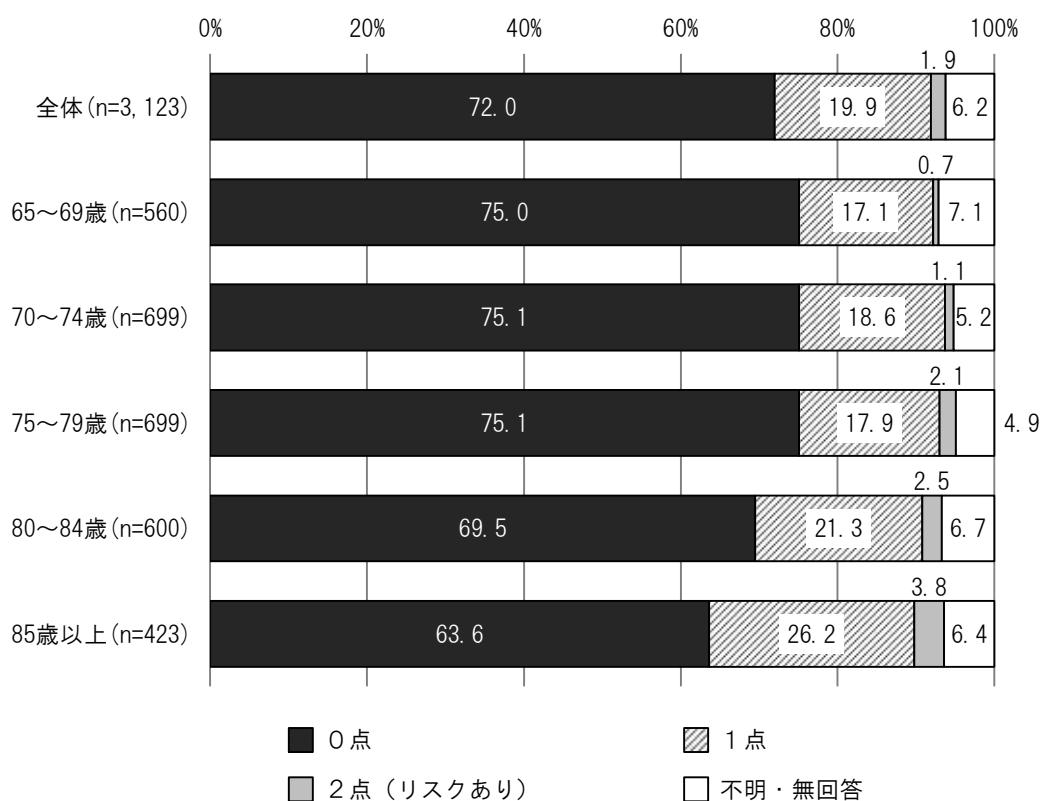
問 14（転倒の経験）で、「1. 何度もある」または「2. 1度ある」

に該当した方についてリスクありと判定しています。

栄養リスク（0は1つ） × 年齢別

栄養リスクについてみると、「0点」が72.0%と最も高く、次いで「1点」が19.9%、「2点（リスクあり）」が1.9%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「0点」が最も高く、次いで「1点」となっています。



上の栄養のリスク判定については、国の基準を用いて、

問 27 (この半年での体重減少があったか) で、「1. はい」

問 19で算出したBMIについて18.5未満

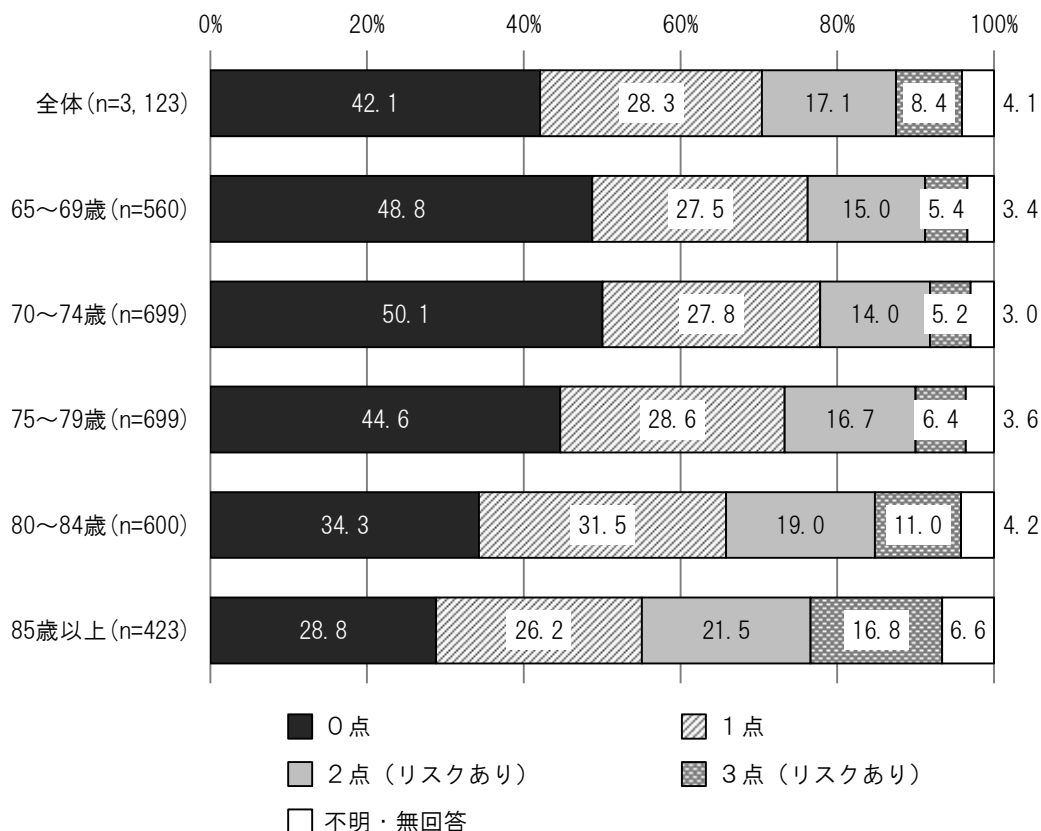
の2問のうち該当する設問数について集計を行い、このうち2問該当した方についてリスクありと判定しています。

口腔機能リスク（0は1つ） × 年齢別

口腔機能リスクについてみると、「0点」が42.1%と最も高く、次いで「1点」が28.3%、「2点（リスクあり）」が17.1%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「0点」が最も高く、次いで「1点」となっています。

リスクあり（2点以上）の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっており、〈80～84歳〉では30.0%、〈85歳以上〉では38.3%となっています。



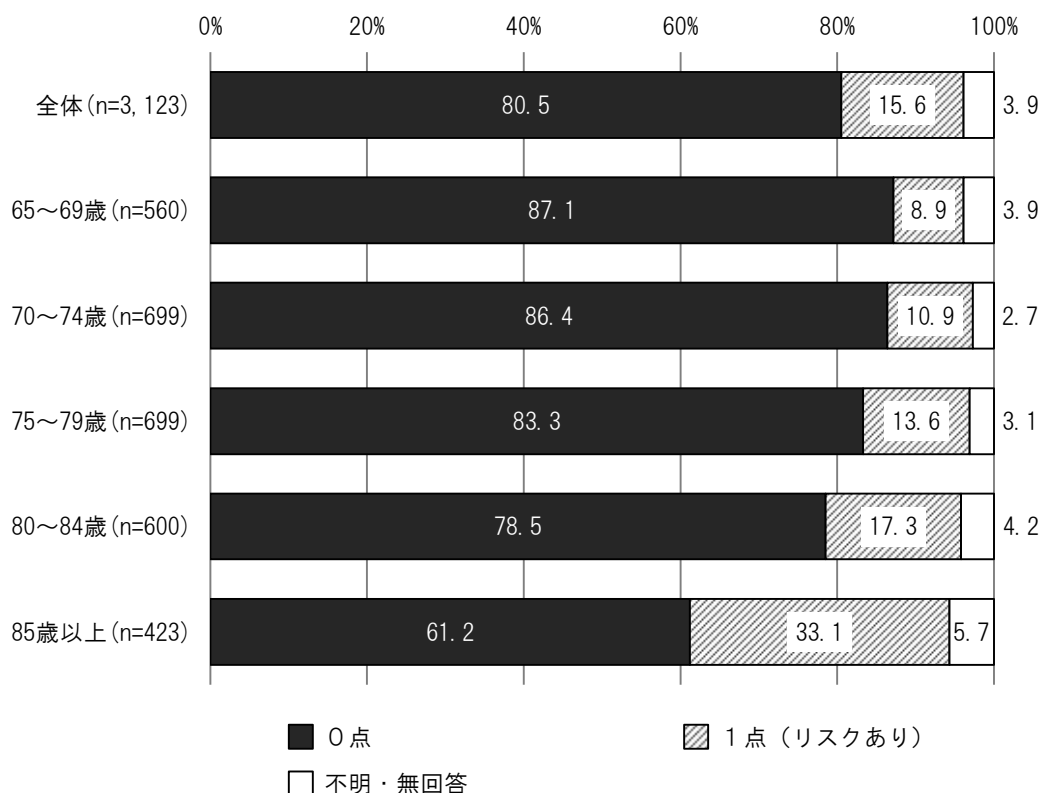
上の口腔機能のリスク判定については、国の基準を用いて、

問20～22（固いものが食べにくい、むせることがある、口の渇きが気になる）で、「1. はい」の3問のうち該当する設問数について集計を行い、このうち2問以上該当した方についてリスクありと判定しています。

閉じこもりリスク（〇は1つ） × 年齢別

閉じこもりリスクについてみると、「0点」が80.5%、「1点（リスクあり）」が15.6%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「0点」が「1点（リスクあり）」を上回っています。「1点（リスクあり）」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっており、〈85歳以上〉では33.1%となっています。



上の閉じこもりのリスク判定については、国の基準を用いて、

問16（外出の頻度）で、「1. ほとんど外出しない」または「2. 週1回」

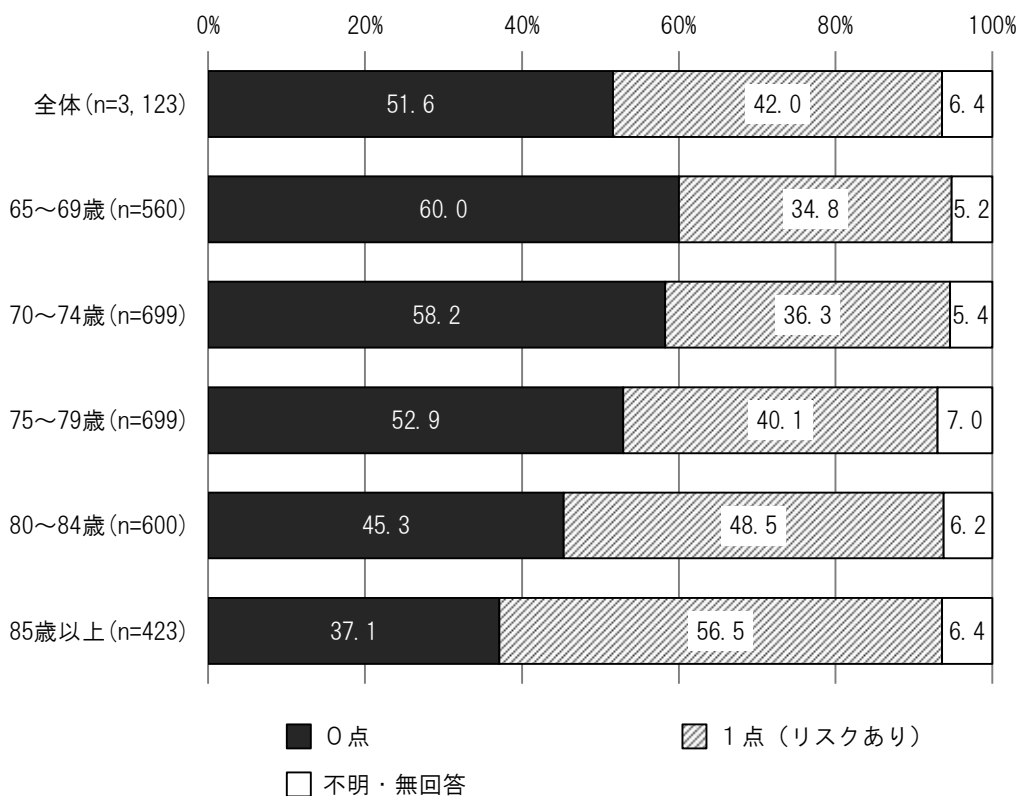
に該当した方についてリスクありと判定しています。

もの忘れリスク（〇は1つ） × 年齢別

もの忘れリスクについてみると、「0点」が51.6%、「1点（リスクあり）」が42.0%となっています。

年齢別にみると、〈65～69歳〉〈70～74歳〉〈75～79歳〉では「0点」が「1点（リスクあり）」を上回っていますが、〈80～84歳〉以上では「1点（リスクあり）」が「0点」を上回っています。

「1点（リスクあり）」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっており、〈85歳以上〉では5割を超えています。



上のもの忘れのリスク判定については、国の基準を用いて、

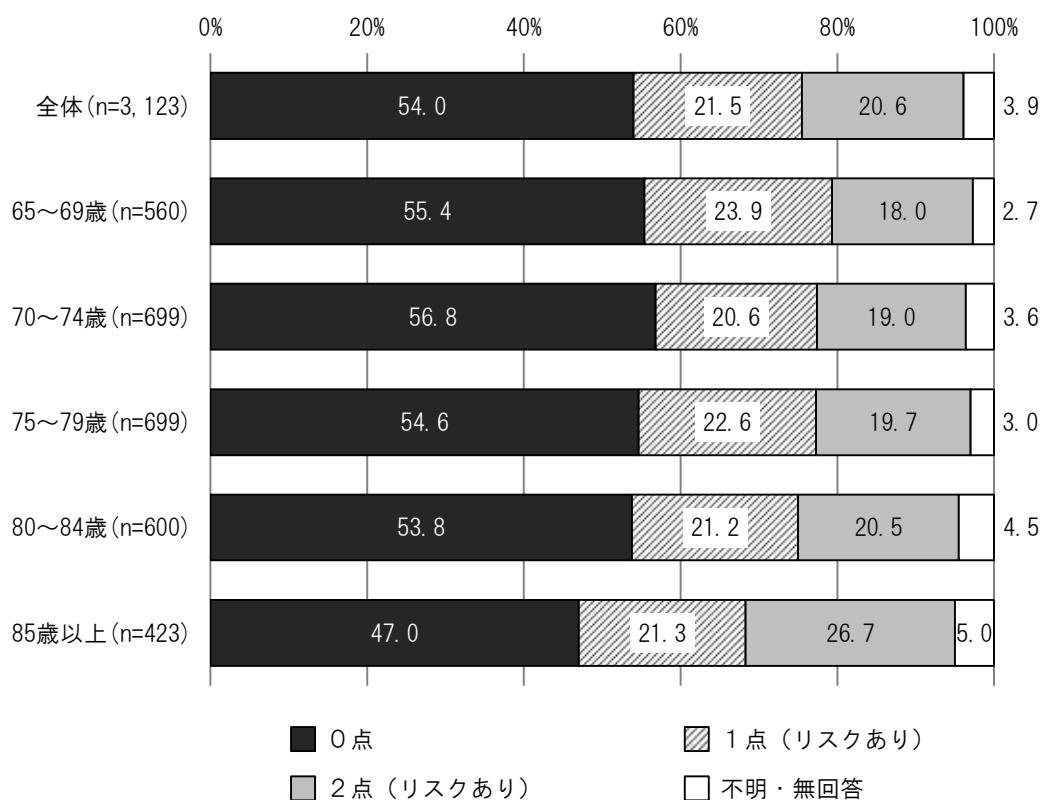
問29（物忘れが多いと感じるか）で、「1. はい」

に該当した方についてリスクありと判定しています。

心の健康リスク（〇は1つ） × 年齢別

心の健康リスクについてみると、「0点」が54.0%と最も高く、次いで「1点(リスクあり)」が21.5%、「2点(リスクあり)」が20.6%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「0点」が最も高く、次いで〈85歳以上〉では「2点(リスクあり)」、それ以外の区分では「1点(リスクあり)」となっています。「0点」の割合は、概ね年齢が上がるにつれて低くなっています。



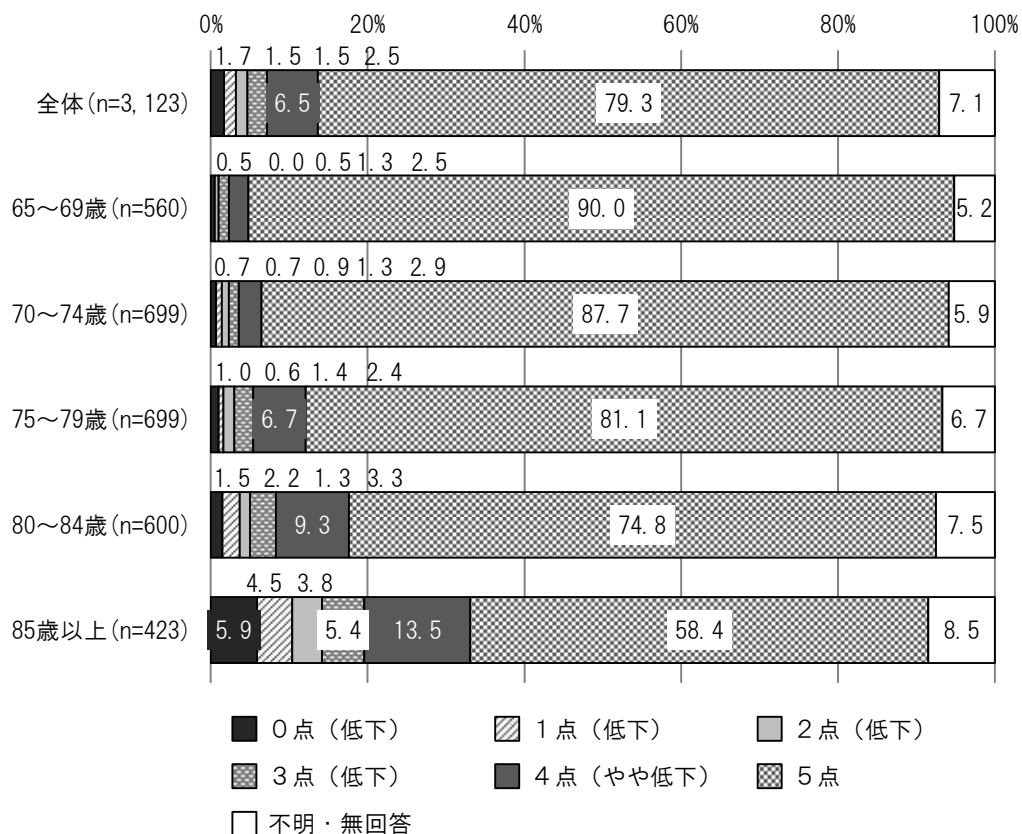
上の心の健康リスク判定については、国の基準を用いて、

問65・66（気分が沈むことがあるか、物事に興味がわかないことがあるか）で、「1. はい」の2問のうち該当する設問数について集計を行い、このうち1問以上該当した方についてリスクありと判定しています。

IADL (〇は1つ) × 年齢別

IADLについてみると、「5点」が79.3%と最も高く、次いで「4点(やや低下)」が6.5%、「3点(低下)」が2.5%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で、「5点」が最も高く、次いで「4点(やや低下)」となっています。低下(3点以下の計)は、〈80~84歳〉以下では1割未満なのに対し、〈85歳以上〉では19.6%となっています。



上のIADLの判定については、国の基準を用いて、

問32・33・34・36・37(一人での外出、買物、食事の用意、請求書の支払い、

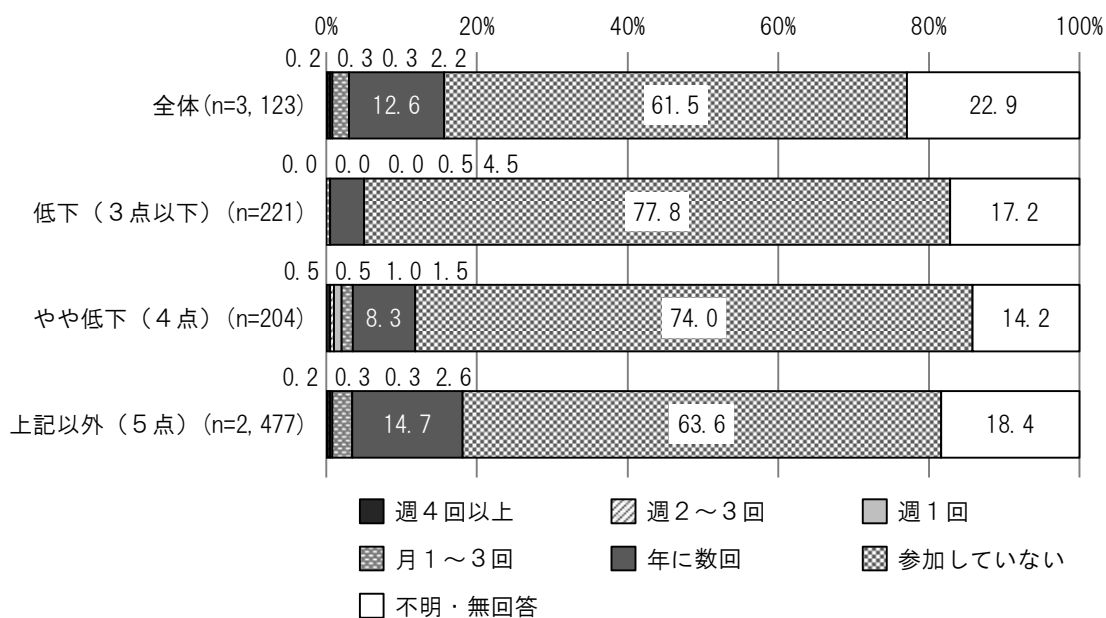
預貯金の出し入れ)で、「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」

5問のうち該当する設問数について集計を行い、このうち3問以下に該当した方について低下、4問に該当した方をやや低下としています。

● I A D L 別の分析結果

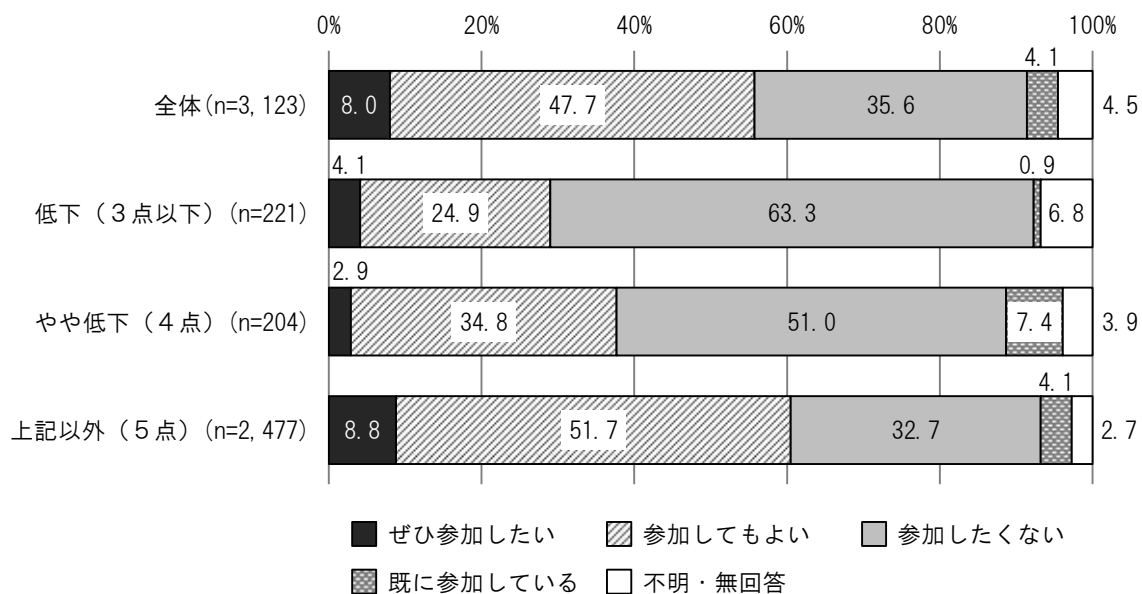
問 48 (7) 自治会・町会 × I A D L 別

I A D L 別に自治会・町会への参加状況みると、『参加している』は〈低下 (3点以下)〉で 5.0%、〈やや低下 (4点)〉で 11.8%、〈上記以外 (5点)〉で 18.1%となっています。



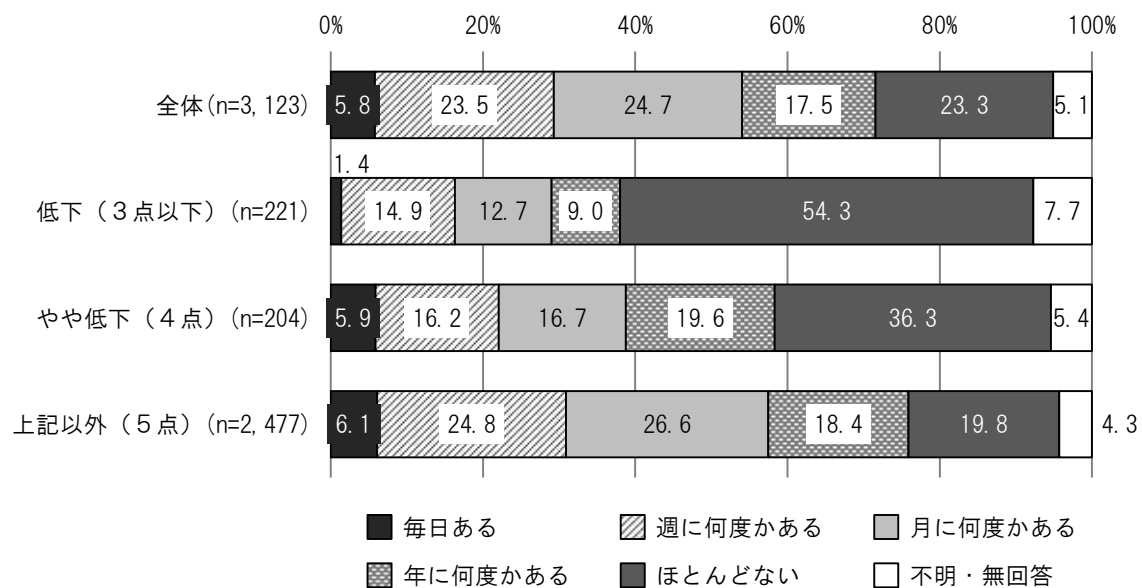
問 49 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。× IADL別

IADL別に地域活動への参加意向についてみると、〈低下（3点以下）〉〈やや低下（4点）〉では「参加したくない」、〈上記以外（5点）〉では「参加してもよい」が最も高くなっています。『参加の意思あり』の割合は、IADLが低下しているほど低くなっています。



問 57 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。× IADL別

IADL別に友人・知人と会う頻度についてみると、〈低下（3点以下）〉〈やや低下（4点）〉では「ほとんどない」が最も高く、〈低下（3点以下）〉では5割を超えています。〈上記以外（5点）〉では「月に何度かある」が最も高く、次いで「週に何度かある」となっています。



問 64 あなたは、現在どの程度幸せですか。× IADL別

IADL別に主観的幸福感についてみると、すべての区分で「5点」が最も高く、次いで「低下（3点以下）」では「8点」、それ以外の区分では「7点」となっています。

単位：%		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点
全体(n=3,123)		0.8	0.6	1.7	3.6	8.1	21.1	11.6
IADL別	低下（3点以下）(n=221)	0.5	1.4	2.7	3.6	12.7	17.6	13.6
	やや低下（4点）(n=204)	1.5	2.0	2.0	4.9	7.8	18.1	9.3
	上記以外（5点）(n=2,477)	0.7	0.4	1.5	3.5	7.8	21.5	11.6
単位：%		7点	8点	9点	10点	不明・無回答		
全体(n=3,123)		15.4	13.4	8.8	10.6	4.4		
IADL別	低下（3点以下）(n=221)	10.0	15.8	6.3	11.3	4.5		
	やや低下（4点）(n=204)	16.2	8.8	9.3	14.7	5.4		
	上記以外（5点）(n=2,477)	15.9	13.6	9.0	10.3	4.1		

問 76 日常の買物について、困っていることはありますか。× IADL別

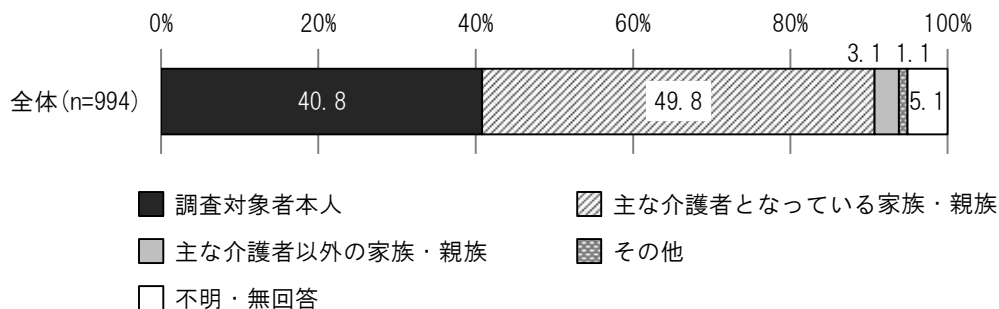
IADL別に日常の買物についてみると、すべての区分で「困っていることはない」が最も高く、次いで「低下（3点以下）」「やや低下（4点）」では「歩いて買物に行くのが大変」、
「上記以外（5点）」では「お店までの距離が遠い」となっています。「困っていることはない」の割合は、IADLが低下しているほど低くなっています。

単位：%		困っていることはない	お店までの距離が遠い	公共交通機関が不便	買物を手伝ってくれる人がいない	一度に少量しか買物ができない	歩いて買物に行くのが大変	タクシーやバス等の運賃が高い
全体(n=3,123)		62.6	13.5	8.3	2.8	8.0	14.6	6.0
IADL別	低下（3点以下）(n=221)	36.7	17.2	7.7	4.5	8.1	29.0	10.4
	やや低下（4点）(n=204)	43.1	17.6	10.8	3.9	12.3	24.0	8.8
	上記以外（5点）(n=2,477)	67.5	12.8	7.8	2.6	7.5	12.6	5.0
単位：%		家族の都合の良い時しか買物に行けない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、情報が無い・よくわからない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、近くでやっていない	移動販売やインターネットスーパーを使いたい が、内容や値段に不満がある	その他	不明・無回答	
全体(n=3,123)		6.4	4.0	1.5	1.2	2.1	10.0	
IADL別	低下（3点以下）(n=221)	19.9	7.2	2.7	1.4	5.9	13.6	
	やや低下（4点）(n=204)	15.7	8.3	1.5	2.5	3.9	11.3	
	上記以外（5点）(n=2,477)	4.3	3.4	1.4	1.2	1.7	8.6	

第5章 在宅介護実態調査

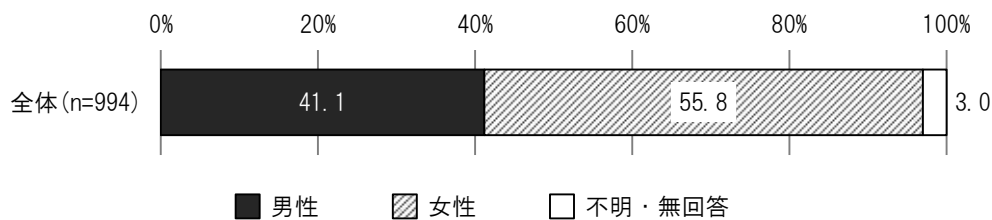
問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(〇は1つ)

調査票の記入者についてみると、「主な介護者となっている家族・親族」が49.8%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が40.8%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.1%となっています。



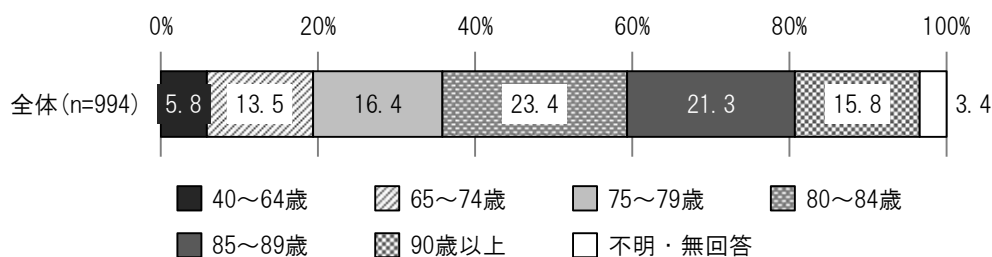
問3 あなたの性別は。(〇は1つ)

性別についてみると、「男性」が41.1%、「女性」が55.8%となっています。



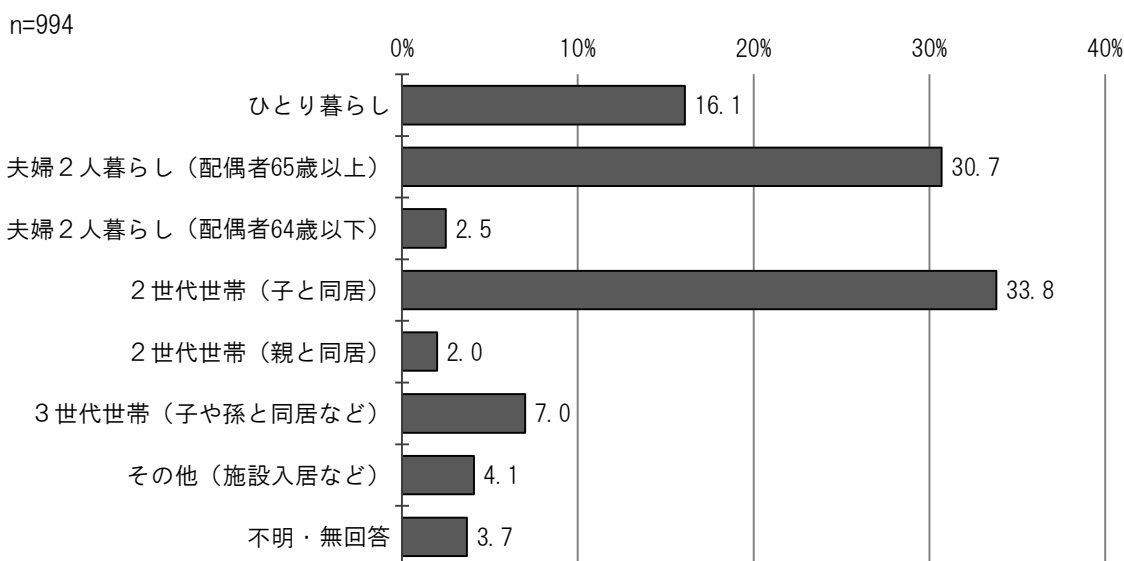
問4 あなたの年齢は。(〇は1つ)

年齢についてみると、「80～84歳」が23.4%と最も高く、次いで「85～89歳」が21.3%、「75～79歳」が16.4%となっています。



問5 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

家族構成についてみると、「2世代世帯(子と同居)」が33.8%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が30.7%、「ひとり暮らし」が16.1%となっています。



問5 家族構成をお教えてください。× 年齢別

年齢別にみると、〈40～64歳〉〈85～89歳〉〈90歳以上〉では「2世代世帯(子と同居)」が最も高く、次いで〈40～64歳〉では「2世代世帯(親と同居)」、〈85～89歳〉では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、〈90歳以上〉では「ひとり暮らし」となっています。〈65～74歳〉〈75～79歳〉〈80～84歳〉では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も高く、次いで「2世代世帯(子と同居)」となっています。

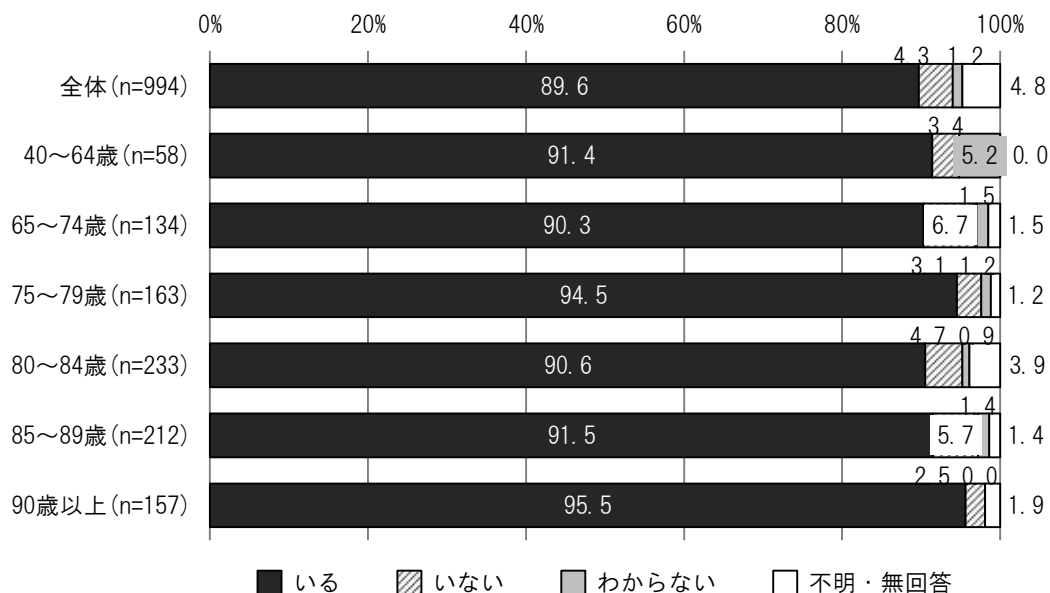
単位：%		ひとり暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2世代世帯 (子と同居)	2世代世帯 (親と同居)	3世代世帯(子や 孫と同居など)	その他 (施設入居など)
全体(n=994)		16.1	30.7	2.5	33.8	2.0	7.0	4.1
年齢別	40～64歳(n=58)	13.8	6.9	12.1	27.6	20.7	5.2	12.1
	65～74歳(n=134)	11.9	38.1	6.0	28.4	5.2	3.7	6.0
	75～79歳(n=163)	14.1	49.1	3.7	28.2	-	3.7	-
	80～84歳(n=233)	16.7	40.8	0.9	30.0	-	9.4	1.3
	85～89歳(n=212)	23.6	26.4	0.9	35.8	0.5	8.5	3.8
	90歳以上(n=157)	13.4	11.5	-	56.1	-	9.6	9.6
単位：%		不明・無回答						
全体(n=994)		3.7						
年齢別	40～64歳(n=58)	1.7						
	65～74歳(n=134)	0.7						
	75～79歳(n=163)	1.2						
	80～84歳(n=233)	0.9						
	85～89歳(n=212)	0.5						
	90歳以上(n=157)	-						

問6 あなたは、健康や病気のことを相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師」がいますか。(それぞれ1つに○)

ア. 「かかりつけ医」の有無 × 年齢別

「かかりつけ医」の有無についてみると、「いる」が89.6%と最も高く、次いで「いない」が4.3%、「わからない」が1.2%、「わからない」が1.2%となっています。

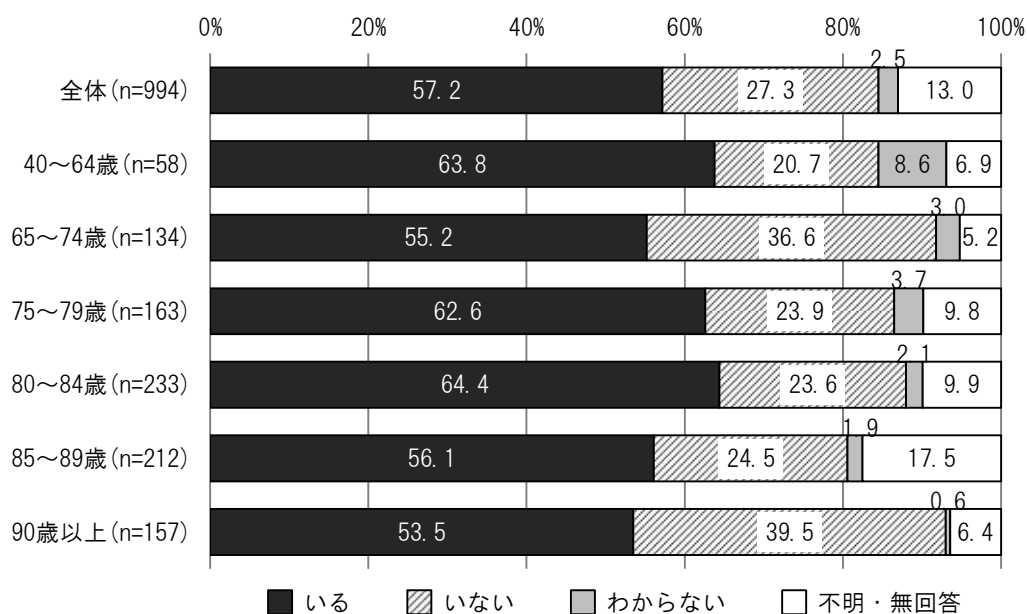
年齢別にみると、すべての区分で「いる」が9割を超えています。



イ. 「かかりつけ歯科医」の有無 × 年齢別

「かかりつけ歯科医」の有無についてみると、「いる」が57.2%と最も高く、次いで「いない」が27.3%、「わからない」が2.5%となっています。

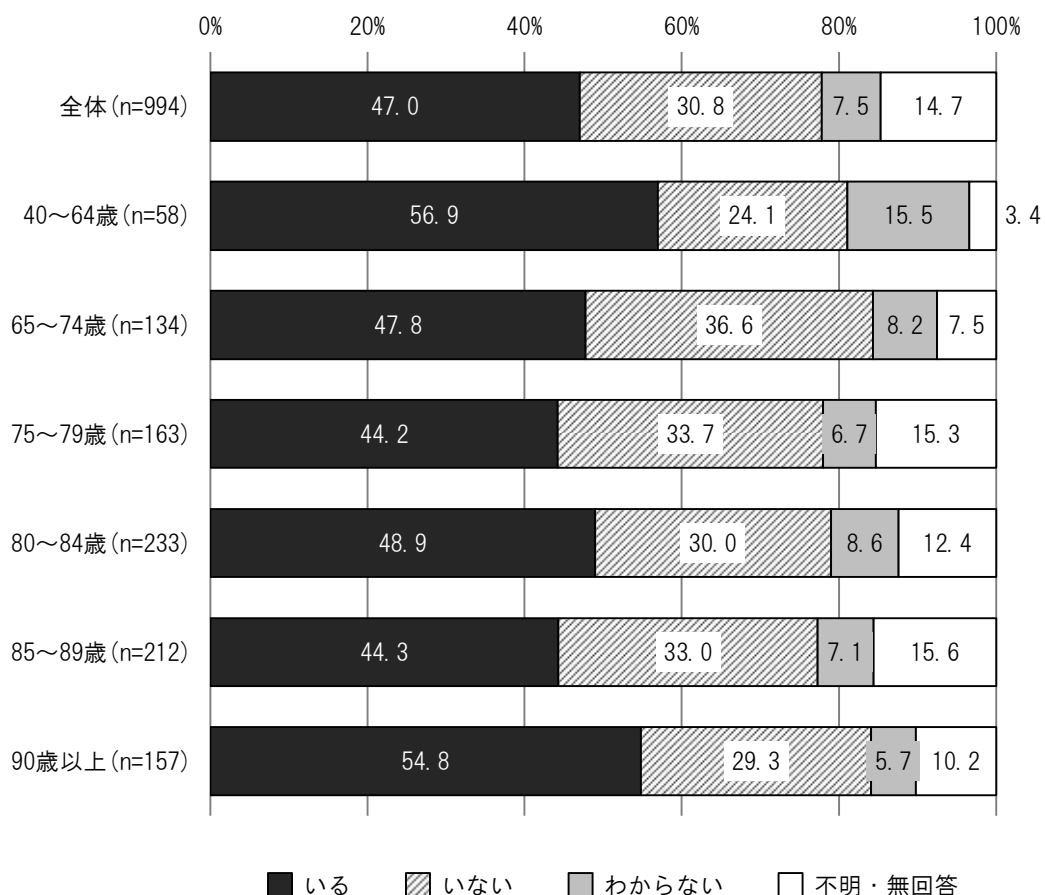
年齢別にみると、すべての区分で「いる」が最も高くなっています。



ウ. 「かかりつけ薬剤師」の有無 × 年齢別

「かかりつけ薬剤師」の有無についてみると、「いる」が47.0%と最も高く、次いで「いない」が30.8%、「わからない」が7.5%、「わからない」が7.5%となっています。

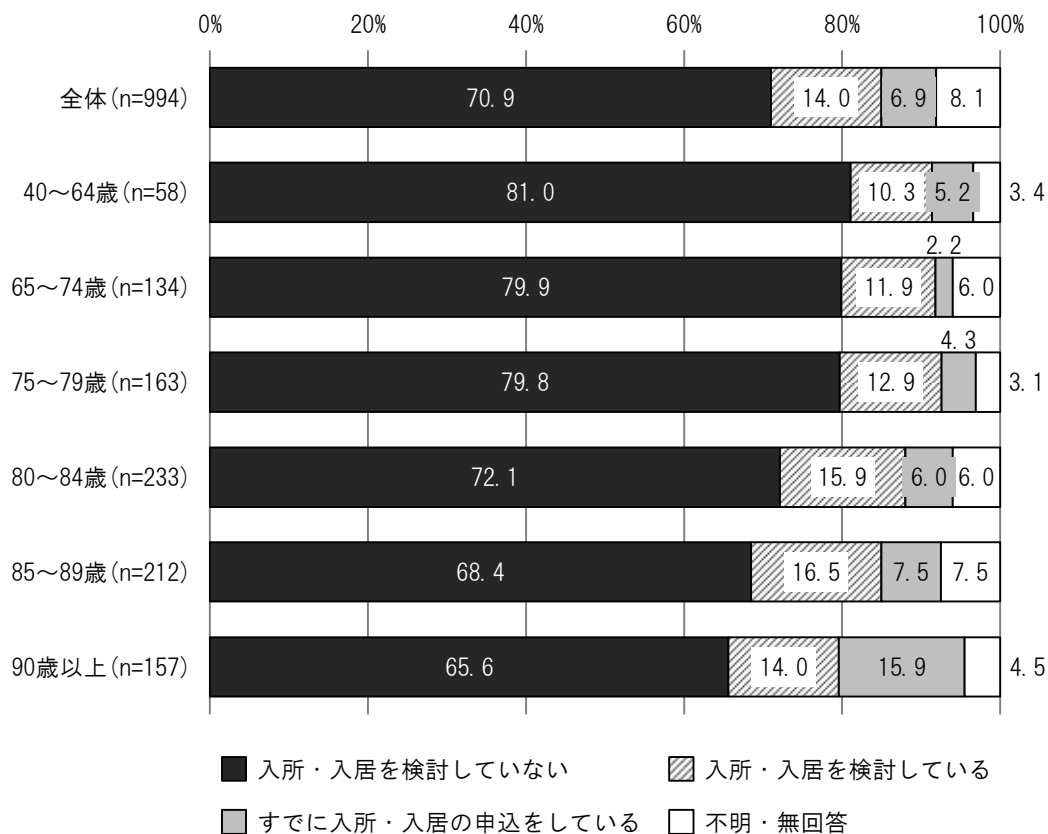
年齢別にみると、すべての区分で「いる」が最も高く、特に〈40～64歳〉〈90歳以上〉では5割を超えています。



●介護サービス等の利用について

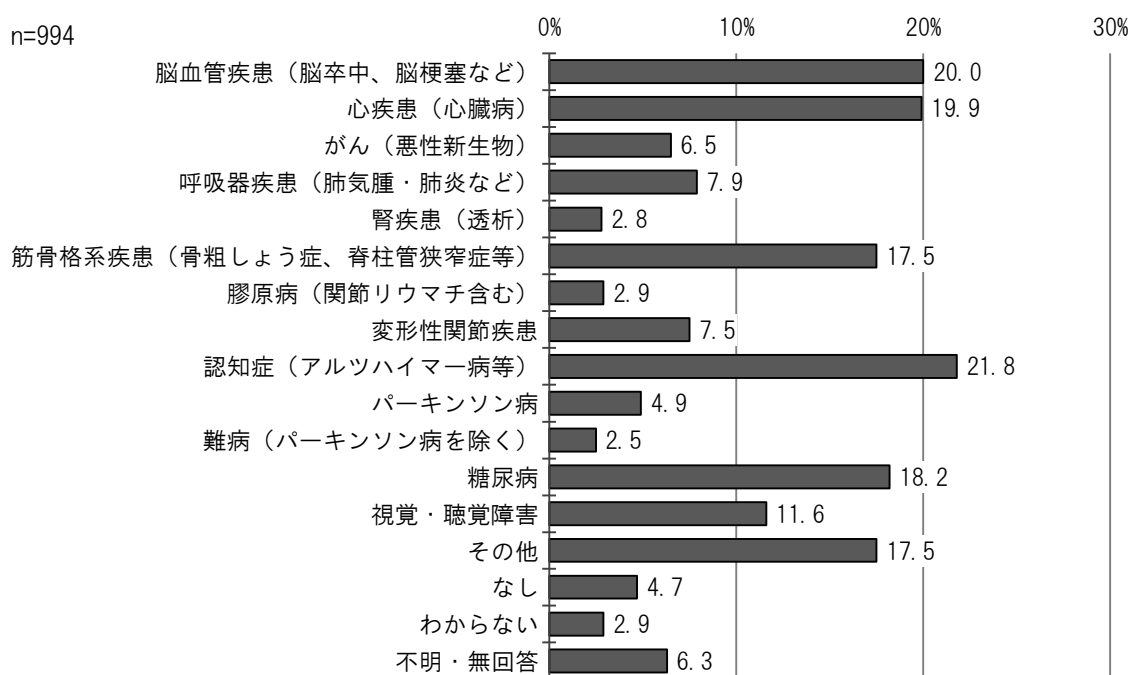
問7 あなたは現在、施設等への入所・入居を検討していますか。(〇は1つ) × 年齢別

施設等への入所・入居の検討状況についてみると、「入所・入居を検討していない」が70.9%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.0%、「すでに入所・入居の申込をしている」が6.9%となっています。年齢別にみると、「入所・入居を検討していない」について、80歳以上の区分で低くなっていく傾向がみられます。



問8 あなたが現在抱えている傷病はありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在抱えている傷病についてみると、「認知症（アルツハイマー病等）」が21.8%と最も高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中、脳梗塞など）」が20.0%、「心疾患（心臓病）」が19.9%となっています。



問8 あなたが現在抱えている傷病はありますか。× 年齢別

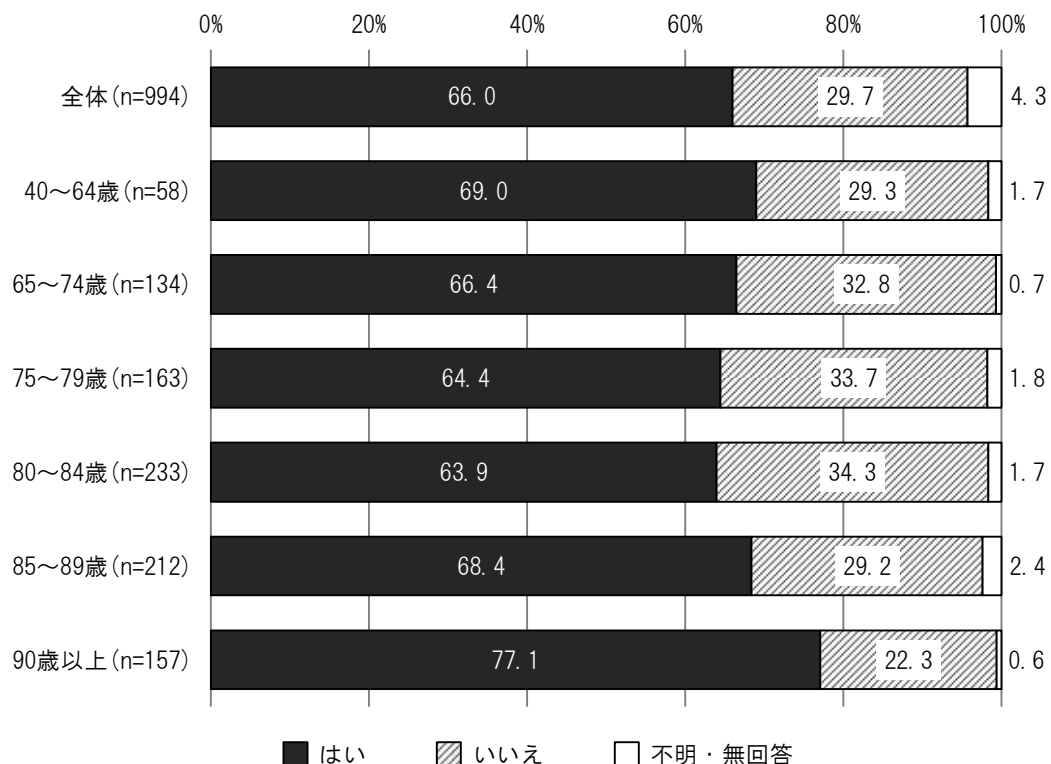
年齢別にみると、〈75～79歳〉以下では「脳血管疾患（脳卒中、脳梗塞など）」、〈80～84歳〉〈90歳以上〉では「認知症（アルツハイマー病等）」、〈85～89歳〉では「心疾患（心臓病）」が最も高くなっています。

単位：%		脳血管疾患（脳卒中、脳梗塞など）	心疾患（心臓病）	がん（悪性新生物）	呼吸器疾患（肺気腫・肺炎など）	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）
全体(n=994)		20.0	19.9	6.5	7.9	2.8	17.5	2.9
年齢別	40～64歳(n=58)	34.5	15.5	5.2	1.7	3.4	19.0	3.4
	65～74歳(n=134)	32.8	16.4	10.4	10.4	2.2	10.4	2.2
	75～79歳(n=163)	23.9	16.6	10.4	10.4	3.1	15.3	1.8
	80～84歳(n=233)	21.0	20.2	6.9	6.4	2.1	19.7	3.4
	85～89歳(n=212)	15.6	24.1	4.7	9.0	1.9	22.2	5.7
	90歳以上(n=157)	8.3	26.1	3.2	6.4	5.7	19.7	0.6
単位：%		変形性関節疾患	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他
全体(n=994)		7.5	21.8	4.9	2.5	18.2	11.6	17.5
年齢別	40～64歳(n=58)	8.6	19.0	-	10.3	17.2	20.7	15.5
	65～74歳(n=134)	3.0	18.7	3.0	3.7	20.9	5.2	15.7
	75～79歳(n=163)	6.7	14.7	7.4	3.1	22.7	9.8	17.2
	80～84歳(n=233)	6.9	27.5	8.2	2.1	17.2	9.0	15.0
	85～89歳(n=212)	9.9	21.7	5.7	1.4	18.4	12.7	18.4
	90歳以上(n=157)	10.8	29.9	1.3	0.6	15.3	19.7	25.5
単位：%		なし	わからない	不明・無回答				
全体(n=994)		4.7	2.9	6.3				
年齢別	40～64歳(n=58)	8.6	-	1.7				
	65～74歳(n=134)	3.0	1.5	3.0				
	75～79歳(n=163)	3.1	2.5	6.1				
	80～84歳(n=233)	4.3	3.0	3.4				
	85～89歳(n=212)	6.6	4.7	3.3				
	90歳以上(n=157)	4.5	3.8	3.2				

問9 令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ) × 年齢別

令和4年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用したかについてみると、「はい」が66.0%、「いいえ」が29.7%となっています。

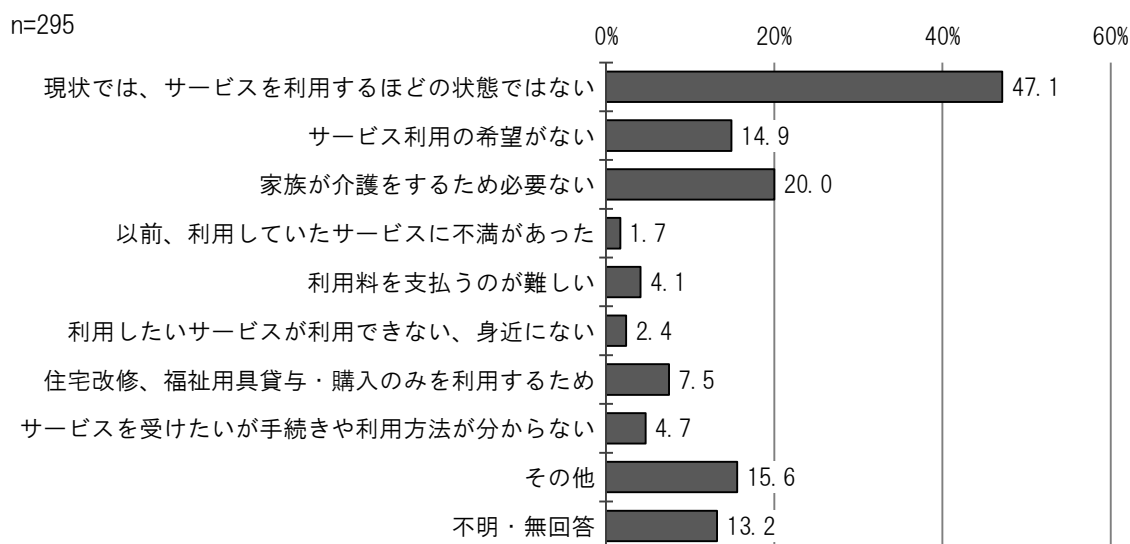
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が「いいえ」を上回っており、特に〈90歳以上〉では「はい」が7割を超えています。



問9で「いいえ」と回答した方

問9-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.1%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が20.0%、「その他」が15.6%となっています。



問9-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。× 年齢別

年齢別にみると、〈40～64歳〉では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「その他」が最も高く、次いで「利用したいサービスが利用できない、身近にない」となっています。それ以外の区分では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高く、次いで〈75～79歳〉では「サービスの利用希望がない」「家族が介護をするため必要ない」、〈80～84歳〉では「その他」、〈65～74歳〉〈85～89歳〉〈90歳以上〉では「家族が介護をするため必要ない」となっています。

単位: %	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	
全体(n=295)	47.1	14.9	20.0	1.7	4.1	2.4	7.5	
年齢別	40～64歳(n=17)	29.4	5.9	-	5.9	11.8	5.9	
	65～74歳(n=44)	56.8	13.6	22.7	2.3	-	6.8	
	75～79歳(n=55)	38.2	20.0	20.0	3.6	1.8	7.3	
	80～84歳(n=80)	52.5	11.3	11.3	-	6.3	1.3	5.0
	85～89歳(n=62)	46.8	16.1	22.6	1.6	3.2	3.2	12.9
90歳以上(n=35)	45.7	17.1	40.0	-	2.9	2.9	5.7	
単位: %	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	不明・無回答					
全体(n=295)	4.7	15.6	13.2					
年齢別	40～64歳(n=17)	-	29.4	23.5				
	65～74歳(n=44)	2.3	6.8	11.4				
	75～79歳(n=55)	1.8	14.5	16.4				
	80～84歳(n=80)	8.8	18.8	13.8				
	85～89歳(n=62)	3.2	14.5	14.5				
90歳以上(n=35)	8.6	17.1	2.9					

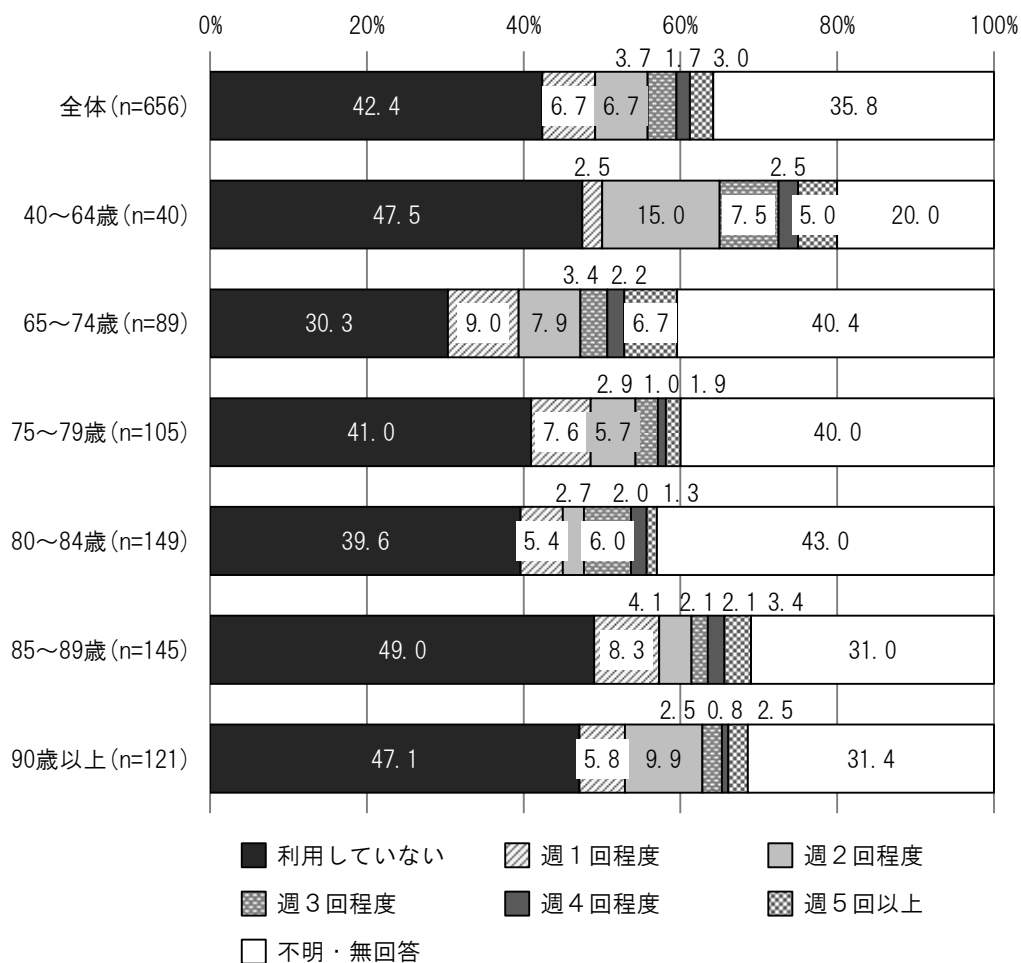
問9で「はい（介護保険サービスを利用している）」と回答した方

問9-2 以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つに○）

A. 訪問介護（ホームヘルパーの訪問） × 年齢別

訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の利用状況についてみると、「利用していない」が42.4%と最も高く、次いで「週1回程度」「週2回程度」が6.7%となっています。

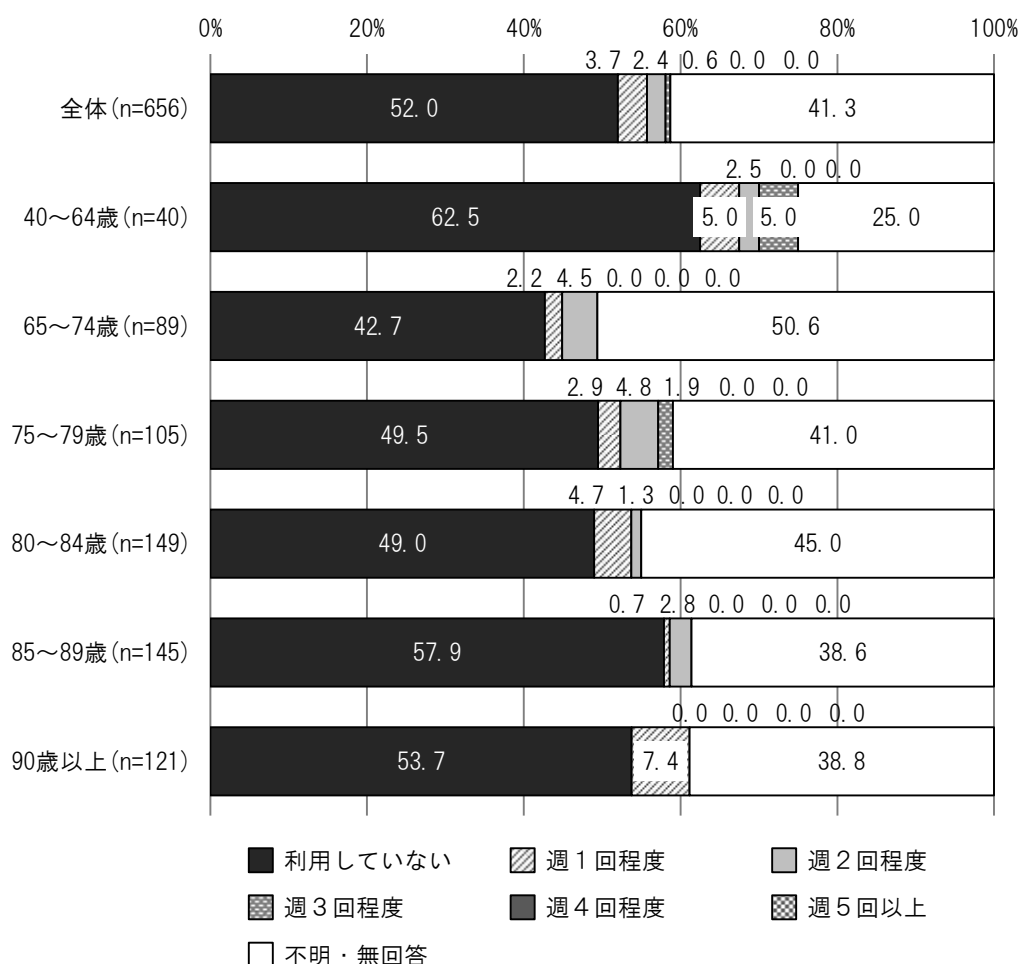
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで〈40～64歳〉〈90歳以上〉では「週2回程度」、〈80～84歳〉では「週3回程度」、それ以外の区分では「週1回程度」となっています。



B. 訪問入浴介護（入浴車の巡回） × 年齢別

訪問入浴介護（入浴車の巡回）の利用状況についてみると、「利用していない」が52.0%と最も高く、次いで「週1回程度」が3.7%、「週2回程度」が2.4%となっています。

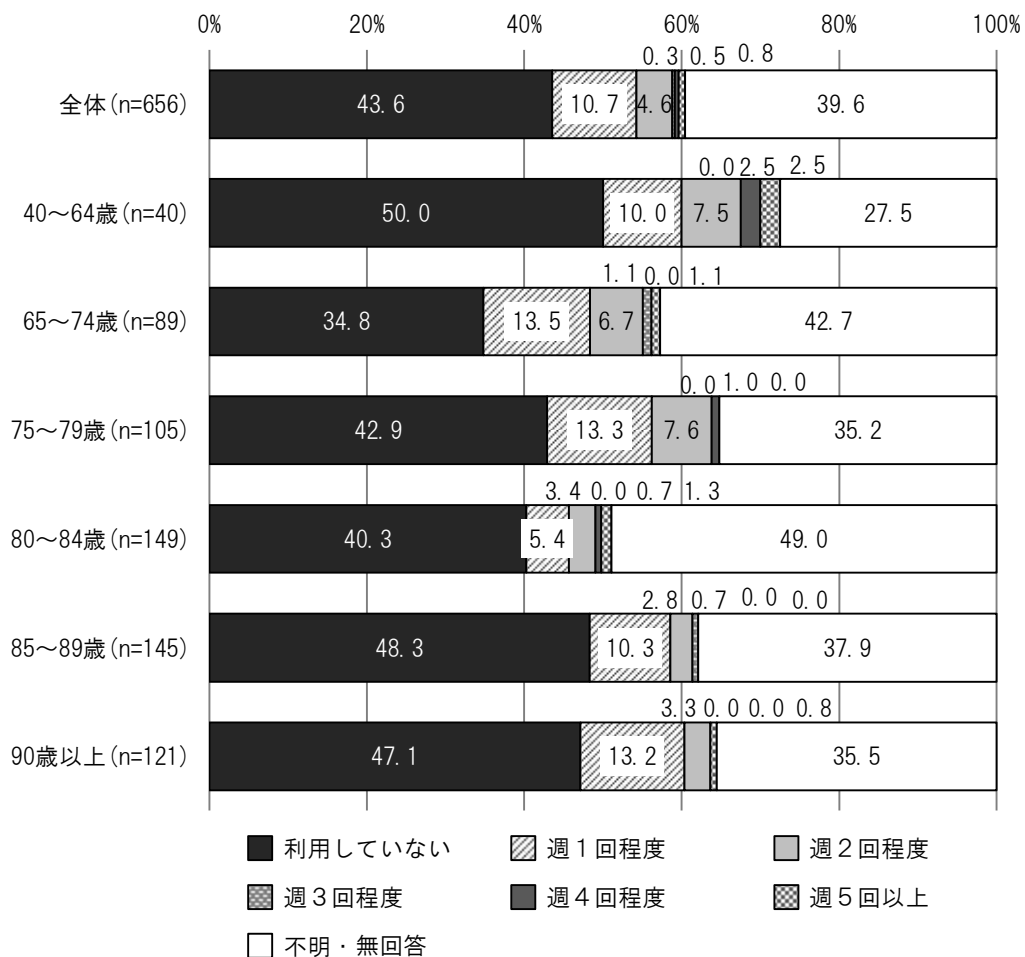
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで〈40～64歳〉では「週1回程度」「週3回程度」、〈80～84歳〉〈90歳以上〉では「週1回程度」、それ以外の区分では「週2回程度」となっています。



C. 訪問看護（看護師などの訪問） × 年齢別

訪問看護（看護師などの訪問）の利用状況についてみると、「利用していない」が43.6%と最も高く、次いで「週1回程度」が10.7%、「週2回程度」が4.6%となっています。

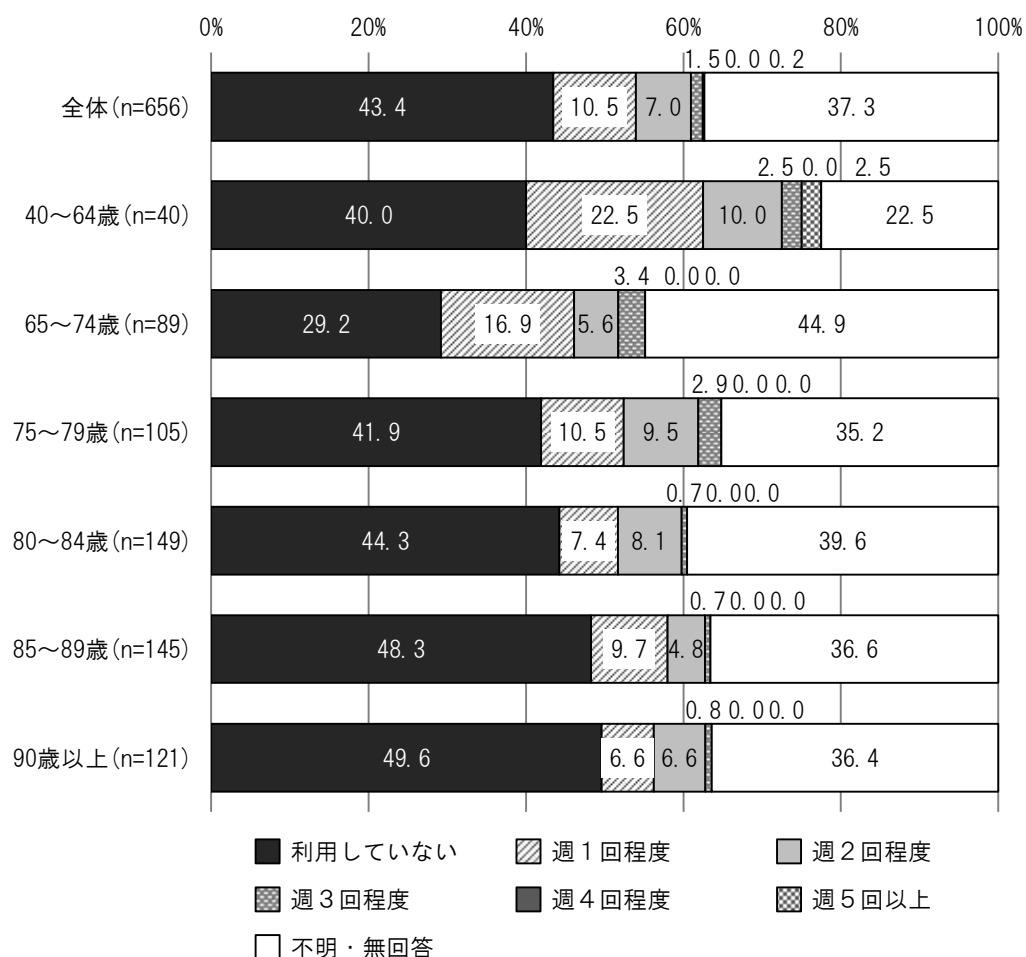
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで「週1回程度」となっています。



D. 訪問リハビリテーション（リハビリ専門職の訪問） × 年齢別

訪問リハビリテーション（リハビリ専門職の訪問）の利用状況についてみると、「利用していない」が43.4%と最も高く、次いで「週1回程度」が10.5%、「週2回程度」が7.0%となっています。

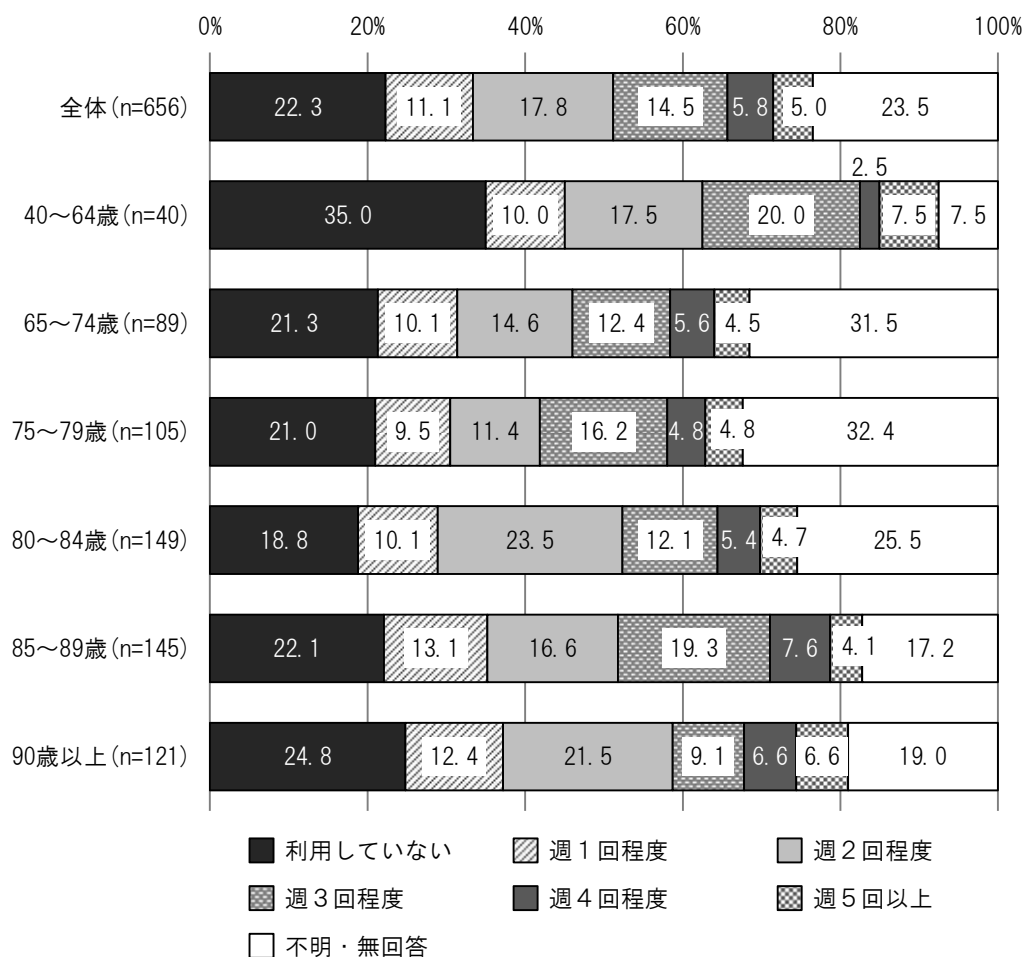
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで〈80～84歳〉では「週2回程度」、〈90歳以上〉では「週1回程度」「週2回程度」、それ以外の区分では「週1回程度」となっています。



E. 通所介護（デイサービス）× 年齢別

通所介護（デイサービス）の利用状況についてみると、「利用していない」が 22.3%と最も高く、次いで「週2回程度」が 17.8%、「週3回程度」が 14.5%となっています。

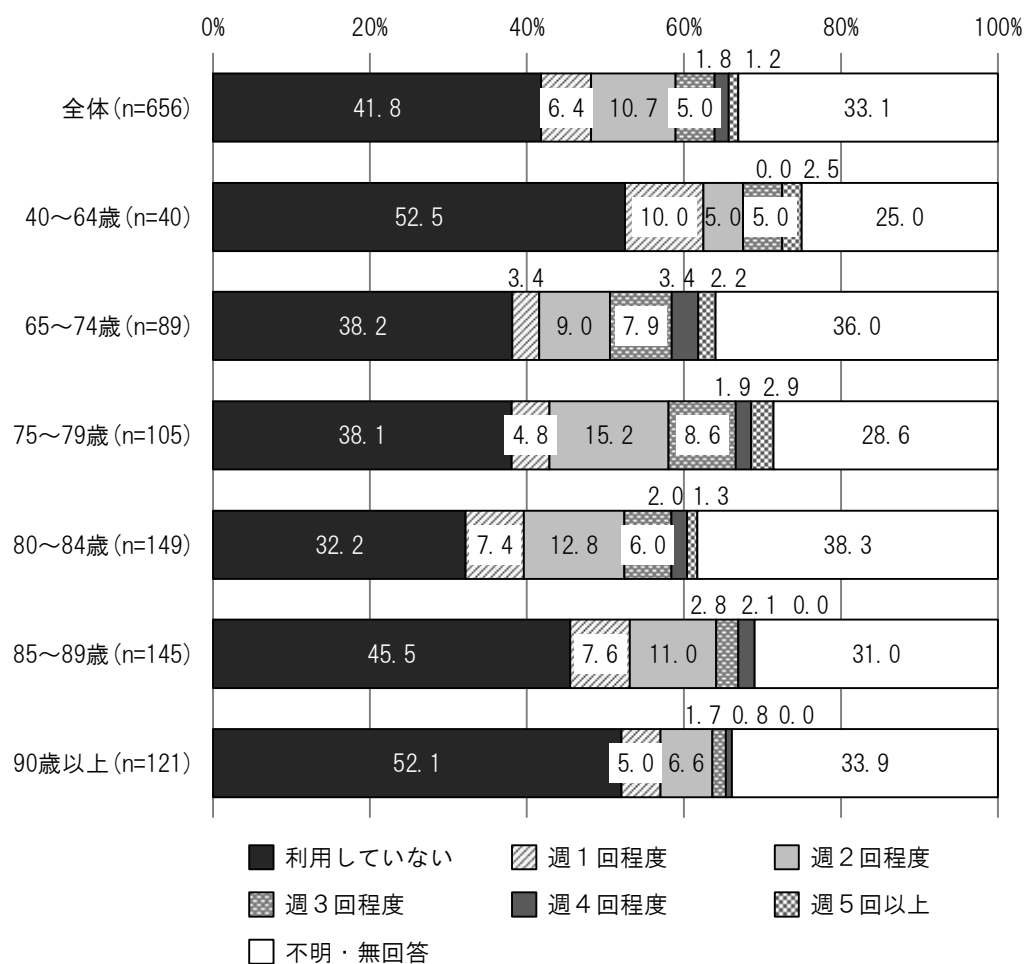
年齢別にみると、〈80～84 歳〉では「週2回程度」が最も高く、次いで「利用していない」となっています。それ以外の区分では「利用していない」が最も高く、次いで〈65～74 歳〉〈90 歳以上〉では「週2回程度」、それ以外の区分では「週3回程度」となっています。



F. 通所リハビリテーション（デイケア）× 年齢別

通所リハビリテーション（デイケア）の利用状況についてみると、「利用していない」が41.8%と最も高く、次いで「週2回程度」が10.7%、「週1回程度」が6.4%となっています。

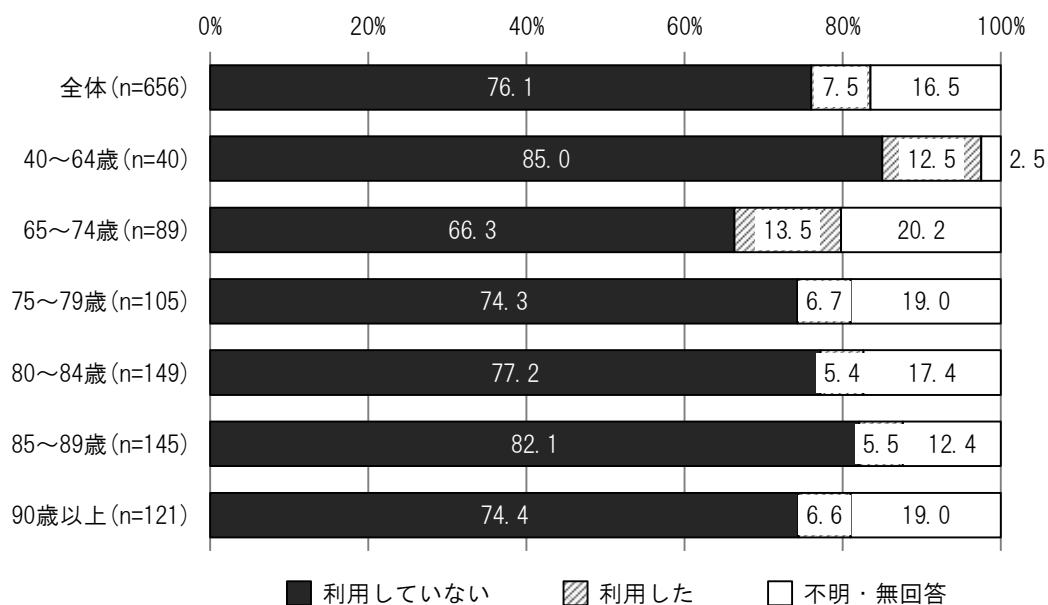
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで〈40～64歳〉では「週1回程度」、それ以外の区分では「週2回程度」となっています。



G. 小規模多機能型居宅介護 × 年齢別

小規模多機能型居宅介護の利用状況についてみると、「利用していない」が76.1%、「利用した」が7.5%となっています。

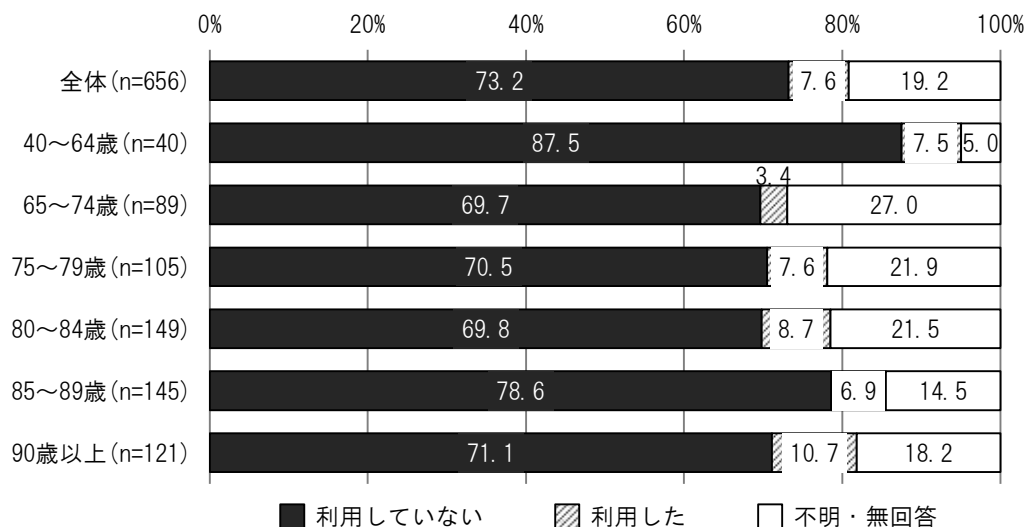
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が「利用した」を上回っており、〈40～64歳〉〈85～89歳〉では8割を超えています。



H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 × 年齢別

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況についてみると、「利用していない」が73.2%、「利用した」が7.6%となっています。

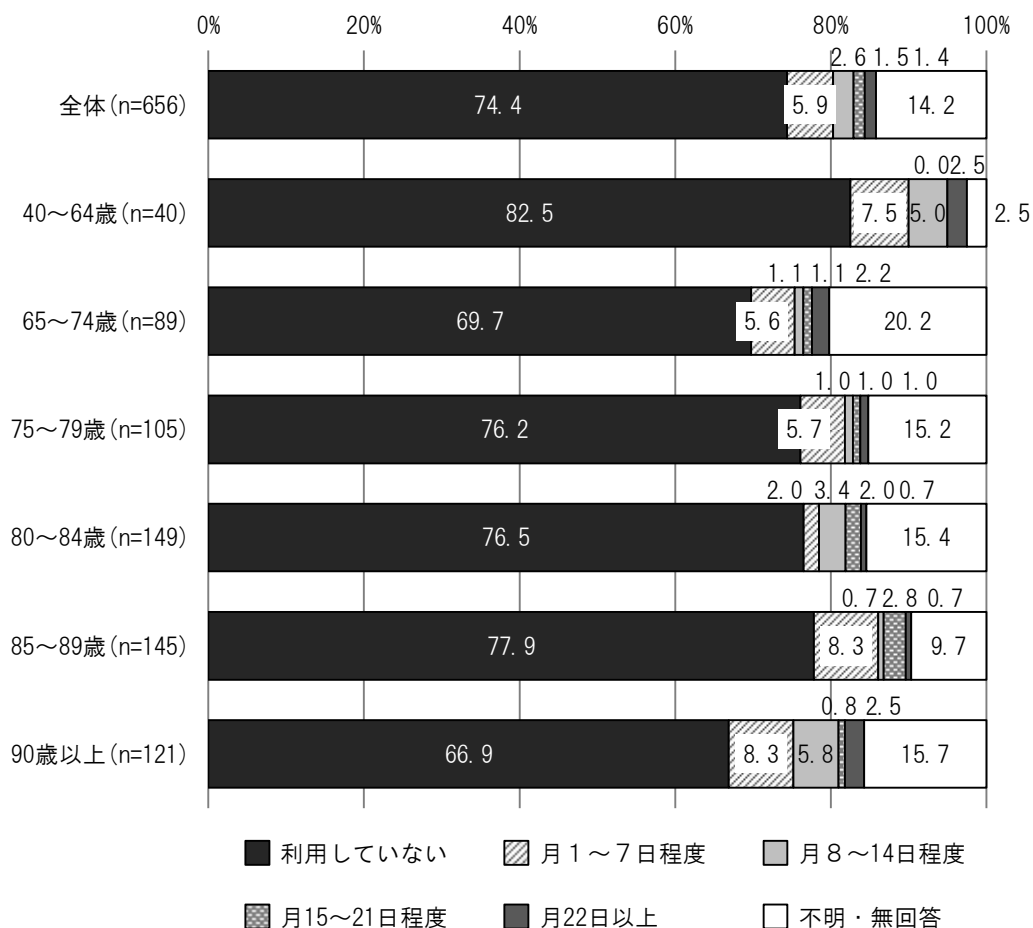
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が「利用した」を上回っており、〈40～64歳〉では8割を超えています。



I. ショートステイ（※短期入所生活介護・短期入所療養介護の合計） × 年齢別

ショートステイの利用状況についてみると、「利用していない」が74.4%と最も高く、次いで「月1～7日程度」が5.9%、「月8～14日程度」が2.6%となっています。

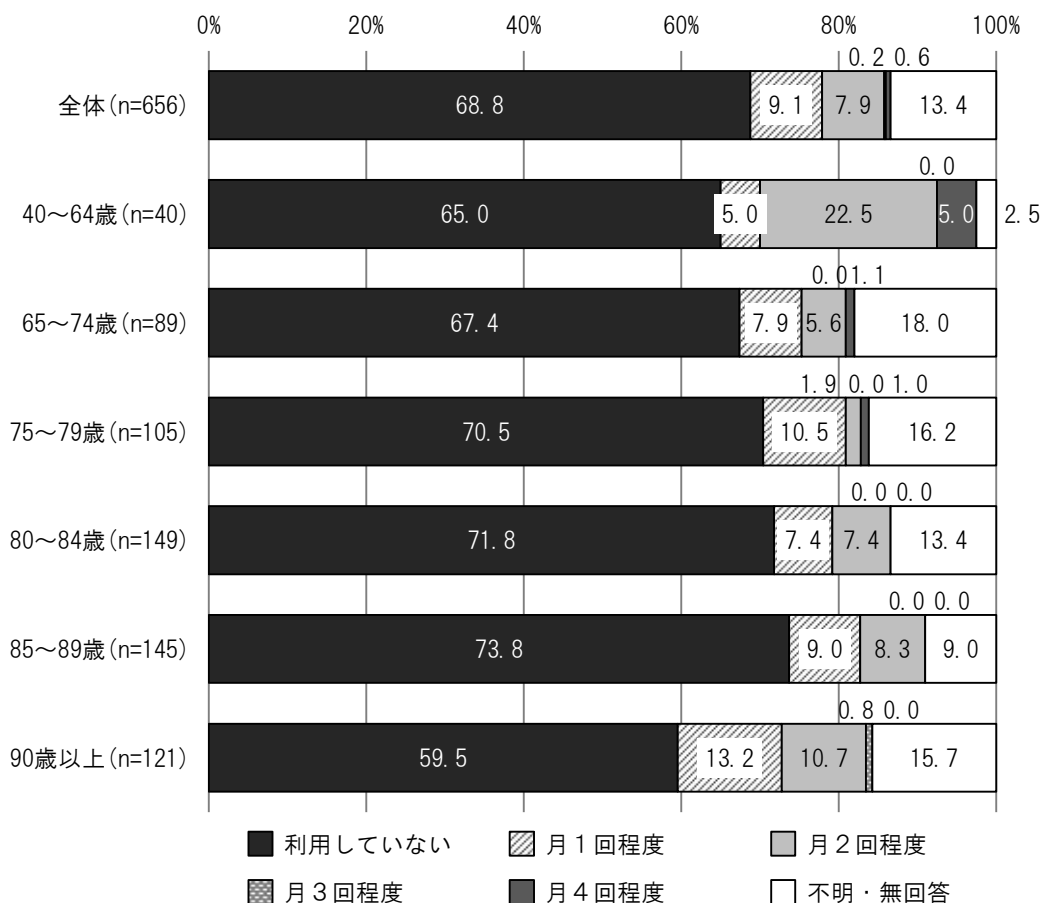
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで〈80～84歳〉では「月8～14日程度」、それ以外の区分では「月1～7日程度」となっています。



J. 居宅療養管理指導 × 年齢別

居宅療養管理指導の利用状況についてみると、「利用していない」が68.8%と最も高く、次いで「月1回程度」が9.1%、「月2回程度」が7.9%となっています。

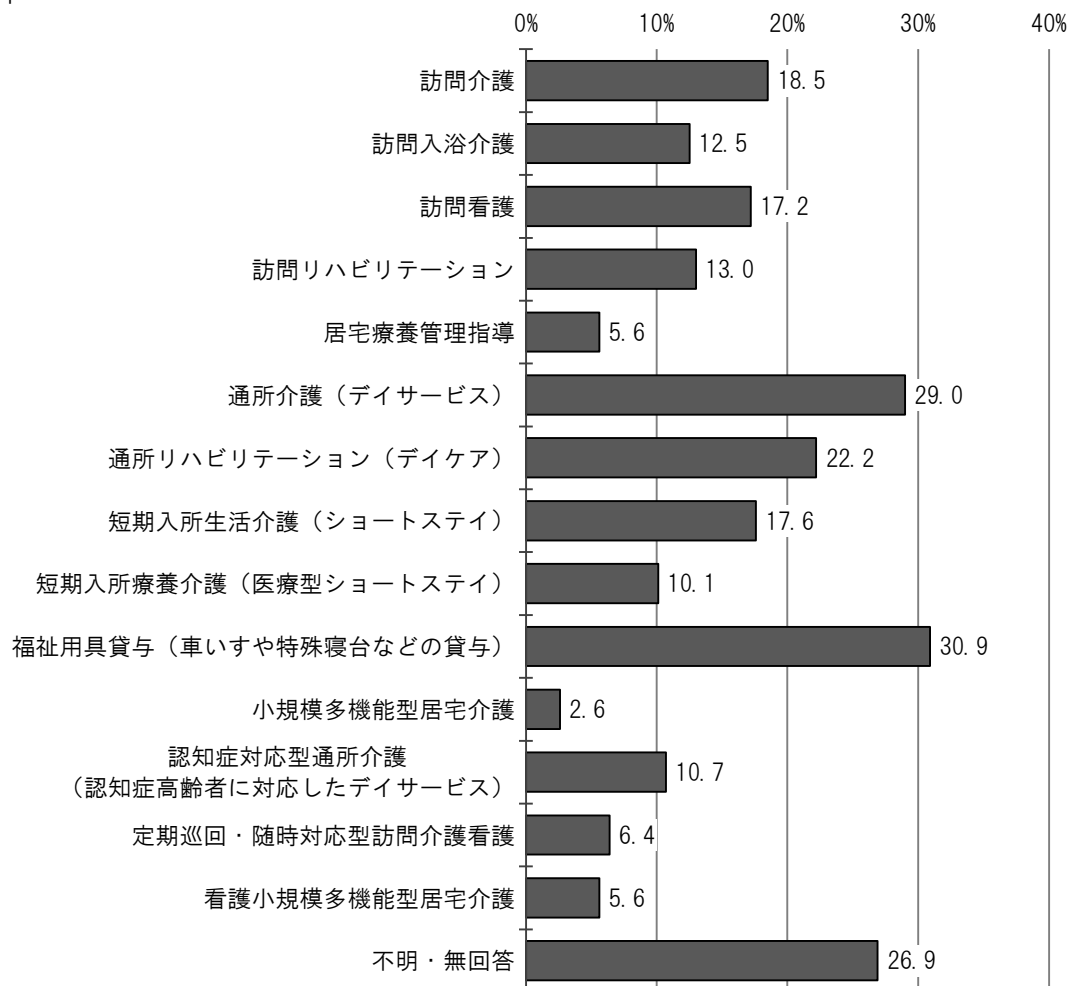
年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで〈40～64歳〉では「月2回程度」、「80～84歳」では「月1回程度」「月2回程度」、それ以外の区分では「月1回程度」となっています。



問10 今後利用したい介護保険の在宅サービスについて、あてはまるものをご回答ください。
 (あてはまるものすべてに○)

今後利用したい介護保険の在宅サービスについてみると、「福祉用具貸与（車いすや特殊寝台などの貸与）」が30.9%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」が29.0%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が22.2%となっています。

n=994



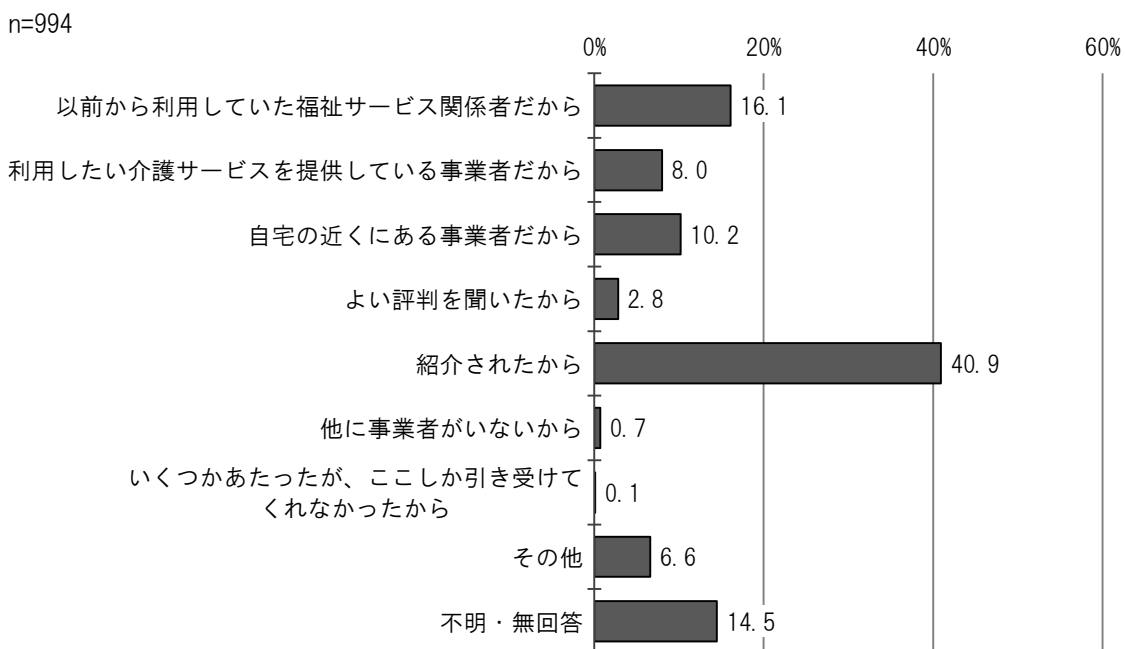
問10 今後利用したい介護保険の在宅サービスについて、あてはまるものをご回答ください。
 × 年齢別

年齢別にみると、〈85～89歳〉では「通所介護（デイサービス）」、それ以外の区分では「福祉用具貸与（車いすや特殊寝台などの貸与）」が最も高く、次いで〈40～64歳〉では「訪問看護」、〈85～89歳〉では「福祉用具貸与（車いすや特殊寝台などの貸与）」、それ以外の区分では「通所介護（デイサービス）」となっています。

単位：%	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	
全体(n=994)	18.5	12.5	17.2	13.0	5.6	29.0	22.2	
年齢別	40～64歳(n=58)	20.7	13.8	24.1	19.0	8.6	17.2	13.8
	65～74歳(n=134)	14.2	9.7	17.9	14.9	4.5	25.4	17.2
	75～79歳(n=163)	19.0	12.3	17.8	13.5	3.7	27.0	24.5
	80～84歳(n=233)	16.3	10.3	15.0	13.7	4.7	30.0	29.6
	85～89歳(n=212)	23.1	13.7	13.2	10.8	6.6	39.2	22.6
	90歳以上(n=157)	19.7	15.9	22.9	10.8	7.6	25.5	15.9
単位：%	短期入所生活介護（ショートステイ）	短期入所療養介護（医療型ショートステイ）	福祉用具貸与（車いすや特殊寝台などの貸与）	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護（認知症高齢者に対応したデイサービス）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	看護小規模多機能型居宅介護	
全体(n=994)	17.6	10.1	30.9	2.6	10.7	6.4	5.6	
年齢別	40～64歳(n=58)	12.1	12.1	31.0	1.7	10.3	1.7	6.9
	65～74歳(n=134)	22.4	12.7	31.3	3.7	9.0	5.2	2.2
	75～79歳(n=163)	13.5	8.0	31.9	1.8	8.6	4.3	5.5
	80～84歳(n=233)	14.2	9.9	31.3	2.6	14.2	6.0	6.0
	85～89歳(n=212)	19.3	8.0	30.7	2.8	11.8	8.5	7.1
	90歳以上(n=157)	24.8	13.4	29.9	1.9	9.6	9.6	5.7
単位：%	不明・無回答							
全体(n=994)	26.9							
年齢別	40～64歳(n=58)	22.4						
	65～74歳(n=134)	27.6						
	75～79歳(n=163)	24.5						
	80～84歳(n=233)	27.9						
	85～89歳(n=212)	23.6						
	90歳以上(n=157)	28.0						

問11 ケアマネジャー（介護支援専門員）をどのような理由で選びましたか。（主な理由1つに○）

ケアマネジャー（介護支援専門員）の選定理由についてみると、「紹介されたから」が40.9%と最も高く、次いで「以前から利用していた福祉サービス関係者だから」が16.1%、「自宅の近くにある事業者だから」が10.2%となっています。



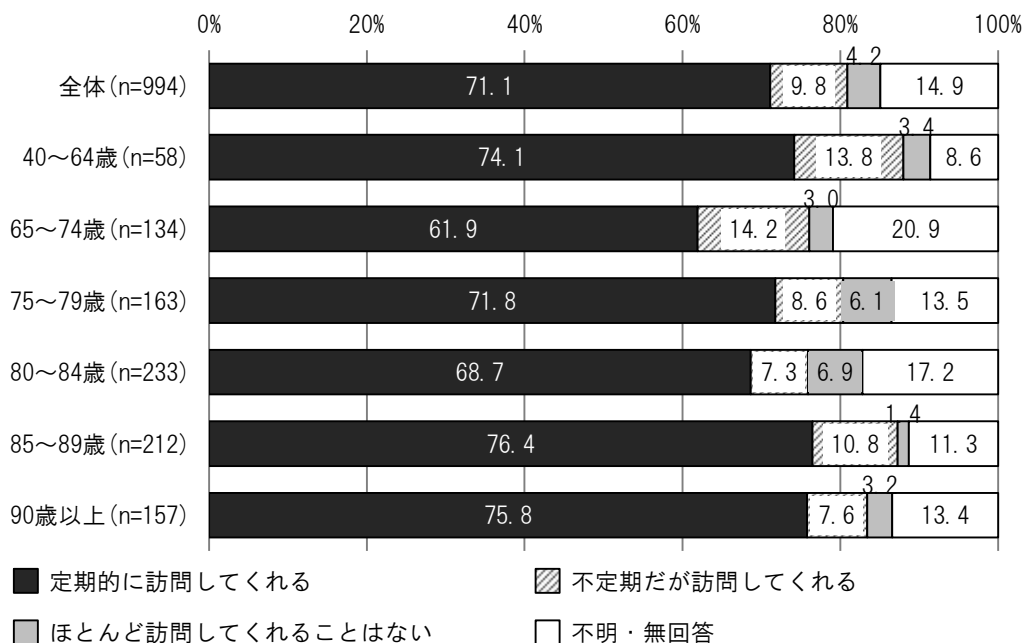
問11 ケアマネジャー（介護支援専門員）をどのような理由で選びましたか。 × 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「紹介されたから」が最も高く、次いで〈65～74歳〉では「以前から利用していた福祉サービス関係者だから」「利用したい介護サービスを提供している事業者だから」、それ以外の区分では「以前から利用していた福祉サービス関係者だから」となっています。

単位：%		以前から利用していた福祉サービス関係者だから	利用したい介護サービスを提供している事業者だから	自宅の近くにある事業者だから	よい評判を聞いたから	紹介されたから	他に事業者がないから	いくつかあったが、ここしか引き受けてくれなかったから
全体(n=994)		16.1	8.0	10.2	2.8	40.9	0.7	0.1
年齢別	40～64歳(n=58)	22.4	5.2	15.5	5.2	39.7	-	-
	65～74歳(n=134)	11.2	11.2	10.4	5.2	37.3	-	0.7
	75～79歳(n=163)	13.5	6.7	10.4	2.5	45.4	0.6	-
	80～84歳(n=233)	13.3	10.3	9.9	2.1	39.1	1.3	-
	85～89歳(n=212)	16.5	9.4	10.4	1.9	40.1	1.4	-
	90歳以上(n=157)	24.8	3.8	8.9	3.2	42.7	-	-
単位：%		その他		不明・無回答				
全体(n=994)		6.6	14.5					
年齢別	40～64歳(n=58)	3.4	8.6					
	65～74歳(n=134)	6.7	17.2					
	75～79歳(n=163)	7.4	13.5					
	80～84歳(n=233)	8.6	15.5					
	85～89歳(n=212)	7.1	13.2					
	90歳以上(n=157)	5.1	11.5					

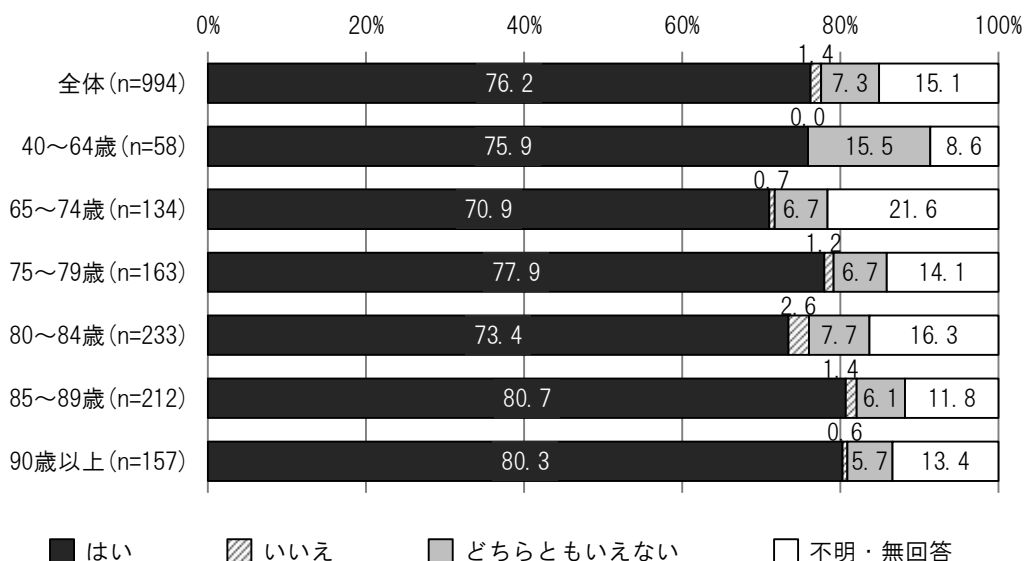
問 12 ケアマネジャーは定期的に訪問してくれますか。(○は1つ) × 年齢別

ケアマネジャーの訪問状況についてみると、「定期的に訪問してくれる」が71.1%と最も高く、次いで「不定期だが訪問してくれる」が9.8%、「ほとんど訪問してくれることはない」が4.2%となっています。年齢別にみると、すべての区分で「定期的に訪問してくれる」が最も高く、次いで「不定期だが訪問してくれる」となっています。



問 13 ケアマネジャーはケアプランを作成するにあたって、あなたの意向を十分に反映してくれていますか。(○は1つ) × 年齢別

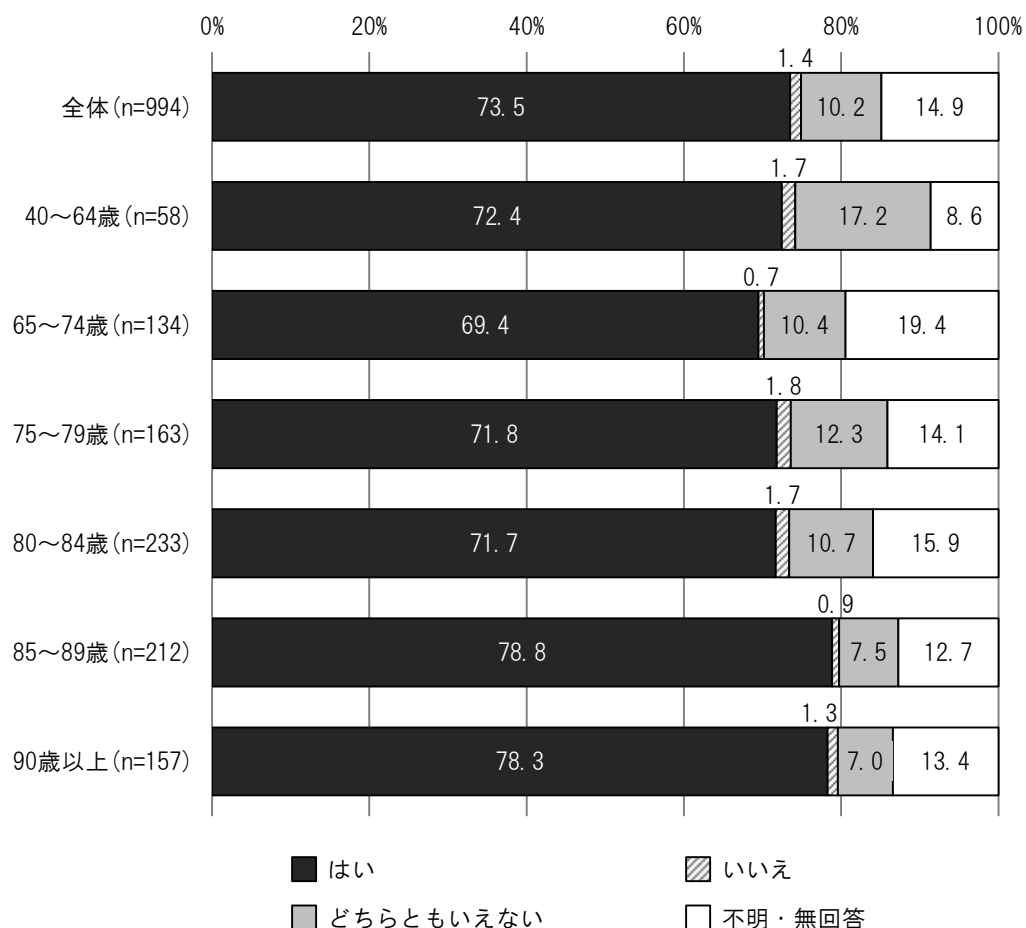
ケアプランへの自身の意向の反映についてみると、「はい」が76.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が7.3%、「いいえ」が1.4%となっています。年齢別にみると、すべての区分で「はい」が最も高く、特に〈85～89歳〉以上では8割を超えています。



問 14 ケアマネジャーが作成したケアプランは、あなたの生活の維持・改善に役立っていると感じていますか。(○は1つ) × 年齢別

ケアプランが自身の生活の維持・改善に役立っていると感じているかについてみると、「はい」が73.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が10.2%、「いいえ」が1.4%となっています。

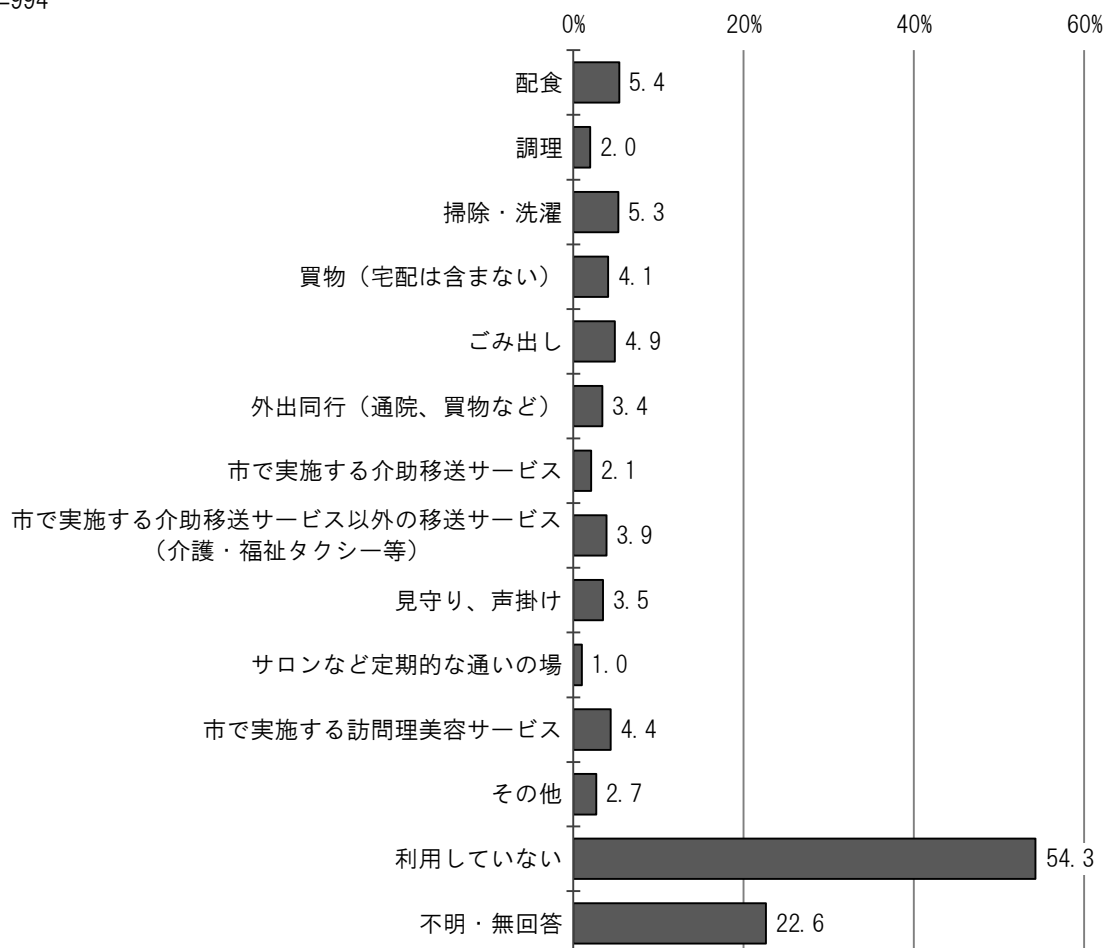
年齢別にみると、すべての区分で「はい」が最も高くなっています。



問 15 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(あてはまるものすべてに○)

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「利用していない」が54.3%と最も高く、次いで「配食」が5.4%、「掃除・洗濯」が5.3%となっています。

n=994



○鎌ヶ谷市が独自に実施している在宅サービスについて

※1 介助移送サービスとは

外出が困難な要支援者および要介護者に対して、ホームヘルパーの資格を有するタクシー乗務員が目的地（または自宅）までを介助移送するサービス。（利用者はタクシー運賃と介護保険の利用料 100 円、200 円または 300 円を負担します。）

※2 訪問理美容サービスとは

外出が困難な要支援者および要介護者に対して、理美容師が自宅へ出張して理髪を行うサービス。（利用者は理美容代と介護保険の利用料 150 円、300 円または 450 円を負担します。）

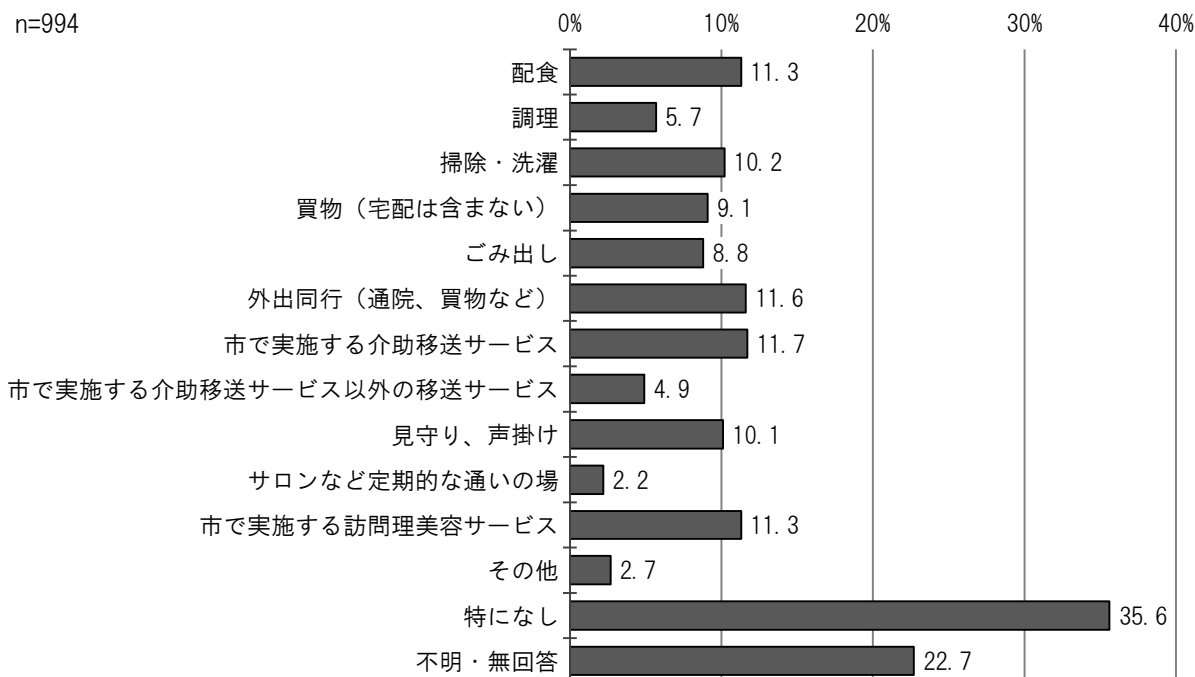
問 15 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も高く、次いで〈40～64 歳〉〈80～84 歳〉では「ごみ出し」、〈65～74 歳〉では「市で実施する介助移送サービス以外の移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、〈75～79 歳〉では「買物（宅配は含まない）」、〈85～89 歳〉では「掃除・洗濯」、〈90 歳以上〉では「配食」となっています。

単位：%		配食	調理	掃除・洗濯	買物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買物など）	市で実施する介助移送サービス
全体(n=994)		5.4	2.0	5.3	4.1	4.9	3.4	2.1
年齢別	40～64歳(n=58)	10.3	5.2	10.3	5.2	12.1	6.9	1.7
	65～74歳(n=134)	6.7	2.2	5.2	2.2	4.5	3.0	3.7
	75～79歳(n=163)	2.5	1.8	4.3	5.5	3.1	4.3	3.7
	80～84歳(n=233)	3.4	2.1	3.0	2.1	5.6	3.0	1.3
	85～89歳(n=212)	5.2	1.9	6.6	5.7	4.2	4.2	1.4
	90歳以上(n=157)	8.9	1.3	6.4	4.5	5.1	1.9	1.9
単位：%		市で実施する介助移送サービス以外の移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声掛け	サロンなど定期的な通いの場	市で実施する訪問理美容サービス	その他	利用していない	不明・無回答
全体(n=994)		3.9	3.5	1.0	4.4	2.7	54.3	22.6
年齢別	40～64歳(n=58)	3.4	1.7	1.7	6.9	3.4	63.8	13.8
	65～74歳(n=134)	7.5	5.2	0.7	5.2	1.5	56.0	17.2
	75～79歳(n=163)	3.7	3.7	2.5	2.5	2.5	56.4	26.4
	80～84歳(n=233)	3.9	2.1	0.4	3.4	4.3	50.6	27.0
	85～89歳(n=212)	4.7	3.8	0.9	4.7	2.8	52.4	21.2
	90歳以上(n=157)	0.6	4.5	0.6	7.0	1.3	58.6	17.2

問 16 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます）（あてはまるものすべてに○）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「特になし」が 35.6%と最も高く、次いで「市で実施する介助移送サービス」が 11.7%、「外出同行（通院、買物など）」が 11.6%となっています。



問 16 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます） × 年齢別

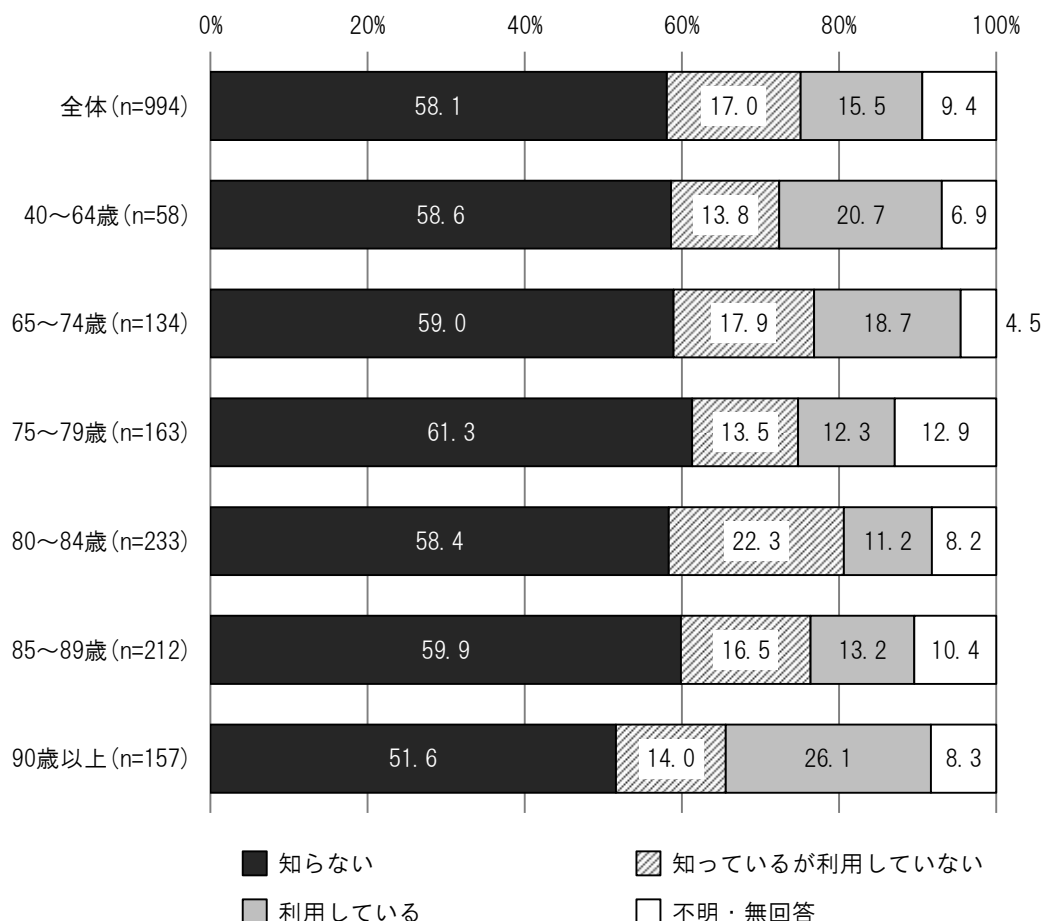
年齢別にみると、すべての区分で「特になし」が最も高く、次いで〈40～64歳〉〈85～89歳〉では「外出同行（通院、買物など）」、〈65～74歳〉〈75～79歳〉では「市で実施する介助移送サービス」、〈80～84歳〉では「掃除・洗濯」、〈90歳以上〉では「配食」となっています。

単位：%	配食	調理	掃除・洗濯	買物（宅配は含まない）	ごみ出し	外出同行（通院、買物など）	市で実施する介助移送サービス
全体(n=994)	11.3	5.7	10.2	9.1	8.8	11.6	11.7
年齢別	40～64歳(n=58)	17.2	8.6	12.1	8.6	15.5	15.5
	65～74歳(n=134)	11.9	6.7	8.2	8.2	9.7	12.7
	75～79歳(n=163)	9.2	4.3	6.7	7.4	4.9	8.0
	80～84歳(n=233)	10.3	7.7	14.2	11.6	9.0	12.0
	85～89歳(n=212)	10.4	6.1	11.8	10.4	9.4	13.7
90歳以上(n=157)	13.4	1.9	7.6	6.4	10.2	12.1	12.1
単位：%	市で実施する介助移送サービス以外の移送サービス	見守り、声掛け	サロンなど定期的な通いの場	市で実施する訪問理美容サービス	その他	特になし	不明・無回答
全体(n=994)	4.9	10.1	2.2	11.3	2.7	35.6	22.7
年齢別	40～64歳(n=58)	6.9	10.3	-	13.8	5.2	39.7
	65～74歳(n=134)	5.2	11.2	2.2	12.7	1.5	42.5
	75～79歳(n=163)	3.1	7.4	1.2	10.4	2.5	38.7
	80～84歳(n=233)	5.2	12.4	4.7	12.9	3.9	27.0
	85～89歳(n=212)	3.3	11.3	1.4	11.3	0.9	36.8
90歳以上(n=157)	8.3	8.3	1.3	8.3	3.8	38.2	

問 17 市内で訪問診療ができる医療機関を知っていますか。また、あなたは現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ) × 年齢別

訪問診療ができる医療機関の認知・利用状況についてみると、全体では「知らない」が58.1%と最も高く、次いで「知っているが利用していない」が17.0%、「利用している」が15.5%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「知らない」が最も高く、次いで〈40～64歳〉〈65～74歳〉〈90歳以上〉では「利用している」、〈75～79歳〉〈80～84歳〉〈85～89歳〉では「知っているが利用していない」となっています。

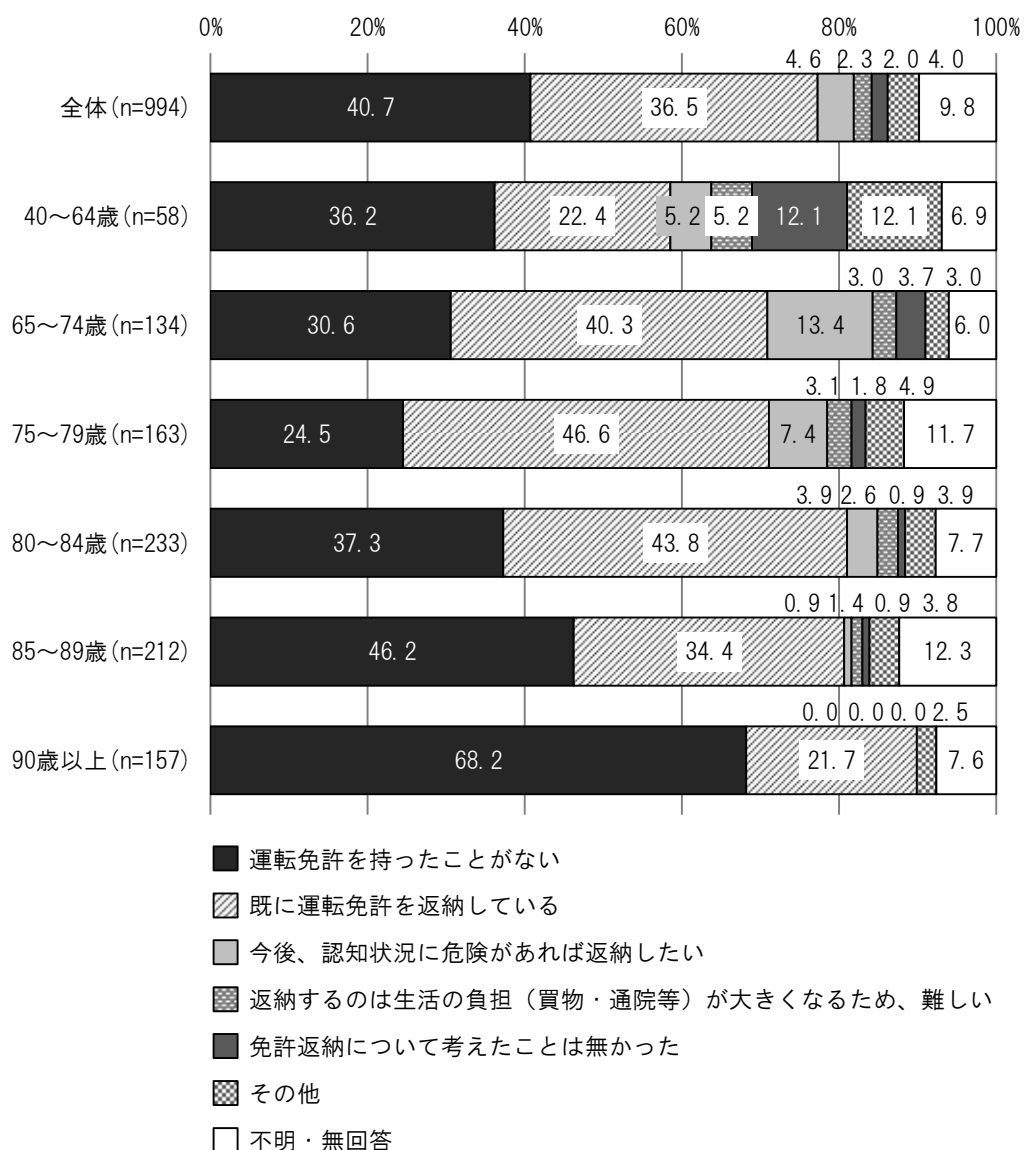


●日常生活の状況について

問 18 あなたの運転免許返納について、あなたはどのように考えていますか。(〇は1つ) × 年齢別

運転免許返納についての考えについてみると、「運転免許を持ったことがない」が40.7%と最も高く、次いで「既に運転免許を返納している」が36.5%、「今後、認知状況に危険があれば返納したい」が4.6%となっています。

年齢別にみると、〈40～64歳〉〈85～89歳〉〈90歳以上〉では「運転免許を持ったことがない」が最も高く、次いで「既に運転免許を返納している」となっています。〈65～74歳〉〈75～79歳〉〈80～84歳〉では「既に運転免許を返納している」が最も高く、次いで「運転免許を持ったことがない」となっています。

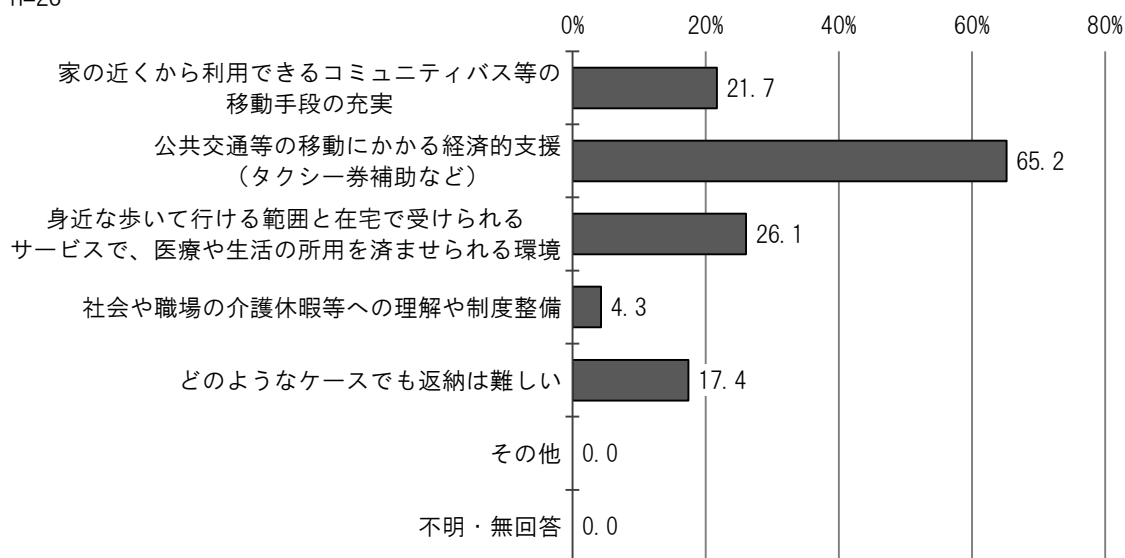


問18で「返納するのは生活の負担（買物・通院等）が大きくなるため、難しい」と回答した方

問18-1 返納が可能となるにはどのような支援が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

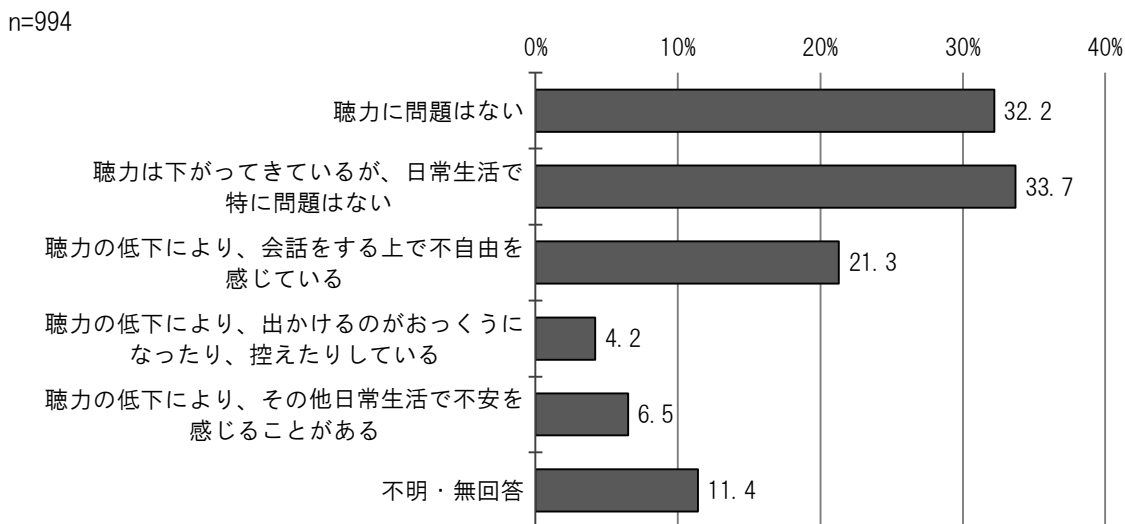
返納が可能となるために必要な支援についてみると、「公共交通等の移動にかかる経済的支援（タクシー券補助など）」が65.2%と最も高く、次いで「身近な歩いて行ける範囲と在宅で受けられるサービスで、医療や生活の所用品を済ませられる環境」が26.1%、「家の近くから利用できるコミュニティバス等の移動手段の充実」が21.7%となっています。

n=23



問 19 日常生活を送るうえで、聴力（聞こえ）の問題により、次のように感じたことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）

日常生活を送るうえで、感じる聴力（聞こえ）の問題についてみると、「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」が33.7%と最も高く、次いで「聴力に問題はない」が32.2%、「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」が21.3%となっています。



問 19 日常生活を送るうえで、聴力（聞こえ）の問題により、次のように感じたことがありましたか。× 年齢別

年齢別にみると、〈75～79歳〉以下では「聴力に問題はない」が最も高く、次いで「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」となっています。〈80～84歳〉〈85～89歳〉では「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」が最も高く、次いで〈80～84歳〉では「聴力に問題はない」、〈85～89歳〉では「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」となっています。〈90歳以上〉では「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」が最も高く、次いで「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」となっています。

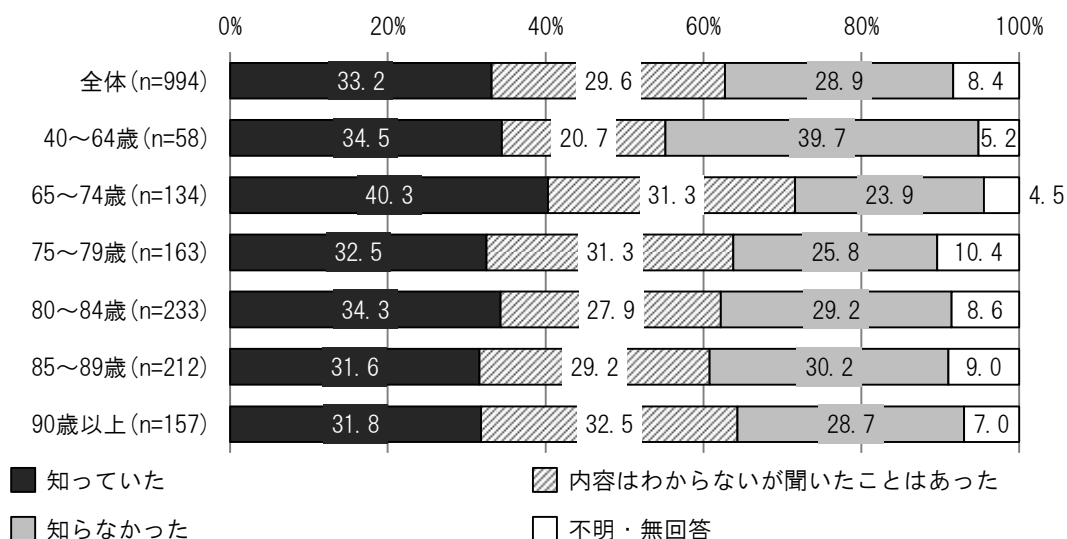
単位：%		聴力に問題はない	聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない	聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている	聴力の低下により、出かけるのがおっくうになったり、控えたりしている	聴力の低下により、その他日常生活で不安を感じることもある	不明・無回答
全体(n=994)		32.2	33.7	21.3	4.2	6.5	11.4
年齢別	40～64歳(n=58)	39.7	25.9	22.4	6.9	3.4	6.9
	65～74歳(n=134)	56.0	28.4	7.5	0.7	3.0	6.7
	75～79歳(n=163)	38.7	29.4	14.7	2.5	4.9	17.2
	80～84歳(n=233)	31.8	39.9	17.6	5.2	7.3	10.7
	85～89歳(n=212)	23.6	37.3	27.4	6.1	9.4	11.3
	90歳以上(n=157)	12.1	34.4	38.2	4.5	8.9	10.2

●成年後見制度について

問 20 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(○は1つ) × 年齢別

成年後見制度の認知状況についてみると、「知っていた」が 33.2%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはあった」が 29.6%、「知らなかった」が 28.9%となっています。

年齢別にみると、〈40～64 歳〉では「知らなかった」、〈90 歳以上〉では「内容はわからないが聞いたことはあった」、それ以外の区分では「知っていた」が最も高くなっています。



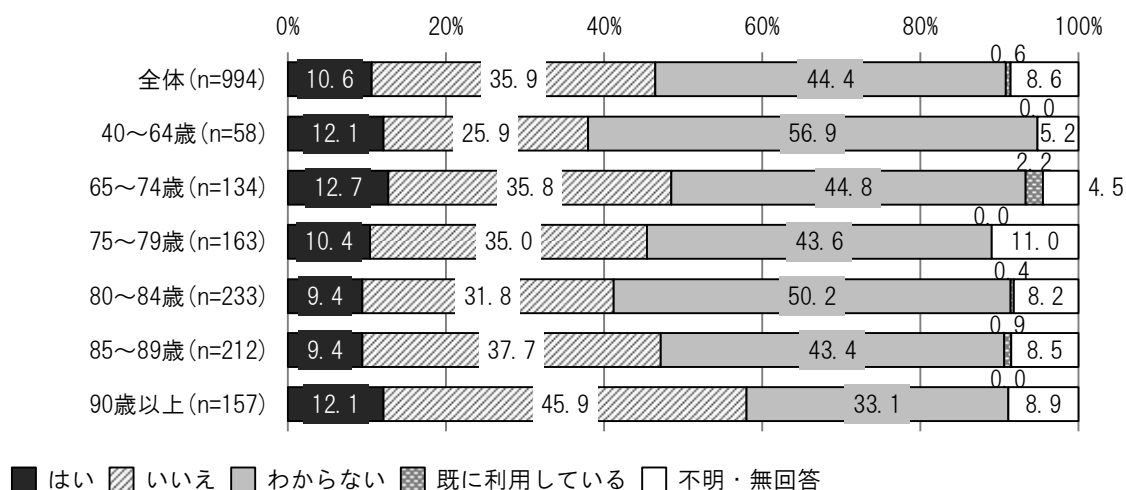
※成年後見制度について

成年後見制度は、認知症などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、ご本人の権利を守る成年後見人等を選ぶことで、ご本人の意思決定を支援する制度です。

問 21 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ) × 年齢別

成年後見制度の利用意向についてみると、「わからない」が 44.4%と最も高く、次いで「いいえ」が 35.9%、「はい」が 10.6%となっています。

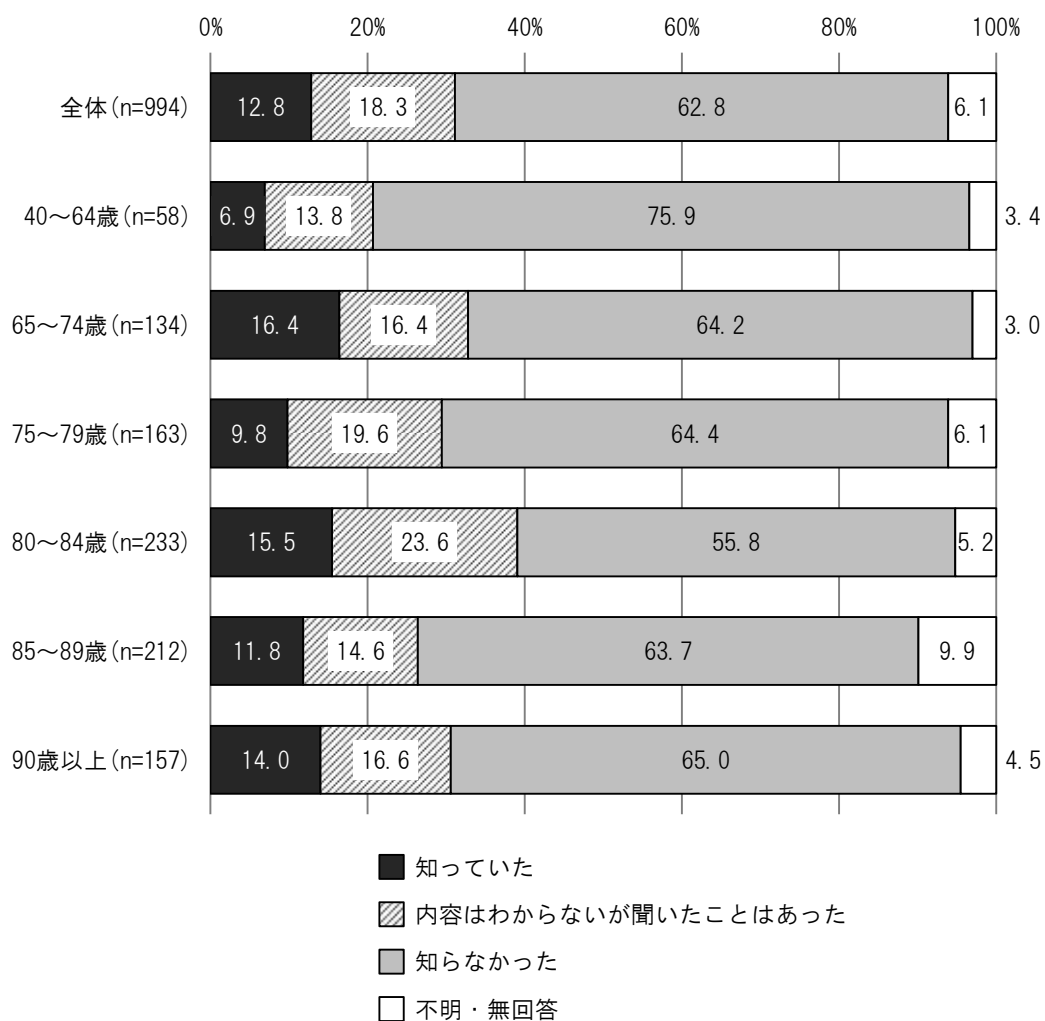
年齢別にみると、〈90 歳以上〉では「いいえ」が最も高く、次いで「わからない」となっています。それ以外の区分では「わからない」が最も高く、次いで「いいえ」となっています。



問 22 このアンケート前から市民後見人を知っていましたか。(〇は1つ) × 年齢別

市民後見人の認知状況についてみると、「知らなかった」が62.8%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはあった」が18.3%、「知っていた」が12.8%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「知らなかった」が最も高く、次いで〈65～74歳〉では「知っていた」「内容はわからないが聞いたことはあった」、それ以外の区分では「内容はわからないが聞いたことはあった」となっています。



※市民後見人について

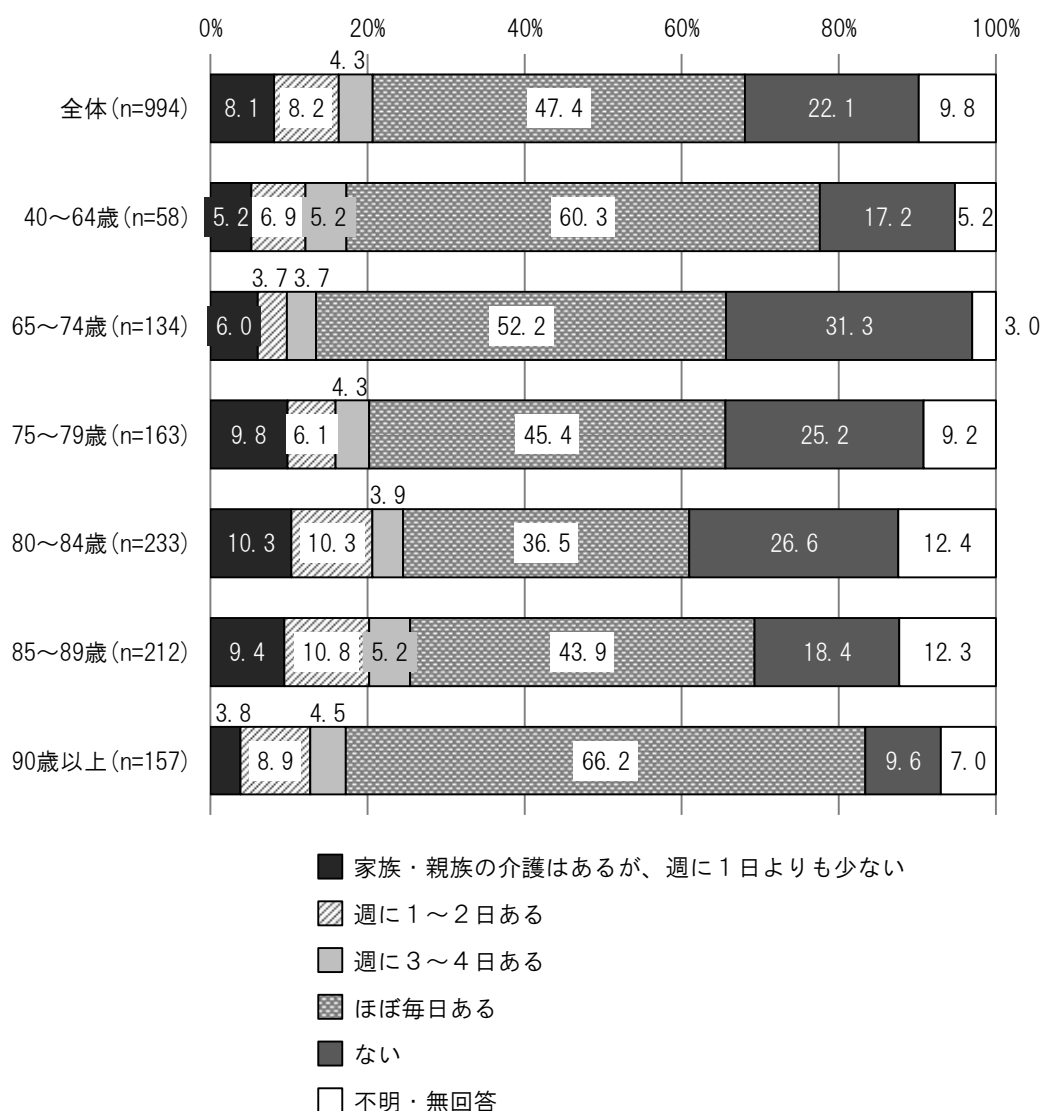
市民後見人とは、社会貢献への意欲が高い一般市民で、市町村が実施する養成研修を受講し、成年後見に関する一定の知識等を身に付けた人の中から、家庭裁判所により成年後見人等として選任された人のことです。

●介護者による介護の状況について

問 23 ご家族などからの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (○は1つ) × 年齢別

家族などから介護を受ける頻度についてみると、「ほぼ毎日ある」が47.4%と最も高く、次いで「ない」が22.1%、「週に1～2日ある」が8.2%となっています。

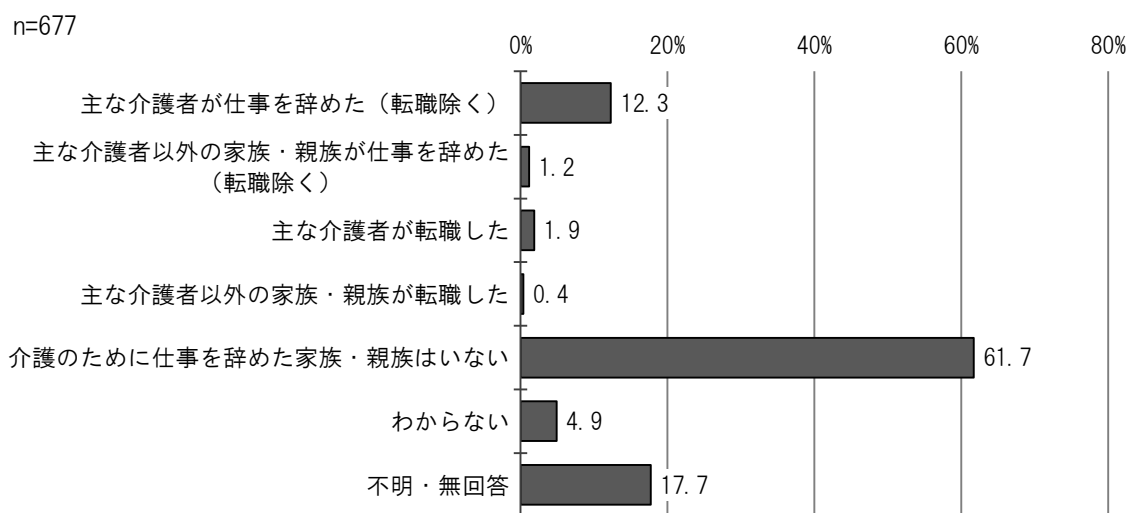
年齢別にみると、すべての区分で「ほぼ毎日ある」が最も高く、次いで「ない」となっています。〈40～64歳〉〈90歳以上〉では「ほぼ毎日ある」がそれぞれ60.3%、66.2%と他の区分に比べて高くなっています。



問 23 で「ない」以外に回答した方

問 24 ご家族やご親族の中で、要介護認定者（ご本人）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（あてはまるものすべてに○）

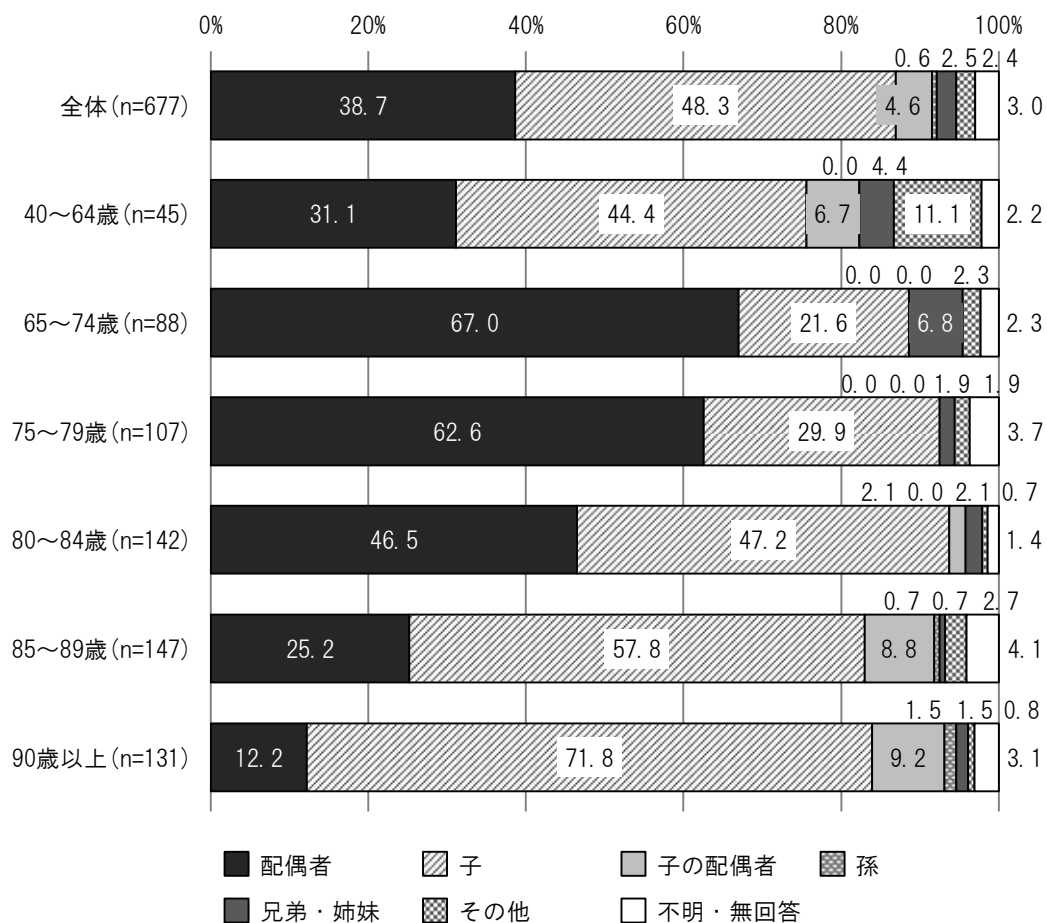
家族や親族の中で介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかについてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.7%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が12.3%、「わからない」が4.9%となっています。



問 25 主な介護者の方は、どなたですか。(〇は1つ) × 年齢別

主な介護者についてみると、「子」が48.3%と最も高く、次いで「配偶者」が38.7%、「子の配偶者」が4.6%となっています。

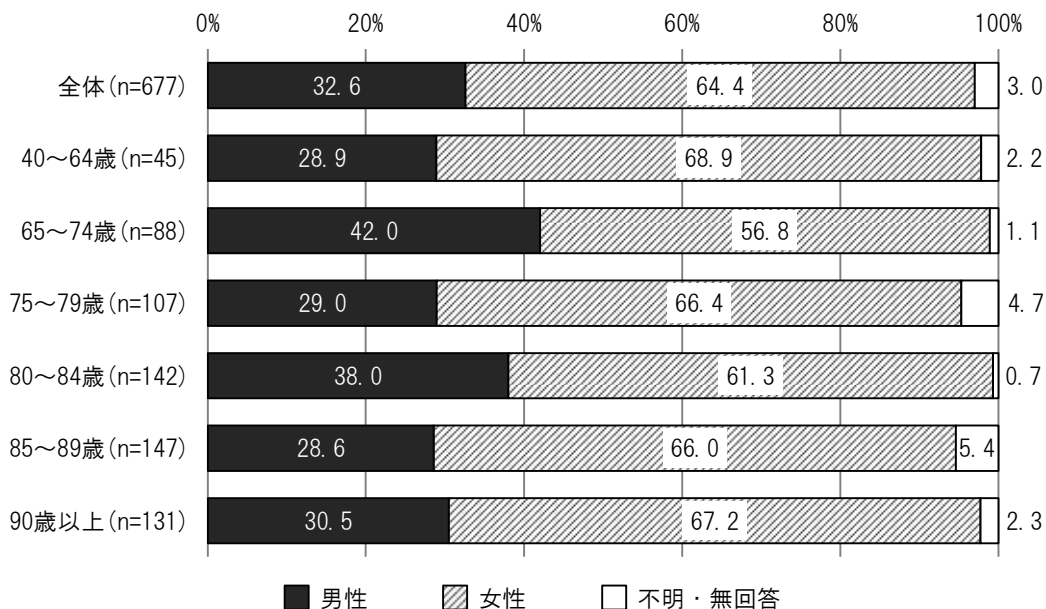
年齢別にみると、〈65～74歳〉〈75～79歳〉では「配偶者」が最も高く、次いで「子」となっています。それ以外の区分では「子」が最も高く、次いで「配偶者」となっています。



問 26 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ) × 年齢別

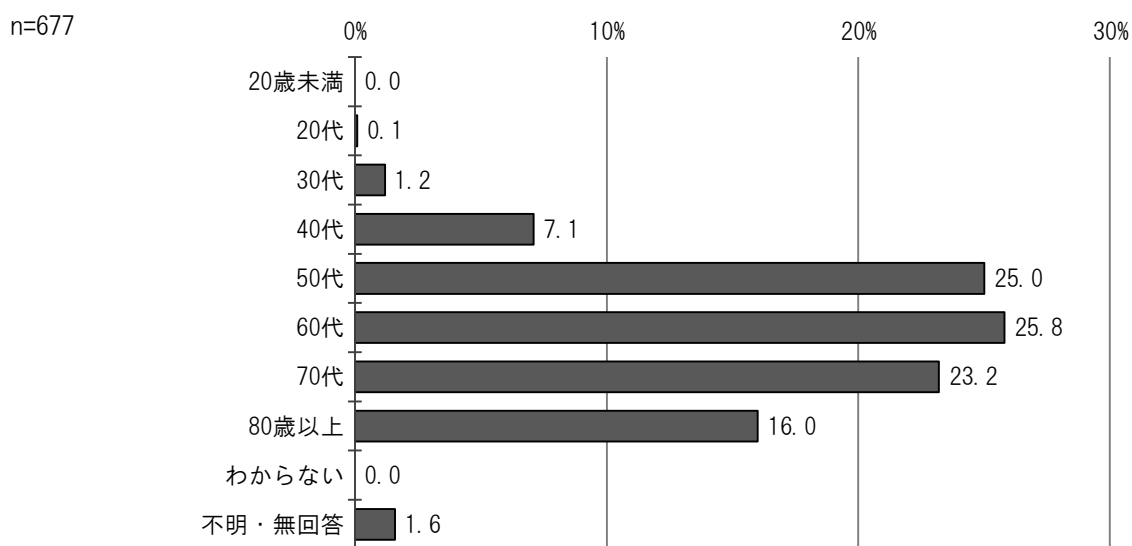
主な介護者の性別についてみると、「男性」が32.6%、「女性」が64.4%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「女性」が「男性」を上回っており、〈65～74 歳〉を除き「女性」が6割を超えています。



問 27 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

主な介護者の年齢についてみると、「60代」が25.8%と最も高く、次いで「50代」が25.0%、「70代」が23.2%となっています。



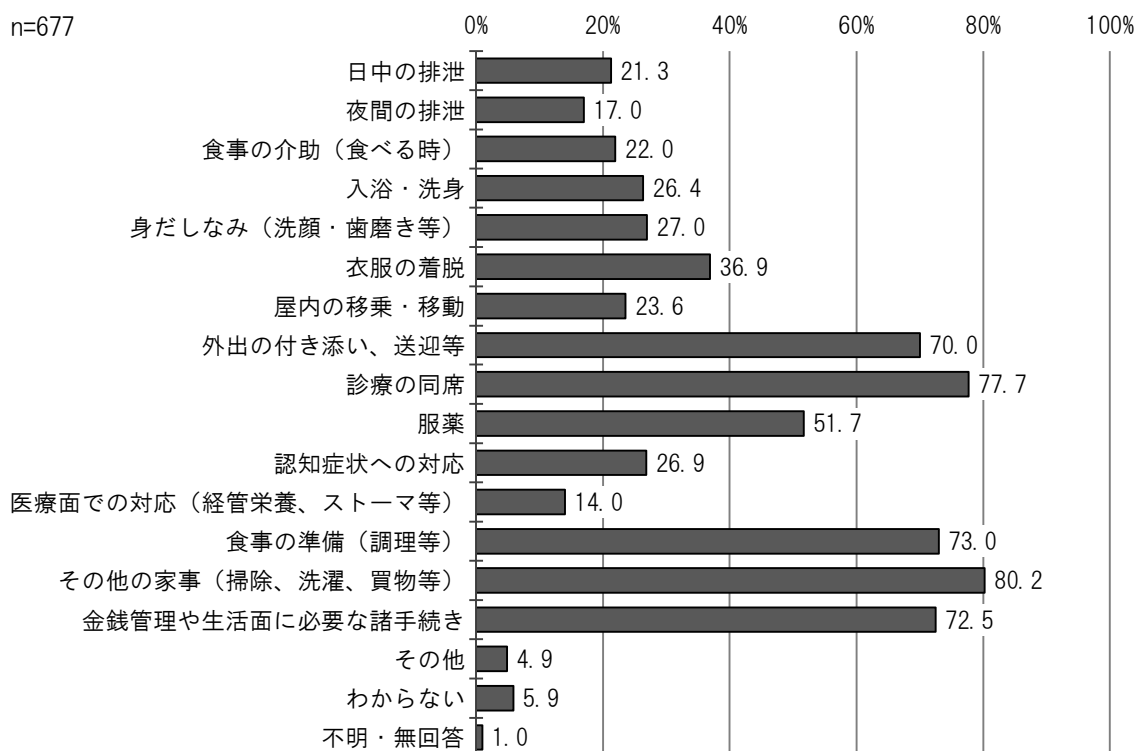
問 27 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。× 年齢別

年齢別にみると、〈40～64歳〉〈90歳以上〉では「60代」が最も高く、次いで〈40～64歳〉では「50代」、〈90歳以上〉では「70代」となっています。〈65～74歳〉〈75～79歳〉では「70代」が最も高く、次いで〈65～74歳〉では「60代」、〈75～79歳〉では「40代」となっています。〈80～84歳〉〈85～89歳〉では「50代」が最も高く、次いで〈80～84歳〉では「80歳以上」、〈85～89歳〉では「60代」となっています。

単位：%		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体(n=677)		-	0.1	1.2	7.1	25.0	25.8	23.2
年齢別	40～64歳(n=45)	-	-	-	11.1	31.1	42.2	8.9
	65～74歳(n=88)	-	-	2.3	8.0	4.5	31.8	50.0
	75～79歳(n=107)	-	-	2.8	16.8	14.0	5.6	48.6
	80～84歳(n=142)	-	-	0.7	7.0	35.9	7.0	18.3
	85～89歳(n=147)	-	-	0.7	4.1	40.8	25.9	4.8
	90歳以上(n=131)	-	0.8	-	1.5	15.3	52.7	16.0
単位：%		80歳以上	わからない	不明・無回答				
全体(n=677)		16.0	-	1.6				
年齢別	40～64歳(n=45)	4.4	-	2.2				
	65～74歳(n=88)	2.3	-	1.1				
	75～79歳(n=107)	10.3	-	1.9				
	80～84歳(n=142)	29.6	-	1.4				
	85～89歳(n=147)	22.4	-	1.4				
	90歳以上(n=131)	12.2	-	1.5				

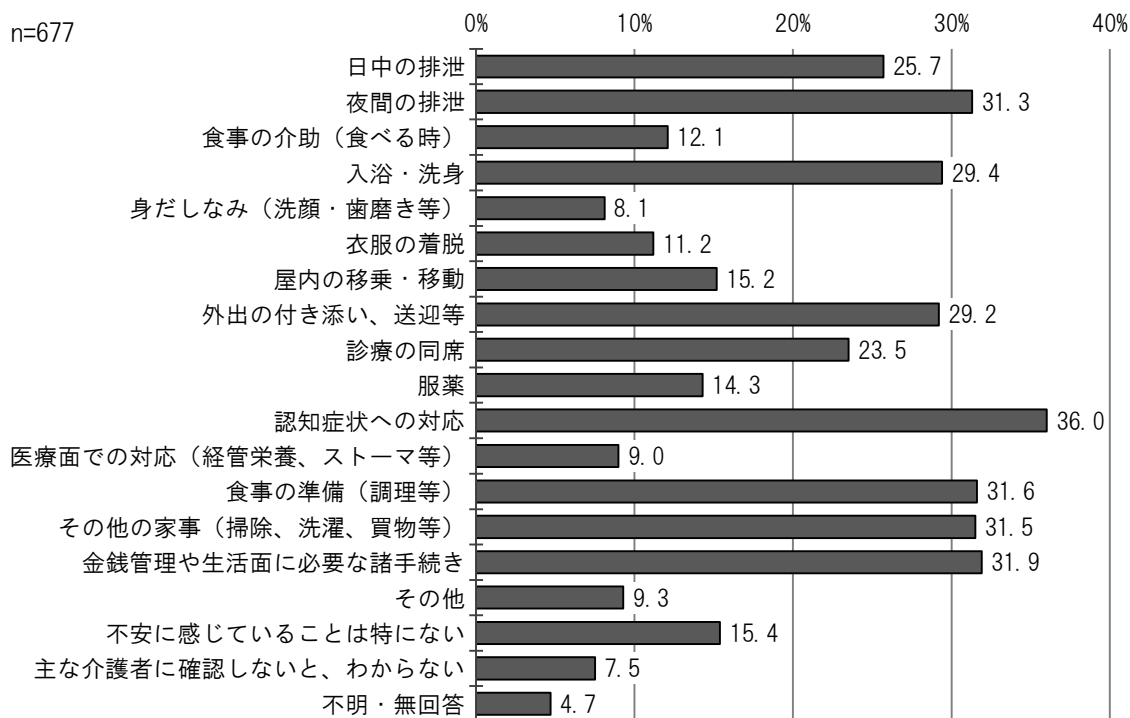
問 28 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が行っている介護等についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が80.2%と最も高く、次いで「診療の同席」が77.7%、「食事の準備（調理等）」が73.0%となっています。



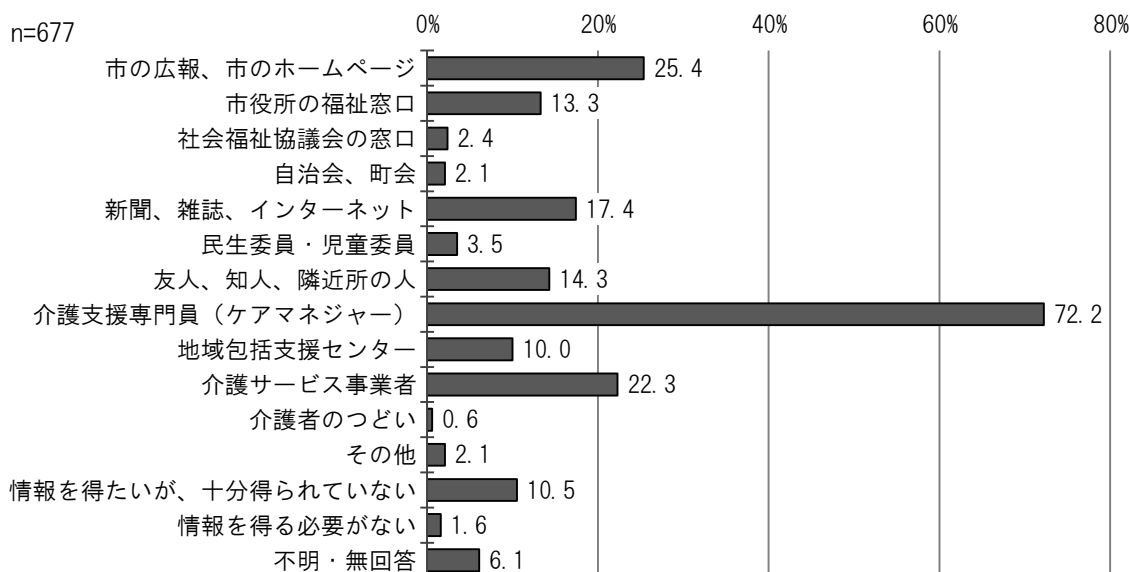
問 29 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等についてみると、「認知症状への対応」が36.0%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が31.9%、「食事の準備（調理等）」が31.6%となっています。



問 30 介護に関する情報は、どのように得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

介護に関する情報の入手先についてみると、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が72.2%と最も高く、次いで「市の広報、市のホームページ」が25.4%、「介護サービス事業者」が22.3%となっています。



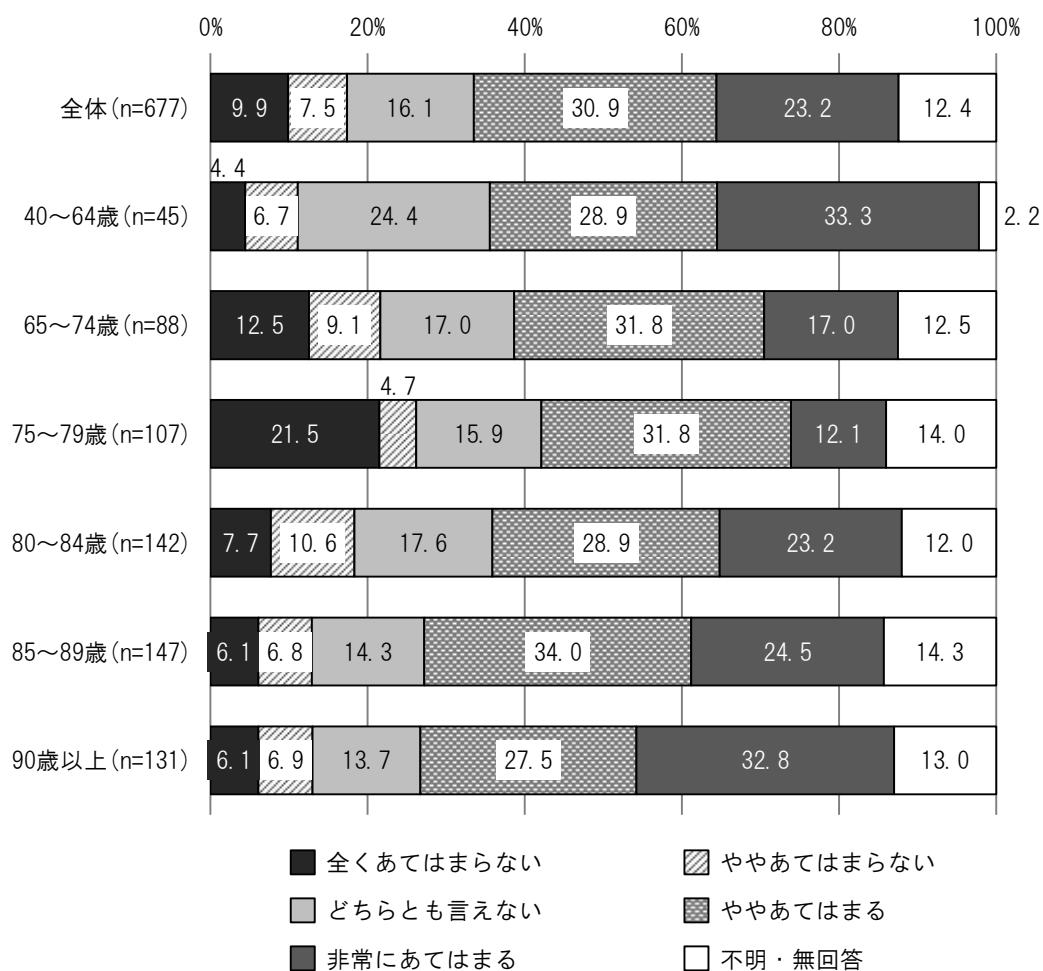
問 31 介護をしていて思うことについて、最も近いものをお答えください。

(①～⑤でそれぞれ1つに○)

①介護と、自分の趣味や自由に使える時間との両立が難しいと感じることがありますか。× 年齢別

介護と、自分の趣味や自由に使える時間との両立が難しいと感じることがあるかについてみると、「ややあてはまる」が30.9%と最も高く、次いで「非常にあてはまる」が23.2%、「どちらとも言えない」が16.1%となっています。

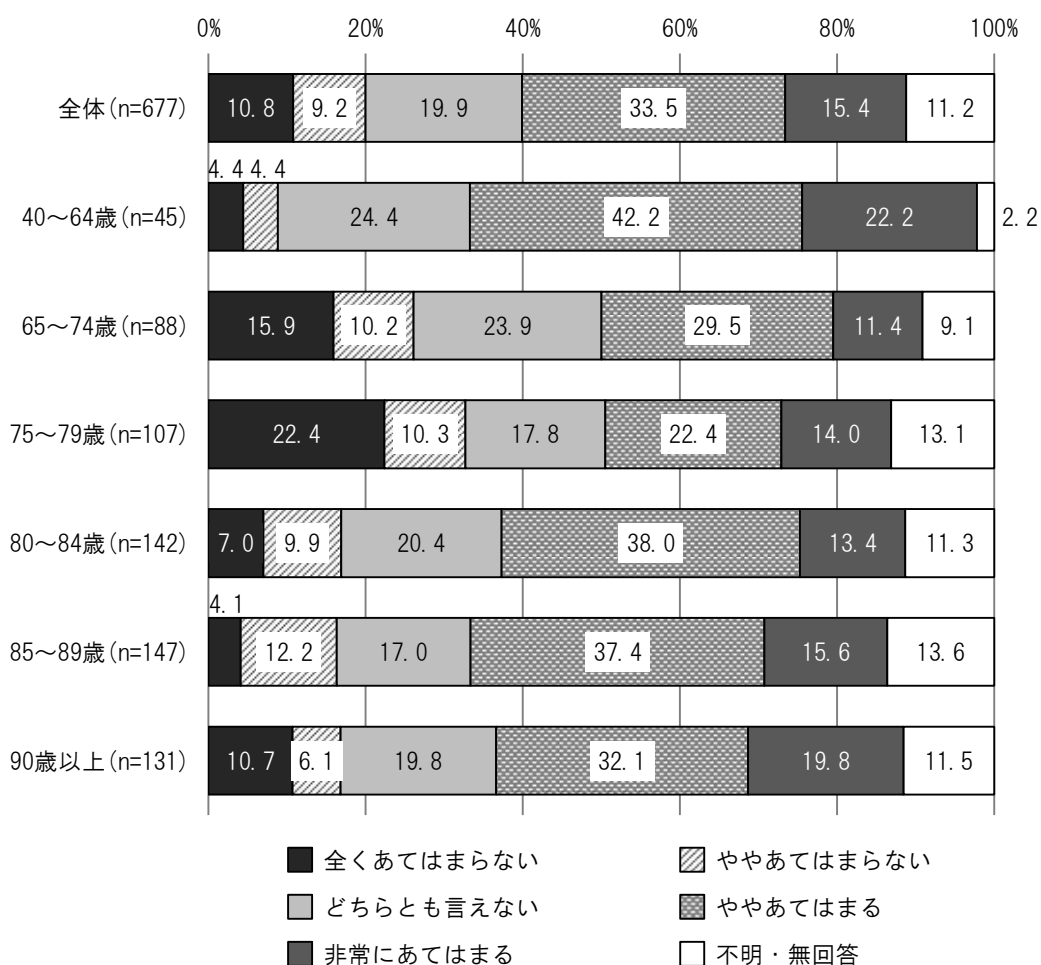
年齢別にみると、〈40～64歳〉〈90歳以上〉では「非常にあてはまる」、それ以外の区分では「ややあてはまる」が最も高くなっています。『あてはまる(「ややあてはまる」と「非常にあてはまる」の計)』は〈65～74歳〉〈75～79歳〉を除くすべての区分で5割を超えています。



②家事や仕事をするうえで、介護が負担になっていると感じることがありますか。× 年齢別

家事や仕事をするうえで、介護が負担になっていると感じることがあるかについてみると、「ややあてはまる」が33.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が19.9%、「非常にあてはまる」が15.4%となっています。

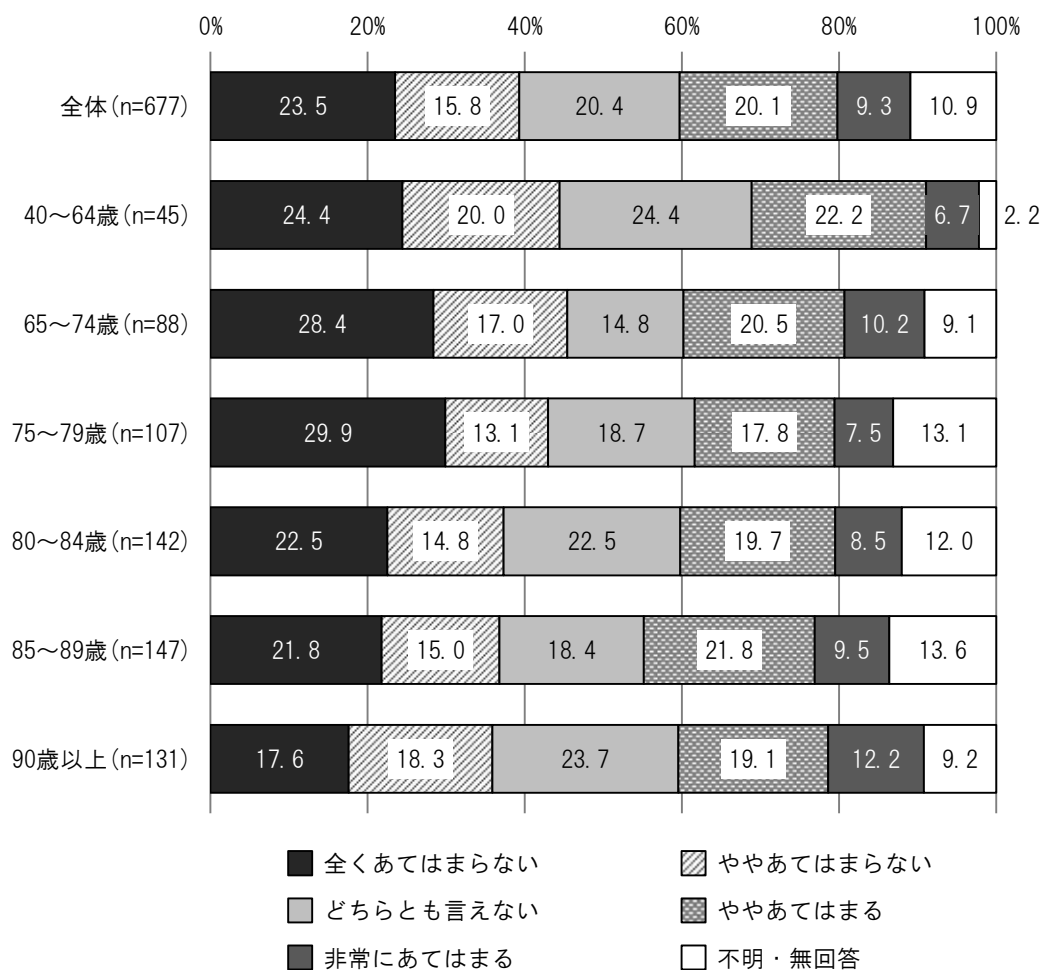
年齢別にみると、〈75～79歳〉では、「全くあてはまらない」「ややあてはまる」、それ以外の区分では「ややあてはまる」が最も高くなっています。『あてはまる（「ややあてはまる」と「非常にあてはまる」の計）』は〈65～74歳〉〈75～79歳〉を除くすべての区分で5割を超えており、特に〈40～64歳〉では64.4%と他の区分に比べて高くなっています。



③介護を受けている方とコミュニケーションがうまく取れずどうしたらよいか分からないと感じることがありますか。× 年齢別

介護を受けている方とコミュニケーションがうまく取れずどうしたらよいか分からないと感じることがあるかについてみると、「全くあてはまらない」が23.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が20.4%、「ややあてはまる」が20.1%となっています。

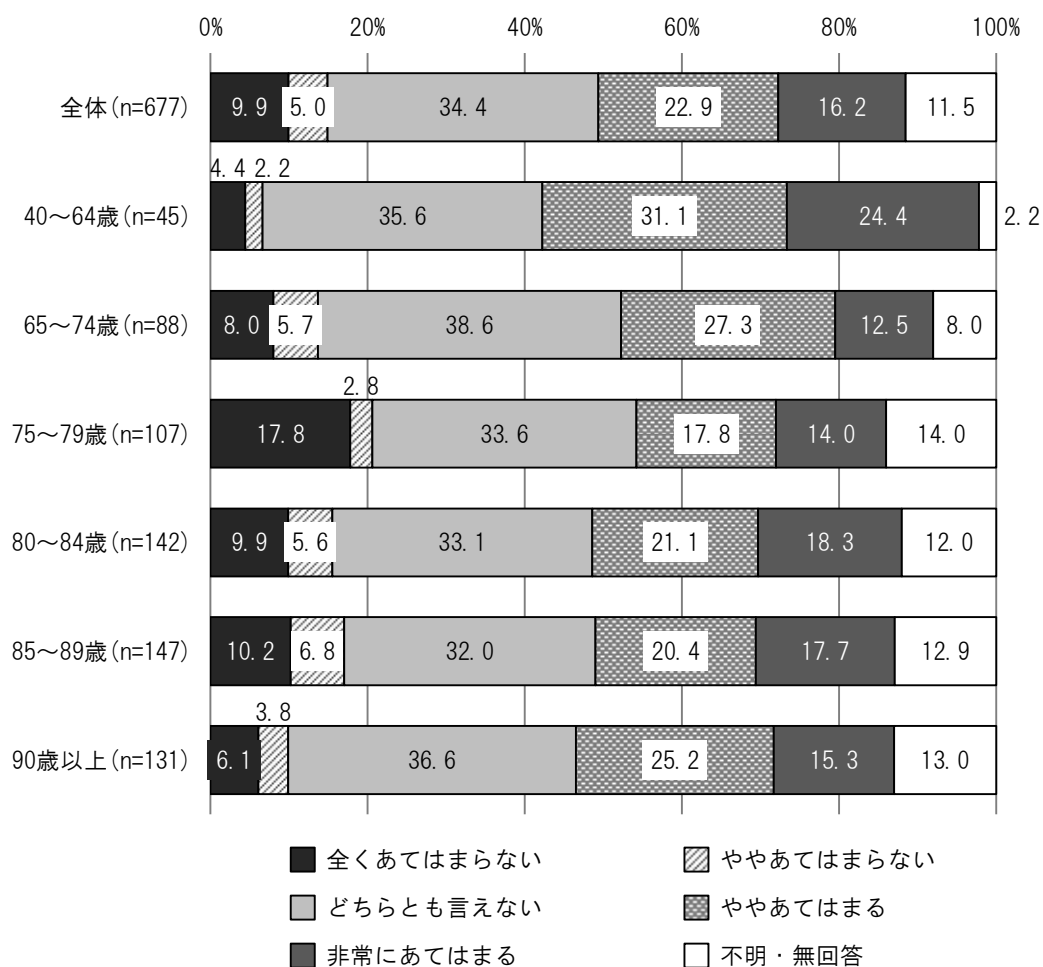
年齢別にみると、〈40～64歳〉〈80～84歳〉では「全くあてはまらない」「どちらとも言えない」、〈65～74歳〉〈75～79歳〉では「全くあてはまらない」、〈85～89歳〉では「全くあてはまらない」「ややあてはまる」、〈90歳以上〉では、「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



④介護をするなかで、もっと行政や医療機関から支援があればいいのに、と感じることがあります
か。× 年齢別

介護をするなかで、もっと行政や医療機関から支援があればいいのに、と感じることがあるかについてみると、「どちらとも言えない」が34.4%と最も高く、次いで「ややあてはまる」が22.9%、「非常にあてはまる」が16.2%となっています。

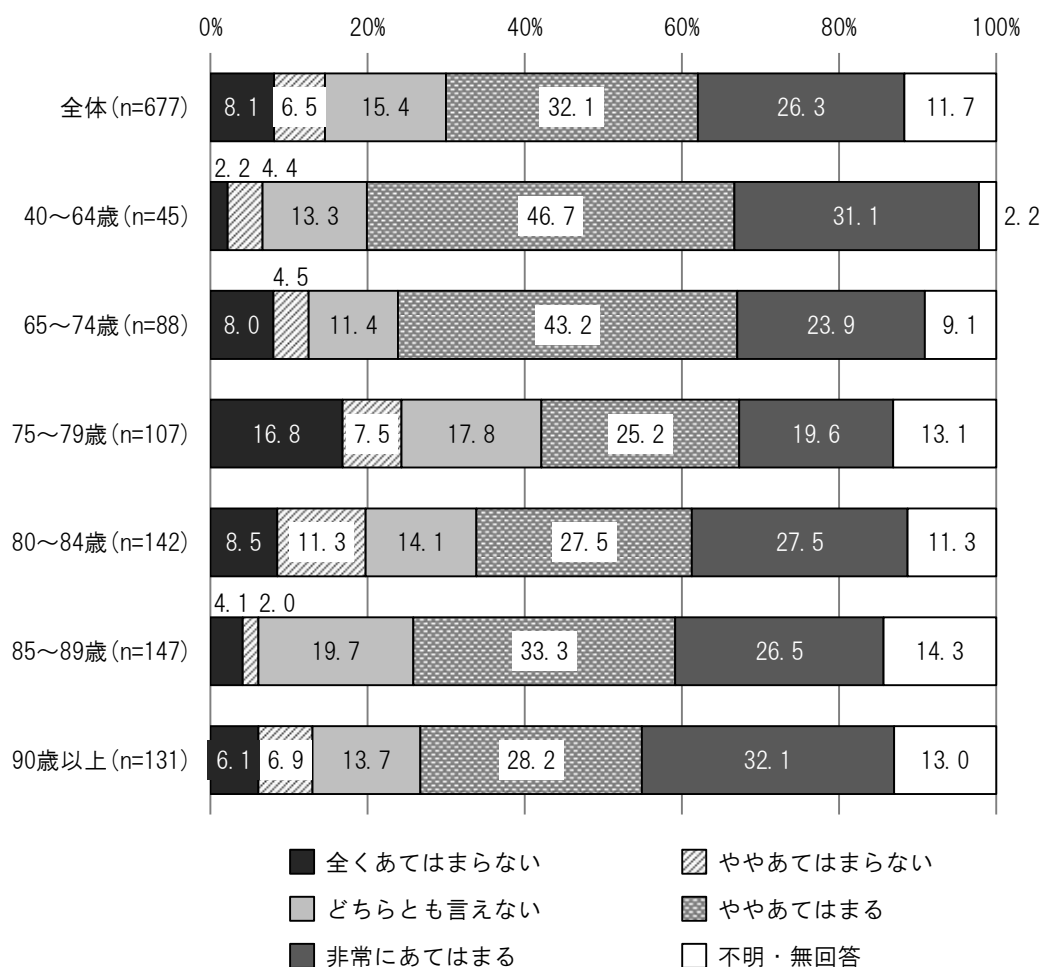
年齢別にみると、すべての区分で「どちらとも言えない」が最も高く、次いで〈75～79歳〉では「全くあてはまらない」「ややあてはまる」、それ以外の区分では「ややあてはまる」となっています。『あてはまる（「ややあてはまる」と「非常にあてはまる」の計）』は〈40～64歳〉で55.5%と他の区分に比べて高くなっています。



⑤介護を始める前と比べて、自分のやりたいことができなくなったと感じますか。× 年齢別

介護を始める前と比べて、自分のやりたいことができなくなったと感じについてみると、「ややあてはまる」が32.1%と最も高く、次いで「非常にあてはまる」が26.3%、「どちらとも言えない」が15.4%となっています。

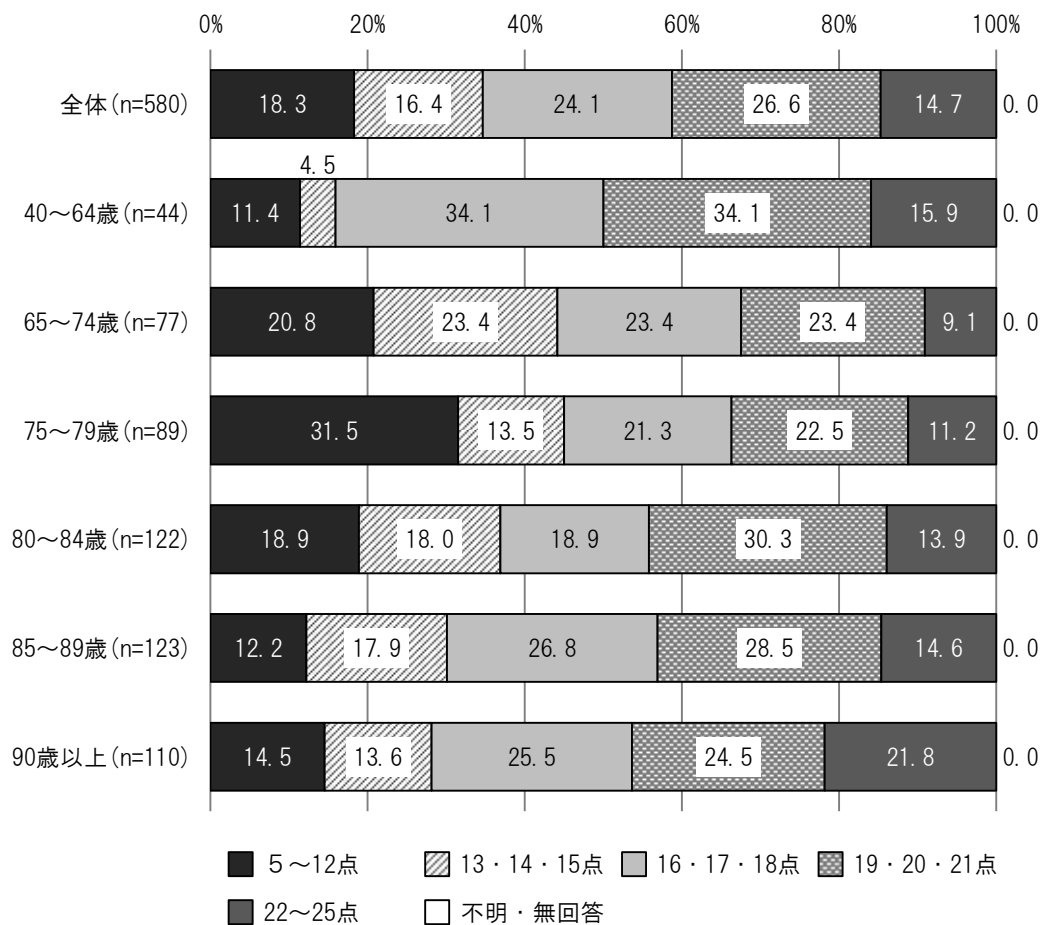
年齢別にみると、〈80～84歳〉では「ややあてはまる」「非常にあてはまる」、〈90歳以上〉では、「非常にあてはまる」、それ以外の区分では、「ややあてはまる」が最も高くなっています。『あてはまる（「ややあてはまる」と「非常にあてはまる」の計）』は〈75～79歳〉を除くすべての区分で5割を超えており、特に〈40～64歳〉では77.8%と他の区分に比べて高くなっています。



①～⑤の合計（介護負担度）× 年齢別

介護負担度についてみると、「19・20・21点」が26.6%と最も高く、次いで「16・17・18点」が24.1%、「5～12点」が18.3%となっています。

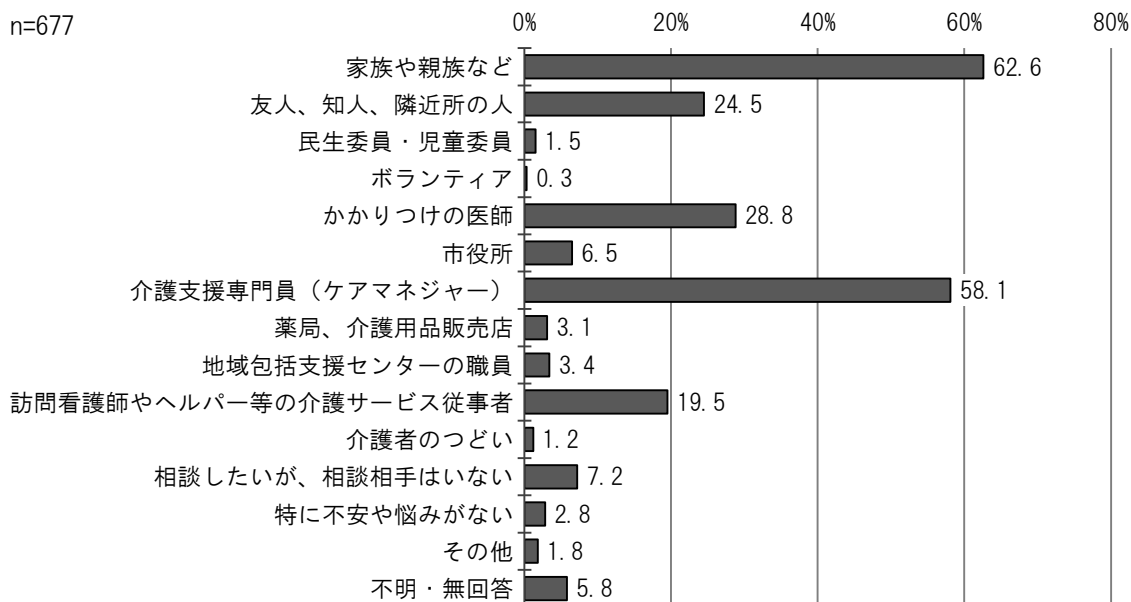
年齢別にみると、〈40～64歳〉では「16・17・18点」「19・20・21点」、〈65～74歳〉では「13・14・15点」「16・17・18点」「19・20・21点」、〈75～79歳〉では「5～12点」、〈80～84歳〉〈85～89歳〉では「19・20・21点」、〈90歳以上〉では「16・17・18点」が最も高くなっています。



上の介護負担度の集計にあたっては、問 31①～⑤の介護の負担感に関する設問について、「全くあてはまらない」を1点、「ややあてはまらない」を2点、「どちらとも言えない」を3点、「ややあてはまる」を4点、「非常にあてはまる」を5点として、5問の合計値（最大で25点）を算出しています。

問 32 あなたは、健康や介護についての不安や悩みを誰に相談していますか。または相談しようと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

健康や介護についての不安や悩みの相談相手についてみると、「家族や親族など」が62.6%と最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が58.1%となっています。



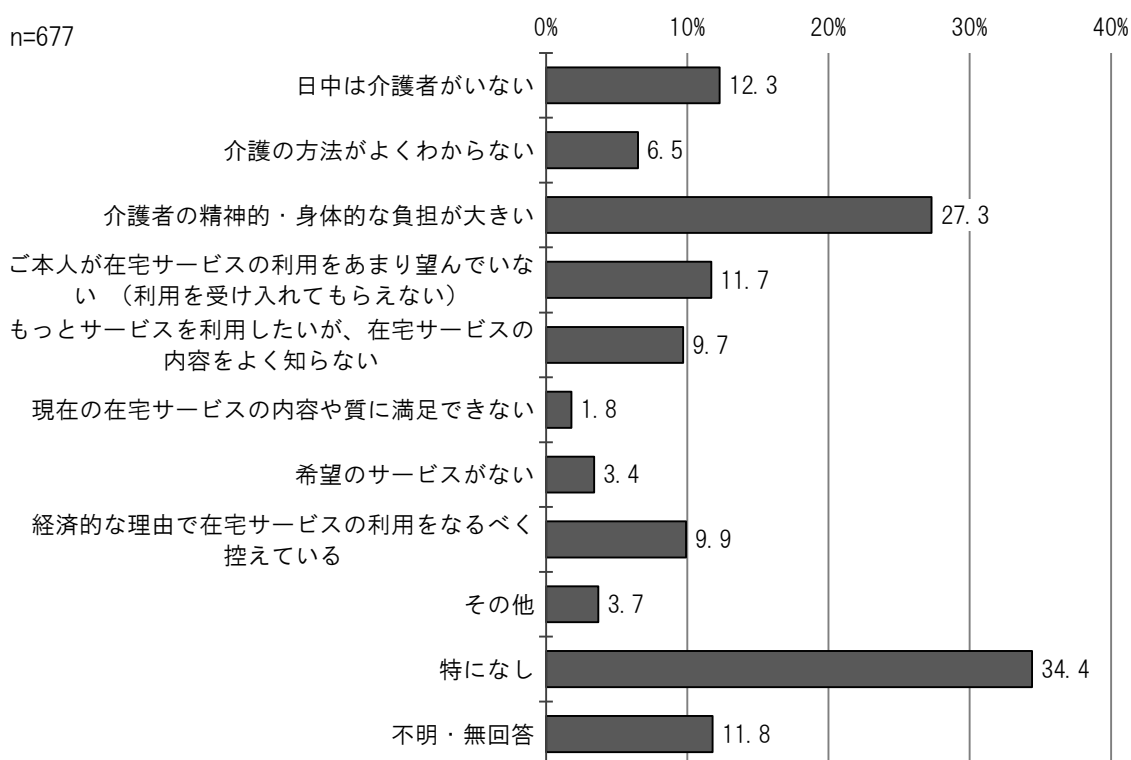
問 32 あなたは、健康や介護についての不安や悩みを誰に相談していますか。または相談しようと思いませんか。× 年齢別

年齢別にみると、〈40～64歳〉〈65～74歳〉〈90歳以上〉では「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が最も高く、次いで「家族や親族など」となっています。〈75～79歳〉〈80～84歳〉〈85～89歳〉では「家族や親族など」が最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）」となっています。

単位：%		家族や親族など	友人、知人、隣近所の人	民生委員・児童委員	ボランティア	かかりつけの医師	市役所	介護支援専門員（ケアマネジャー）
全体(n=677)		62.6	24.5	1.5	0.3	28.8	6.5	58.1
年齢別	40～64歳(n=45)	55.6	35.6	-	-	26.7	11.1	60.0
	65～74歳(n=88)	48.9	18.2	1.1	-	28.4	6.8	53.4
	75～79歳(n=107)	62.6	20.6	1.9	0.9	27.1	4.7	56.1
	80～84歳(n=142)	74.6	18.3	2.1	0.7	28.9	8.5	55.6
	85～89歳(n=147)	63.3	29.9	1.4	-	25.9	4.8	55.8
	90歳以上(n=131)	62.6	29.0	1.5	-	35.1	5.3	66.4
単位：%		薬局、介護用品販売店	地域包括支援センターの職員	訪問看護師やヘルパー等の介護サービス従事者	介護者のつどい	相談したいが、相談相手はいない	特に不安や悩みがない	その他
全体(n=677)		3.1	3.4	19.5	1.2	7.2	2.8	1.8
年齢別	40～64歳(n=45)	4.4	2.2	22.2	2.2	6.7	2.2	-
	65～74歳(n=88)	1.1	-	25.0	-	10.2	1.1	-
	75～79歳(n=107)	4.7	3.7	15.9	2.8	6.5	6.5	-
	80～84歳(n=142)	1.4	6.3	19.7	2.1	8.5	0.7	3.5
	85～89歳(n=147)	4.1	2.7	19.0	0.7	8.2	3.4	2.7
	90歳以上(n=131)	3.8	3.1	16.8	-	4.6	1.5	2.3
単位：%		不明・無回答						
全体(n=677)		5.8						
年齢別	40～64歳(n=45)	2.2						
	65～74歳(n=88)	5.7						
	75～79歳(n=107)	10.3						
	80～84歳(n=142)	4.2						
	85～89歳(n=147)	4.1						
	90歳以上(n=131)	6.1						

問 33 在宅での介護について、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

在宅での介護で困っていることについてみると、「特になし」が 34.4%と最も高く、次いで「介護者の精神的・身体的な負担が大きい」が 27.3%、「日中は介護者がいない」が 12.3%となっています。



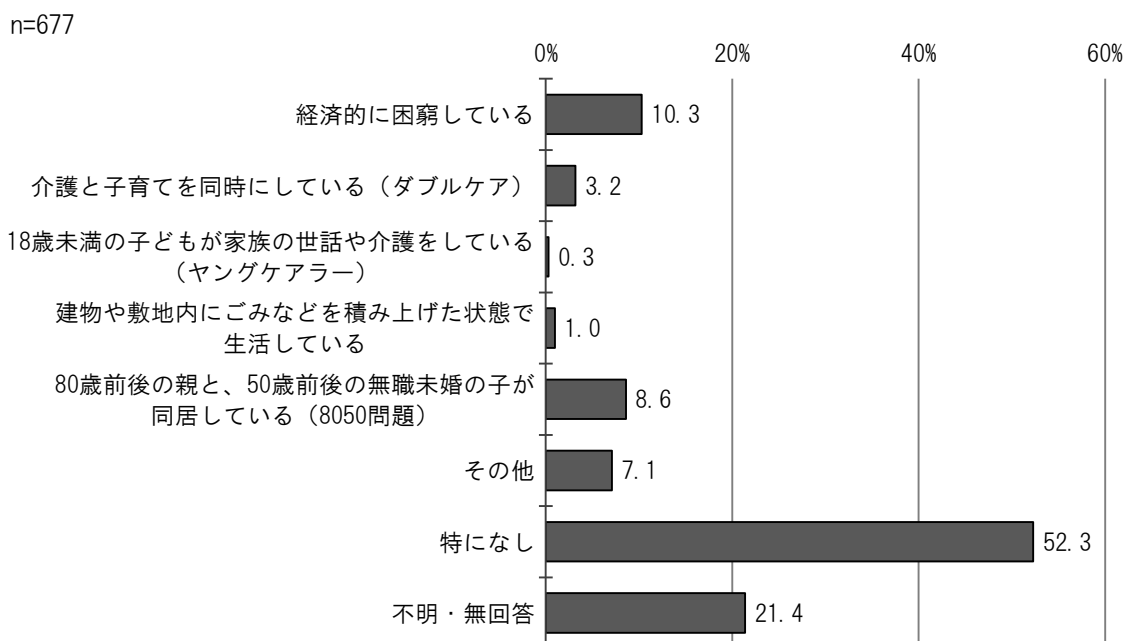
問 33 在宅での介護について、困っていることはありますか。× 年齢別

年齢別にみると、〈40～64歳〉〈90歳以上〉では「介護者の精神的・身体的な負担が大きい」が最も高く、次いで〈40～64歳〉では「日中は介護者がいない」「特になし」、〈90歳以上〉では「特になし」となっています。それ以外の区分では「特になし」が最も高く、次いで「介護者の精神的・身体的な負担が大きい」となっています。

単位：%		日中は介護者がいない	介護の方法がよくわからない	介護者の精神的・身体的な負担が大きい	ご本人が在宅サービスの利用をあまり望んでいない (利用を受け入れてもらえない)	もっとサービスを利用したいが、在宅サービスの内容をよく知らない	現在の在宅サービスの内容や質に満足できない	希望のサービスがない
全体(n=677)		12.3	6.5	27.3	11.7	9.7	1.8	3.4
年齢別	40～64歳(n=45)	24.4	6.7	28.9	11.1	8.9	2.2	4.4
	65～74歳(n=88)	8.0	3.4	18.2	9.1	9.1	1.1	3.4
	75～79歳(n=107)	10.3	7.5	24.3	15.0	9.3	2.8	1.9
	80～84歳(n=142)	10.6	6.3	29.6	8.5	8.5	0.7	2.1
	85～89歳(n=147)	15.6	4.1	27.2	10.2	12.9	1.4	2.7
	90歳以上(n=131)	9.2	11.5	35.1	16.8	8.4	2.3	5.3
単位：%		経済的な理由で在宅サービスの利用をなるべく控えている	その他	特になし	不明・無回答			
全体(n=677)		9.9	3.7	34.4	11.8			
年齢別	40～64歳(n=45)	8.9	13.3	24.4	4.4			
	65～74歳(n=88)	15.9	3.4	42.0	11.4			
	75～79歳(n=107)	9.3	0.9	34.6	15.9			
	80～84歳(n=142)	10.6	2.8	37.3	12.7			
	85～89歳(n=147)	9.5	4.1	34.7	11.6			
	90歳以上(n=131)	6.9	3.8	29.8	9.2			

問 34 あなたの世帯は、日常生活の中で次のような状態にありますか。
(あてはまるものすべてに○)

世帯の日常生活の状態についてみると、「特になし」が 52.3%と最も高く、次いで「経済的に困窮している」が 10.3%、「80 歳前後の親と、50 歳前後の無職未婚の子が同居している（8050 問題）」が 8.6%となっています。



問 34 あなたの世帯は、日常生活の中で次のような状態にありますか。× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「特になし」が最も高く、次いで〈40～64 歳〉〈90 歳以上〉では「その他」、〈85～89 歳〉では「経済的に困窮している」「80 歳前後の親と、50 歳前後の無職未婚の子が同居している（8050 問題）」、それ以外の区分では「経済的に困窮している」となっています。

単位：%		経済的に困窮している	介護と子育てを同時にしている (ダブルケア)	18歳未満の子どもが家族の世話や介護をしている (ヤングケアラー)	建物や敷地内にごみなどを積み上げた状態で生活している	80歳前後の親と、50歳前後の無職未婚の子が同居している (8050問題)	その他	特になし	
全体(n=677)		10.3	3.2	0.3	1.0	8.6	7.1	52.3	
年齢別	40～64歳(n=45)	8.9	8.9	2.2	4.4	11.1	15.6	33.3	
	65～74歳(n=88)	11.4	1.1	-	-	1.1	6.8	65.9	
	75～79歳(n=107)	7.5	2.8	-	-	5.6	2.8	55.1	
	80～84歳(n=142)	15.5	4.2	-	1.4	12.7	5.6	46.5	
	85～89歳(n=147)	11.6	2.0	-	0.7	11.6	6.1	53.7	
	90歳以上(n=131)	6.1	3.8	0.8	1.5	8.4	11.5	51.9	
単位：%		不明・無回答							
全体(n=677)		21.4							
年齢別	40～64歳(n=45)	24.4							
	65～74歳(n=88)	15.9							
	75～79歳(n=107)	26.2							
	80～84歳(n=142)	21.8							
	85～89歳(n=147)	19.0							
	90歳以上(n=131)	19.8							

問 35 問 33・問 34 でお答えいただいたような状況に関する困りごとについて、解決や介護負担の軽減に向けて必要な支援や取り組みへのご意見がございましたらご自由にお書きください。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈介護者支援・余暇支援・相談支援〉

- 介護しながら働ける環境での就労への支援
(時短勤務、在宅勤務、介護者の多い職場)
- 介護者が息を抜ける時間が多いほど良い
- 施設に親を入れる罪悪感があり、不安になってしまう。介護者のケアが必要
- 介護者体調不良や冠婚葬祭時にレスパイト入院
- 急用時にショートステイをすぐ利用できない
- ショートステイによる気分転換
- 本人と家族のため旅行を企画したい
- 本人の症状について他人に話すことを本人が嫌がるため、相談できる相手がいない
- 市役所の対応でたらいまわしにされた
- 地域の近隣の方々の援助や交流

〈日常生活支援、通院・移動等の支援〉

- 屋内外の清掃、高所作業、外出介助、現金取扱
- 生活面でのアドバイス、援助が欲しい
- ゴミ屋敷解消のサポートがあればよい
- ゴミを個別に収集してくれるサービス
- 捨てるのが大変なゴミがたくさんある
- 夜間の排泄が大変。おむつの支給を
- 成年後見制度をもっと簡単に利用できるように
- 通院にタクシーを使っており費用負担が大きい
- 車椅子から自動車への移乗が難しく通院が難しい。市のケアタクシーの予約利便性向上や、車椅子で搭乗できる車両を借りる際の使い勝手
- 介護者が難病のため自家用車で病院に行けなくなったため、タクシーの補助が欲しい
- 病院などや買い物などに行けなくて困っている

〈認知症状への対応、見守り・見回りサービス〉

- 本人ができることと支援が必要なことに対する本人の認識。アドバイザーが必要
- 訪問や声掛けがあれば助かる
- 見守りサービスを低価格で利用したい

〈介護サービス〉

- 施設サービスの充実
- 在宅で訪問サービスを受ける制度の周知
- リハビリを受けられる施設
- 低料金で利用できる入所サービス
- 訪問入浴介護があるのかわからない
- コロナ禍により事業所の見学ができない
- 本人がサービス利用を拒否した際の対応
- 外国語に対応できる介護人材
- 事業所の対応の質の向上
- 介護サービス事業所への支援により常にサービスが受けられる状態を構築する
- 介護人材の人手不足解消に向けた賃金向上等

〈緊急時の対応〉

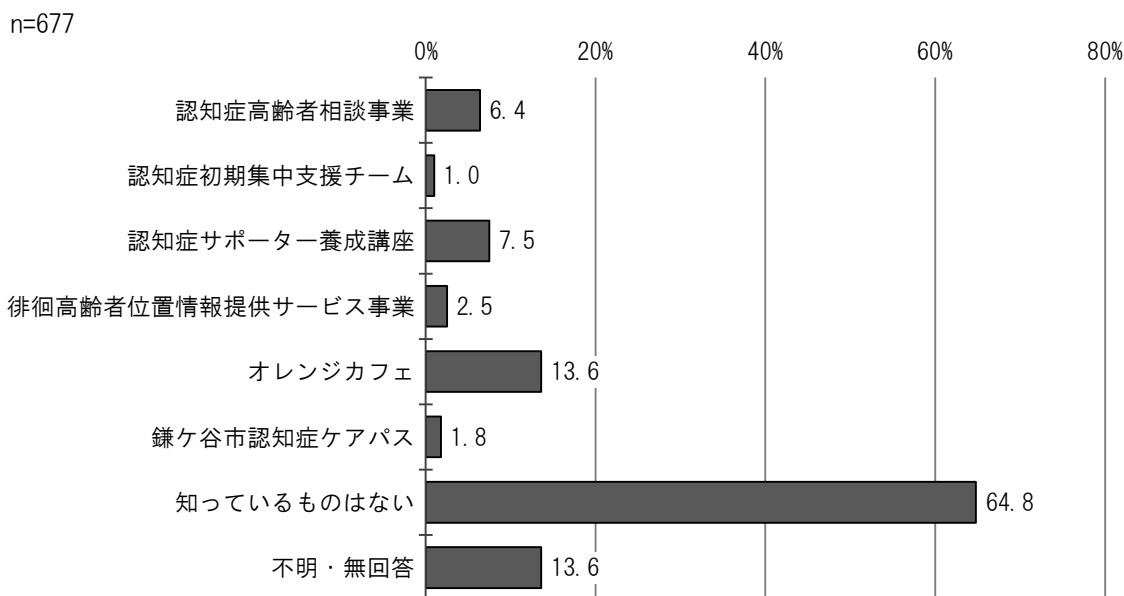
- 風呂から出られなくなった時、転んだ時の支援
- 万が一の時ペットを引き取ってくれるサービス
- 急に体調が悪くなった時の対応
- 停電になった時、酸素や人工呼吸器などが電気で動いているので不安
- 介護者に事故や万が一のことがあり困った時、相談や援助をしてもらえる窓口を知りたい

〈経済的負担〉

- 本人の年金が少ないため、介護者の支出が多い
- 年金生活なので子供に負担をかけている
- 家族の入院費が高額なので大変
- 経済面での支援があれば、高性能の家電が利用でき家事の負担が減る
- ドイツのように介護を労働であることを認め、介護を担う家族に手当を払う社会になれば良い
- 将来の介護費用の不安から精神的ストレスや体力的な疲れにつながる。お弁当の割安な提供
- 紙おむつ等消耗品の補助が少ない
- 介護サービスの経済負担を小さくしてほしい

問 36 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症に関連する市の施策で知っているものについてみると、「知っているものはない」が64.8%と最も高く、次いで「オレンジカフェ」が13.6%、「認知症サポーター養成講座」が7.5%となっています。



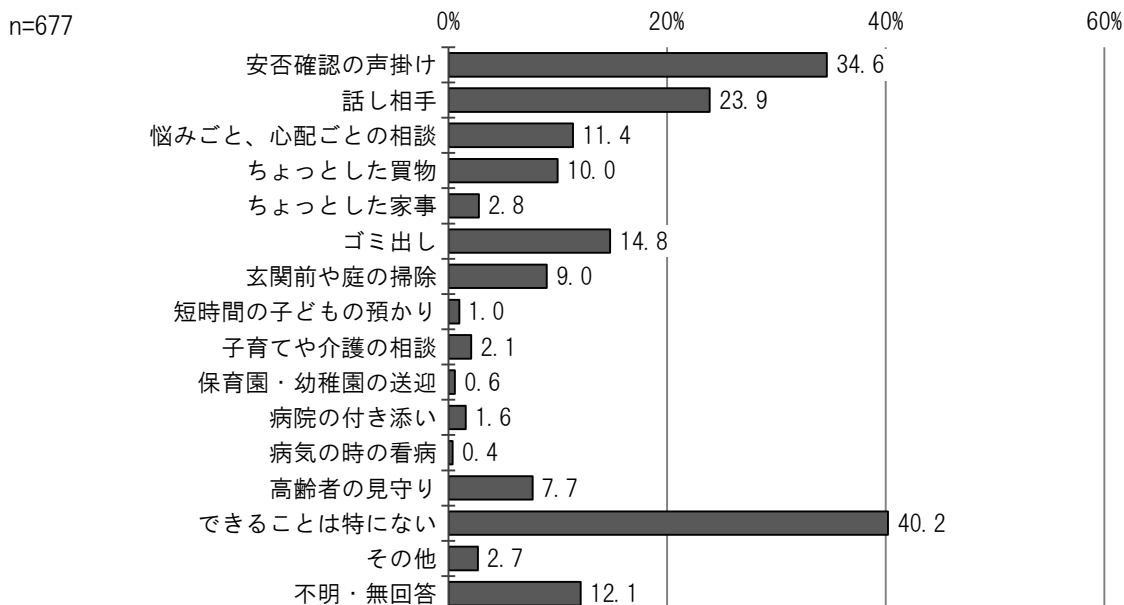
問 36 認知症に関連する市の施策で知っているものはありますか。× 年齢別

年齢別にみると、すべての区分で「知っているものはない」が最も高く、次いで「オレンジカフェ」となっています。

単位：%	認知症高齢者 相談事業	認知症初期集中 支援チーム	認知症サポーター 養成講座	徘徊高齢者 位置情報提供 サービス事業	オレンジカフェ	鎌ヶ谷市 認知症ケアバス	知っている ものはない	
全体(n=677)	6.4	1.0	7.5	2.5	13.6	1.8	64.8	
年齢別	40～64歳(n=45)	4.4	-	8.9	2.2	-	73.3	
	65～74歳(n=88)	5.7	1.1	11.4	2.3	2.3	59.1	
	75～79歳(n=107)	3.7	-	7.5	5.6	15.0	0.9	58.9
	80～84歳(n=142)	4.2	-	4.2	2.1	11.3	2.1	69.0
	85～89歳(n=147)	8.8	2.7	6.1	2.7	11.6	1.4	68.0
90歳以上(n=131)	9.9	1.5	10.7	0.8	14.5	3.1	61.8	
単位：%	不明・無回答							
全体(n=677)	13.6							
年齢別	40～64歳(n=45)	4.4						
	65～74歳(n=88)	15.9						
	75～79歳(n=107)	21.5						
	80～84歳(n=142)	13.4						
	85～89歳(n=147)	10.9						
90歳以上(n=131)	9.9							

問 37 隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることについてみると、「できることは特にない」が40.2%と最も高く、次いで「安否確認の声掛け」が34.6%、「話し相手」が23.9%となっています。



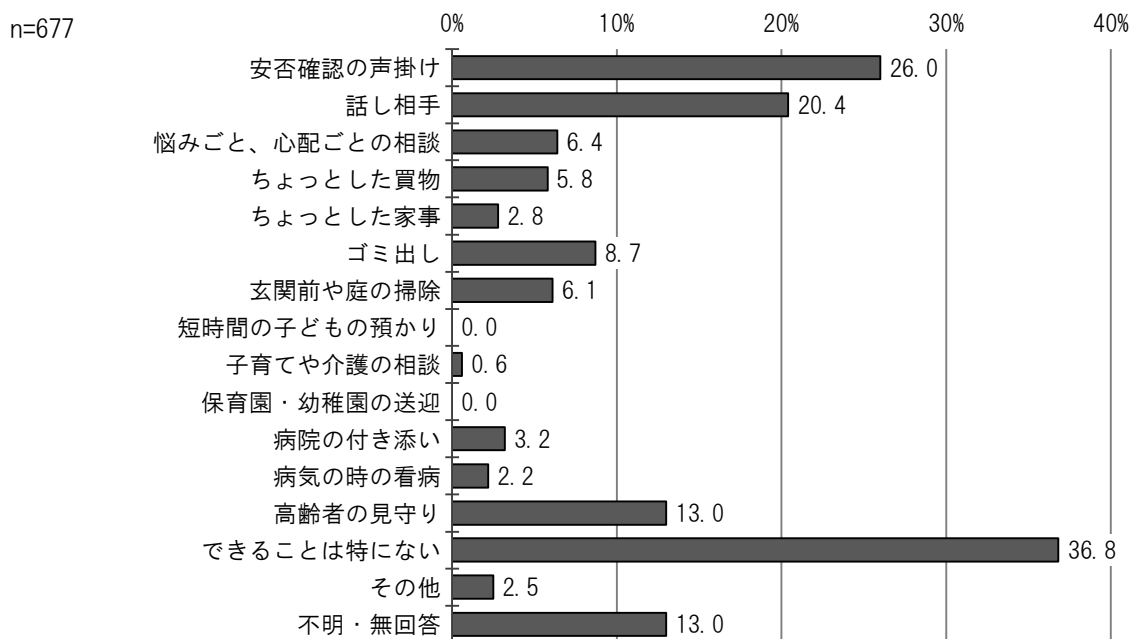
問 37 隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることはありますか。× 年齢別

年齢別にみると、〈40～64歳〉〈75～79歳〉では「安否確認の声掛け」が最も高く、次いで「できることは特にない」となっています。それ以外の区分では「できることは特にない」が最も高く、次いで「安否確認の声掛け」となっています。

単位：%	安否確認の声掛け	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	ちょっとした買物	ちょっとした家事	ゴミ出し	玄関前や庭の掃除
全体(n=677)	34.6	23.9	11.4	10.0	2.8	14.8	9.0
年齢別	40～64歳(n=45)	35.6	26.7	13.3	17.8	-	26.7
	65～74歳(n=88)	36.4	20.5	12.5	11.4	3.4	17.0
	75～79歳(n=107)	39.3	26.2	17.8	14.0	3.7	15.9
	80～84歳(n=142)	28.2	28.2	10.6	5.6	2.8	12.0
	85～89歳(n=147)	36.1	25.9	7.5	8.8	2.0	10.2
	90歳以上(n=131)	34.4	18.3	11.5	10.7	3.8	17.6
単位：%	短時間の子どもの預かり	子育てや介護の相談	保育園・幼稚園の送迎	病院の付き添い	病気の時の看病	高齢者の見守り	できることは特にない
全体(n=677)	1.0	2.1	0.6	1.6	0.4	7.7	40.2
年齢別	40～64歳(n=45)	-	4.4	-	2.2	2.2	20.0
	65～74歳(n=88)	2.3	1.1	-	1.1	-	9.1
	75～79歳(n=107)	-	0.9	-	-	-	3.7
	80～84歳(n=142)	0.7	1.4	-	2.1	-	8.5
	85～89歳(n=147)	2.0	2.7	2.0	2.0	1.4	6.1
	90歳以上(n=131)	0.8	3.1	0.8	2.3	-	7.6
単位：%	その他	不明・無回答					
全体(n=677)	2.7	12.1					
年齢別	40～64歳(n=45)	6.7	6.7				
	65～74歳(n=88)	-	8.0				
	75～79歳(n=107)	3.7	14.0				
	80～84歳(n=142)	3.5	14.8				
	85～89歳(n=147)	2.7	11.6				
	90歳以上(n=131)	1.5	11.5				

問 38 反対に、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてもらいたいですか。
 (あてはまるものすべてに○)

隣近所の人に手助けしてもらいたいことについてみると、「できることは特にない」が36.8%と最も高く、次いで「安否確認の声掛け」が26.0%、「話し相手」が20.4%となっています。



問 38 反対に、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてもらいたいですか。
 × 年齢別

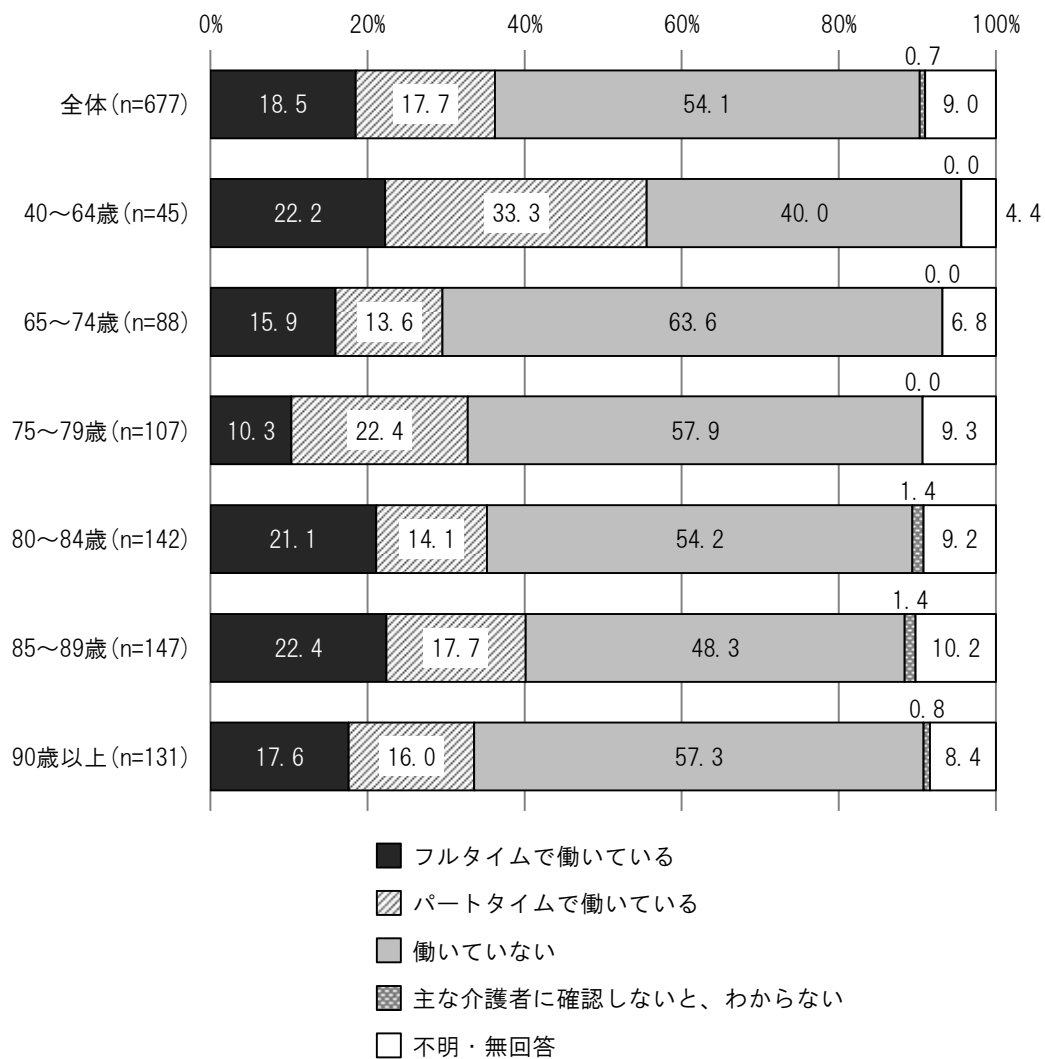
年齢別にみると、すべての区分で「できることは特にない」が最も高く、次いで〈80～84歳〉では「話し相手」、それ以外の区分では「安否確認の声掛け」となっています。

単位：%	安否確認の声掛け	話し相手	悩みごと、心配ごとの相談	ちょっとした買物	ちょっとした家事	ゴミ出し	玄関前や庭の掃除	
全体(n=677)	26.0	20.4	6.4	5.8	2.8	8.7	6.1	
年齢別	40～64歳(n=45)	24.4	17.8	8.9	6.7	4.4	17.8	4.4
	65～74歳(n=88)	26.1	11.4	2.3	5.7	3.4	6.8	3.4
	75～79歳(n=107)	26.2	20.6	9.3	6.5	-	6.5	5.6
	80～84歳(n=142)	20.4	26.1	6.3	4.2	4.2	9.2	9.2
	85～89歳(n=147)	29.9	27.2	9.5	7.5	3.4	8.2	6.1
	90歳以上(n=131)	27.5	14.5	3.1	5.3	2.3	9.2	6.1
単位：%	短時間の子どもの預かり	子育てや介護の相談	保育園・幼稚園の送迎	病院の付き添い	病気の時の看病	高齢者の見守り	できることは特にない	
全体(n=677)	-	0.6	-	3.2	2.2	13.0	36.8	
年齢別	40～64歳(n=45)	-	-	-	6.7	4.4	11.1	40.0
	65～74歳(n=88)	-	-	-	4.5	1.1	6.8	48.9
	75～79歳(n=107)	-	2.8	-	2.8	4.7	9.3	27.1
	80～84歳(n=142)	-	0.7	-	3.5	-	14.1	33.1
	85～89歳(n=147)	-	-	-	1.4	1.4	15.6	36.1
	90歳以上(n=131)	-	-	-	3.1	3.8	16.0	42.0
単位：%	その他	不明・無回答						
全体(n=677)	2.5	13.0						
年齢別	40～64歳(n=45)	-	8.9					
	65～74歳(n=88)	1.1	8.0					
	75～79歳(n=107)	2.8	15.9					
	80～84歳(n=142)	4.9	14.1					
	85～89歳(n=147)	3.4	15.0					
	90歳以上(n=131)	0.8	10.7					

問 39 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ) × 年齢別

主な介護者の現在の勤務形態についてみると、「働いていない」が54.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が18.5%、「パートタイムで働いている」が17.7%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「働いていない」が最も高く、次いで〈40～64歳〉〈75～79歳〉では「パートタイムで働いている」、それ以外の区分では「フルタイムで働いている」となっています。

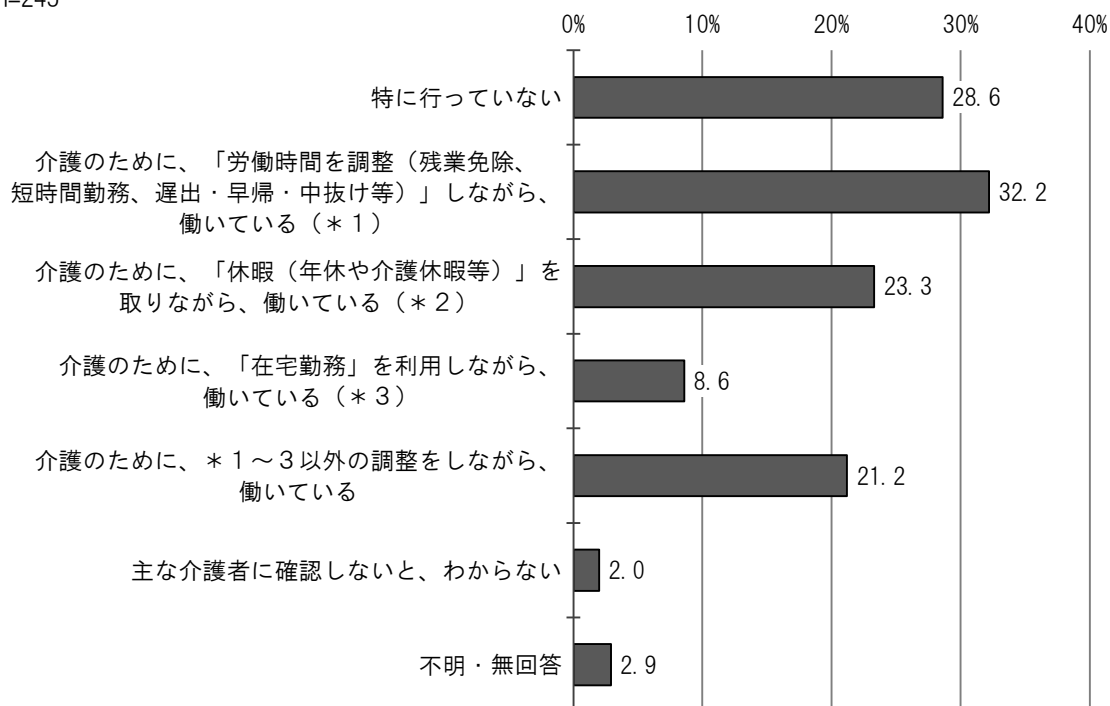


問 39 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

問 40 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

介護をするにあたってしている働き方の調整等についてみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 32.2%と最も高く、次いで「特に行っていない」が 28.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 23.3%となっています。

n=245

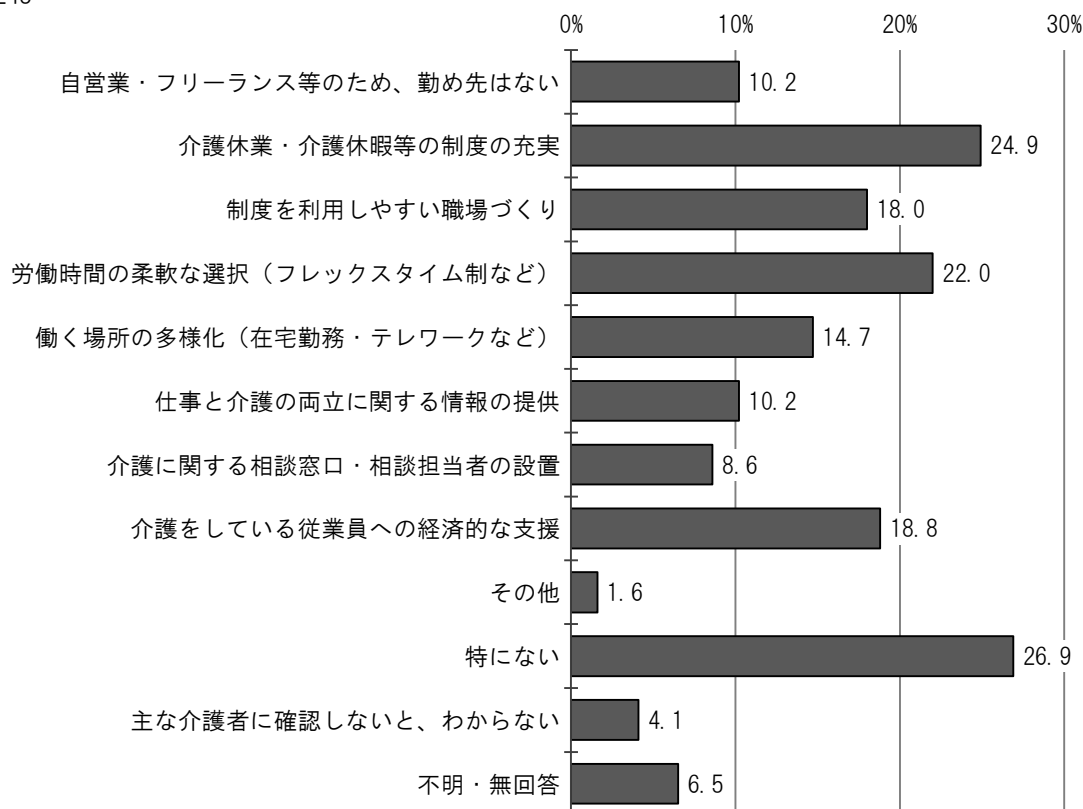


問 39 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

問 41 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援についてみると、「特にない」が 26.9%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 24.9%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 22.0%となっています。

n=245

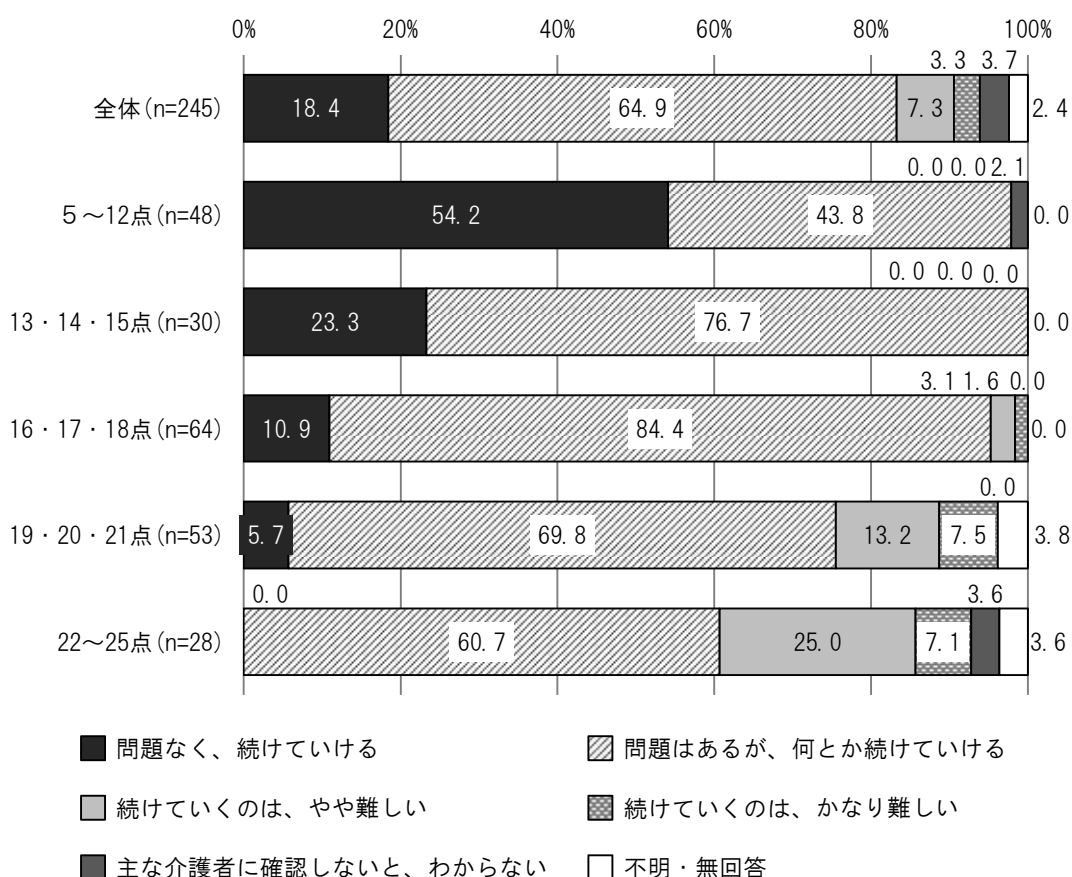


問 39 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

問 42 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(あてはまるものすべてに○) × 介護負担度別

今後も働きながら介護を続けていけそうかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が64.9%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が18.4%、「続けていくのは、やや難しい」が7.3%となっています。

介護負担度別にみると、〈5～12点〉では「問題なく、続けていける」が最も高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」となっています。それ以外の区分では「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、次いで〈13・14・15点〉〈16・17・18点〉では「問題なく、続けていける」、〈19・20・21点〉〈22～25点〉では「続けていくのは、やや難しい」となっています。



問 43 ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は217件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	33
人付き合い、社会参加	3
交通機関・公共施設	21
情報提供	9
経済的な不安	13
将来について	25
アンケート	16
お礼など	6
その他	91
合計	217

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

【介護サービスに関して】 33 件

- 今ではケアマネさん等からアドバイスを受けて色々と支援を受けていますが、はじめはケアマネさんを決めるところから「紹介は出来ないのでご家族で決めてください」だったのが衝撃でした。ご高齢世帯でははじめの一步のハードルが高いのかなと感じました。
- 自分の考えを尊重しケアサービスを作ってほしかった。また、自宅で最期まで暮らすためにサービスを充実してほしい（夜間早朝のヘルパー訪問）。
- 高齢（95歳）の親を介護することは、持病のある者にとってはとても不安だし負担です。要介護1でも特老に入居できたらいいのですが、無理でしょうか？

【人付き合い・社会参加に関して】 3 件

- 近くに年寄りが集まり、談合できる場所があれば残りの人生にも光が差すのではないのでしょうか。

【交通機関・公共施設に関して】 21 件

- 通院や買い物は、車を運転しているが、車の運転が出来なくなってしまうと移動手段がコミュニティバスしかなくなる。もう少し短い間隔で運行してもらわないと生活がかなり難しくなると思われる。増発をお願いしたい。
- 本人の足が不自由なため、通院の際のタクシー券をもっと増やしてほしい。

【情報提供に関して】 9 件

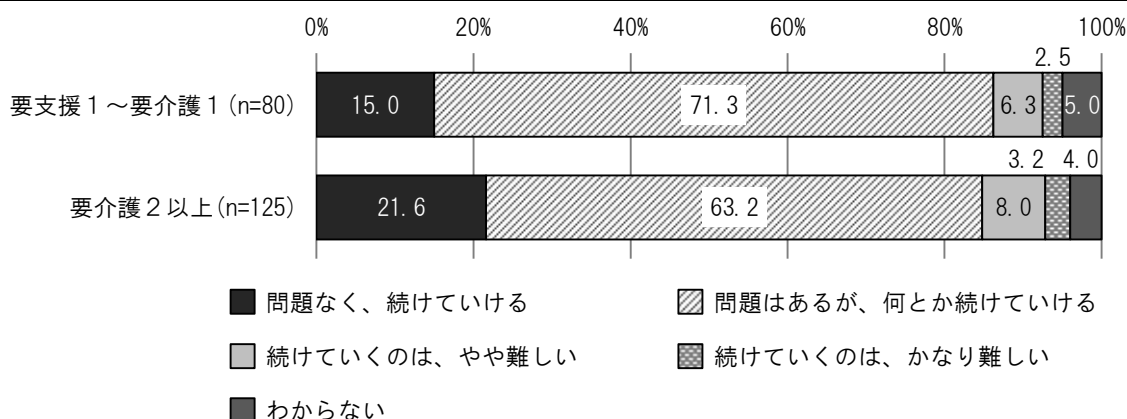
- 現在は介護を使用していないが、この先介護が必要となったときにはどうすればいいか相談訪問等があればいいと思う。
- 本人に代わってやりたい手続等がある時に（マイナンバーの手続き、預金移動等で）どうすればいいのか相談できる場所を教えてください。
- いつも、介護の情報は、ケアマネジャーさんから頂いています。しかし、多くの人達を対応されているので、「これ以上は聞いたら大変かな？」とってしまうこともあります。市のHPで、もっと親しみやすい、見やすい介護サービスの情報を載せて欲しいです。仕事と両立する為に、使えるサービスなど、スマホで簡単に見られたら助かります。あと、手続きが多く、大変です。母ひとりだったらと思うと、恐ろしいほどの量に感じます。

●分析編

(1) 就労の継続について

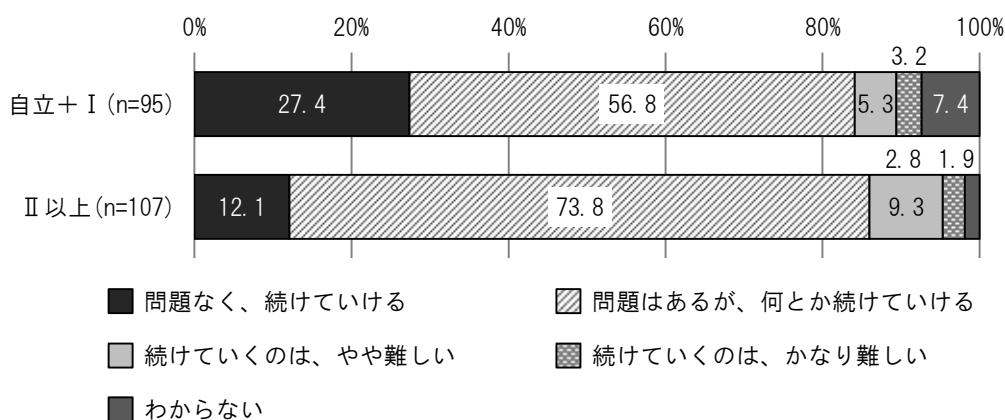
要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を要介護度別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が71.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.0%、「続けていくのは、やや難しい」が6.3%となっています。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が63.2%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が21.6%、「続けていくのは、やや難しい」が8.0%となっています。



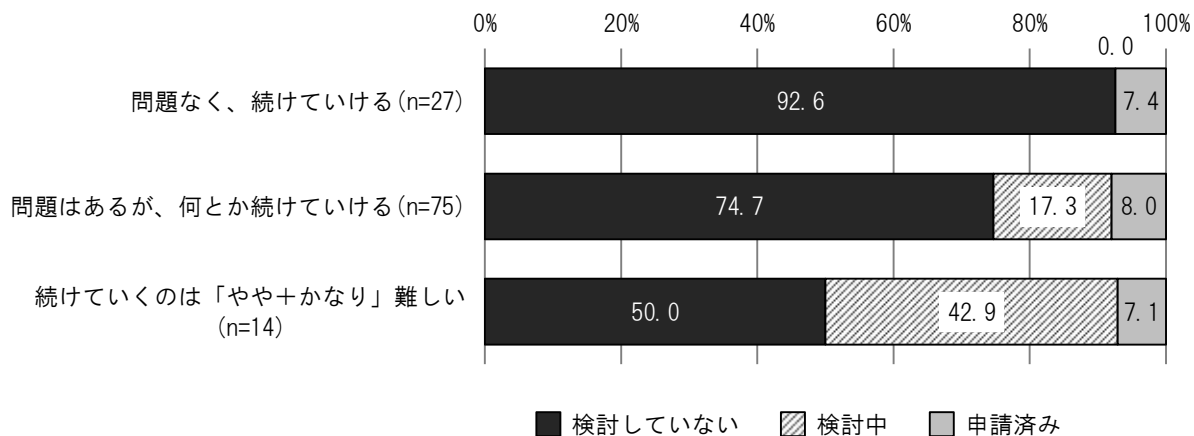
認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+I」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.4%、「わからない」が7.4%となっています。「II以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が73.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が12.1%、「続けていくのは、やや難しい」が9.3%となっています。



就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が92.6%と最も高く、次いで「申請済み」が7.4%、「検討中」が0.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が74.7%と最も高く、次いで「検討中」が17.3%、「申請済み」が8.0%となっています。「続けていくのは『やや+かなり』難しい」では「検討していない」が50.0%と最も高く、次いで「検討中」が42.9%、「申請済み」が7.1%となっています。



(2) 介護保険以外のサービス利用について

世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が46.8%と最も高く、次いで「掃除・洗濯」が19.3%、「ゴミ出し」が17.4%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が71.4%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が9.5%、「ゴミ出し」が6.5%となっています。「その他」では「利用していない」が78.9%と最も高く、次いで「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が6.6%、「掃除・洗濯」が4.5%となっています。

%		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）
世帯類型別	単身世帯(n=109)	14.7	5.5	19.3	14.7	17.4	11.0	5.5
	夫婦のみ世帯(n=199)	5.0	2.5	5.5	4.0	6.5	3.5	9.5
	その他(n=332)	6.6	2.4	4.5	3.6	3.0	2.4	6.6
%		見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない			
世帯類型別	単身世帯(n=109)	9.2	0.9	4.6	46.8			
	夫婦のみ世帯(n=199)	4.5	1.5	4.5	71.4			
	その他(n=332)	3.9	1.8	3.0	78.9			

世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「特になし」が31.7%と最も高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が27.7%、「掃除・洗濯」が24.8%となっています。「夫婦のみ世帯」では「特になし」が48.5%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が14.1%となっています。「その他」では「特になし」が51.8%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.3%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が15.5%となっています。

%		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）
世帯類型別	単身世帯(n=101)	23.8	10.9	24.8	27.7	23.8	18.8	13.9
	夫婦のみ世帯(n=198)	13.1	10.6	13.1	12.6	12.1	14.1	23.7
	その他(n=330)	15.5	5.8	10.9	8.2	7.6	15.5	20.3
%		見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし			
世帯類型別	単身世帯(n=101)	23.8	1.0	1.0	31.7			
	夫婦のみ世帯(n=198)	9.6	4.0	4.0	48.5			
	その他(n=330)	13.0	3.3	4.5	51.8			

要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）

保険外の支援・サービスの必要性（単身世帯）を要介護度別にみると、「要支援1・2」では該当者はいませんでした。「要介護1・2」では「特になし」が32.1%と最も高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が29.6%、「見守り、声かけ」が25.9%となっています。「要介護3以上」では「ゴミ出し」が35.0%と最も高く、次いで「掃除・洗濯」、「特になし」が30.0%、「配食」、「買い物（宅配は含まない）」が20.0%となっています。

%		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）
要介護度別	要支援1・2 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-
	要介護1・2 (n=81)	24.7	12.3	23.5	29.6	21.0	19.8	13.6
	要介護3以上 (n=20)	20.0	5.0	30.0	20.0	35.0	15.0	15.0
%		見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし			
要介護度別	要支援1・2 (n=0)	-	-	-	-			
	要介護1・2 (n=81)	25.9	1.2	1.2	32.1			
	要介護3以上 (n=20)	15.0	-	-	30.0			

要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）

保険外の支援・サービスの必要性（夫婦のみ世帯）を要介護度別にみると、「要支援1・2」では該当者はいませんでした。「要介護1・2」では「特になし」が46.8%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.7%となっています。「要介護3以上」では「特になし」が50.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.9%、「配食」が20.5%となっています。

%		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）
要介護度別	要支援1・2 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-
	要介護1・2 (n=124)	8.9	8.9	13.7	13.7	12.9	17.7	25.0
	要介護3以上 (n=73)	20.5	13.7	12.3	11.0	11.0	8.2	21.9
%		見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし			
要介護度別	要支援1・2 (n=0)	-	-	-	-			
	要介護1・2 (n=124)	10.5	4.8	5.6	46.8			
	要介護3以上 (n=73)	8.2	2.7	1.4	50.7			

認知症自立度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

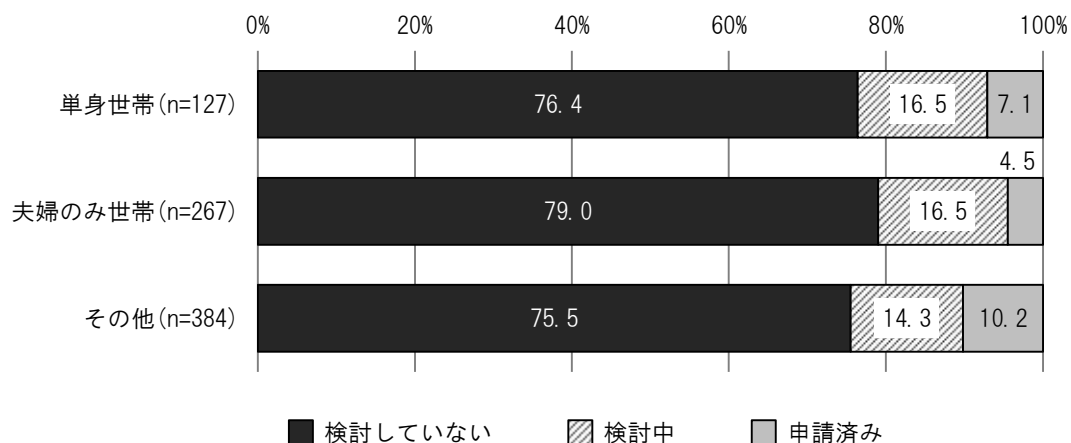
保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「特になし」が50.0%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が18.1%となっています。「Ⅱ」では「特になし」が46.6%と最も高く、次いで「配食」、「見守り、声かけ」が17.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.2%となっています。「Ⅲ以上」では「特になし」が39.5%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.6%、「配食」が26.3%となっています。

%		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）
認知症自立度別	自立+Ⅰ (n=310)	12.6	6.8	14.5	15.2	11.3	18.1	20.6
	Ⅱ (n=238)	17.6	9.7	11.8	13.0	10.9	13.4	17.2
	Ⅲ以上 (n=76)	26.3	7.9	17.1	2.6	13.2	10.5	27.6
%		見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし			
認知症自立度別	自立+Ⅰ (n=310)	10.6	3.2	3.2	50.0			
	Ⅱ (n=238)	17.6	4.2	4.2	46.6			
	Ⅲ以上 (n=76)	13.2	-	5.3	39.5			

(3) 入所の検討状況について

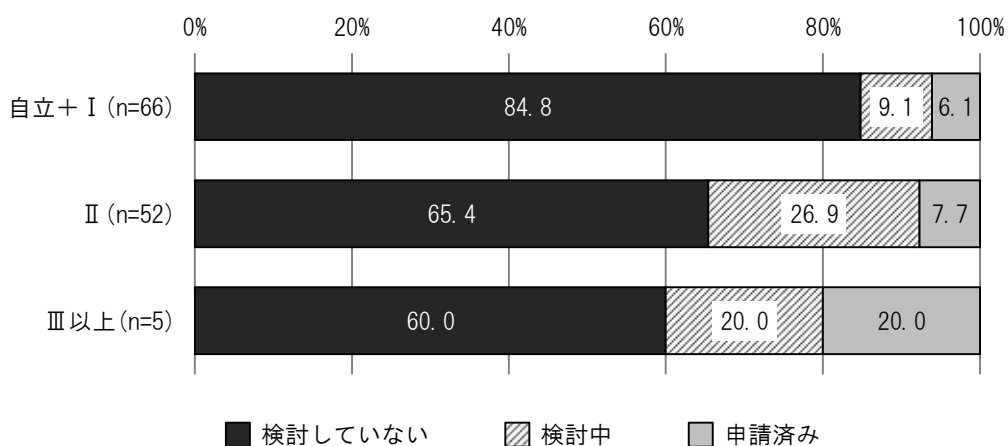
世帯類型別・施設等検討の状況

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が76.4%と最も高く、次いで「検討中」が16.5%、「申請済み」が7.1%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が79.0%と最も高く、次いで「検討中」が16.5%、「申請済み」が4.5%となっています。「その他」では「検討していない」が75.5%と最も高く、次いで「検討中」が14.3%、「申請済み」が10.2%となっています。



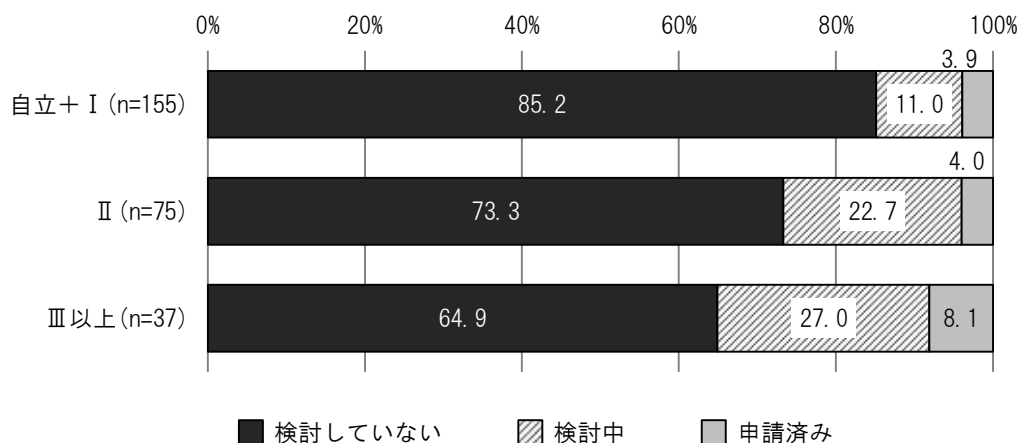
認知症自立度別・施設等検討の状況 (単身世帯)

施設等の検討状況(単身世帯)を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が84.8%と最も高く、次いで「検討中」が9.1%、「申請済み」が6.1%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が65.4%と最も高く、次いで「検討中」が26.9%、「申請済み」が7.7%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が60.0%と最も高く、次いで「検討中」、「申請済み」が20.0%となっています。



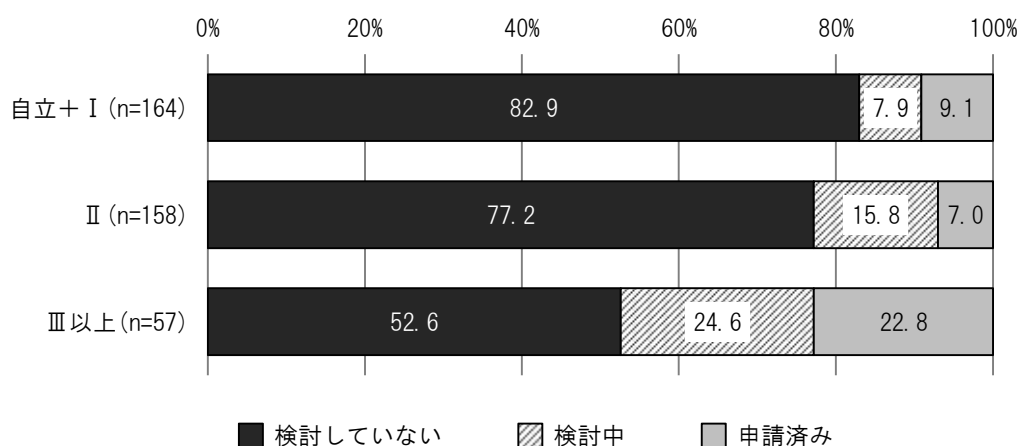
認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）

施設等の検討状況（夫婦のみ世帯）を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が85.2%と最も高く、次いで「検討中」が11.0%、「申請済み」が3.9%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が73.3%と最も高く、次いで「検討中」が22.7%、「申請済み」が4.0%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が64.9%と最も高く、次いで「検討中」が27.0%、「申請済み」が8.1%となっています。



認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）

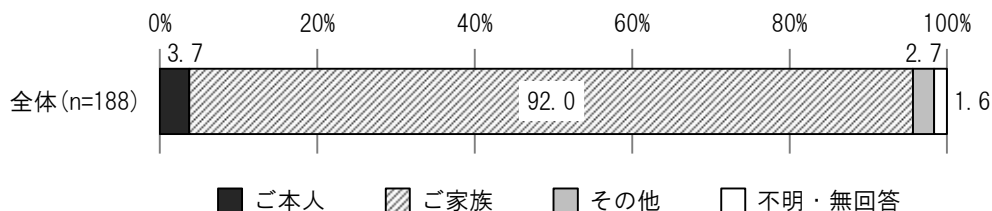
施設等の検討状況（その他の世帯）を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が82.9%と最も高く、次いで「申請済み」が9.1%、「検討中」が7.9%となっています。「Ⅱ」では「検討していない」が77.2%と最も高く、次いで「検討中」が15.8%、「申請済み」が7.0%となっています。「Ⅲ以上」では「検討していない」が52.6%と最も高く、次いで「検討中」が24.6%、「申請済み」が22.8%となっています。



第6章 施設サービス利用者調査

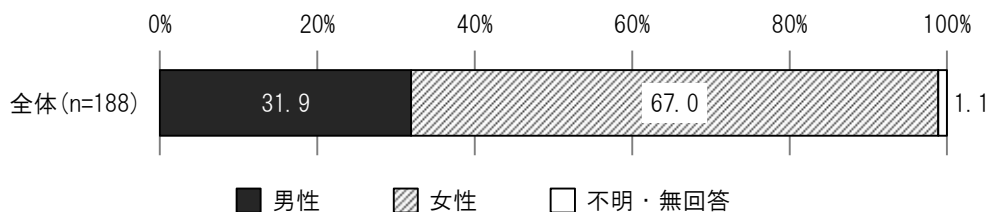
問1 この調査票を記入した方はどなたですか。(○は1つ)

調査票の記入者についてみると、「ご家族」が92.0%、「ご本人」が3.7%、「その他」が2.7%となっています。



問2 あなたの性別は。(○は1つ)

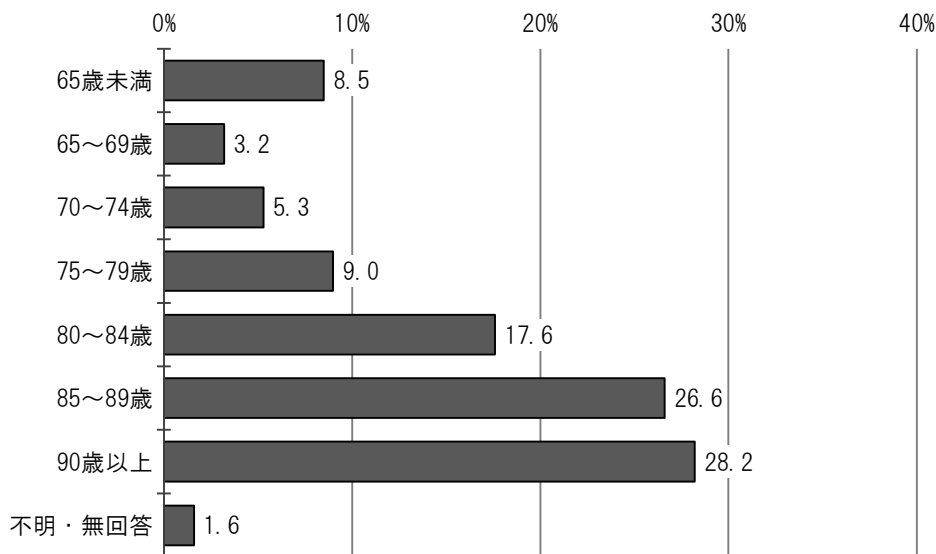
性別についてみると、「男性」が31.9%、「女性」が67.0%となっています。



問3 あなたの年齢は。(○は1つ)

年齢についてみると、「90歳以上」が28.2%と最も高く、次いで「85～89歳」が26.6%、「80～84歳」が17.6%となっています。

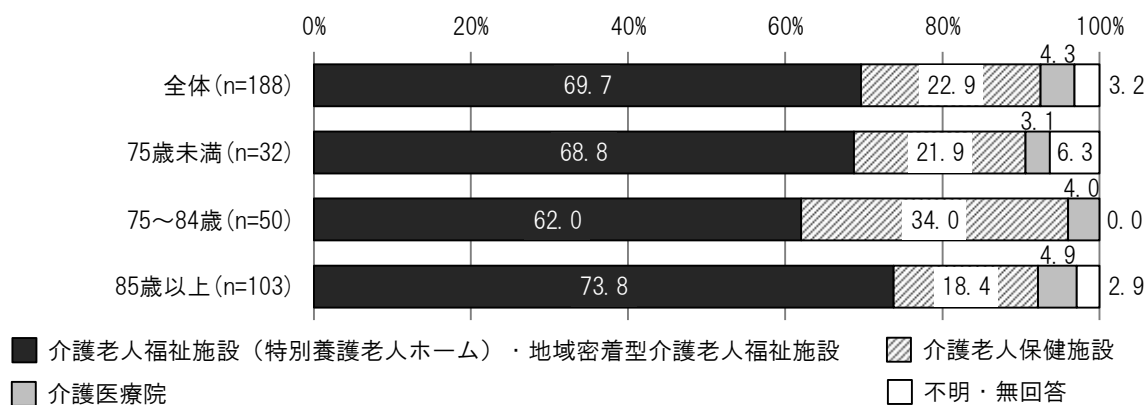
n=188



問4 入所(院)されている施設の種類の種類はどれですか。× 年齢別

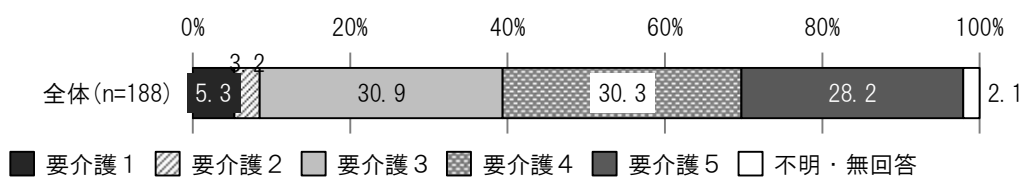
入所(院)している施設についてみると、「介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設」が69.7%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」が22.9%、「介護医療院」が4.3%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設」が最も高く、次いで「介護老人保健施設」となっています。



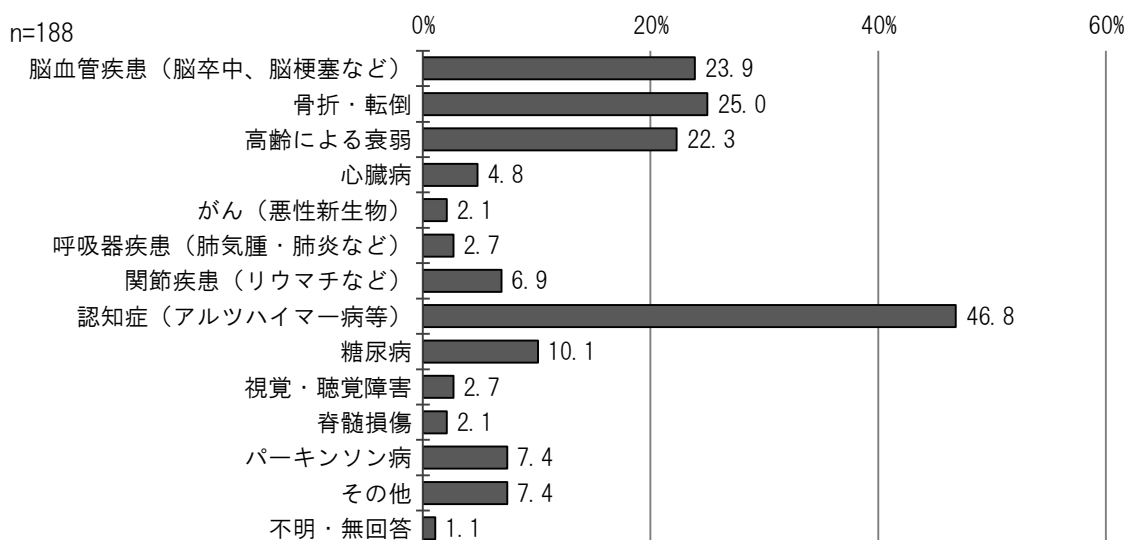
問5 現在の要介護度を教えてください(令和4年12月1日現在)。(○は1つ)

要介護度についてみると、「要介護3」が30.9%と最も高く、次いで「要介護4」が30.3%、「要介護5」が28.2%となっています。



問6 介護が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

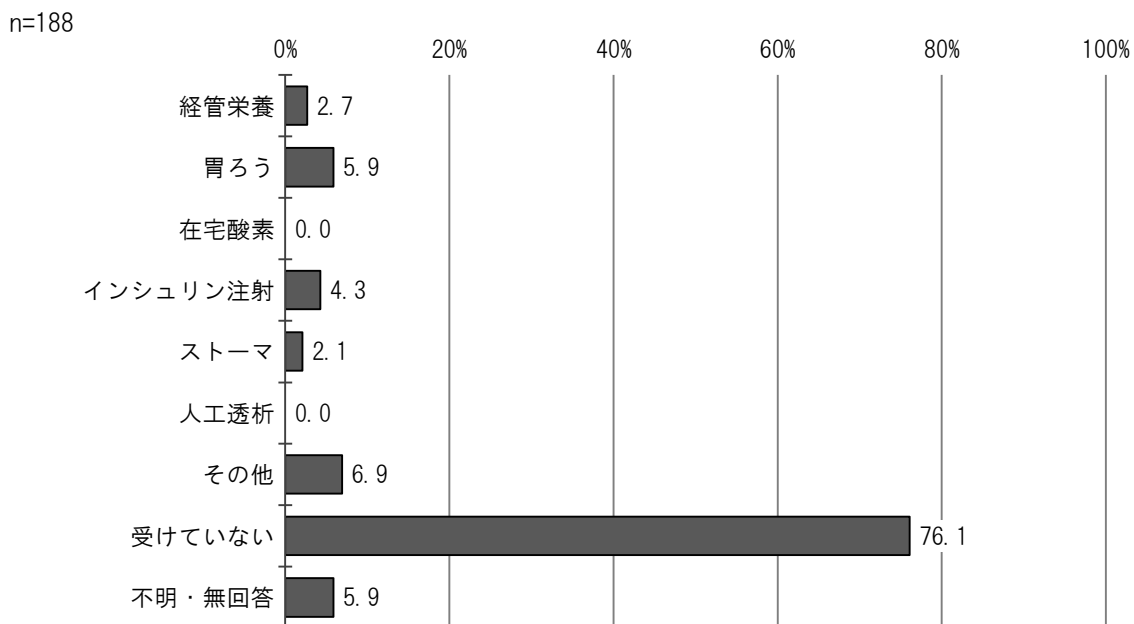
介護が必要となった主な原因についてみると、「認知症(アルツハイマー病等)」が46.8%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が25.0%、「脳血管疾患(脳卒中、脳梗塞など)」が23.9%となっています。



●入所時の状況について

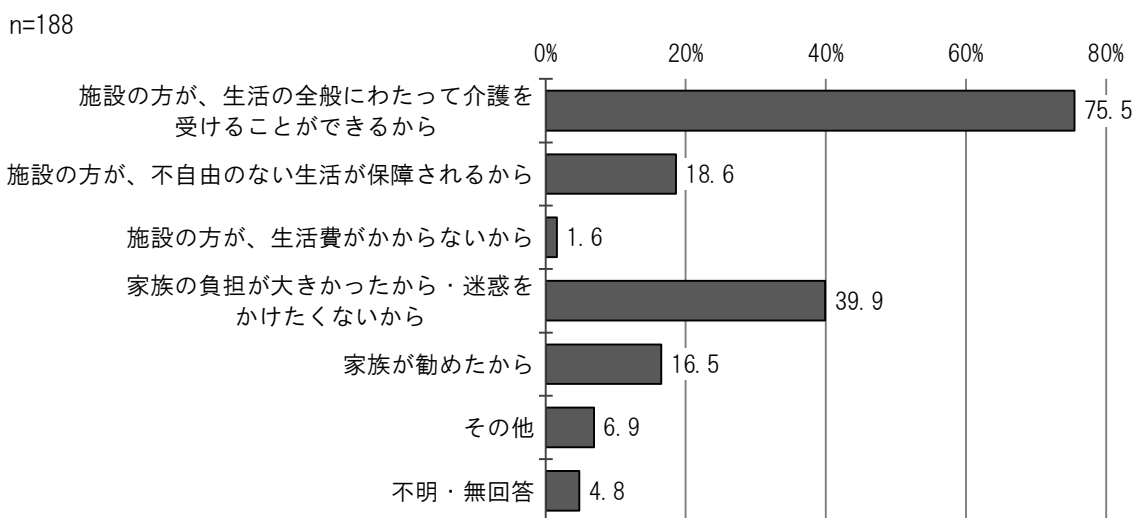
問7 あなたは、次のような医療処置を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

現在受けている医療処置についてみると、「受けていない」が76.1%と最も高く、次いで「その他」が6.9%、「胃ろう」が5.9%となっています。



問8 現在の施設に入所(院)した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

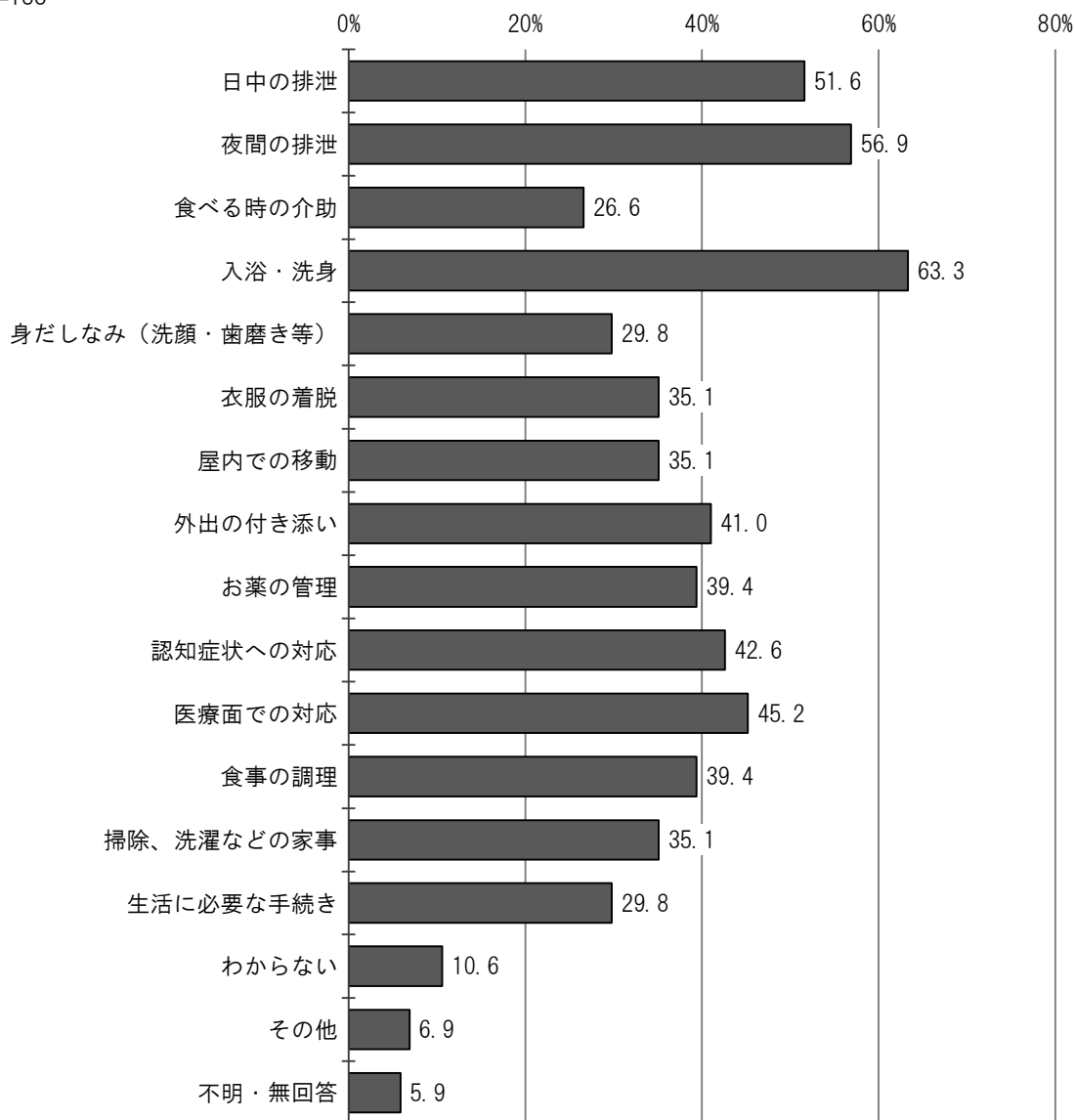
現在の施設に入所(院)した理由についてみると、「施設の方が、生活の全般にわたって介護を受けることができるから」が75.5%と最も高く、次いで「家族の負担が大きかったから・迷惑をかけたくないから」が39.9%、「施設の方が、不自由のない生活が保障されるから」が18.6%となっています。



問9 どのような介護についての支援があれば、在宅での生活を続けられたと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

どのような介護についての支援があれば、在宅での生活を続けられたと思うかについてみると、「入浴・洗身」が63.3%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が56.9%、「日中の排泄」が51.6%となっています。

n=188

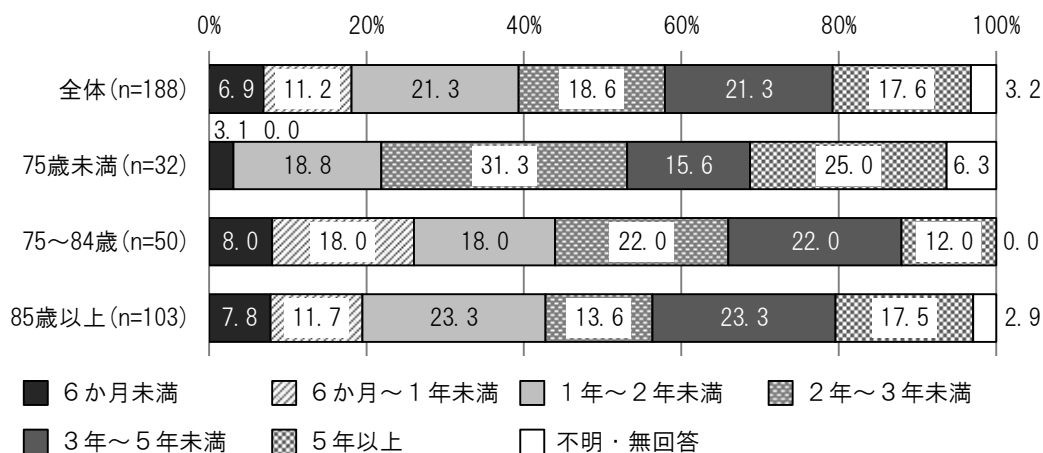


●施設での生活について

問 10 現在の施設に入所(院)してからどのくらいたちますか。(○は1つ) × 年齢別

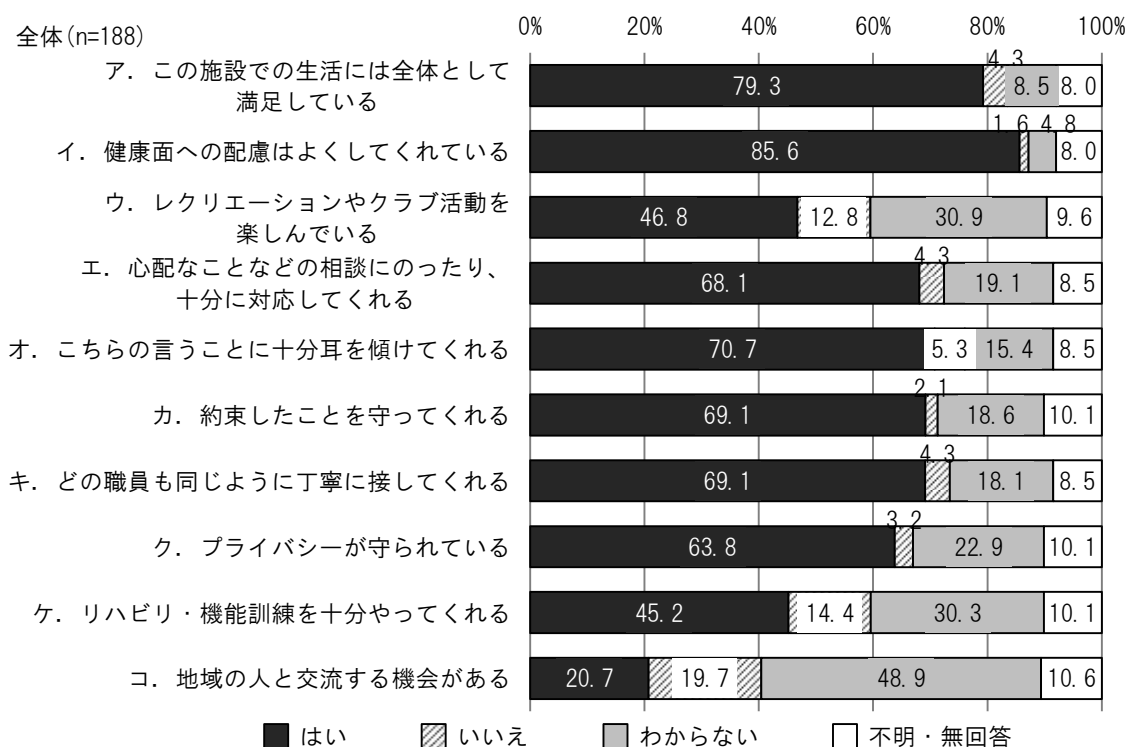
現在の施設への入所(院)期間についてみると、「1年～2年未満」「3年～5年未満」が21.3%と最も高く、次いで「2年～3年未満」が18.6%となっています。

年齢別にみると、〈75歳未満〉では「2年～3年未満」、〈75～84歳〉では「2年～3年未満」「3年～5年未満」、〈85歳以上〉では「1年～2年未満」「3年～5年未満」が最も高くなっています。



問 11 現在、入所(院)されている施設について、どのように感じていますか。(項目ごとに○は1つ)

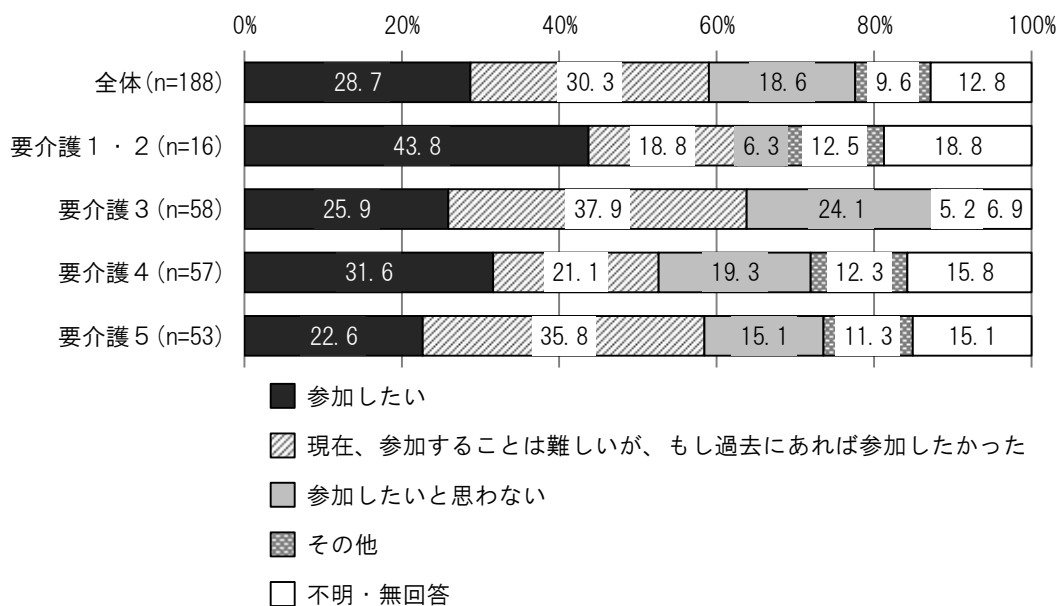
現在、入所(院)している施設の評価についてみると、[コ. 地域の人と交流する機会がある]では「わからない」、それ以外の項目では「はい」が最も高くなっており、[ウ. レクリエーションやクラブ活動を楽しんでいる] [ケ. リハビリ・機能訓練を十分やってくれる] [コ. 地域の人と交流する機会がある]を除き「はい」が6割を超えています。



問 12 介護施設と地域との交流（子どもとの多世代交流や、イベントでの交流等）について、参加したいと思いませんか。× 要介護度別

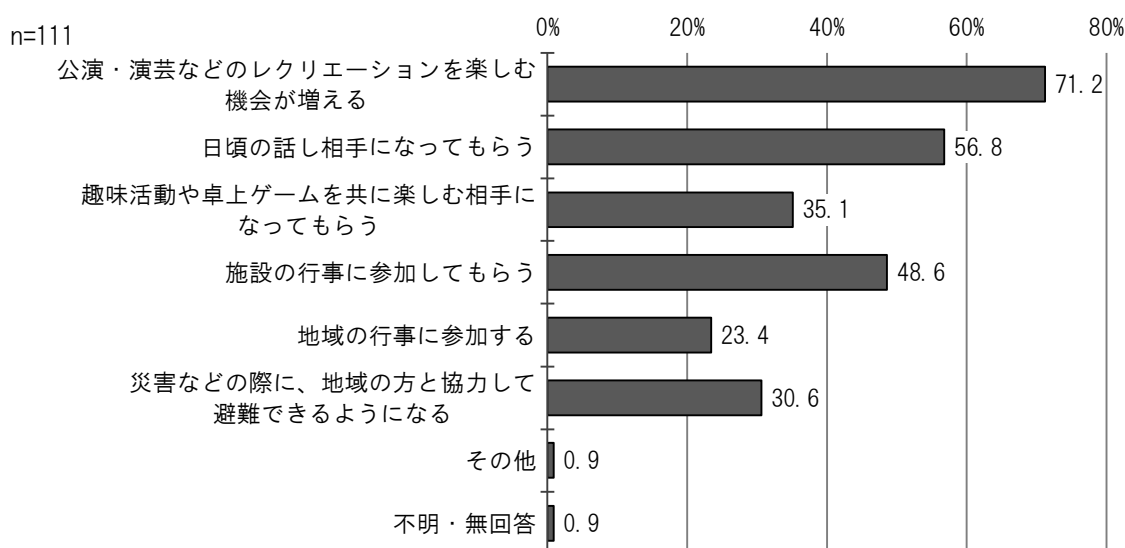
介護施設と地域との交流への参加意向についてみると、「現在、参加することは難しいが、もし過去にあれば参加したかった」が30.3%と最も高く、次いで「参加したい」が28.7%、「参加したいと思わない」が18.6%となっています。

要介護度別にみると、〈要介護1・2〉〈要介護4〉では「参加したい」、〈要介護3〉〈要介護5〉では「現在、参加することは難しいが、もし過去にあれば参加したかった」が最も高くなっています。



問 12-1 地域との交流にどのようなことを期待しますか。（あてはまるものすべてに○）

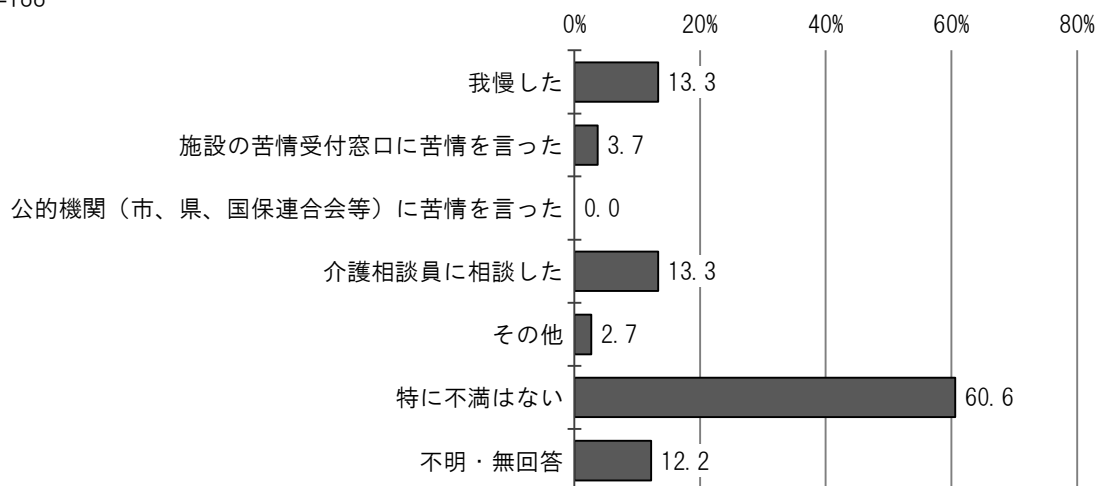
地域との交流に期待することについてみると、「公演・演芸などのレクリエーションを楽しむ機会が増える」が71.2%と最も高く、次いで「日頃の話し相手になってもらう」が56.8%、「施設の行事に参加してもらう」が48.6%となっています。



問 13 施設のサービス内容や職員の対応などに不満があった場合、どのようにしましたか。
 (あてはまるものすべてに○)

施設サービス・職員に不満があった場合の対応についてみると、「特に不満はない」が 60.6%と最も高く、次いで「我慢した」「介護相談員に相談した」が 13.3%となっています。

n=188



問 13 施設のサービス内容や職員の対応などに不満があった場合、どのようにしましたか。
 × 要介護度別

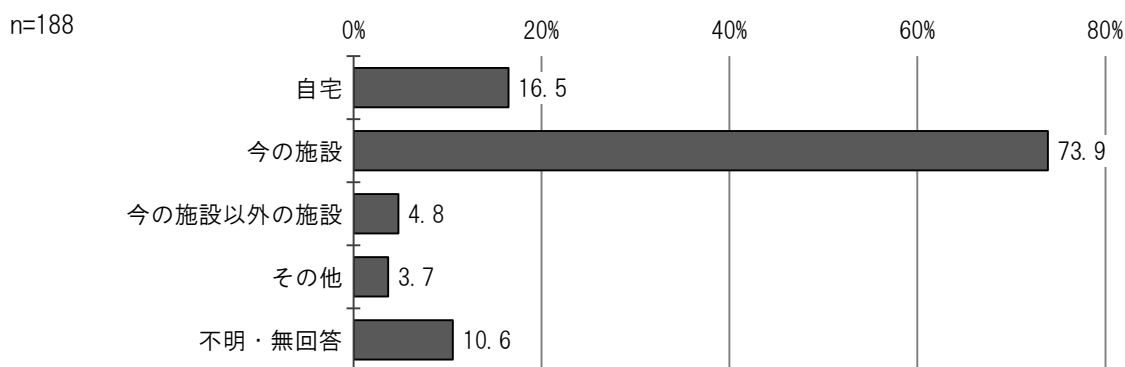
要介護度別にみると、すべての区分で「特に不満はない」が最も高く、次いで〈要介護1・2〉では「我慢した」「介護相談員に相談した」、〈要介護3〉〈要介護5〉では「介護相談員に相談した」、〈要介護4〉では「我慢した」となっています。

単位：%	我慢した	施設の苦情受付窓口に苦情を言った	公的機関（市、県、国保連合会等）に苦情を言った	介護相談員に相談した	その他	特に不満はない	不明・無回答
全体(n=188)	13.3	3.7	-	13.3	2.7	60.6	12.2
要介護1・2 (n=16)	18.8	-	-	18.8	6.3	56.3	6.3
要介護3 (n=58)	13.8	5.2	-	15.5	1.7	58.6	10.3
要介護4 (n=57)	17.5	3.5	-	10.5	3.5	61.4	12.3
要介護5 (n=53)	7.5	3.8	-	11.3	1.9	62.3	17.0

●今後の生活や支援の希望について

問 14 あなたの希望として、今後、どこで介護を受けたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

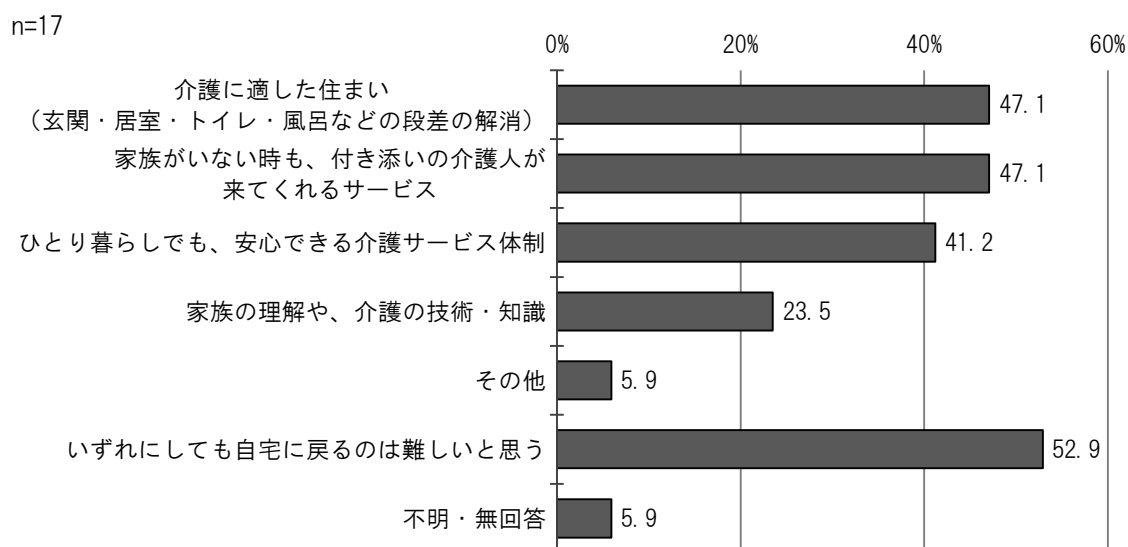
今後希望する介護形態についてみると、「今の施設」が73.9%と最も高く、次いで「自宅」が16.5%、「今の施設以外の施設」が4.8%となっています。



問 14で「自宅」と回答した方

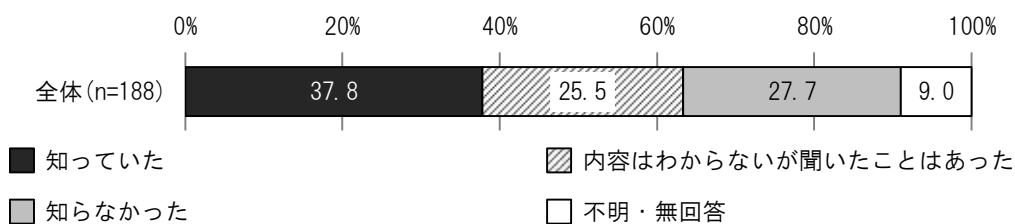
問 14-1 自宅で生活するためには、どのような条件が整うことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

自宅で生活するために必要な条件についてみると、「いずれにしても自宅に戻るの難しいと思う」が52.9%と最も高く、次いで「介護に適した住まい（玄関・居室・トイレ・風呂などの段差の解消）」「家族がいない時も、付き添いの介護人が来てくれるサービス」が47.1%となっています。



問 15 このアンケート前から成年後見制度を知っていましたか。(○は1つ)

成年後見制度の認知状況についてみると、「知っていた」が37.8%と最も高く、次いで「知らなかった」が27.7%、「内容はわからないが聞いたことはあった」が25.5%となっています。

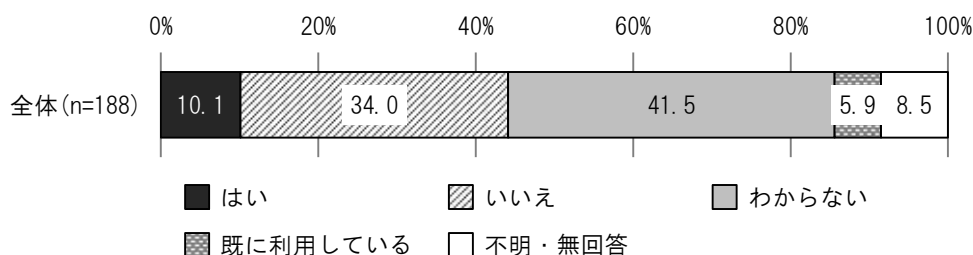


※成年後見制度について

成年後見制度は、認知症などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、ご本人の権利を守る成年後見人等を選ぶことで、ご本人の意思決定を支援する制度です。

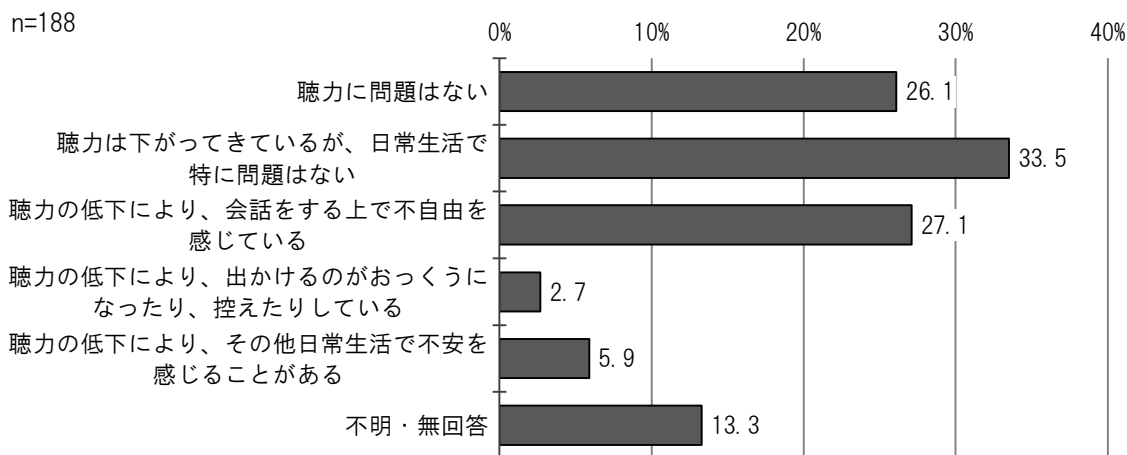
問 16 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

成年後見制度の利用意向についてみると、「わからない」が41.5%と最も高く、次いで「いいえ」が34.0%、「はい」が10.1%となっています。



問 17 日常生活を送るうえで、聴力（聞こえ）の問題により、次のように感じたことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活を送るうえで感じる聴力（聞こえ）の問題についてみると、「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」が33.5%と最も高く、次いで「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」が27.1%、「聴力に問題はない」が26.1%となっています。



問 17 日常生活を送るうえで、聴力（聞こえ）の問題により、次のように感じたことがありましたか。× 要介護度別

要介護度別にみると、〈要介護1・2〉〈要介護3〉では「聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない」、〈要介護4〉では「聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている」、〈要介護5〉では「聴力に問題はない」が最も高くなっています。

単位：%		聴力に問題はない	聴力は下がってきているが、日常生活で特に問題はない	聴力の低下により、会話をする上で不自由を感じている	聴力の低下により、出かけるのがおっくうになったり、控えたりしている	聴力の低下により、その他日常生活で不安を感じることもある	不明・無回答
全体(n=188)		26.1	33.5	27.1	2.7	5.9	13.3
要介護度別	要介護1・2(n=16)	31.3	43.8	18.8	-	6.3	6.3
	要介護3(n=58)	22.4	39.7	29.3	3.4	6.9	8.6
	要介護4(n=57)	22.8	33.3	36.8	3.5	7.0	12.3
	要介護5(n=53)	30.2	26.4	17.0	1.9	3.8	20.8

問 18 ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は31件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

分類項目	件数
介護サービス	15
経済的な不安	3
アンケート	4
お礼など	5
その他	4
合計	31

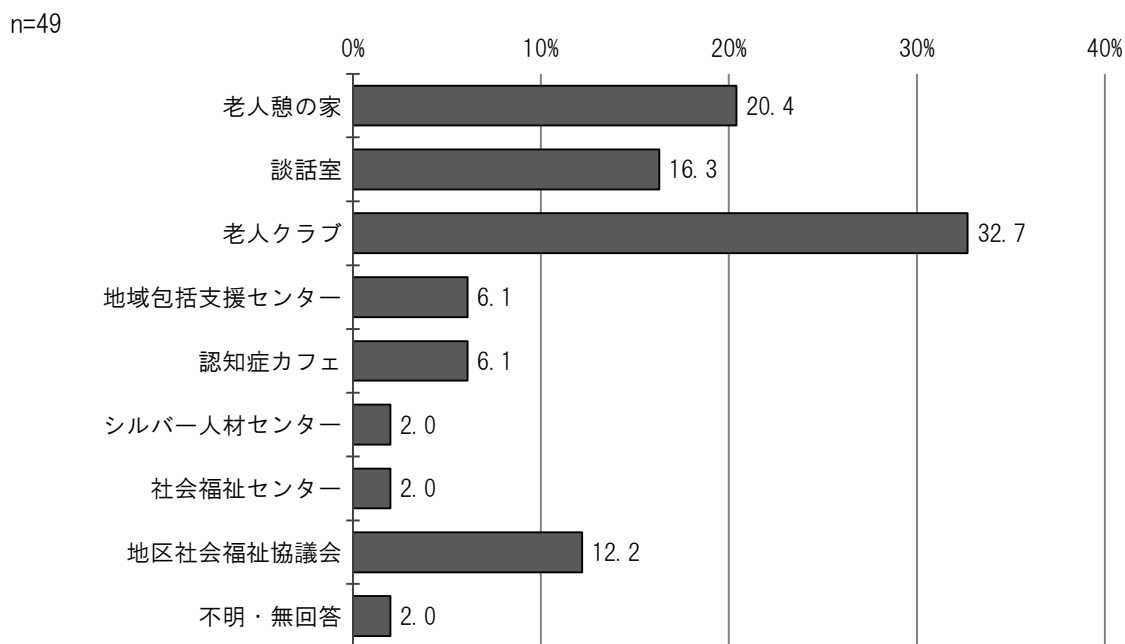
主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

- 施設を利用するためのお金が大変です。経済的に援助があると助かります。
- 特養老人ホームを増やして欲しい。
- 年金生活なので施設の料金が少し下がれば、家族として生活費に困らなくて少しでも会いに行けると思う。不便な場所なので交通費が大変です。
- 年金生活のため、施設の利用がもう少し安価で利用できればありがたい。

第7章 地域資源調査

[活]問1 [福]問1 貴団体の組織形態は、次のどれにあてはまりますか。(ひとつだけ○)

組織形態についてみると、「老人クラブ」が32.7%と最も高く、次いで「老人憩の家」が20.4%、「談話室」が16.3%となっています。

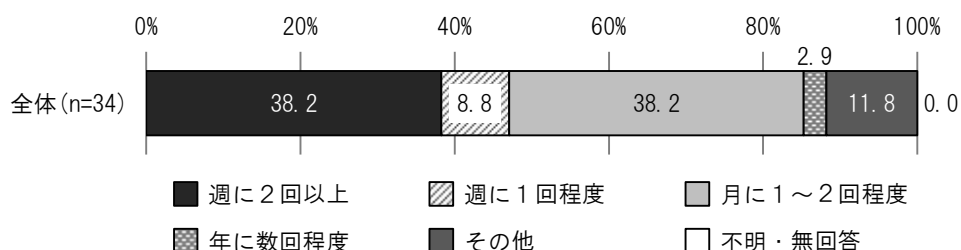


「老人憩の家」「談話室」「老人クラブ」へは「高齢者活動をされている団体向けアンケート」「地域包括支援センター」「認知症カフェ」「シルバー人材センター」「社会福祉センター」「地区社会福祉協議会」へは「高齢者福祉に携わっている団体・施設向けアンケート」の調査票を配布しました。本報告書では、各調査における問番号について[活][福]とつけて示しています。

●活動の状況・課題・今後の方向性について

[活]問2 貴団体の活動の開催回数をお答えください。(ひとつだけ〇)

活動の頻度についてみると、「週に2回以上」「月に1～2回程度」が38.2%と最も高く、次いで「その他」が11.8%となっています。

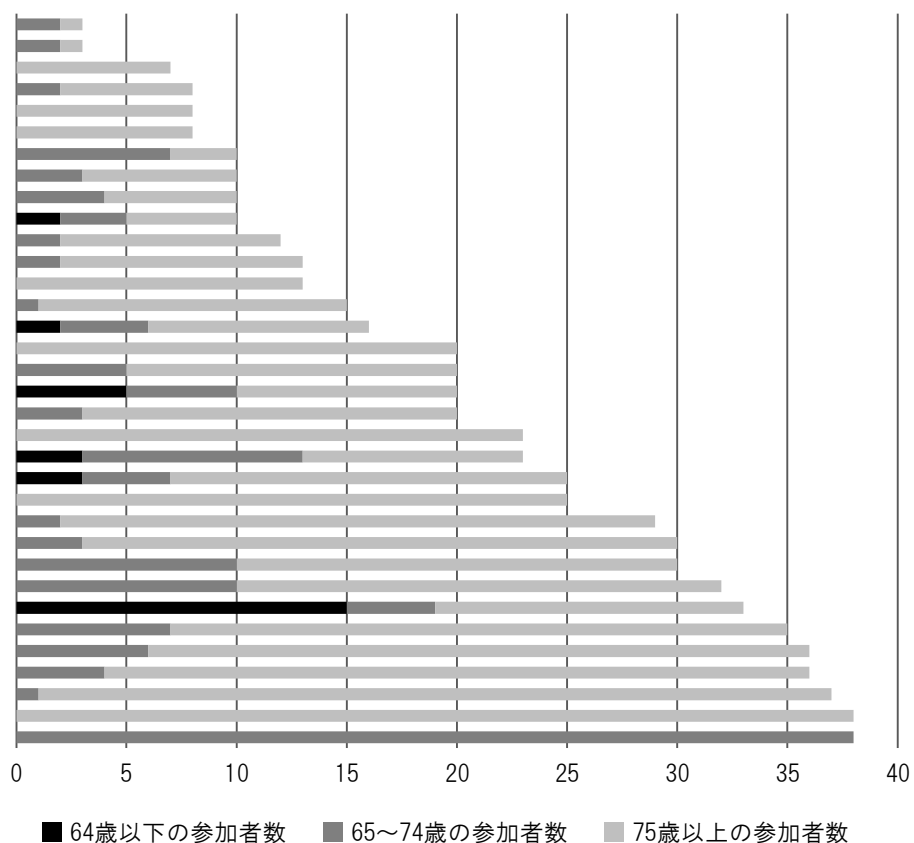


[活]問3 貴団体の活動の1回あたりの参加者の数と、年代別の参加者の内訳をお答えください。(ご回答はおおよその数で構いません)

参加者数についてみると、3人から38人まで幅広く分布しています。

年代別の構成をみると、64歳以下の参加者数が5人以上の団体は2団体、65～74歳の参加者数が5人以上の団体は9団体にとどまり、75歳以上の参加者が主体となっている団体が多くなっています。

年代別参加者数 (n=34)



[活]問4 貴団体が、新規の参加者募集に向けて取り組んでいることはありますか。
また、今後新規の参加者募集に向けて取り組みたいことはありますか。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈情報提供の掲示〉

- 掲示板に予定表を貼り周知させる。
- 掲示板、回覧の活用。
- ポスター作成で各町会の掲示板に貼ろうとしていますが、コロナ感染がまだ収束できず、来年度に実行予定です。
- チラシを自治会掲示板に掲示している。活動実績などを含め、さらにPRに攻めていきたい。
- 広報で老人クラブへの加入PRをしてほしい。
- 募集広告、自治会の掲示板へ（自治会の許可を頂いて）。

〈チラシやパンフレット、会報の配布〉

- 独自で作ったちらしの配布。
- 当老人クラブの活動内容、クラブ活動の詳細などをパンフレットにしアピール、新規会員の参加に取り組んでいます。
- 自治会などの会報により募集。
- 催物活動の様子をPR紙（広報紙）に記し、参加を促す。
- 数年に1度、新規参加者募集の案内、回覧。

〈知人への声掛け・口コミ〉

- チラシを作成、会員が知人などに参加を呼びかけている。
- 現在では新規参加者は全員口コミで入会しています。
- 個人的または参加者の口コミ。
- 紙ベースのPRにプラスして「口コミ」で参加者を募っている。
- 個人的に友達や趣味友などに話しかけている。
- 友人などを通じて参加者募集に向けて取り組んでいる。

〈地域への声掛け〉

- 見に来た方に声掛けをしている。
- 民生委員として活動していきますので、自分の見守りの中で声掛けしています。
- 地域在住の高齢者に声掛けをしている。談話室の活動内容を知らせ、気軽に参加できるように進めたい。

〈自治会等との連携〉

- 自治会行事に積極参加し、連携し高齢者の老人クラブ入会増を推進。
- 役員会（隔月に実施）毎に各班長に新規入会者の募集をお願いしている。

〈参加しやすい活動の実施〉

- シニア作品展・囲碁大会・グランドゴルフ大会などに参加を要請して趣味を通じて入会を呼びかける。
- 講演会、研修旅行など皆様が興味を持つ行事を行っていく。

[活]問5 貴団体が、活動を行ううえで困っていることはどのようなことですか。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈活動メンバーの不足・高齢化・負担増〉

- 高齢者が多いため、役員の依頼に苦勞しています。
- 役員の成り手がいないこと。
- ボランティアで役員になろうという方が少ない。
- 身体的に病院に行っている人が多く無理な活動できない人がほとんどです。
- 最近スタッフが減少中。後継者の確保が難しい。
- 担当者自身が高齢になっているので、スムーズに活動するのが困難となっている。
- 役員の担い手がいない。高齢化や共働き世帯が多く、自治会役員の負担が大きすぎる。自治会を脱退する世帯が増えている。
- 役員などになってくれる人がいなくて大変困る。
- 年齢が高いので、パソコン処理が出来る人がほぼいない。
- 団地地域で近年は高齢者が急増しているが、地域ボランティアに積極的な人は少なく年々高齢退会者が多くなり会員減が加速している。地域福祉の重要性を理解してもらえない。

〈活動場所・交通手段・活動資金の確保〉

- 希望者全員を参加させるためには、より大きな会場の確保が必要になり、費用が増加する。
- 自治会館を利用しているが、借家であり売りにだされており、会場がなくなってしまう事。児童センターで借りられるのか、これからの課題となっている。開催する会場がなければ中止の方向と考えている。
- 自治会館が賃貸契約のため、契約が終了したら集う場所がなくなってしまう。
- 近く人集まれる会場がないこと（高齢者でも自力で歩いていける距離）。
- 車の運転可能な方が少ない。
- 公民館で開催していますので、そこへ行くのが遠く、足がないことで困っています。
- コミュニティセンター少し狭い、家借りるのに収入が少ない。
- 補助金が少ない。

〈参加者の減少〉

- もっと参加者が増加してほしい。
- 高齢化が進み新規の参加者が少ない。
- 参加者に声掛けするのに、年齢が分かりづらい事。高齢者というくくりがあり、声のかけ方にも気を使ってしまう。

〈新型コロナウイルス感染症の流行による活動への影響〉

- コロナの影響で楽しみだったお茶とお菓子を食べながらのおしゃべりがなかなかできないことが困っています。
- コロナ禍により、コミュニティセンターなどの会場の利用制限により参加希望者が制限される。
- コロナでなかなか出かけてきてもらえない。
- コロナ禍でクラブの団体活動が制限されている。

[福]問2 貴団体が、活動を行ううえで困っていることはどのようなことですか。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈人材・地域資源の不足〉

- 地区社協の運営に携わる人材の発掘。
- 人材の確保。運営委員の方の高齢化（若い方の参加が少ない）。
- 担い手不足（職員、サービス事業者など）。
- 役員のなり手が少ない。雇用延長に伴う対象年齢の高齢者の減少。
- 介護予防のCM委託契約先不足や介護保険の予防訪問介護のヘルパーが足りない。

〈業務運営上の課題〉

- 業務が多岐にわたり、兼務しているため1つの事業に集中して時間を割くことができない。
- インボイス制度の実施にむけて財政上の対応。

〈地域への情報伝達〉

- 情報の伝達方法（自治会に入っていない方に対して）。
- 時々、長期不在・連絡の取れないことがあります。特に自治会未加入の家、隣近所に連絡するなど改めてチラシ配布したらどうでしょう。
- 知名度はあるが、内容などについていまだ周知されていない。
- 認知症カフェの周知。
- 高齢者に限らず、子供や障害者、生活困窮者にも居場所として、利用案内しているが、地域に浸透できずにいる。

〈高齢者の生活課題への対応〉

- 対象者の年齢が高いため、交通手段がない方への対応。
- 施設入所や入院の際の費用負担ができないケースが増えている。独居年金生活や生活保護受給者など、少額の金銭管理を担ってもらえる仕組みがない。老老介護や認知介護・8050のケース支援が増えている。

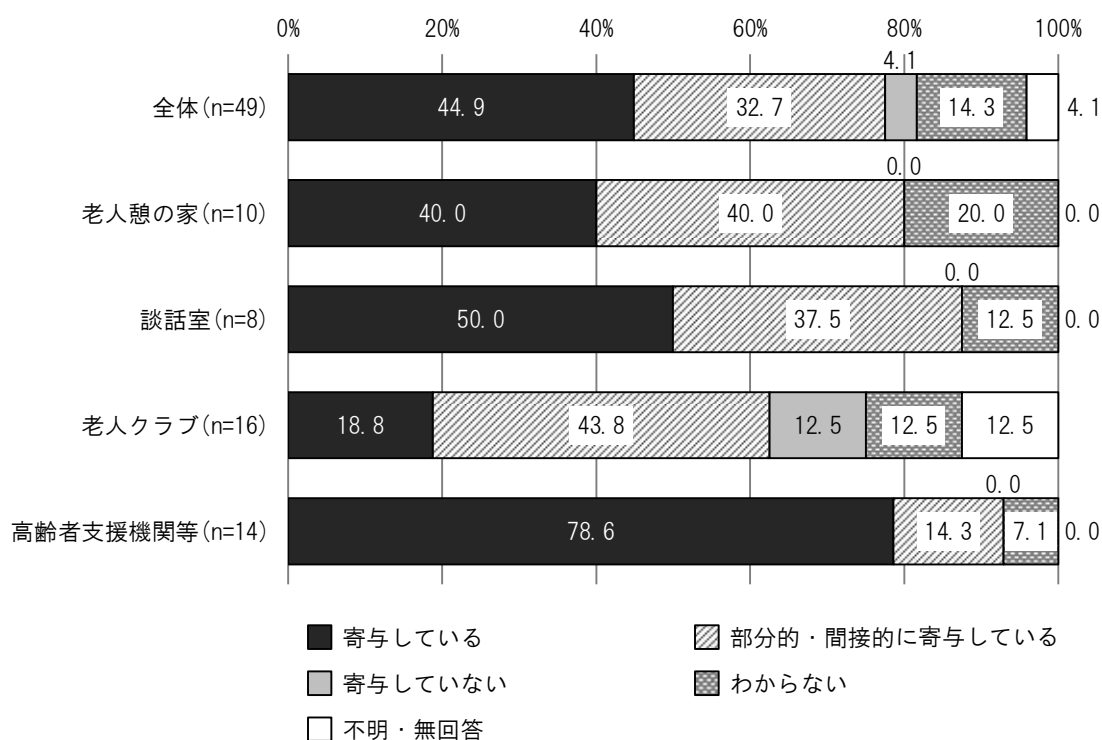
〈新型コロナウイルス感染症の流行による活動への影響〉

- コロナ禍での活動として、人数制限を15名にしてサロンを開催しているが、10人も満たない人数で参加者から人が少ない寂しいとの声上がる。過去の参加者にお便りを出したが、一人も来ない。
- これまでコロナ禍で回覧物の配布ができず開催。連絡方法が難しかった。現在回覧が再開されたなか、参加者をどの程度集めていいのか。密にならないように考えることに苦労しています。
- 新型コロナウイルスの影響もあるが、交流・親睦の機会が少ない。
- 地域の担い手の高齢化とコロナ感染予防での活動自粛で運営ボランティアが十分に確保されていない。

[活]問6 [福]問3 貴団体の活動は、参加者にとって介護予防・フレイル予防に寄与していますか。(ひとつだけ○)

団体の活動が参加者の介護予防・フレイル予防に寄与しているかについてみると、「寄与している」が44.9%と最も高く、次いで「部分的・間接的に寄与している」が32.7%、「わからない」が14.3%となっています。

組織形態別にみると、〈老人憩の家〉では「寄与している」「部分的・間接的に寄与している」、〈談話室〉〈高齢者支援機関等〉では「寄与している」、〈老人クラブ〉では「部分的・間接的に寄与している」が最も高くなっています。



※介護予防・フレイル予防とは

「フレイル（虚弱）」とは、高齢期における筋力低下や低栄養などで心身の機能が低下した状態をいいます。要介護状態にならないようにする介護予防のためには、フレイルにならないように「栄養の改善」「運動機能の維持」「社会参加」そして「口腔のケア」等に取り組んでいく必要があります。

[活]問6-1 [福]問3-1 現在、介護予防・フレイル予防に向けて取り組んでいることについて、お答えください。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

<身体と頭を動かす活動やコミュニケーションの機会の確保>

- 家から歩いてくる。
- ラジオ体操をする。計算なども必ずやります。
- 足腰の腹筋、カラオケ。
- 体操、楽器演奏。
- グランドゴルフ、公式輪投げ、カラオケ、囲碁、将棋などで体を動かしたり、考えたりする。
- カラオケや認知症予防のためのクイズや折り紙、ほか手作業工作。軽い運動。囲碁、将棋。
- 健康体操の内容を「フレイル予防」を意識した体操を多くしている。
- みなさんとおしゃべり。
- 技能講習会の実施。(除草・植木剪定・襖・障子・網戸張り講習会)。

<講座・講演等の実施>

- 講師派遣により講座開設。
- 高齢者支援課、包括センター、健康増進課より講師を迎え学ぶ機会を作っている。毎回講師の方がレベルアップし、会員を喜ばせてくださっています。感謝しています。
- 認知症予防講座を実施している。

<その他、相談の実施、アウトリーチなど>

- 月2回「サロン」すみれとミニリハビリほのぼの会で保健師による血圧測定、健康相談などを行っています。
- 独居老人宅に弁当を配送するなど社会参加活動をしている。
- 住民主体の少人数グループに活動拠点を開放している。

[活]問7 [福]問4 今後、介護予防・フレイル予防の推進に向けて貴団体が取り組めることや、市が取り組むべきことについて、お答えください。

① 貴団体が取り組めること

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈参加者の募集・参加継続〉

- 現在の参加者ができるだけ不参加者とならないよう工夫している。
- 一人でも多くの人に参加してもらうよう努力する。
- 楽しめる活動の種目を増やし、参加者を増やす。
- 地区社協や老人クラブとの提携で高齢者が参加しやすい場の提供とイベント企画。
- 談話室の会員（高齢者）が喜んで活動できる雰囲気を作るようにする。
- とにかく参加してもらう事に注力。案内チラシなど個別に配布するように務めている。
- 現在行っている事業に対して新しい参加者を集うこと。特に一人暮らしの男性の方。

〈活動内容の充実〉

- 今まで以上に体操する時間を増やす。体操指導者を増やすなり講習会など聞いて頂きいろいろな体操を教えて欲しい。
- 学ぶ機会を引き続き確保する。脳トレゲームなどを通し、体を動かす。
- 認知症予防講座を継続する。
- 高齢者と地域の若い方とのコミュニティーを増やす事業の開催。
- 低栄養にならないように情報の発信。
- 介護予防・フレイル予防の教室の開催は可能と思われます。職員の派遣も可能です。
- 現在、健康増進課の歯科衛生士の方々と南部地域包括支援センターさんのご協力のもと、口腔ケアに関して認知症カフェで講座を開催予定。

〈活動に関する勉強会や報告会の実施〉

- 専門的な知識を受け生活に生かせるよう、図っていきたい。また、成果報告会などできればと考える。
- 研修活動として、勉強会を開催する。

〈日頃のコミュニケーションの活性化〉

- 井戸端会活動の充実。
- 機会あることにおもしろ、おかしく話をしていく。

〈生活の支援〉

- 介護分野での支援体制を整える。支援を求める高齢者の生活支援。

[活]問7 [福]問4 今後、介護予防・フレイル予防の推進に向けて貴団体が取り組めることや、市が取り組むべきことについて、お答えください。

② 市が取り組むべきこと

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈団体間の連携・運営や企画への支援〉

- 体操指導者を増やすなり、講習会などを開いていただき、いろいろな体操を教えて欲しい。
- 高齢者が参加しやすいイベント企画。
- 市の健康増進課や南部包括支援センター、高齢者支援課の指導を仰ぎたい。
- 市老連と市事務局の緊密化を深くし、老人のフレイル防止を図っていきたい。
- オレンジサポート員やきらり鎌ヶ谷体操指導者、食生活改善推進員など職員を離れて地域住民として地域貢献できる多専門職の意見交換の場と機会を企画してほしい。

〈活動への支援〉

- チラシ作りなど人集めのサポートをしてくれたらありがたいです。
- 講師の派遣。
- 身体を動かす体操などのインストラクターの派遣を検討してほしい。

〈施設の整備・活用〉

- 公園でのグランドゴルフを子供たちがいないとき使用させてほしい。
- 介護予防・フレイル予防に寄与できる活動場所、増設、施設の無料提供にまた、用具の購入の支援を願います。
- 健康教室・サロン会場などの増設。

〈フレイル予防に関する情報提供〉

- フレイルなどの横文字は高齢者にはわからない。日本語で伝わるようにしてもらいたい。役所の職員は、もっと現場を見て欲しい。
- 正しい知識を広める活動。
- 資料（チラシ）の内容を吟味し真にひつようなものを回覧物としてほしい。

〈活動に関する情報提供〉

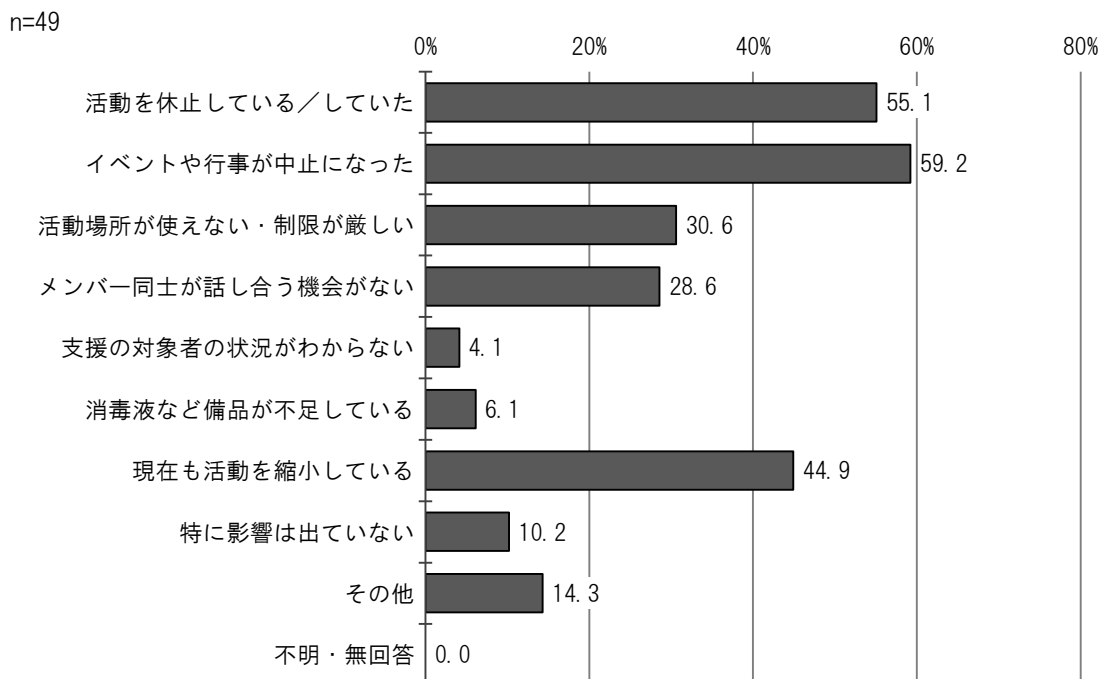
- 現在、市やボランティア団体などで行われている事業や活動を周知してもらえるようにすること。
- 市で行っている事業（栄養士さん、歯科衛生士さんによるお話しなど出張して頂けるもの）どのようなものがあるのか、広報していただきたい。
- 市民が気軽に参加できる体操があればお知らせしていただきたい。

〈リスクの高い市民の把握〉

- 対象者の把握。リスクの高い市民の把握が必要かと。

[活]問8 [福]問5 貴団体が活動する上で、新型コロナウイルスの影響は出ていますか。(あてはまるものすべてに○)

活動する上で、新型コロナウイルスの影響は出ているかについてみると、「イベントや行事が中止になった」が59.2%と最も高く、次いで「活動を休止している/していた」が55.1%、「現在も活動を縮小している」が44.9%となっています。



[活]問8 [福]問5 貴団体が活動する上で、新型コロナウイルスの影響は出ていますか。× 組織形態別

組織形態別にみると、〈老人憩の家〉〈談話室〉では「活動を休止している/していた」、〈老人クラブ〉では「現在も活動を縮小している」、〈高齢者支援機関等〉では「イベントや行事が中止になった」が最も高くなっています。

単位：%	活動を休止している/していた	イベントや行事が中止になった	活動場所が使えない・制限が厳しい	メンバー同士が話し合う機会がない	支援の対象者の状況がわからない	消毒液など備品が不足している	現在も活動を縮小している
全体(n=49)	55.1	59.2	30.6	28.6	4.1	6.1	44.9
組織形態別							
老人憩の家(n=10)	50.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0
談話室(n=8)	62.5	37.5	25.0	37.5	-	-	25.0
老人クラブ(n=16)	43.8	68.8	56.3	43.8	-	12.5	81.3
高齢者支援機関等(n=14)	64.3	85.7	21.4	14.3	7.1	-	35.7
単位：%	特に影響は出ていない	その他	不明・無回答				
全体(n=49)	10.2	14.3	-				
組織形態別							
老人憩の家(n=10)	30.0	30.0	-				
談話室(n=8)	25.0	25.0	-				
老人クラブ(n=16)	-	12.5	-				
高齢者支援機関等(n=14)	-	-	-				

[活]問9 [福]問6 新型コロナウイルスによる影響を受けつつも、新たに取り組んでいることや工夫した活動があれば教えてください。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈密・飛沫を避けるなど基本的な感染対策の徹底〉

- 衝立を作り、人との間に設置した。
- カラオケは、マイクの消毒、大型ファンで換気した。
- 基本的なことを繰り返し実施していく。マスク、手指の消毒、活動時の換気、蜜を避ける。
- 感染リスクの少ない屋外活動をより増やしていきたい。

〈コロナ禍により少なくなった活動やコミュニケーション等の機会の確保〉

- 活動を休んでいる時は、お一人の方には電話をかけました。
- コロナで外出の機会が少なくなり会員さんも寂しくしているので、電車やバスに乗りお花見（彼岸花、コスモス）を企画しました。
- コロナ禍で集いの機会が減少し、認知能力の低下が懸念される中で、キャラバンメイトの活動と絡めて、個人宅や集会所で歩いていける範囲で、少人数で交流する機会づくりと認知症啓蒙活動の展開を後方支援し、少しずつ活動が広がりつつあります。

〈在宅での活動への切り替え〉

- お茶会ができないため、お菓子を配り家で食べてもらうようにした。
- 昼食を伴う誕生会ができないので懇談会で昼食は持ち帰り形式で集まり、話し合いや健康体操をしている。

〈デジタルの活用〉

- LINE 公式アプリを使っての情報公開とLINE 教室の実施。

[活]問10 [福]問7 貴団体が現在取り組まれている内容に限らず、今後の活動の拡大に向けて取り組みたいことやアイデア・方向性があれば、ご自由にお書きください。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

<参加者の募集・多世代交流・多世代へのアプローチ>

- コロナの影響を受けてか入会がなく、グランドゴルフなどの活動で拡大を図りたい。
- もうすこし民生委員の方との交流があった方が勧誘もできるのではないかと思います。自分から会に入ってくる方は少ないように思います。
- コロナ禍の生活様式の変化で逆に地域活動に関心を持ったり、時間ができたり、企業も地域貢献や連携を掲げているところが増えています。好機ととらえて、歩いて行けて、無理なくできる小さな活動をしたいという希望や活動が芽生えたら、まずはその活動の賛同やサポートをして行くこと、また活動されている方同志を繋いで情報交換などをすると活性化してくると思います。
- 高齢者に限らず幅広い年代の人が集まればいいと思っている。ただ見ていくだけで中に入っていないのが残念。いろいろな人が来て話し合っていく中で面白いことが見つかるかもしれない。
- 若い人の入会を強く訴えていきたい。
- 認知症カフェにおいて、高齢者だけでなく小さな子供から誰でも気軽に来られる場所としての居場所づくりができればと考えています。
- 高齢者に限らず、小学高校学年の児童や不登校などや家庭環境でSOS発信ができないでいる生徒、若者の居場所として気軽に利用でき、相談できる任意の活動をしていく。

<活動内容の充実>

- ウォーキングは現在健脚向きで行っているが、皆が参加できる軽い歩き方の運動もしたい。
- 身体を動かすゲームなどをやってみたい。
- 会員さんは皆バス見学を希望しています。是非バス見学を実現して下さい。
- 椅子に掛けてでもできる手・足の体操。気軽にできる脳トレーニングのプリントが欲しい。
- クラブ活動をもっと増やしたい。踊り、ペタンク、ポッチャなど今はやっていないもの。
- 町の特性を生かしたウォークラリー（庚申塔、寺社巡りなど）。

<デジタルの活用>

- オンラインでの開催ができないか検討しています。
- デジタル格差を縮小すべく、デジタル庁の募集に応じて高齢者デジタル推進委員を募っている。今後この技術を活かして活動の幅を広げたい。

<地域活動や団体との連携>

- 自治会の活動など、お手伝いとして声掛けをする。
- 居場所の有効利用、子ども食堂などへの活動支援。

[福]問8 現在、貴団体が地域ケア会議や生活支援コーディネーターと連携して取り組んでいること、また、今後取り組みたいことについて、お答えください。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈地域課題の把握・会議・情報交換〉

- 第2層協議体会議を開催して、協議体メンバーの方たちと各地域で取り組んでいることを共有し、地域の課題について話し合う。
- 地域ケア会議の開催。地域作り、会議への参加。
- 西部地区社協の運営委員の方で第2層協議体のメンバーの人もいるので、西部地区社協団体として連携はしていないが、情報交換はしている。
- 自立型地域ケア会議開催に向けた準備。社協、生活体制整備事業、2層協議体への参加。
- 会議を開催するよりも先に、地域のキーマンの方々と馴染みの関係になり、相談や情報交換しやすい関係づくりに努めて行きたいと思います。介護保険サービスでは解決できない複合的な問題ケースが増えており、地域に力が必要な場合も増えていますので、地域ケア会議も開催していきます。

〈地域活動〉

- 今後介護予防として「リアル野球盤」というゲームを活用しながら進めて行くことになった。
- 見守り活動。ベンチ設置。
- 「向こう三軒両隣の輪を広げよう」をスローガンに地域の方が参加したいと思うようなイベントを開催。活動ではイベント・お話し会を必ずもうけ、参加者同士顔見知りを増やしたり、悩み事を包括の職員や市の職員に聞けるなど時間を作っている。今後も継続して地域の顔みしりを増やす目的での活動を検討していきます。

〈連携できていない〉

- 地域ケア会議がいつ、どのような形で開催されているか、どんな事が話し合いわかりませんし、情報収集の方法も知りません。たまにケースを通して呼ばれることはありますが。生活支援コーディネーターについても同様です。
- 私たちは生活支援コーディネーターではありますが、まだ地域ケア会議には参加していません。今後は参加する予定で準備をしております。地域包括と連携を図っていきます。
- オレンジサークルカフェ活動の場面に、東部地区社協の生活支援コーディネーターに直接、見学して頂きましたが、協力・参画へと展開できませんでした。

[活]問 11 今後、貴団体が市やその他の機関等と連携して取り組みたいこと、市へのご要望等がありましたら、お書きください。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈地域活動の支援〉

- コロナが落ち着いたら講演会など開催したので、良い講師を紹介してほしい。
- 自治体と協力しつつ、朝ラジオ体操をやりたい。
- 少人数で遊べる簡易なゲーム（老人向け、多少体を動かす）を開催してほしい。

〈広報の支援〉

- もうすこし談話室なり、高齢者の活動を発信して頂きたい。うちの回りには一人暮らしの会、老人会などが有難いですが知られていない気がします。
- 今は高齢者が多く、しかも町会に入会しない方が増えています。老人クラブにも退会者が出るようになってきましたので、老人クラブ活動のPRを広報などに載せて欲しいです。

〈施設・備品・資金の支援〉

- 高齢化が進み、対象者人数も増加。コロナ対応などしながら、各町内共、敬老会など継続実施している。支援、補助の充実増をお願いしたい。
- 現実問題が起きました。会場探しです。近くの公共施設は児童センターしかありません。借用に知恵を貸していただきたいです。
- ボランティアもやっている。足腰が悪い者ばかり、膝あて10人分欲しい。

〈情報交換・情報提供・団体間交流の場の確保〉

- 高齢者対策の一環としては、社協との協力。民生委員との情報、交換。
- 会員（参加者）を増やしたいが該当者が把握できない。自治会とも連携して会員を増やしたい。65歳以上の高齢者の把握方法があればと思います。
- 中央公民館が活動の場を利用させていただいていますが、いろんな団体が談話室を開催しているようですので、他の団体の活動を学びたい。
- 他の団体の活動の様子も知りたいし、参考になるものは取り入れたい。
- 地区社協とのつながりは今後も続けていきたい。

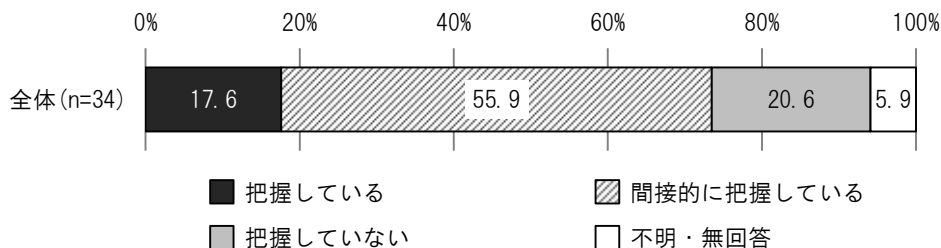
[福]問 9 今後、貴団体が市やその他の機関等と連携して取り組みたいこと、市へのご要望等がありましたら、お書きください。

- 地域ケア会議が開催しやすいようにしてほしい。
- 保健師を増員してほしいです。
- 空家を利用したサロン作り。これは市のお力がないとどうしてもできないことなので空家問題とコミュニティ作りの実現のために前向きに検討頂きたい。
- 実際に市や包括に相談に来る方がどういった内容なのか、どういうことで悩んでいるのか実態を地区社協としても知ってほしい。
- 避難行動要支援者の個別支援計画の作成と運用やヤングケアラーの相談支援で、市や社会福祉協議会等と連携して取り組んでみたい。

●地域の課題について

[活]問 12 貴団体は活動を行う上で、参加者である高齢者の地域における生活課題を把握していますか。(ひとつだけ○)

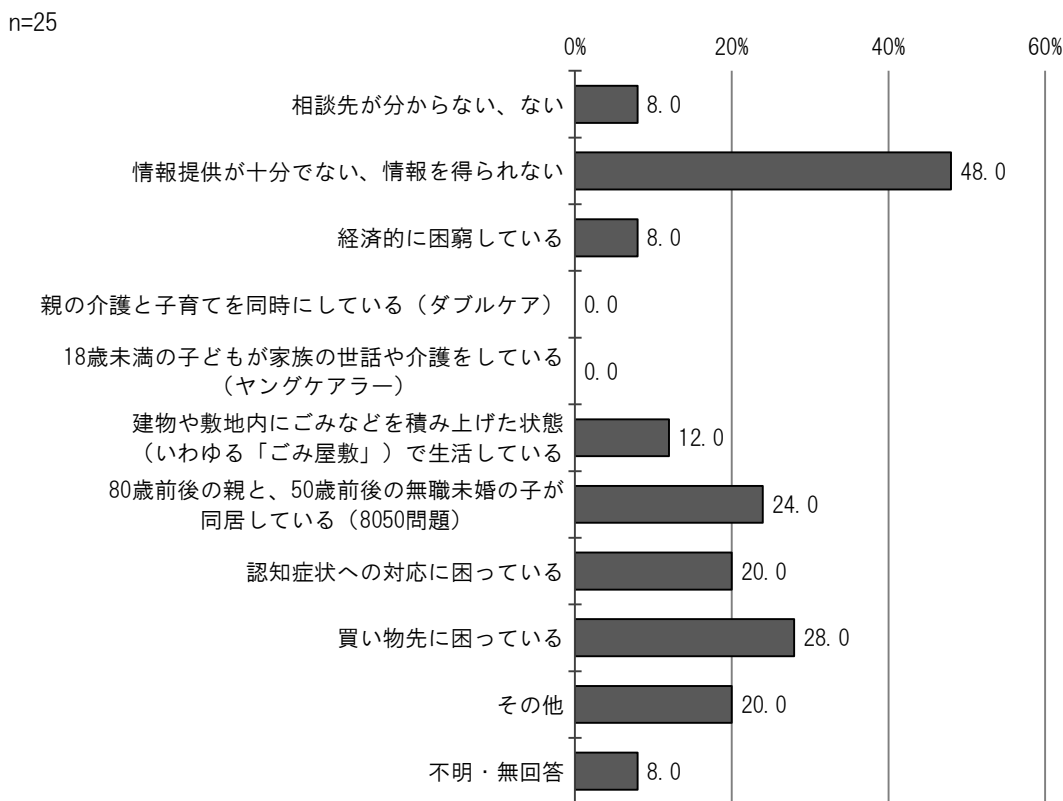
活動を行う上で、参加者である高齢者の地域における生活課題を把握しているかについてみると、「間接的に把握している」が55.9%と最も高く、次いで「把握していない」が20.6%、「把握している」が17.6%となっています。



問 12 で「把握している」「間接的に把握している」と回答した方

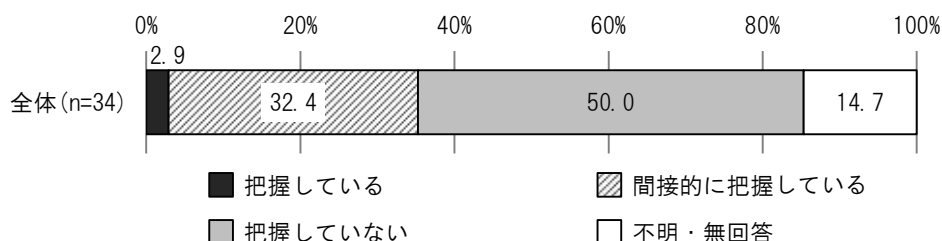
[活]問 12-1 把握している参加者の生活課題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

把握している参加者の生活課題についてみると、「情報提供が十分でない、情報を得られない」が48.0%と最も高く、次いで「買い物先に困っている」が28.0%、「80歳前後の親と、50歳前後の無職未婚の子が同居している(8050問題)」が24.0%となっています。



[活]問 13 貴団体は活動を行う上で、参加者以外の高齢者の地域における生活課題を把握していますか。(ひとつだけ○)

活動を行う上で、参加者以外の高齢者の地域における生活課題を把握しているかについてみると、「把握していない」が50.0%と最も高く、次いで「間接的に把握している」が32.4%、「把握している」が2.9%となっています。

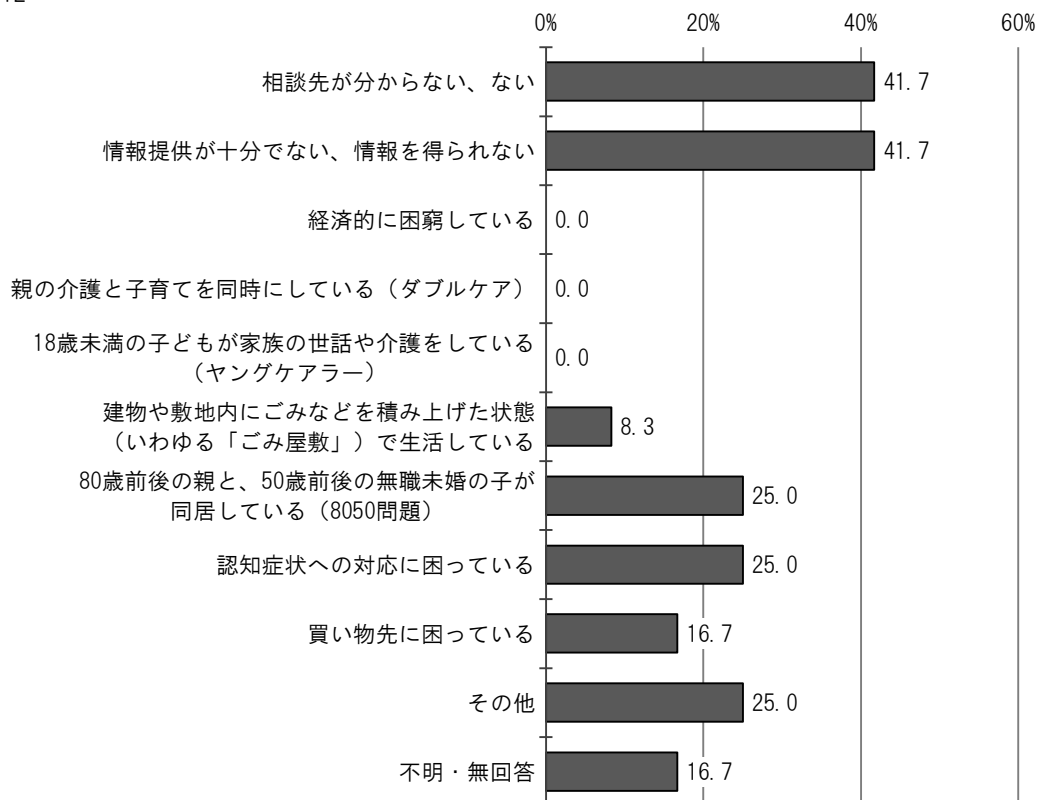


問 13 で「把握している」「間接的に把握している」と回答した方

[活]問 13-1 把握している参加者以外の生活課題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

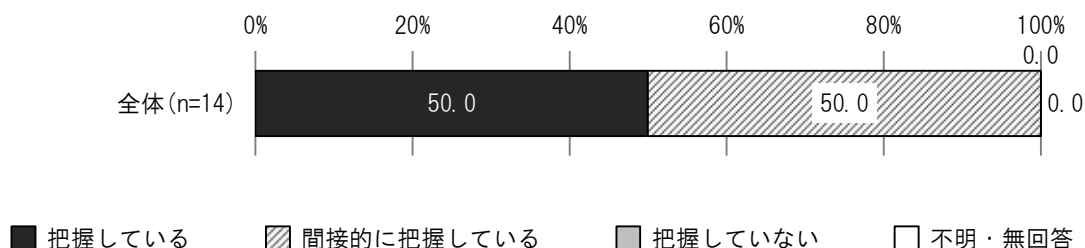
把握している参加者以外の生活課題についてみると、「相談先が分からない、ない」「情報提供が十分でない、情報を得られない」が41.7%と最も高く、次いで「80歳前後の親と、50歳前後の無職未婚の子が同居している(8050問題)」「認知症状への対応に困っている」「その他」が25.0%となっています。

n=12



[福]問 10 貴団体は活動を行う上で、高齢者の地域における生活課題を把握していますか。
(ひとつだけ○)

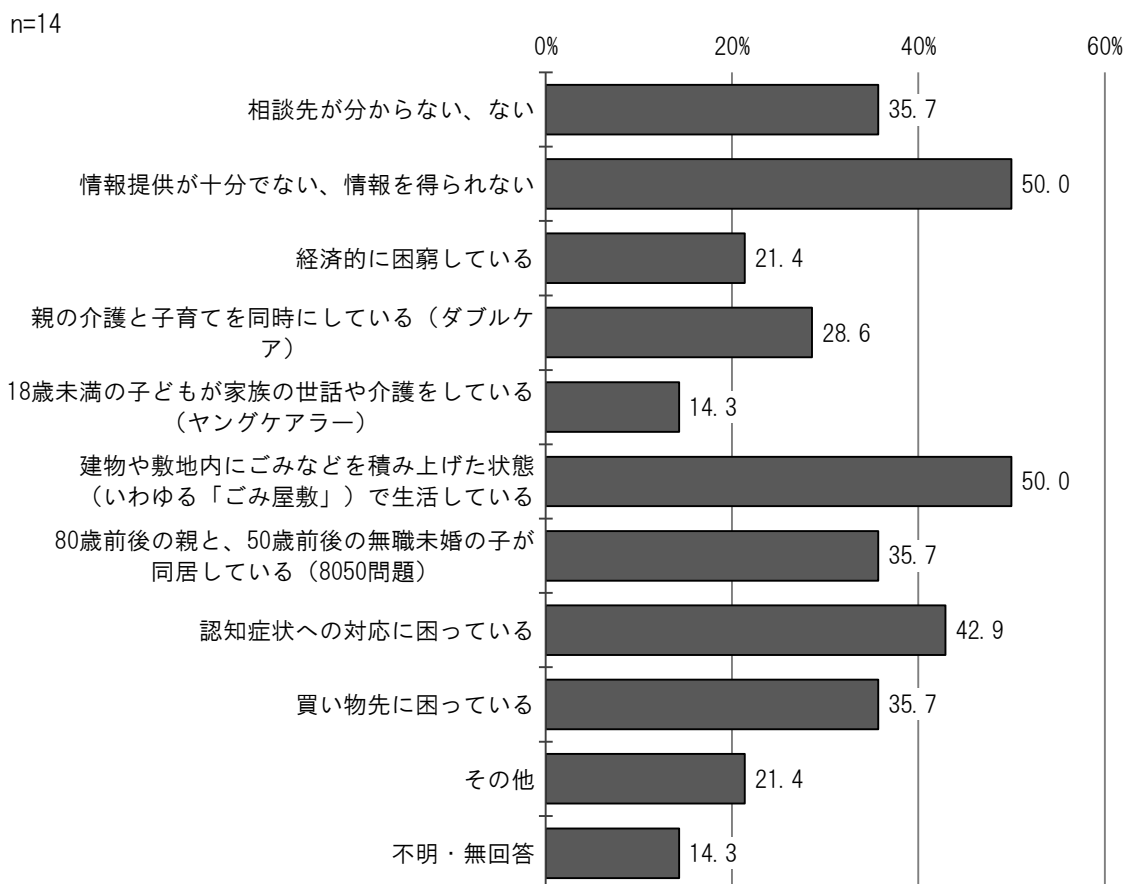
活動を行う上で、参加者以外の高齢者の地域における生活課題を把握しているかについてみると、「把握している」「間接的に把握している」がいずれも50.0%となっています。



問 10 で「把握している」「間接的に把握している」と回答した方

[福]問 10-1 把握している参加者以外の生活課題はどのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)

把握している生活課題についてみると、「情報提供が十分でない、情報を得られない」「建物や敷地内にごみなどを積み上げた状態で生活している」が50.0%と最も高く、次いで「認知症状への対応に困っている」が42.9%となっています。



[活]問 12-1・問 13-1 [福]問 10-1 比較 生活課題の把握状況について

「相談先がわからない、ない」については、問 12-1 と問 13-1 を比較すると、参加者以外の生活課題として多く挙げられており、地域活動に参加していない方への相談先の周知が必要だと考えられます。

また、全体的に[福]問 10-1 における把握状況が[活]問 12-1・問 13-1 における把握状況に比べ高くなっており、地域の多様な機関が課題を共有しながら取り組むことが重要だと考えられます。

単位：％		相談先がわからない、ない	情報提供が十分でない、情報を得られない	経済的に困窮している	親の介護と子育てを同時にしている（ダブルケア）	18歳未満の子どもが家族の世話や介護をしている（ヤングケアラー）	建物や敷地内にごみなどを積み上げた状態（いわゆる「ごみ屋敷」）で生活している	80歳前後の親と、50歳前後の無職未婚の子が同居している（8050問題）
設問	[活]問12-1 (n=25) 参加者の生活課題	8.0	48.0	8.0	-	-	12.0	24.0
	[活]問13-1 (n=12) 参加者以外の生活課題	41.7	41.7	-	-	-	8.3	25.0
	[福]問10-1 (n=14) 把握している生活課題	35.7	50.0	21.4	28.6	14.3	50.0	35.7
単位：％		認知症状への対応に困っている	買い物先に困っている	その他	不明・無回答			
設問	[活]問12-1 (n=25) 参加者の生活課題	20.0	28.0	20.0	8.0			
	[活]問13-1 (n=12) 参加者以外の生活課題	25.0	16.7	25.0	16.7			
	[福]問10-1 (n=14) 把握している生活課題	42.9	35.7	21.4	14.3			

[活]問 14 [福]問 11 貴団体が実施する取組等の対象者で、様々な支障により取組等に参加できない、または参加したくないとお考えの方が、今後参加するために必要な支援・アイデア等がありましたら、お書きください。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

〈交通手段の確保や機会の充実による参加しやすさの向上〉

- 会場まで来る交通手段。
- 遠くて来られない高齢者がいる。
- 社会福祉センターの交通の便が悪く、免許のない方は参加しにくい。ある程度の人数が集まるときは臨時便があると良い。
- 交通手段で悩んでいる方が何人かいらっしゃる様です。ききょう号がもう少し増便したら、参加しやすくなる方がおいでになるかも。
- 開催場所に行くことが困難。車などで連れ出しが必要。
- 徒歩圏内でいける場所での行事の実施。
- 曜日を固定せずに開催する。

〈参加したくなる活動の実施〉

- 参加するとポイントが貯まる。
- 何か楽しいこと、興味を持つようなことと組み合わせて事業をする。興味をもってもらえそうな相撲の話、お化粧の仕方などと健康づくりの話をあわせてする。
- アンケートで参加したくなる企画を把握し、それを立案する。
- あくまでも本人の意識の問題ではないかと話している。いかにして、これからの人を引き込むのか検討している。
- 参加できないのではなく、参加したくないのです。(共助より自助の価値を重要視している人が多くなっている)。

〈声掛け・情報提供・アウトリーチ〉

- オレンジサークルカフェの参加者などの当事者から紹介を頂きアウトリーチの機会を作ったり、民生委員の方々から支援を要するがサービスに結びつかない高齢者に案内したりして頂く。個人情報について柔軟な運用を検討することが必要。
- 役員会で相談して、見回り隊を作り活動したい。
- 今参加して頂いている人々の声掛け。
- できるだけ声かけをするようにしたい。
- 町会にも入会していない方は情報が全く把握できないようです。老人クラブ役員会に民生委員の担当者が参加すれば情報の共有化が図れると考えられます。

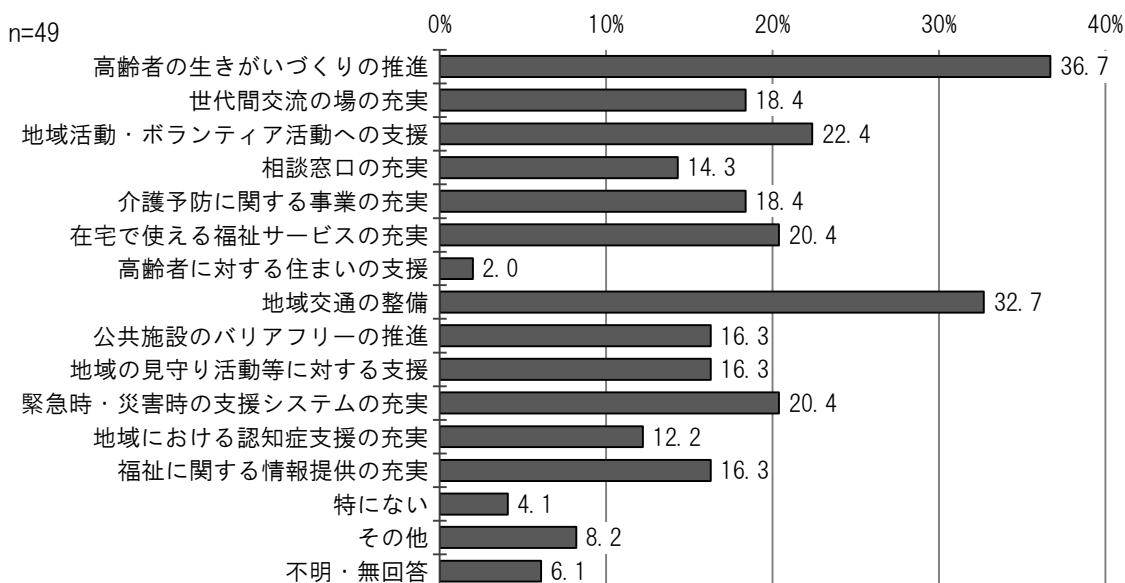
〈参加できる場づくり〉

- 自治会や老人クラブ主催において、特に体の不自由な方を対象に近所にコミュニティー空間を作ってはと思います。足の不自由な人には送り迎えを行う。
- 身近な集会施設の検討。ネットワーク化。
- 高齢者が集まれる場所が近くにない。

●市の高齢者施策について

[活]問 15 [福]問 12 市の高齢者施策として特に力を入れるべきだとお考えのことは何ですか。
(○は特に重要だと思ふもの3つまで)

特に力を入れるべき市の高齢者施策についてみると、「高齢者の生きがいがづくりの推進」が36.7%と最も高く、次いで「地域交通の整備」が32.7%、「地域活動・ボランティア活動への支援」が22.4%となっています。



[活]問 15 [福]問 12 市の高齢者施策として特に力を入れるべきだとお考えのことは何ですか。×
組織形態別

組織形態別にみると、〈老人憩の家〉では「地域活動・ボランティア活動への支援」、〈談話室〉では「地域交通の整備」、〈老人クラブ〉では「高齢者の生きがいがづくりの推進」、〈高齢者支援機関等〉では「地域交通の整備」「公共施設のバリアフリーの推進」が最も高くなっています。

単位：%		高齢者の生きがいがづくりの推進	世代間交流の場の充実	地域活動・ボランティア活動への支援	相談窓口の充実	介護予防に関する事業の充実	在宅で使える福祉サービスの充実	高齢者に対する住まいの支援
全体(n=49)		36.7	18.4	22.4	14.3	18.4	20.4	2.0
組織形態別	老人憩の家(n=10)	20.0	20.0	40.0	30.0	20.0	10.0	-
	談話室(n=8)	37.5	-	-	12.5	12.5	12.5	12.5
	老人クラブ(n=16)	56.3	18.8	18.8	6.3	18.8	25.0	-
	高齢者支援機関等(n=14)	21.4	28.6	28.6	14.3	21.4	21.4	-
単位：%		地域交通の整備	公共施設のバリアフリーの推進	地域の見守り活動等に対する支援	緊急時・災害時の支援システムの充実	地域における認知症支援の充実	福祉に関する情報提供の充実	特にない
全体(n=49)		32.7	16.3	16.3	20.4	12.2	16.3	4.1
組織形態別	老人憩の家(n=10)	10.0	20.0	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0
	談話室(n=8)	62.5	12.5	-	12.5	-	37.5	-
	老人クラブ(n=16)	31.3	-	12.5	25.0	12.5	12.5	-
	高齢者支援機関等(n=14)	35.7	35.7	21.4	7.1	21.4	7.1	7.1
単位：%		その他	不明・無回答					
全体(n=49)		8.2	6.1					
組織形態別	老人憩の家(n=10)	-	-					
	談話室(n=8)	12.5	12.5					
	老人クラブ(n=16)	6.3	6.3					
	高齢者支援機関等(n=14)	14.3	7.1					

[活]問 15-1 [福]問 12-1 問 15 (問 12) でお選びいただいた取組の充実により、具体的にどのような課題の解決を図るべきだとお考えですか。

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

1.	高齢者の生きがいづくりの推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアは参加している人の口コミで誘って参加者を増やす。 ●興味関心を持てるものあれば、家にこもらなくなる。 ●食事会やカラオケ会などすぐにできる楽しみにも補助金を。 ●男性一人暮らしの方と地域の方の交流の場の提供。
2.	世代間交流の場の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●世代間の交流の場、機会が少ない。検討が必要。 ●広報などでPR。 ●北部、特に佐津間地区は新しい家が多く建っているため、子育て世代が増えているが子供会なども幼いため世代間交流が希薄に感じる。 ●サロンに年齢はないが若い方の参加がない。 ●オンラインが主流で、対面で他世代と交流する機会が少ない。
3.	地域活動・ボランティア活動への支援
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会と老人クラブの連携・交流。それを支える自連協と市老連の連携・交流。 ●企業など現役世代向けの働きかけ。 ●地域・ボランティア活動の参加を促すため、わかりやすいPR 冊子 (HP) を作成する。 ●高齢者でも地域で活躍し貢献できる運営サポートが十分に機能していない。
4.	相談窓口の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●市役所までの交通手段 (バスや電車を利用) が悪く困っている人もいる。 ●役所にいけない方が多く、出前相談の要望が多い。 ●公民館などの公共施設で気軽に相談できる窓口を常設し、情報提供はもちろんのこと、あらゆる生活上の相談に応じられる様にする。
5.	介護予防に関する事業の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●包括支援センターへの相談が (事業内容が理解できていないため) 受けられない。 ●脳トレ予防の勉強。 ●市民の体力を見える化し、自らの老化予防に役立てる (視力、聴力)。
6.	在宅で使える福祉サービスの充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉サービスの具体的な内容を知らないのでは。 ●通院介助の人材と費用の補助や交通手段がなく、タクシー券が欲しいとの要望あり。
7.	高齢者に対する住まいの支援
	(ご意見無し)
8.	地域交通の整備
	<p><日常生活における交通手段の確保と利便性向上について></p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活手段 (買い物、通院時の交通の不便。) ●買い物行く交通手段がなく困っている。 ●病院や買い物に行く交通手段がない。 ●低額の乗り合いタクシー。移動スーパー。病院の巡回バス。 ●病院、買い物などに行く交通がなく困っている方がいます。 ●市民の要所に行くためのバスの時間が分かるアプリがあると良い。 ●交通手段がない。 <p><地域活動の場へのアクセスについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動の場を広げるためには交通手段の充実が必要。 ●集まるために (何をやるにも) 交通手段に困っている人がいる。 ●足腰が弱い人のために出来ることがあればいいのだが、ただ外に出なくなってしまう。 ●認知症カフェに参加するのに交通手段がない。

	<p>〈個別の交通機関について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●もう少し、ききょう号のルートを考えて欲しい。ききょう号のバス停に行く時間がありすぎて、運転免許返納ができないと聞きます。 ●キキョウバスが頼りの人が多いので充実されたい。 ●ききょうバス停増やしてほしい。 ●コミュニティバスの充実（積み残しが無いように増便、コースの見直し）。 ●ききょう号のダイヤの見直しと接続をよくしてもらいたい。 ●市バス 12 時の運行がない（南線大仏発）。
9.	公共施設のバリアフリーの推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会館利用。床の転倒防止など含む老人施設への充実。 ●エレベーターの設置、駐車場の確保（郷土資料館は道路も課題か）。 ●公共施設、特にトイレを広くしたら良いのではないか。 ●まなびプラザの和式トイレの改修。 ●北部公民館ではエレベーターがないので、2 階に上がるときに不便さを感じている方が多い。 ●小さな段差でも大変なので、スロープを増やす。 ●公共施設にエレベーターと洋式トイレ（暖房便座）の設置。歩道段差を直す。
10.	地域の見守り活動等に対する支援
	<ul style="list-style-type: none"> ●有料ボランティアを募集し活用する。 ●民生委員との情報共有が必要です（同時訪問など）。 ●高齢者の一人住まいへの支援（友人、知人の不足）。 ●独居の高齢者は、病気になったときどうしようとか不安を抱えている。 ●独居高齢者と近隣住民の関係が希薄となり、あいさつなどもない方がいる。自治会加入率も低下している。
11.	緊急時・災害時の支援システムの充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●動けなくなった独居老人が手元に電話が無かったり、玄関が施錠されていて救急車が来ても入れないときの対応が必要。 ●地域防災の組織づくりがいまだ進んでいない。 ●避難行動要支援者名簿などあるが、本当に必要な方の把握ができていないのか疑問。 ●災害時の安否確認ができるシステム（黄色い安否表の掲載など他の実績を参考に）。
12.	地域における認知症支援の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●免許証更新などに行うような試験の実施。 ●どこへ相談に行ったらよいのかわからない。 ●認知症の理解があまりないため、啓発など必要。
13.	福祉に関する情報提供の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉に関する情報をあまり知らない。 ●いろいろなことで困っている方のアドバイス方法が分かりません。 ●中央地区社会福祉協議会発行の「まごころ」など高齢者に伝わるようにして頂きたい。 ●情報提供はなされていても、広報などに目を通していない。 ●町会を退会された方は回覧板も入らないので、情報は全く入りません。訪問が大切と考えます。 ●市からの外からの放送が聞き取れないので高齢者の家に有線放送を設置していただきたい。 ●市の放送が聞き取りづらい。 ●ふれあい委員と名称と活動の周知。
15.	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ●後期高齢者数や認知症高齢者数の増加で益々、成年後見制度利用促進が求められている。中核機関の設置が必要である。

[活]問 16 [福]問 13 最後に、市の高齢者福祉・介護保険施策について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

記入いただいた自由回答は、高齢者活動等市民主体の団体では 17 件、高齢者福祉に携わる団体・施設では 3 件で、回答内容を分類別にまとめると、以下のとおりです。

①高齢者活動等市民主体の団体

分類項目	件数
介護サービス	1
人付き合い、社会参加	3
交通機関・公共施設	1
情報提供	2
将来について	1
アンケート	2
その他	7
合計	17

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

- 地区の老人会があるが、活動場所、活動している方など情報が全く入ってきません。老人会の活動を活発にしてほしいです。
- 鎌ヶ谷市の高齢者関係の福祉、介護については他地域から比べてとても充実していて有難いと思う。
- 行政の具体的施策内容を配布または訪問して知らせるべきと思います。
- ネット、パソコン、スマートフォン、高齢者に回答できないことをわかって欲しい。

②高齢者福祉に携わる団体・施設

分類項目	件数
人付き合い、社会参加	1
情報提供	1
その他	1
合計	3

主なご意見を抜粋し、以下に掲載しています。

- より多くの市民に情報が届くと良いと思います。
- 現、高齢者をサポートする事業も重要ですが、これから年をとる若い人達が元気に長生きするには何が重要で今からどうしていけば良いか、正しい情報を伝えていくことが必要だと思います。また、若いうちから地域福祉を知ってもらうためにも、働き世代の方々にもイベントの参加からのボランティアへと、流れを作っていきたいと思います。
- 鎌ヶ谷市内在住、在勤の社会福祉士や精神保健福祉士などの専門職の懇談会を定期的を開催し、地域住民として何ができるか、意見交換してみたい。

第9期 鎌ヶ谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書

発行年月 令和5年3月

編集・発行 鎌ヶ谷市 健康福祉部 高齢者支援課

住 所 〒273-0195

千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号

電話番号 047-445-1141（代表）

047-445-1380（直通）

F A X 047-443-2233